

多文化共生についての市民意識調査 結果報告書

令和7年11月
富士市

目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の内容	1
3.	調査の設計	1
4.	回収結果	2
5.	報告書の見方	2
II	調査票と単純集計結果	3
	＜日本人市民意識調査＞	3
	＜外国人市民意識調査＞	14
III	調査結果の概要と課題	29
	＜日本人市民意識調査＞	29
1.	自身のことについて	29
2.	多文化共生について	29
3.	姉妹友好都市交流について	30
4.	富士市国際交流協会について	31
5.	多文化共生・国際化について	31
	＜外国人市民意識調査＞	32
1.	自身のことについて	32
2.	日本語能力について	33
3.	生活全般について	34
4.	住宅について	34
5.	地域コミュニティとの関わりについて	34
6.	医療・保険について	35
7.	子育て・教育について	36
8.	仕事について	36
9.	防災について	36
10.	行政サービスについて	37
IV	調査結果	39
	＜日本人市民意識調査＞	39
1.	自身のことについて	39
(1)	性別	39
(2)	年齢	39
(3)	職業	40
(4)	外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいるか	41
(5)	外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人と知り合ったきっかけ	42
2.	多文化共生について	46
(1)	「多文化共生」という言葉を知っているか	46

(2) 「やさしい日本語」を知っているか	48
(3) 日本社会で生活する外国人が増えることについてどう思うか	49
(4) 外国人に対してどのような印象を持っているか	56
(5) 外国人に対する印象の理由	58
(6) 富士市は積極的に外国人を受入れるべきだと思うか	65
(7) 現在、地域の外国人とどのような付き合いをしているか	73
(8) 今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいか	75
(9) 今までに地域で外国人住民との間にトラブルがあったことはあるか	79
(10) 富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人に必要なこと	83
(11) 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人に希望すること	88
(12) 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市として必要な取り組み	92
(13) 富士市役所内に外国人相談窓口があることを知っているか	96
(14) 「富士市国際交流ラウンジ (FILS)」を知っているか	97
(15) 「富士市国際交流ラウンジ (FILS)」が行う事業について知っているか	99
(16) 外国人支援のボランティア活動に興味があるか	100
(17) 活動してみたい外国人支援のボランティア	101
3. 姉妹友好都市交流について	103
(1) 富士市がオーシャンサイド市、嘉興市と姉妹友好都市提携を結んでいることについて	103
(2) オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいか	107
(3) 富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っているか	112
(4) 家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいか	113
(5) 姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思うか	118
(6) 姉妹友好都市との交流はどのような交流内容を重視して進めていくべきだと思うか	120
(7) 富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと思うか	124
4. 富士市国際交流協会について	126
(1) 富士市国際交流協会について知っているか	126
(2) 富士市国際交流協会が実施する事業の中で知っているもの	127
(3) 富士市国際交流協会に実施してほしい事業	129
5. 多文化共生・国際化について	130
(1) 市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手しているか	130
(2) 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、どのような対応をしていきたいか	134
(3) 富士市を訪れる外国人観光客が増加することについてどう思うか	138
(4) 富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思うか	139
(5) 多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えるか	143
(6) 多文化共生・国際化推進に関する自由意見	147
<外国人市民意識調査>	154
1. 自身のことについて	154
(1) 性別	154
(2) 年齢	154
(3) 国籍	154
(4) 在留資格	155

（５）日本での滞在年数	156
（６）富士市での滞在年数	157
（７）富士市に住むようになった理由	159
（８）富士市に住み続けたいと思うか	160
（９）富士市にどのくらい住み続けたいか	161
（10）富士市に住み続けるつもりはない理由	162
2. 日本語能力について	163
（１）日常会話ができる言語	163
（２）日本語はどのくらいできるか	165
（３）日本語がわからなくて困ったこと	170
（４）日本語をどのように学習したか	171
（５）日本語を学ぶ主な目的	172
（６）今後日本語を学びたいか	173
（７）日本語を学んでいない理由	175
（８）日本語教室についての希望	176
3. 生活全般について	180
（１）生活している中で悩みはあるか	180
（２）生活の情報源	181
（３）よく使うインターネットのサービス	182
（４）富士コミュニティ FM 放送が多言語で提供している放送番組を知っているか	183
4. 住宅について	185
（１）住んでいる家の状況	185
（２）誰と住んでいるか	186
（３）家について困っていること	188
5. 地域コミュニティとの関わりについて	189
（１）まわりに住んでいる日本人についてどのように感じるか	189
（２）日本人に差別をされていると感じるか	190
（３）差別を感じる時	192
（４）まわりに住んでいる日本人と生活のトラブルがあるか	193
（５）まわりの日本人との間あったトラブルの内容	194
（６）自治会や町内会・区が地域にあることを知っているか	195
（７）自治会や町内会・区の行事に参加したことがあるか	196
（８）自治会や町内会・区の行事に参加しない理由	197
（９）まわりに住んでいる日本人との付き合い	198
（10）まわりに住んでいる日本人と付き合いしていく中で、希望すること	200
6. 医療・保険について	201
（１）病院などで困ること	201
（２）健康保険（病院で使うための医療保険）に入っているか	202
7. 子育て・教育について	204
（１）日本での子育てで困ったこと	204

(2) 子どもの教育について困ったこと	206
8. 仕事について	207
(1) 今の仕事の業種	207
(2) 仕事をしていない理由	208
(3) 週何時間、仕事をしているか	209
(4) どのような雇用形態（雇用契約）か	210
(5) 仕事で満足していないこと	211
9. 防災について	213
(1) 災害（地震、台風、強い雨など）が発生したときについて	213
(2) 災害（地震、台風、強い雨など）の準備でしていること	214
10. 行政サービスについて	215
(1) 富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ（FILS）を知っているか	215
(2) 富士市国際交流ラウンジ（FILS）の Facebook を見たことはあるか	216
(3) 富士市役所内にある外国人相談窓口を知っているか	218
(4) 富士市ウェブサイトの多言語版を知っているか	219
(5) NSF FUJI（外国人市民のための通知支援サイト）を知っているか	221
(6) 富士市のメールサービス「まる・かる・めーる」を知っているか	222
(7) 富士市に暮らす外国人に役立つ生活情報を集めた「INFO BOX F」を知っているか	223
(8) 知りたい市の情報	224
(9) 充実してほしい行政サービス	225
(10) 富士市に住んでいてどんなことに満足しているか	226
(11) 自由意見	227

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査の目的

日本人市民意識調査では、多文化共生・国際化推進に対する意識についての市民の意識や実態を、外国人市民意識調査では、市内で生活を送る外国人市民の意識、生活実態や日常生活における課題、問題を把握し、今後の多文化共生・国際化推進施策を検討するための基礎資料とする。

2. 調査の内容

	「富士市の多文化共生」について ＜日本人市民意識調査＞	外国籍市民アンケート調査について ＜外国人市民意識調査＞
調査項目	1 自身のことについて 2 多文化共生について 3 姉妹友好都市交流について 4 富士市国際交流協会について 5 多文化共生・国際化について	1 自身のことについて 2 日本語能力について 3 生活全般について 4 住宅について 5 地域コミュニティとの関わりについて 6 医療・保健について 7 子育て・教育について 8 仕事について 9 防災について 10 行政サービスについて

3. 調査の設計

	「富士市の多文化共生」について ＜日本人市民意識調査＞	外国籍市民アンケート調査について ＜外国人市民意識調査＞
調査地域	富士市全域	富士市全域
調査対象	市内に在住する日本人市民のうち18歳以上の方	市内に在住する外国人市民のうち18歳以上の方
標本数	2,000人	2,000人 【国籍別内訳】 ・ベトナム 558人 ・ブラジル 401人 ・フィリピン 367人 ・スリランカ 276人 ・中国 226人 ・ネパール 172人
抽出方法	住民基本台帳から等間隔無作為抽出	住民基本台帳記載の外国籍市民の中から 層化二段無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収・WEB回収	郵送配布、郵送回収・WEB回収
調査期間	令和7年8月1日～令和7年10月20日	令和7年8月7日～令和7年10月20日

4. 回収結果

「富士市の多文化共生」について <日本人市民意識調査>

	発送数	回収数			回収率		
		郵送回収	WEB 回収	合計	郵送回収	WEB 回収	合計
日本人用調査票	2,000	566	334	900	28.3%	16.7%	45.0%

外国籍市民アンケート調査について <外国人市民意識調査>

		発送数	回収数			回収率		
			郵送回収	WEB 回収	合計	郵送回収	WEB 回収	合計
1	ベトナム語	558	30	106	136	5.4%	19.0%	24.4%
2	ポルトガル語	401	84	49	133	20.9%	12.2%	33.2%
3	タガログ語	367	65	60	125	17.7%	16.3%	34.1%
4	英語	448	53	50	103	11.8%	11.2%	23.0%
5	中国語	226	22	18	40	9.7%	8.0%	17.7%
やさしい日本語		-	106	84	190	(5.3%)	(4.2%)	(9.5%)
合 計		2,000	360	367	727	18.0%	18.4%	36.4%

※「やさしい日本語」の回収率は、発送数（2,000）に対する比率。その他は各言語に対する比率。

5. 報告書の見方

- ・図表中の「n」は、その設問への回答者数を表す。小数点1位まで示した数値は、回答比率（％）である。
- ・集計結果の％表示は、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合は、回答比率の合計は通常100.0%を超える。
- ・二重鉤括弧で囲った表記は、選択肢2つ以上を合わせた結果を表している。

例：『思う』は「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせたもの。

Ⅱ 調査票と単純集計結果

Ⅱ 調査票と単純集計結果

＜日本人市民意識調査＞

「富士市の多文化共生」について

令和7年8月 富士市

ご協力をお願い

日ごろから市政の推進に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、市民の皆様の多文化共生・国際化推進に対する意識について、広く皆様にご意見を伺い、今後の多文化共生・国際化推進施策のための貴重な資料にさせていただきたいと考えております。

なお、アンケート調査の実施に当たっては、18歳以上の市民の方から無作為に2,000人を選ばせていただきました。調査の結果につきましては統計的な処理をいたしますので、あなたの個人情報が外部に漏れたりすることは決してありません。

大変お忙しい折、恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

～ 記入上のお願い ～

- 返信にあたっては、郵送またはインターネット、いずれかの方法で回答してください。
- インターネットで回答する場合は、以下のログインIDとパスワードを入力してください。

あなたのログインID

あなたのパスワード

- それぞれの回答方法については、2ページをご覧ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

富士市役所市民部市民活躍・男女共同参画課

〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地

TEL 0545-55-2704

FAX 0545-55-2864

E-mail si-katsuyaku@div.city.fuji.shizuoka.jp

郵送で回答する場合

- 回答は、必ず封書宛名のご本人にお願いします。
- あなた自身の考え方を、ありのままにお答えください。
- 回答は、用意された項目の中から当てはまるものを指定された回答数だけ選び、その番号に○をつけてください。
- 回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、() 内に具体的に記入してください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の封筒（切手不要）に入れて、

令和7年8月25日（月）までにご投函願います。

インターネットで回答する場合

- パソコン、スマートフォン、タブレット端末のいずれかで、次のURLまたは二次元バーコードからアクセスしてください。

URL 及び二次元バーコード

<https://src3.webcas.net/form/pub/src1/250945j>



- 調査票表紙にあるログインIDとパスワードを入力して、お進みください。
- 回答は、必ず封書宛名のご本人にお願いします。
- あなた自身の考え方を、ありのままにお答えください。
- 回答は、用意された項目の中から当てはまるものを指定された回答数だけ選んでください。
- 回答が「その他」の場合は、具体的な内容を入力してください。
- 回答は、令和7年8月25日（月）までをお願いします。

※ログインIDとパスワードは個人を特定するものではありません。郵送回答とインターネット回答の重複を防ぐために使用します。

※インターネットで回答した場合は、調査票の返送は不要です。

※この調査は、富士市市民活躍・男女共同参画課が「株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所」に調査の集計作業を委託して行います。

1 あなたご自身のことについて伺います

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

n=900

- | | |
|-------------|---------|
| 1 男性 45.6 | |
| 2 女性 53.4 | |
| 3 その他 0.1 | |
| 4 回答しない 0.7 | 無回答 0.2 |

問2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

n=900

- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 1 10歳代 0.7 | 2 20歳代 4.7 | 3 30歳代 7.9 | 4 40歳代 13.1 |
| 5 50歳代 17.1 | 6 60歳代 17.0 | 7 70歳以上 38.9 | 無回答 0.7 |

問3 あなたの職業を教えてください。(〇は1つ)

n=900

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1 自営業（農林水産業等従事者も含む） 6.7 | |
| 2 会社員等（会社役員・専門職・公務員も含む） 31.2 | |
| 3 アルバイト・パート 14.9 | |
| 4 派遣社員・契約社員 2.1 | |
| 5 学生・専門学校生 1.8 | |
| 6 家事専業 15.3 | |
| 7 無職 26.8 | |
| 8 その他 0.9 | 無回答 0.3 |

問4 あなたには、外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいますか。(〇は1つ) n=900

- | | | |
|------------|------|---------|
| 1 いる 21.7 | →問5へ | |
| 2 いない 77.4 | →問6へ | 無回答 0.9 |

【問4で「1 いる」を選んだ方に伺います。】

問5 知り合ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

n=195

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| 1 仕事上の付き合いから 55.9 | |
| 2 海外旅行に行った（来た）ことから 7.2 | |
| 3 留学をした（来た）ことから 6.7 | |
| 4 国際交流事業に参加したことから 1.5 | |
| 5 学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから 16.9 | |
| 6 SNSを通じて知り合ったことから 3.1 | |
| 7 近所に住んでいるから 15.9 | |
| 8 子どもを通じた活動を一緒にしているから 6.2 | |
| 9 その他 24.6 | 無回答 0.5 |

2 多文化共生について伺います

問6 あなたは、「多文化共生※」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

n=900

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1 言葉の意味も含めて知っている 34.7 | |
| 2 言葉の意味はわからないが、聞いたことはある 32.2 | |
| 3 知らない 32.4 | 無回答 0.7 |

※「多文化共生」：国籍等の異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。(「地域における多文化共生推進プラン」総務省 2020 年 9 月)

問7 あなたは、「やさしい日本語※」を知っていますか。(○は1つ)

n=900

- | | |
|--------------------|---------|
| 1 知っていて、使っている 14.0 | |
| 2 知っている 36.1 | |
| 3 知らない 47.4 | 無回答 2.4 |

※「やさしい日本語」：難しい言葉を言い換えたり、漢字にルビをふったりするなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

問8 あなたは、日本社会で生活する外国人が増えることについてどう思いますか。(○は1つ)

n=900

- | | |
|---------------|---------|
| 1 望ましい 17.8 | |
| 2 望ましくない 23.1 | |
| 3 わからない 58.0 | 無回答 1.1 |

問9 あなたは、外国人に対してどのような印象を持っていますか。(○は1つ)

n=900

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 親しみを感ずる 4.9 | 2 どちらかといえば親しみを感ずる 24.8 |
| 3 どちらかといえば親しみを感じない 20.9 | 4 親しみを感じない 8.6 |
| 5 どちらともいえない 40.4 | 無回答 0.4 |

問10 問9のように感じる理由を教えてください。

問11 あなたは、富士市は積極的に外国人※を受入れるべきだと思いますか。(○は1つ)

n=900

- | | |
|---------------------|---------|
| 1 思う 6.2 | |
| 2 どちらかといえば思う 19.1 | |
| 3 どちらかといえば思わない 17.2 | |
| 4 思わない 12.8 | |
| 5 どちらともいえない 44.0 | 無回答 0.7 |

※外国人：ここでの外国人は就労等で中～長期で滞在する外国人の方を想定しています。(観光客などの短期滞在の方は含みません)

問12 あなたは現在、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。(○は1つ) n=900

1 挨拶をする 19.9	2 顔や名前を知っている 3.0
3 時々話をする 7.0	4 親しく付き合っている 1.9
5 全く言葉を交わさない 21.1	6 地域に外国人はいない(知らない) 46.6 無回答 0.6

問13 あなたは今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。(○はいくつでも) n=900

1 挨拶をしたい 34.6	2 日常会話をしたい 21.4
3 文化やスポーツ等での交流をしたい 10.1	4 地域事業と一緒に取り組みたい 8.4
5 語学を教えたい、または教えてほしい 10.2	6 あまり付き合いたくない 17.6
7 その他 3.8	8 わからない 27.4 無回答 1.2

問14 あなたは、今までに地域で外国人住民との間にトラブルがあったことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

n=900

1 ゴミの出し方 11.9	2 家や部屋からの騒音・物音 7.9
3 集合住宅の共有スペースの使い方 4.0	4 駐車・駐輪の仕方 4.7
5 ペットのマナー 1.7	6 子どもの行動 3.1
7 外国人が経営する店の営業に関すること 1.2	8 建物の増築・改築 0.7
9 文化や風習に関すること 6.6	10 宗教に関すること 1.9
11 特にない 74.6	12 その他 3.6 無回答 2.3

問15 あなたは、富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも) n=900

1 日ごろから、挨拶や声かけをする 53.0
2 地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る 26.3
3 話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫をする 34.9
4 地域のルールなどを外国語により情報提供する 35.2
5 自分の持っている知識や技術を外国人に伝える 7.6
6 多文化共生について理解を深める 20.0
7 外国の生活習慣、文化などについて理解を深める 19.7
8 差別意識を持たないようにする 48.9
9 外国人に日本語を教える 10.6
10 地域の外国人と意見交換を行う 9.6
11 困っている外国人がいたら声をかける 29.8
12 外国人を支援するボランティア活動に参加する 4.4
13 自分自身が外国語を習得する 9.9
14 その他 3.1
15 わからない 8.3
16 特に必要ない 6.7 無回答 0.2

問16 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも) n=900

- | | | |
|--------------------------------|------|---------|
| 1 地域の人と交流したり、行事に参加してほしい | 25.2 | |
| 2 地域のルールを知り、守ってほしい | 80.6 | |
| 3 日本語を話せるようになってほしい | 33.1 | |
| 4 日本の生活習慣、文化等を理解してほしい | 60.3 | |
| 5 ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい | 48.3 | |
| 6 外国人の目から見た地域づくりのアドバイスをしてほしい | 10.6 | |
| 7 語学を教えてほしい | 7.7 | |
| 8 その他 | 1.7 | |
| 9 特に必要ない | 4.1 | 無回答 1.8 |

問17 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも) n=900

- | | | |
|-------------------------------------|------|---------|
| 1 案内板などへの外国語表示の充実 | 46.0 | |
| 2 「やさしい日本語」での情報発信 | 35.4 | |
| 3 まちづくりセンターなどでの多文化共生・国際理解に関する講座等の充実 | 19.7 | |
| 4 広報や公的文書、地域で役立つ文書などの外国語版の作成と充実 | 21.1 | |
| 5 日本人と外国人との交流機会の充実 | 18.1 | |
| 6 外国人相談・支援窓口の充実 | 35.0 | |
| 7 外国人に対する、生活ルールなどの周知 | 59.1 | |
| 8 外国人に対する日本語教育の充実 | 25.0 | |
| 9 学校教育での多文化共生・国際理解の充実 | 19.6 | |
| 10 その他 | 2.7 | |
| 11 わからない | 8.0 | |
| 12 特に必要ない | 2.4 | 無回答 1.8 |

問18 あなたは、富士市役所内に外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）があることを知っていますか。(〇は1つ) n=900

- | | | |
|---------|------|---------|
| 1 知っている | 22.6 | |
| 2 知らない | 76.3 | 無回答 1.1 |

問19 あなたは、「富士市国際交流ラウンジ（F I L S）※」を知っていますか。(〇は1つ) n=900

- | | | | |
|--------------------|------|-------|---------|
| 1 知っていて、利用したことがある | 1.2 | →問20へ | |
| 2 知っているが、利用したことはない | 14.0 | →問21へ | |
| 3 知らない | 83.8 | →問21へ | 無回答 1.0 |

※富士市国際交流ラウンジ（F I L S）：(Fuji International Lounge for Sharing) 富士市交流プラザ内にあり、富士市の多文化共生推進拠点。

【問 19 で「1 知っていて、利用したことがある」を選んだ方に伺います。】

問20 あなたは、富士市国際交流ラウンジ（F I L S）が行う事業について知っていますか。（○は
いくつでも） n=11

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1 外国人市民相談事業（情報提供） | 27.3 |
| 2 通訳・翻訳等の支援 | 36.4 |
| 3 日本語学習支援 | 90.9 |
| 4 外国人児童保護者支援事業（進学ガイダンス、保護者懇談会など） | 18.2 |
| 5 異文化交流イベント（スポーツイベント、イヤーエンドパーティーなど） | 36.4 |
| 6 日本文化講座（日本の家庭料理教室など） | 18.2 |
| 7 知らない | 0.0 |
| 無回答 0.0 | |

【全員に伺います。】

問21 富士市国際交流ラウンジ（F I L S）では外国人に日本語を教えるなどのボランティア活動
が行われています。あなたは外国人支援のボランティア活動に興味がありますか。（○は1つ） n=900

- | | | | |
|------------|------|----------------------|---------|
| 1 興味がある | 7.6 | } →問 22 へ
→問 23 へ | 無回答 2.4 |
| 2 あまり興味はない | 23.3 | | |
| 3 興味はない | 43.3 | | |
| 4 わからない | 23.3 | | |

【問 21 で「1 興味がある」を選んだ方に伺います。】

問22 下記のボランティアの中で、活動してみたいボランティアはありますか。（○はいくつでも） n=68

- | | |
|--|------|
| 1 日本語学習支援ボランティア | 61.8 |
| 2 広報ボランティア（F I L S 広報誌の作成） | 11.8 |
| 3 文化交流ボランティア（交流イベント、日本文化講座でのボランティア） | 39.7 |
| 4 外国人市民支援ボランティア（外国人児童・生徒支援事業等でのボランティア） | 26.5 |
| 5 災害時等の通訳・通訳ボランティア | 11.8 |
| 6 その他 | 13.2 |
| 無回答 1.5 | |

3 姉妹友好都市交流について伺います

問23 あなたは、富士市が米国・オーシャンサイド市、中国・嘉興市と姉妹友好都市提携を結んで
いることを知っていますか。（○は1つ） n=900

- | | | | |
|-------------|------|-------------------|------|
| 1 両方とも知っている | 16.4 | 2 オーシャンサイド市は知っている | 7.4 |
| 3 嘉興市は知っている | 6.3 | 4 知らない | 68.7 |
| | | 無回答 1.1 | |

問24 あなたは、今後、オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいですか。（○は1つ） n=900

- | | | | |
|----------------|------|--------------------|------|
| 1 両方の都市に行ってみたい | 7.7 | 2 オーシャンサイド市に行ってみたい | 10.2 |
| 3 嘉興市に行ってみたい | 1.2 | 4 どちらも行きたくない | 45.3 |
| 5 わからない | 33.8 | 無回答 1.8 | |

問25 あなたは、富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っていますか。
(○は1つ) n=900

1 知っている 19.2	2 知らない 79.2	無回答 1.6
--------------	-------------	---------

問26 あなたは、あなたのご家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいと思いますか。(○は1つ) n=900

1 両方の都市への派遣事業に参加させたい 6.4
2 オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい 5.7
3 嘉興市への派遣事業に参加させたい 0.2
4 参加させたいとは思わない 37.3
5 わからない 48.1
無回答 2.2

問27 あなたは、今後の姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思いますか。(○は1つ) n=900

1 行政が中心となって進めるべき 13.0
2 民間(国際交流団体など)が中心となって進めるべき 3.1
3 行政と民間が一体となって進めるべき 44.6
4 その他 2.2
5 わからない 35.6
無回答 1.6

問28 姉妹友好都市との交流は、今後どのような交流内容を重視して進めていくべきだと思いますか。(○はいくつでも) n=900

1 姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ 30.2
2 中高生をはじめとする市民の派遣 21.2
3 市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流 36.3
4 環境や福祉など、行政の相互交流 17.0
5 スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流 23.7
6 電子メールやSNS等のインターネットを利用した市民同士の相互交流 7.9
7 姉妹友好都市との交流イベントの開催 23.9
8 その他 2.4
9 わからない 34.6
無回答 2.0

問29 あなたは、富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと思いますか。
(○は1つ) n=900

1 思う 17.4
2 どちらかというと思う 26.9
3 どちらかというと思わない 7.8
4 思わない 11.1
5 わからない 35.7
無回答 1.1

4 富士市国際交流協会について伺います

問30 あなたは、富士市国際交流協会について知っていますか。(○は1つ) n=900

1 知っている 13.9	2 知らない 84.7	無回答 1.4
--------------	-------------	---------

問31 富士市国際交流協会が実施する事業の中で、あなたの知っている事業はありますか。(○はいくつでも) n=900

1 国際交流フェア 17.0	2 日本語スピーチコンテスト 7.9
3 外国語講座 8.2	4 世界の料理教室 5.6
5 おしゃべり交流サロン 1.7	6 その他 10.0
無回答 60.6	

問32 富士市国際交流協会に実施してほしい事業はありますか

--

5 多文化共生・国際化 両方について伺います

問33 あなたは、市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手していますか。(○はいくつでも) n=900

1 広報ふじ 49.8	無回答 2.0
2 市ウェブサイト(市SNS含む) 7.2	
3 国際交流ラウンジ(Facebook含む) 1.6	
4 友人・知人 3.9	
5 ラジオエフ 2.6	
6 チラシ・ポスター 6.6	
7 その他 1.7	
8 特になし 43.9	

問34 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいですか。(〇はいくつでも) n=900

- | |
|---|
| 1 国際交流や外国人支援のためのボランティア活動に積極的に参加したい 3.1 |
| 2 積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい 18.8 |
| 3 外国人が感心する個性的な美しいまちづくりに努めたい 11.1 |
| 4 日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい 24.7 |
| 5 外国人と共に地域の行事に取り組むなど、まちづくりをしていきたい 11.1 |
| 6 飢餓に苦しむ人や難民に物資や義援金など、支援の手を差し伸べたい 11.0 |
| 7 外国語を話せるようにしたい 16.7 |
| 8 地域の外国人の相談にのるなど、生活支援をしていきたい 2.9 |
| 9 インターネット（SNS）等を利用して外国の人々と交流したい 2.4 |
| 10 開発途上国等で自分の技術などを生かしたい 1.1 |
| 11 ホームステイなどを積極的に受け入れたい 1.9 |
| 12 その他 1.7 |
| 13 特にない 44.7 無回答 3.4 |

問35 富士市を訪れる外国人観光客が増加することについてどう思いますか。(〇は1つ) n=900

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 良いと思う 24.7 | 2 どちらかといえば良いと思う 30.6 |
| 3 どちらかといえば良いと思わない 8.4 | 4 良いと思わない 7.9 |
| 5 どちらともいえない 26.8 | 無回答 1.7 |

問36 富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思いますか。(〇はいくつでも) n=900

- | |
|---|
| 1 公共施設への Wi-Fi 環境等の整備 28.8 |
| 2 外国語を使える観光ガイドの育成 46.9 |
| 3 ピクトグラム（絵文字・絵表示）等を利用した案内表示の作成 33.2 |
| 4 やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布 43.4 |
| 5 宗教や習慣、アレルギー等に対応できる食事メニュー表示の工夫 16.8 |
| 6 富士市ウェブサイト等における、富士市観光情報を外国語表示にする 30.2 |
| 7 その他 9.9 無回答 11.0 |

問37 多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えますか。

(〇はいくつでも)

n=900

1	異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり	31.3
2	日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり	55.4
3	日本人と外国人をつなぐ人材の育成	26.6
4	災害時における、外国語による情報提供体制の整備	31.3
5	姉妹友好都市等との市民交流の推進	9.2
6	観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信	26.1
7	国際会議や国際的なイベントの開催	7.1
8	国際交流・協力団体への活動支援	7.3
9	下水道など行政の経験を生かした国際協力の推進	6.1
10	在住外国人への支援の充実	12.6
11	外国人を雇用する事業者の支援	18.2
12	その他	2.2
13	わからない	13.8
14	特に必要ない	8.3
		無回答 2.6

問38 多文化共生・国際化推進につきまして、ご意見などがあればご記入ください

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

<外国人市民意識調査>

2025年度 外国籍市民 アンケート 調査について

2025年8月 富士市

富士市は、2026年に「多文化共生推進プラン」を作るため、いろいろな国の人にアンケートをしています。生活の状況や意見など、プランの参考にさせていただきます。ぜひ協力してください。

記入・質問の答えについて

- このアンケートは富士市に住む18歳以上の外国の人のうち、2,000人を選んで送っています。
- このアンケートに答えてもあなたの名前がわかってしまうことはありません。アンケートには名前を書かないでください。
- 日本語と外国語のアンケートが入っています。どちらか答えやすい方を選んで質問に答えてください。
- 質問の答え方は郵送かインターネットのどちらかの方法で行ってください。
- インターネットで質問に答える場合は、以下のログインIDとパスワードを入力してください。

あなたのログインID

あなたのパスワード

- 質問の答え方は2ページを見てください。

この調査について質問がある人は、連絡してください。

富士市役所 市民部 市民活躍・男女共同参画課

〒417-8601 富士市 永田町 1丁目 100番地

TEL 0545-55-2704

FAX 0545-55-2864

E-mail si-katsuyaku@div.city.fuji.shizuoka.jp

ゆうそう き かみ かいとう ほうほう 郵送で 来た紙で 回答する方法

- 手紙に 名前が書いてある人が 答えてください。
- あなたの 考えを 答えてください。
- 質問の 答えは あなたの 考えに 当てはまるものを 決められた数だけ 選んで その番号に ○をつけてください。
- 質問の 答えが「その他」の ときは「その他」に ○を つけたあと、() の中に その内容を 書いてください。
- 記入が 終わったら アンケート調査票を 返信用封筒に 入れて、

ねん がつ にち げつ
2025年 8月25日 (月) までに 近くの 郵便ポストに 入れてください。

きって は 貼る必要は ありません。

いんたーねっと かいとう ほうほう インターネットで 回答する方法

- パソコン、スマートフォン、タブレットなどの デジタル機器の どれかで、次の URL または 二次元バーコードから アクセス してください。

URLと二次元バーコード

<https://src3.webcas.net/form/pub/src1/250945f>



- 1 ページにある ログインID と パスワードを 入力して、進んでください。
- 手紙に 名前が書いてある人が 答えてください。
- あなたの 考えを 答えてください。
- 質問の 答えは あなたの 考えに 当てはまるものを 決められた数だけ 選んで その番号に ○をつけてください。
- 質問の 答えが「その他」の ときは「その他」に ○を つけたあと、() の中に その内容を 書いてください。
- 質問は **2025年 8月25日 (月)** までに 答えてください。

※ログインIDと パスワード は あなたを 特定するものではありません。郵送回答と インターネット回答が 二重にならないように 使います。

※インターネットで 回答したときは、調査票は 送らないでください。

※この調査は、富士市役所 市民活躍・男女共同参画課が「株式会社サーベイリサーチ センター静岡事務所」に調査の 集計作業を 委託して行います。

A あなた自身の ことについて

質問1 あなたは 次の どちらですか (1つに○) n=727

1 男性 50.3	2 女性 48.8	3 その他 0.1	4 回答しない 0.3	無回答 0.4
-----------	-----------	-----------	-------------	---------

質問2 あなたの 年齢は 次の どちらですか (1つに○) n=727

1 18～19歳 0.7	2 20～29歳 26.3	3 30～39歳 30.9	4 40～49歳 19.4
5 50～59歳 12.2	6 60～69歳 8.3	7 70歳以上 1.7	無回答 0.6

質問3 あなたの 国籍 (どの国の人か) は 次の どちらですか (1つに○) n=727

1 ベトナム 24.5	2 ブラジル 22.6	3 フィリピン 21.9	4 スリランカ 11.3
5 中国 10.7	6 ネパール 8.5	7 その他 0.0	無回答 0.6

質問4 いま 在留資格 (日本に住む資格) は 次の どちらですか (1つに○) n=727

1 外交 1.0	2 公用 0.7	3 教授 0.0
4 芸術 0.0	5 宗教 0.1	6 報道 0.0
7 高度専門職 0.1	8 経営・管理 0.1	9 法律・会計業務 0.0
10 医療 0.0	11 研究 0.0	12 教育 0.1
13 技術・人文知識・国際業務 18.8	14 企業内転勤 1.0	15 介護 0.1
16 興行 0.0	17 技能 2.1	18 特定技能 4.8
19 技能実習 12.2	20 文化活動 0.0	21 短期滞在 0.6
22 留学 1.1	23 研修 1.4	24 家族滞在 8.9
25 特定活動 0.1	26 永住者 27.6	27 日本人の配偶者など 6.2
28 永住者の配偶者など 2.5	29 定住者 6.2	30 その他 2.9 無回答 1.2

質問5 日本での 生活は すべて合わせて どのくらいですか (1つに○) n=727

1 1年よりみじかい 6.2	2 1～4年 28.3	3 5～9年 22.8
4 10～19年 12.9	5 20年以上 28.7	無回答 1.0

質問6 富士市での 生活は すべて合わせて どのくらいですか (1つに○) n=727

1 1年よりみじかい 13.5	2 1～4年 38.5	3 5～9年 15.8
4 10～19年 13.3	5 20年以上 18.3	無回答 0.6

質問7 富士市に 住むようになった 理由は なんです (1つに○) n=727

1 生まれた時から 生活している 1.8	2 通勤・通学に 便利だから 13.8
3 良い 仕事が見つかったから 30.3	4 結婚したため 17.2
5 買い物など 生活が 便利だから 1.0	6 家賃が 安かったから 0.4
7 家族、知人、友人が いたから 12.1	8 市役所に 通訳が いるから 0.3
9 富士山が よく見えて 綺麗だから 2.3	10 家を 建てたから 4.0
11 富士市が 好きだから 10.3	12 同じ国の 人が 多いから 0.6
13 その他 5.4	無回答 0.7

質問 8 富士市に 住み続けたいと 思いますか (1つに○) n=727

1 住み続けたい 78.7	2 住み続けるつもりはない 2.6	
3 わからない 17.1	4 その他 1.0	無回答 0.7

質問 8-2 (質問 8 で住み続けたいと答えた方) どのくらい 住み続けたいですか (1つに○) n=572

1 ずっと住み続けたい 42.1	2 決めてない、わからない 22.6	
3 仕事があれば住み続けたい 30.1	4 勉強や仕事の区切りがつくまで 3.3	
5 その他 0.9		無回答 1.0

質問 8-3 (質問 8 で住み続けるつもりはないと答えた方) どうしてですか (1つに○) n=19

1 通勤・通学に 不便だから 5.3	2 買い物など 生活が 不便だから 21.1	
3 家賃が 高いから 15.8	4 仕事が見つかからないから 10.5	
5 同じ国の人が いないから 0.0	6 頼れる 知人・友人が いないから 10.5	
7 公共交通が 整備されていないから 5.3	8 その他 26.3	無回答 5.3

B 日本語能力について

質問 9 日常会話ができる言語は 何語ですか (あてはまるものすべてに○) n=727

1 英語 34.0	2 ポルトガル語 19.5	3 中国語 8.1
4 ネパール語 8.0	5 シンハラ語 10.0	6 フィリピン語 16.1
7 ベトナム語 20.9	8 日本語 79.6	9 その他 4.5
		無回答 0.3

質問 10 日本語は どのくらい できますか (それぞれ 1つに○) n=727

①聞く		②話す	
1 十分にできる 26.4		1 十分にできる 23.5	
2 だいたいできる 39.3		2 だいたいできる 35.8	
3 少しできる 29.4		3 少しできる 32.7	
4 ほとんどできない 3.2	無回答 1.7	4 ほとんどできない 3.2	無回答 4.8
③読む			
1 十分にできる 10.7			
2 だいたいできる (漢字があってもだいたいの意味がわかる) 28.6			
3 少しできる (ひらがな、カタカナの簡単な文は読める) 48.4			
4 ほとんどできない 10.0			無回答 2.2
④書く			
1 十分にできる 8.8			
2 だいたいできる (簡単な漢字を使って手紙などを書ける) 24.6			
3 少しできる (ひらがな、カタカナで簡単な文を書ける) 51.4			
4 ほとんどできない 13.3			無回答 1.8

質問11 日本語がわからなくて困ったことがありますか(あてはまるものすべてに○) n=727

1 近所付き合い 12.8	2 電車やバスに 乗るとき 9.2	3 生活や買い物 9.4
4 役所の手続き 35.6	5 郵便局・銀行での 手続き 29.2	6 仕事を探すとき 17.3
7 仕事 19.3	8 病院 37.3	9 学校の先生と話すとき 9.8
10 その他 2.9	11 困ったことはない 28.5	無回答 1.9

質問12 日本語をどのように学習しました(しています)か(あてはまるものすべてに○) n=727

1 自分ひとりで 57.4	2 家族・友人から 21.6
3 母国の学校で 21.6	4 日本の学校で 19.3
5 テレビ・ラジオ講座・通信教育など 12.0	6 役所、ボランティアの日本語講座など 10.3
7 職場 31.1	8 学習していない 5.4
9 その他 3.2	無回答 0.6

質問13 日本語を学ぶ主な目的は何ですか(1つに○) n=727

1 日常生活で 必要なため 52.3	2 仕事で 必要なため 24.3
3 良い仕事に 就くため 9.1	4 進学や 勉強のため 2.6
5 日本人と 付き合いを 広げるため 10.0	6 その他 1.0
	無回答 0.7

質問14 今後日本語を学びたいですか(1つに○) n=727

1 学びたい 62.4
2 学びたいが、学ぶことができない 22.3
3 学びたいと思わない 13.2
無回答 2.1

質問14-2 いま日本語を学んでいないのはなぜですか(あてはまるものすべてに○) n=258

1 日本語が できるから 31.4
2 日本語が できなくても 生活が できるから 5.4
3 仕事や 子育てなどで、時間が ないから 37.6
4 お金が ないから 5.8
5 日本語教室のことを 知らないから 5.8
6 日本語教室の 時間が 合わないから 17.4
7 日本語教室が 遠くて 行くことが できないから 6.6
8 日本語教室の 教え方や、レベルなどが 合わないから 3.1
9 どうやって 勉強したらいいのかわからないから 11.6
10 勉強したくないから 3.5
11 その他 5.0
無回答 2.7

質問14-3 (質問14 で「学びたい」「学びたいが、学ぶことができない」と答えた方) 日本語
教室について それぞれ お答えください (あてはまるものすべてに○)

①どの曜日が参加しやすいですか n=616

1 月曜日 14.0	2 火曜日 12.0	3 水曜日 9.9	4 木曜日 10.2
5 金曜日 10.2	6 土曜日 36.7	7 日曜日 51.1	無回答 16.6

②どの時間が参加しやすいですか n=616

1 9:00～12:00 34.1	2 13:00～17:00 26.9	3 17:00～21:00 33.1	無回答 17.0
-------------------	--------------------	--------------------	----------

③教室がどの地区にあったら行きやすいですか n=616

1 吉原 21.9	2 伝法 7.3	3 今泉 7.8	4 青葉台 2.3	5 岩松 1.8
6 岩松北 1.6	7 富士川 8.6	8 松野 4.1	9 富士北 3.9	10 富士南 8.1
11 富士駅北 11.4	12 富士駅南 11.4	13 田子浦 3.2	14 富士見台 3.1	15 神戸 0.5
16 吉永北 0.3	17 大淵 5.5	18 吉永 0.2	19 原田 1.5	20 浮島 0.0
21 元吉原 0.6	22 須津 1.6	23 鷹岡 3.9	24 天間 4.2	25 広見 3.1
26 丘 1.1				無回答 15.4

④どんなことを学びたいですか n=616

1 文法 37.3	2 日常会話 61.4	3 仕事をするとき使える日本語 43.5
4 発音やアクセント 26.1	5 日本語検定 22.6	6 ひらがなの読み書き 15.4
7 カタカナの読み書き 15.3	8 漢字の読み書き 36.7	9 日本文化 26.8
10 交流や仲間づくり 23.5		無回答 10.4

C 生活全般について

質問15 生活している 中で 悩みは ありますか (あてはまるものすべてに○) n=727

1 生活費が高い 67.4	2 収入が少ない 37.6
3 仕事がない 7.8	4 日本語が不自由 23.4
5 友達が少ない 9.6	6 生活習慣・文化の違い 8.4
7 家庭内暴力 (DV) を受けている 0.4	8 生活情報が少ない 6.6
9 相談窓口がない 2.6	10 災害 (地震や津波など) の心配 22.4
11 医療費が高い 14.2	12 年齢が高くなったときの心配 19.8
13 その他 1.4	14 特にない 10.9
	無回答 0.8

質問16 生活の情報は 何で もらっていますか（あてはまるものすべてに○） n=727

1 日本人の知り合い 31.2	2 日本人以外の知り合い 18.8
3 新聞・雑誌・本（日本語） 8.7	4 新聞・雑誌・本（日本語以外） 9.5
5 テレビ・ラジオ（日本語） 26.1	6 テレビ・ラジオ（日本語以外） 11.6
7 インターネット・SNS（PC） 29.7	8 インターネット・SNS（携帯） 61.1
9 市の窓口・広報誌・ホームページ 6.9	10 ボランティア組織 1.9
11 自分の会社・学校 30.8	12 同じ国の人のグループ 14.7
13 近所や地域の回覧板、掲示板 8.3	14 家族・親族 24.3
15 近所や地域の人々（日本人） 8.9	16 近所や地域の人々（日本人以外） 7.0
17 その他 1.1	無回答 1.1

質問17 よく使う インターネットの サービスは 何ですか（あてはまるものすべてに○） n=727

1 facebook 77.0	2 LINE 53.0	3 WeChat 10.6	4 WhatsApp 28.3	5 Viber 5.0	6 X 4.0
7 KakaoTalk 0.7	8 Instagram 32.3	9 Email 33.7	10 SMS 13.6	11 その他 4.7	無回答 1.5

質問18 富士コミュニティFM放送（Radio-f）が 毎月 第2・4 土曜日に 多言語で 提供して いる 放送番組（Happiness）を 知っていますか（1つに○） n=727

1 いつも聞いている 1.7	2 ときどき聞いている 5.2
3 知っているがあまり聞かない 11.7	4 知らない 80.9
	無回答 0.6

D 住宅について

質問19 いま 住んでいる 家の 状況を 教えてください（1つに○） n=727

1 購入した家（マンション・一戸建て） 20.6	2 市営住宅や県営住宅などの公営住宅 7.8
3 民間の借家（アパート・一戸建て） 51.2	4 社宅・社員寮 17.1
5 学生寮 1.0	6 その他 1.4
	無回答 1.0

質問20 いま 誰と 住んでいますか（あてはまるものすべてに○） n=727

1 あなた一人 18.0	2 夫・妻・パートナー 53.6	3 子ども（人） 33.7
4 兄弟姉妹（人） 3.2	5 親（人） 4.4	
6 その他親族（人） 2.8	7 その他（友人、恋人：人） 18.0	無回答 1.4

質問21 家について 困っていることが ありますか（あてはまるものすべてに○） n=727

1 狭い・汚い・古い 8.9	2 家賃が高い 22.6
3 住宅の探し方や手続きが日本語でよくわからない 5.0	
4 保証人が見つからない 4.0	5 外国人という理由で入居を断られる 5.0
6 敷金・礼金という習慣がある 6.1	7 相談するところがない 3.9
8 隣近所の人々が親切ではない 2.9	9 不便な場所にある 2.6
10 その他 3.2	11 特にない 59.1
	無回答 3.4

E 地域コミュニティとの関わりについて

質問22 あなたのまわりに 住んでいる 日本人について どのように 感じますか（1つに○） n=727

1 親しみやすい 52.1 2 親しみにくい 7.0 3 何も感じない 36.7 4 その他 2.9 無回答 1.2

質問23 日本人に 差別を されていると 感じますか（1つに○） n=727

1 感じる 7.7 2 少し感じる 27.6 3 感じない 51.0 4 わからない 11.3 無回答 2.3

質問23-2 （質問23で「感じる」「少し感じる」と答えた方）どのような ときに 差別を 感じますか（あてはまるものすべてに○） n=257

1 職場で 59.1 2 趣味の活動で 14.8 3 スーパーでの買い物などの途中で 39.3
4 地域の行事で 15.2 5 学校など子どもに関する場で 8.9 6 その他 6.6 無回答 2.3

質問24 あなたのまわりに 住んでいる 日本人と 生活の トラブルがありますか（1つに○） n=727

1 ない 94.8 2 ある 3.0 無回答 2.2

質問24-2 質問24で「ある」と答えた方に 聞きます

まわりの日本人との間 でどのようなトラブルがあったか記入してください。

質問25 自治会や町内会・区が あなたの地域に あることを 知っていますか（1つに○） n=727

1 はい 40.7 2 いいえ 56.4 無回答 2.9

質問26 自治会や町内会・区の 行事（防災訓練や、清掃活動など）に 参加したことが ありますか（1つに○） n=727

1 参加している 18.0 2 たまに参加している 19.3
3 参加したことはない 61.3 無回答 1.4

質問26-2 （質問26で「参加したことはない」と答えた方）参加しない 理由は 何ですか（あてはまるものすべてに○） n=446

1 行事の 情報が なかったため（チラシや回覧板などが日本語のみで読めないため） 53.6
2 地域に とけ込めて いないため 8.3
3 参加する 必要が ないと 思っていたため 7.4
4 行事の 内容に 興味が なかったため 4.5
5 仕事のため 36.8
6 プライベートを 優先したいため 10.8
7 一緒に 参加する 仲間がいない 18.2
8 その他 7.0 無回答 0.9

質問27 あなたの まわりに 住んでいる 日本人との 付き合いを 教えてください（1つに○） n=727

- | | | | | | |
|---|--------------|---|--------------|---|------------------|
| 1 | あいさつをする 64.8 | 2 | 立ち話をする 14.7 | 3 | 親しい付き合いをしている 8.8 |
| 4 | 仲がよくない 0.1 | 5 | 付き合いはない 10.3 | | 無回答 1.2 |

質問28 あなたの まわりに 住んでいる 日本人と 付き合っていく 中で、希望することは 何ですか（あてはまるものすべてに○） n=727

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 日本の習慣などをもっと教えてほしい 44.0 |
| 2 | 母国の文化・習慣を知ってほしい 20.9 |
| 3 | 互いに交流をしたい 32.6 |
| 4 | ボランティア、サークル活動に参加したい 14.4 |
| 5 | 日本語を教えてもらいたい 27.0 |
| 6 | 母国語を教えたい 6.9 |
| 7 | 地域の行事などに参加したい（もっと声を掛けてほしい） 14.0 |
| 8 | その他 4.5 |
| 9 | 交流したくない 12.1 |
| | 無回答 3.9 |

F 医療・保健について

質問29 病院などで 困ることについて 教えてください（あてはまるものすべてに○） n=727

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 症状に合う 病院が どこにあるのか わからない 26.3 |
| 2 | 言葉の問題で 伝えたいことを 伝えることが できない 34.8 |
| 3 | 案内板・書類・薬の表示が 日本語で わからない 18.3 |
| 4 | 病院で 診療を してもらえないことがある 3.0 |
| 5 | 医療費が 高い 15.1 |
| 6 | 待ち時間が 長い 17.2 |
| 7 | その他 1.9 |
| 8 | 特に 困っていない 38.9 |
| | 無回答 1.4 |

質問30 健康保険（病院で使うための医療保険）に入っていますか（1つに○） n=727

- | | | | |
|---|-------------------|---|--------------------------|
| 1 | 国民健康保険に入っている 21.0 | 2 | 職場の健康保険（社会保険）に入っている 73.0 |
| 3 | 入っていない 1.1 | 4 | わからない 1.0 |
| 5 | その他 2.2 | | 無回答 1.7 |

G 子育て・教育について

★同居の子ども（18歳未満）がいる方に聞きます

質問31 日本での子育てで困った（ている）ことを教えてください（あてはまるものすべてに○） n=727

- 1 子育てで心配なことを相談する人や場所がない 5.8
- 2 子育て中の親の交流機会がない 3.3
- 3 仕事中に子どもを預けるところがない 5.2
- 4 保育所・幼稚園・学校の手続きの情報が ない 2.9
- 5 母国語の通じる小児科がない 4.4
- 6 予防接種や健康診断・検診の情報が ない 1.8
- 7 育児ノイローゼになった（なっている） 0.7
- 8 養育費が高い 9.2
- 9 その他 5.2
- 10 特にない 31.5

無回答 44.8

質問32 子どもの教育について困った（ている）ことを教えてください（あてはまるものすべてに○） n=727

- 1 子どもの話す日本語がわからない 3.4
- 2 子どもの成績がわからない 2.3
- 3 子どもに母国語・母国の文化を教えられない 3.3
- 4 子どもが日本語や授業を理解できない 2.5
- 5 子どもに友達ができない・いじめられる 1.9
- 6 学校に規則が多い 1.5
- 7 子どもが学校に通わない（不登校） 0.6
- 8 学費が高くて学校に通わせられない 1.1
- 9 学費が高い（通わせ続けられるか心配） 3.3
- 10 卒業後の進学・就職が心配 7.2
- 11 日本の教育制度がわからない 4.0
- 12 帰国後の母国での教育への適応が心配 2.5
- 13 学校行事に参加しにくい 1.7
- 14 学校からの連絡内容がわからない 2.8
- 15 その他 4.7
- 16 特にない 33.3

無回答 43.3

H 仕事について

質問33 今 どのような 業種の 仕事についていますか(1つに○)

n=727

1 農林漁業 0.8	2 建設業 6.6	3 製造業 (自動車関連) 8.8
4 製造業 (製紙関連) 21.0	5 製造業 (その他) 22.0	6 卸売・小売業 2.6
7 金融・保険業 0.0	8 運輸・通信業 2.5	9 医療 0.4
10 介護・福祉 2.3	11 飲食業 11.3	12 その他 8.9
13 仕事についていない 11.4	無回答 1.2	

質問33-2 (質問33で「仕事についていない」と答えた方) 仕事を していない 理由は 何ですか (1つに○)

n=83

1 学生 6.0	2 専業主婦・子育て 36.1	3 病気または怪我 12.0
4 1年以上仕事を 探しているが 見つからない 7.2	5 最近1年以内に仕事を辞めた 9.6	
6 高齢のため (年金生活など) 14.5	7 その他 14.5	無回答 0.0

質問33-3 仕事についている人に 聞きます。

週 何時間、仕事を していますか。2つ以上の 仕事についている場合は、合計して お答えください (1つに○)

n=635

1 1~15時間 13.2	2 16~30時間 14.6	3 31~45時間 47.6	4 46時間以上 21.9	無回答 2.7
---------------	----------------	----------------	---------------	---------

質問33-4 どのような 雇用形態 (雇用契約) ですか (1つに○)

n=635

1 正社員 32.4	2 派遣社員 16.4	3 契約社員 11.3	4 アルバイト・パートタイム 16.7
5 自営業 2.7	6 技能実習生 15.6	7 その他 2.4	無回答 2.5

質問34 仕事で 満足していないことを 教えてください (あてはまるものすべてに○)

n=727

1 募集や 採用が 少ない 5.9	2 正社員に なれない 9.4
3 賃金が 安い 27.4	4 賃金や 昇進で 日本人と 差がある 11.0
5 雇用契約と 実際が 違う 2.1	6 労働時間が 長い、休みが とれない 3.6
7 人間関係が うまくいかない 4.4	8 解雇されないか 不安 5.0
9 社会保険・労働保険に入れない 0.7	10 職場の トラブルについて 相談できない 3.2
11 日本語が 難しくてわからない 9.2	12 その他 2.8
13 特にない 44.3	無回答 8.0

I 防災について

質問35 災害（地震、台風、強い雨など）が発生したときについて教えてください（あてはまるものすべてに○） n=727

- 1 どうしたらいいか わからない 5.2
- 2 考えたことが ない 4.4
- 3 家族・知人に 相談する 27.2
- 4 地域の 日本人に 相談する 23.4
- 5 テレビや ラジオから 情報を 集める（日本語、母国語のSNSなど） 44.2
- 6 市役所に 相談する 18.4
- 7 大使館・領事館に 相談する 11.1
- 8 教会に 行く 3.0
- 9 避難場所に 行く 61.9
- 10 その他 1.1 無回答 1.4

質問36 災害（地震、台風、強い雨など）の準備でしていることはありますか（あてはまるものすべてに○） n=727

- 1 避難場所を 確認している 58.7
- 2 救急車・消防車の 呼び方を 確認している 27.4
- 3 家具を 固定している 17.1
- 4 AEDの 使い方など、応急手当を 学んでいる 17.7
- 5 家族と 安否確認の 方法を 決めている 23.8
- 6 非常食や 水を 用意している 51.4
- 7 身元確認のための IDを 持ち歩いている 44.3
- 8 富士市の 地域防災訓練に 参加している 13.5
- 9 何も していない 13.1
- 10 その他 0.7 無回答 1.7

J 行政サービスについて

質問37 富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ（FILS）を知っていますか

（1つに○）

n=727

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 よく利用している 5.2 | 2 利用したことがある 14.9 |
| 3 知っているが利用したことはない 16.6 | 4 知らない 61.6 無回答 1.7 |

※富士市国際交流ラウンジ（FILS）（Fuji International Lounge for Sharing）：富士市交流プラザ内にある、富士市の多文化共生推進拠点。

質問38 富士市国際交流ラウンジ（FILS）のFacebookを見たことはありますか

（1つに○）

n=727

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 よく見ている 1.5 | 2 ときどき見る 9.2 |
| 3 知っているがあまり見ない 7.4 | 4 知らない 80.3 無回答 1.5 |

質問39 富士市役所内にある外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）を知っていますか

（1つに○）

n=727

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 よく利用している 7.2 | 2 利用したことがある 12.1 |
| 3 知っているが利用したことはない 13.6 | 4 知らない 64.5 無回答 2.6 |

質問40 富士市ウェブサイトの多言語版を知っていますか（1つに○）

n=727

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 よく利用している 2.2 | 2 利用したことがある 10.0 |
| 3 知っているが利用したことはない 19.1 | 4 知らない 67.1 無回答 1.5 |

質問41 NSF FUJI（外国人市民のための通知支援サイト）を知っていますか（1つに○） n=727

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 よく見ている 0.6 | 2 ときどき見る 5.1 |
| 3 知っているがあまり見ない 7.8 | 4 知らない 85.4 無回答 1.1 |

※NSF（Notification Support for Foreign residents in FUJI）：市が発送する通知文書につけた二次元バーコードを読み取ることで、通知の内容を母語で確認できるサイト。

質問42 富士市のメールサービス「まる・かる・めーる」（外国人市民のためのメールサービス）

を知っていますか（1つに○）

n=727

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 登録してよく見ている 1.0 | 2 登録しているがあまり見ない 1.5 |
| 3 知っているが登録していない 3.0 | 4 知らない 93.0 無回答 1.5 |

質問43 富士市に暮らす外国人に役立つ生活情報を集めた「INFO BOX F」を知っていますか（1つに○）

n=727

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 よく見ている 1.2 | 2 ときどき見る 2.3 |
| 3 知っているがあまり見ない 3.6 | 4 知らない 90.5 無回答 2.3 |

質問44 あなたが知りたい市の情報は何か（あてはまるものすべてに○） n=727

1 ゴミの出し方などの生活ルール 25.7	2 地域公共施設の使い方 26.5
3 税金などの仕組み、支払方法 25.9	4 健康診断などの情報 29.3
5 病院の情報 29.4	6 出産や育児の情報 16.4
7 学校教育の情報 18.7	8 災害時の避難所など緊急時対応 45.8
9 日本語講座の開催情報 31.1	10 富士市の歴史、文化 22.6
11 イベントや観光の情報 25.9	12 その他 1.7
13 特になし 18.2	無回答 1.9

質問45 今後、充実してほしい行政サービスについて教えてください（あてはまるものすべてに○） n=727

1 多言語による生活関連情報提供や生活相談 37.7
2 日本語教室の開催 32.2
3 ルビ（ふりがな）の表記 16.8
4 案内板などの多言語表示 31.8
5 入居がしやすい公営住宅の整備 23.2
6 子どもの教育への配慮 17.7
7 事故や災害などの緊急時の対応 24.2
8 仕事の紹介や相談 25.4
9 外国語で対応できる職員 28.2
10 日本人市民との国際交流事業 13.1
11 図書館の外国語資料の充実 11.6
12 外国人市民からの意見を聞く機会 20.8
13 外国人の境遇や権利についての理解 28.7
14 その他 1.2
15 特になし 18.0
無回答 1.8

質問46 富士市に 住んでいて どんなことに 満足していますか（あてはまるものすべてに○） n=727

- 1 人が あたたかいこと 38.1
 - 2 交通の 便が よいこと 35.6
 - 3 子育てが しやすいこと 14.0
 - 4 働く 場所が あること 44.7
 - 5 商 業 施設が あること 25.0
 - 6 自然が 豊かなこと 49.2
 - 7 病院などの 公共施設が 整っていること 28.3
 - 8 公園や プールなどの 公共施設が あること 27.4
 - 9 知り合いが いること 28.9
 - 10 安全なこと 50.3
 - 11 日本語教室や 相談窓口などの 外国人住民への 支援が あること 20.8
 - 12 同じ国の人 が いること 32.2
 - 13 その他 1.9
 - 14 特 に ない 7.3
- 無回答 1.1

質問47 自由意見

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

Ⅲ 調査結果の概要と課題

Ⅲ 調査結果の概要と課題

<日本人市民意識調査>

1. 自身のことについて

(1) 結果の概要

- ▷ 性別は「男性」が45.6%、「女性」が53.4%。
- ▷ 年齢は「70歳以上」が38.9%、「50歳代」が17.1%、「60歳代」が17.0%など。60歳以上が55.9%を占める。
- ▷ 職業は「会社員等（会社役員・専門職・公務員も含む）」が31.2%、「無職」が26.8%、「家事専業」が15.3%、「アルバイト・パート」が14.9%など。
- ▷ 外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人の有無は「いる」が21.7%、「いない」が77.4%。
- ▷ 外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人と知り合ったきっかけは「仕事上の付き合いから」が55.9%、「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」が16.9%、「近所に住んでいるから」が15.9%など。

2. 多文化共生について

(1) 結果の概要

- ▷ 「多文化共生」という言葉については「言葉の意味も含めて知っている」が34.7%、「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」が32.2%、「知らない」が32.4%。「言葉の意味も含めて知っている」が前回調査から6.4ポイント高くなっている。
- ▷ 「やさしい日本語」という言葉については「知っていて、使っている」が14.0%、「知っている」が36.1%、「知らない」が47.4%。「知っている」が前回調査から6.3ポイント高くなっている。
- ▷ 日本社会で生活する外国人が増えることについては「望ましい」が17.8%、「望ましくない」が23.1%、「わからない」が58.0%。「望ましい」が前回調査から12.0ポイント低くなっている。
- ▷ 外国人に対する印象は、『親しみを感じる』が29.7%、『親しみを感じない』が29.5%、「どちらともいえない」が40.4%。『親しみを感じる』が前回調査から7.1ポイント低くなっている。
- ▷ 富士市は積極的に外国人を受入れるべきだと思うかについては、『思う』が25.3%、『思わない』が30.0%、「どちらともいえない」が44.0%。『思わない』が前回調査から9.4ポイント高くなっている。
- ▷ 地域の外国人とどのような付き合いをしているかについては「挨拶をする」が19.9%、「顔や名前を知っている」が3.0%、「時々話をする」が7.0%などで『付き合いがある』は31.8%。一方、「全く言葉を交わさない」は21.1%、「地域に外国人はいない（知らない）」は46.6%で『付き合いはない』は67.7%。
- ▷ 地域の外国人との今後の付き合いについては「挨拶をしたい」が34.6%、「日常会話をしたい」が21.4%などとなり、何らかの『交流意向がある』割合は53.8%。一方、「あまり付き合いたくない」は17.6%、「わからない」は27.4%。

- ▷ 地域での外国人住民とのトラブルは「ゴミの出し方」が11.9%、「家や部屋からの騒音・物音」が7.9%、「文化や風習に関すること」が6.6%などで、何らかの『トラブルがあった』割合は23.1%。
「ゴミの出し方」が前回調査から5.6ポイント高くなっている。
- ▷ 富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人に必要なことは「日ごろから、挨拶や声かけをする」が53.0%、「差別意識を持たないようにする」が48.9%、「地域のルールなどを外国語により情報提供する」が35.2%、「話しかけるとときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫をする」が34.9%など。「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る」が前回調査から11.8ポイント低くなっている。
- ▷ 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人に希望することは「地域のルールを知り、守ってほしい」が80.6%、「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」が60.3%、「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」が48.3%、「日本語を話せるようになってほしい」が33.1%など。「地域の人と交流したり、行事に参加してほしい」が前回調査から7.7ポイント低く、「地域のルールを知り、守ってほしい」が前回調査から6.7ポイント高くなっている。
- ▷ 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市として必要な取り組みは「外国人に対する、生活ルールなどの周知」が59.1%、「案内板などへの外国語表示の充実」が46.0%、「「やさしい日本語」での情報発信」が35.4%、「外国人相談・支援窓口の充実」が35.0%など。「日本人と外国人との交流機会の充実」が前回調査から11.8ポイント低くなっている。
- ▷ 富士市役所内に外国人相談窓口があることについて「知っている」が22.6%、「知らない」が76.3%。
- ▷ 「富士市国際交流ラウンジ (FILS)」については『知っている』が15.2%、「知らない」が83.8%。
『知っている』は前回調査から5.8ポイント低くなっている。
- ▷ 外国人支援のボランティア活動に対する興味は「興味がある」が7.6%、『興味はない』が66.6%、「わからない」が23.3%。
- ▷ 活動してみたい外国人支援のボランティアは「日本語学習支援ボランティア」が61.8%、「文化交流ボランティア（交流イベント、日本文化講座でのボランティア）」が39.7%、「外国人市民支援ボランティア（外国人児童・生徒支援事業等でのボランティア）」が26.5%など。

（２）課題

- ▶ 外国人が増えることについての市民の理解や、親しみやすさは高まっているとは言えない。
- ▶ 市の必要な取り組みとして、外国人への生活ルールなどの周知をあげる声が多い。
- ▶ 外国人支援のボランティア活動に対する興味は高いとは言えないが、日本語学習支援ボランティアをしてみたいという声もあり、周知とコーディネートが課題としてあげられる。

3. 姉妹友好都市交流について

（１）結果の概要

- ▷ オーシャンサイド市、嘉興市との姉妹友好都市提携は「両方とも知っている」が16.4%、「オーシャンサイド市は知っている」が7.4%、「嘉興市は知っている」が6.3%。一方、「知らない」は68.7%で増加傾向。

- ▷ 姉妹友好都市への訪問意向は「両方の都市に行ってみたい」が7.7%、「オーシャンサイド市に行ってみたい」が10.2%、「嘉興市に行ってみたい」が1.2%。一方、「どちらにも行きたくない」は45.3%、「わからない」は33.8%で、「どちらも行きたくない」は増加傾向。
- ▷ 富士市の姉妹友好都市への市民派遣事業は「知っている」が19.2%、「知らない」が79.2%。
- ▷ 富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に家族を参加させたいかは「両方の都市への派遣事業に参加させたい」が6.4%、「オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい」が5.7%、「嘉興市への派遣事業に参加させたい」が0.2%。一方「参加させたいとは思わない」が37.3%、「わからない」が48.1%と高くなっている。
- ▷ 姉妹友好都市交流を進める形は「行政が中心となって進めるべき」が13.0%、「民間（国際交流団体など）が中心となって進めるべき」が3.1%、「行政と民間が一体となって進めるべき」が44.6%。
- ▷ 姉妹友好都市との交流で重視すべき交流内容は「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が36.3%、「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」が30.2%、「姉妹友好都市との交流イベントの開催」が23.9%、「スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流」が23.7%など。
- ▷ 富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきかについては、『思う』が44.3%、『思わない』が18.9%、「わからない」が35.7%。

（２）課題

- ▶ 姉妹友好都市の認知度や訪問意欲は、低下傾向にある。
- ▶ 富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っている人は約２割。
- ▶ 姉妹友好都市以外の海外の都市との交流は、積極的にすべきが半数弱を占め肯定的である。

４．富士市国際交流協会について

（１）結果の概要

- ▷ 富士市国際交流協会については「知っている」が13.9%、「知らない」が84.7%。
- ▷ 富士市国際交流協会が実施する事業の中で知っているものは「国際交流フェア」が17.0%、「外国語講座」が8.2%、「日本語スピーチコンテスト」が7.9%。

（２）課題

- ▶ 富士市国際交流協会を知っている人は１割強で、協会と事業の周知が課題。

５．多文化共生・国際化について

（１）結果の概要

- ▷ 富士市の多文化共生・国際交流事業についての情報入手方法は「広報ふじ」が49.8%、「市ウェブサイト（市SNS含む）」が7.2%、「チラシ・ポスター」が6.6%など。「市ウェブサイト（市SNS含む）」が前回調査から5.3ポイント高くなっている。
- ▷ 今後の多文化共生・国際化の進展に対する対応は「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」が24.7%、「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」が18.8%、「外国語を話せるようにしたい」が16.7%など。「特になし」は４割以上で、前回調査から12.5ポイント高くなっている。

- ▷ 富士市を訪れる外国人観光客が増加することについては、『良いと思う』が55.3%、『良いと思わない』が16.3%。『良いと思う』は前回調査から17.3ポイント低くなっている。
- ▷ 富士市を訪れる外国人観光客を増やすための工夫は「外国語を使える観光ガイドの育成」が46.9%、「やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布」が43.4%、「ピクトグラム（絵文字・絵表示）等を利用した案内表示の作成」が33.2%、「富士市ウェブサイト等における、富士市観光情報を外国語表示にする」が30.2%など。
- ▷ 重要と考える多文化共生や国際化の進展に伴う富士市の施策は「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」が55.4%、「異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり」と「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」が31.3%など。

（２）課題

- ▶ 情報の入手方法は依然として「広報ふじ」が多いが、今後ウェブサイトやSNSが増えてくると想定される。
- ▶ 外国人観光客の増加については肯定的な意見が半数以上を占めるが、経年では増加傾向でない。
- ▶ 市民が富士市の施策として重要だと考えることは相互理解と安心。

<外国人市民意識調査>

1. 自身のことについて

（１）結果の概要

- ▷ 性別は「男性」が50.3%、「女性」が48.8%。
- ▷ 年齢は「30～39歳」が30.9%、「20～29歳」が26.3%、「40～49歳」が19.4%、「50～59歳」が12.2%など。30歳代以下が5割強を占める。
- ▷ 国籍は「ベトナム」が24.5%、「ブラジル」が22.6%、「フィリピン」が21.9%、「スリランカ」が11.3%、「中国」が10.7%、「ネパール」が8.5%。
- ▷ 在留資格は「永住者」が27.6%、「技術・人文知識・国際業務」が18.8%、「技能実習」が12.2%など。
- ▷ 日本での滞在年数は「1年よりみじかい」が6.2%、「1～4年」が28.3%、「5～9年」が22.8%、「10～19年」が12.9%、「20年以上」が28.7%。
- ▷ 富士市での滞在年数は「1年よりみじかい」が13.5%、「1～4年」が38.5%、「5～9年」が15.8%、「10～19年」が13.3%、「20年以上」が18.3%。
- ▷ 富士市に住むようになった理由は「良い仕事が見つかったから」が30.3%、「結婚したため」が17.2%、「通勤・通学に便利だから」が13.8%、「家族、知人、友人がいたから」が12.1%など。
- ▷ 富士市に住み続けたいと思うかについては「住み続けたい」が78.7%、「住み続けるつもりはない」が2.6%、「わからない」が17.1%。
- ▷ 富士市にどのくらい住み続けたいかについては「ずっと住み続けたい」が42.1%、「決めてない、わからない」が22.6%、「仕事があれば住み続けたい」が30.1%、「勉強や仕事の区切りがつくまで」が3.3%。

- ▷ 富士市に住み続けるつもりはない理由は「買い物など生活が不便だから」が21.1%、「家賃が高いから」が15.8%など。

(2) 課題

- ▶ 富士市での今後の居留意向、居住予定を鑑み、外国人市民の安住、定住施策が課題。

2. 日本語能力について

(1) 結果の概要

- ▷ 日常会話ができる言語は「日本語」が79.6%、「英語」が34.0%、「ベトナム語」が20.9%、「ポルトガル語」が19.5%など。
- ▷ 日本語の能力で「充分にできる」割合は、【聞く】が26.4%、【話す】が23.5%、【読む】が10.7%、【書く】が8.8%。一方、【読む】・【書く】で「ほとんどできない」は1割程度。
- ▷ 日本語がわからなくて困ったことは「病院」が37.3%、「役所の手続き」が35.6%、「郵便局・銀行での手続き」が29.2%、「仕事」が19.3%など。何らかの『困りごとがある』割合は69.6%で、「困ったことはない」は28.5%。
- ▷ 日本語の学習方法は「自分ひとりで」が57.4%、「職場」が31.1%、「家族・友人から」と「母国の学校で」が21.6%など。日本語を『学習した（している）』割合は94.1%。
- ▷ 日本語を学ぶ主な目的は「日常生活で必要なため」が52.3%、「仕事で必要なため」が24.3%、「日本人と付き合いを広げるため」が10.0%、「良い仕事に就くため」が9.1%など。
- ▷ 今後の日本語の学習については「学びたい」が62.4%、「学びたいが、学ぶことができない」が22.3%、「学びたいと思わない」が13.2%。
- ▷ 日本語を学んでいない理由は「仕事や子育てなどで、時間がないから」が37.6%、「日本語ができるから」が31.4%、「日本語教室の時間が合わないから」が17.4%、「どうやって勉強したらいいのか分からないから」が11.6%など。
- ▷ 日本語教室についての希望は、参加しやすい曜日が「日曜日」51.1%、「土曜日」36.7%など。参加しやすい時間は「9:00~12:00」34.1%、「17:00~21:00」33.1%、「13:00~17:00」が26.9%。行きやすい教室の地区は「吉原」21.9%、「富士駅北」と「富士駅南」11.4%、「富士川」8.6%など。学びたいことは「日常会話」61.4%、「仕事をするとき使える日本語」43.5%、「文法」37.3%、「漢字の読み書き」36.7%など。

(2) 課題

- ▶ 日本語を学びたい外国人は前回調査よりも多くなっており、そのニーズは高い。
- ▶ 国籍がベトナムの方は8割以上が日本語を学びたいと回答しているが、学んでいない人は日本語教室の時間が合わないという理由が多い。
- ▶ 国籍（言語）別に日本語の習熟度、学ぶ意向、学ぶ（学ばない）理由が異なるため、細やかな対応が必要。

3. 生活全般について

(1) 結果の概要

- ▷ 生活している中で悩みは「生活費が高い」が67.4%、「収入が少ない」が37.6%、「日本語が不自由」が23.4%、「災害（地震や津波など）の心配」が22.4%など。『悩みごとあり』の割合は88.3%。
- ▷ 生活の情報源は「インターネット・SNS（携帯）」が61.1%、「日本人の知り合い」が31.2%、「自分の会社・学校」が30.8%、「インターネット・SNS（PC）」が29.7%など。
- ▷ よく使うインターネットのサービスは「facebook」が77.0%、「LINE」が53.0%、「Email」が33.7%、「Instagram」が32.3%など。
- ▷ 富士コミュニティFM放送が多言語で提供している放送番組は、『知っている』が18.6%、『聞いている』が6.9%。一方「知らない」は80.9%。

(2) 課題

- ▶ インターネットやSNSなどの生活情報提供ツールや方法、内容の検討。富士コミュニティFM放送のPR。

4. 住宅について

(1) 結果の概要

- ▷ 住んでいる家は「民間の借家（アパート・一戸建て）」が51.2%、「購入した家（マンション・一戸建て）」が20.6%、「社宅・社員寮」が17.1%、「市営住宅や県営住宅などの公営住宅」が7.8%など。
- ▷ 同居している人は「夫・妻・パートナー」が53.6%、「子ども」が33.7%、「あなた一人」と「その他（友人、恋人）」が18.0%など。
- ▷ 家について困っていることは「家賃が高い」が22.6%、「狭い・汚い・古い」が8.9%、「敷金・礼金という習慣がある」が6.1%、「住宅の探し方や手続きが日本語でよくわからない」が5.0%など。一方、「特にない」は59.1%。

(2) 課題

- ▶ 外国人の住宅需要に対する多言語対応、より安心、安全、快適な住宅施策。

5. 地域コミュニティとの関わりについて

(1) 結果の概要

- ▷ まわりに住んでいる日本人については「親しみやすい」が52.1%、「親しみにくい」が7.0%、「何も感じない」が36.7%。「何も感じない」が前回調査から10.3ポイント高くなっている。
- ▷ 日本人に差別をされていると感じるかについては、『差別を感じる』が35.3%、「感じない」が51.0%、「わからない」が11.3%。「感じない」が前回調査から8.2ポイント高くなっている。
- ▷ 差別を感じるときは「職場で」が59.1%、「スーパーでの買い物などの途中で」が39.3%、「地域の行事で」が15.2%、「趣味の活動で」が14.8%など。
- ▷ まわりに住んでいる日本人との生活のトラブルは「ない」が94.8%、「ある」が3.0%。

- ▷ 自治会や町内会・区が地域にあることを知っているかについては「はい」が40.7%、「いいえ」が56.4%。
- ▷ 自治会や町内会・区の行事への参加については、『参加している』が37.3%、「参加したことはない」が61.3%。「参加したことはない」が前回調査から14.7ポイント高くなっている。
- ▷ 自治会や町内会・区の行事に参加しない理由は「行事の情報がなかったため（チラシや回覧板などが日本語のみで読めないため）」が53.6%、「仕事のため」が36.8%、「一緒に参加する仲間がいない」が18.2%、「プライベートを優先したいため」が10.8%など。
- ▷ まわりに住んでいる日本人との付き合いは「あいさつをする」が64.8%、「立ち話する」が14.7%、「親しい付き合いをしている」が8.8%で、何らかの『付き合いがある』割合は88.3%。一方「付き合いはない」は10.3%。
- ▷ まわりに住んでいる日本人と付き合っていく中で希望することは「日本の習慣などをもっと教えてほしい」が44.0%、「互いに交流をしたい」が32.6%、「日本語を教えてもらいたい」が27.0%、「母国の文化・習慣を知ってほしい」が20.9%など。何らかの『交流希望がある』割合は84.0%。

（２）課題

- ▶ まわりに住んでいる日本人は親しみやすいと約半数の人が感じているが、一方、何も感じない人も４割弱で前回調査から多くなっている。
- ▶ 自治会や町内会・区の行事に参加したことがない人が約６割を占め、日本人と交流が少ない外国人だけのコミュニティ化が進んでいることも考えられる。
- ▶ 日本の習慣をおしえてほしい、交流したい人と希望する人も多く、情報提供や交流機会の充実が課題。

6. 医療・保険について

（１）結果の概要

- ▷ 病院などで困ることは「言葉の問題で伝えたいことを伝えることができない」が34.8%、「症状に合う病院がどこにあるのかわからない」が26.3%、「案内板・書類・薬の表示が日本語でわからない」が18.3%、「待ち時間が長い」が17.2%など。病院などで何らかの『困りごとがある』割合は59.7%。一方、「特に困っていない」は38.9%。
- ▷ 健康保険の加入については「国民健康保険に入っている」が21.0%、「職場の健康保険（社会保険）に入っている」が73.0%、「入っていない」が1.1%、「わからない」が1.0%。健康保険に『加入している』割合は94.0%で、「職場の健康保険（社会保険）に入っている」が前回調査から15.6ポイント高くなっている。

（２）課題

- ▶ 医療機関での多言語対応、医療情報の提供方法と多言語化、健康保険未加入者への対応。

7. 子育て・教育について

(1) 結果の概要

- ▷ 日本での子育てで困ったことは「養育費が高い」が9.2%、「子育てで心配なことを相談する人や場所がない」が5.8%、「仕事に子どもを預けるところがない」が5.2%、「母国語の通じる小児科がない」が4.4%など。子育てで何らかの『困りごとがある』割合は23.7%、「特にない」は31.5%。
- ▷ 子どもの教育について困ったことは「卒業後の進学・就職が心配」が7.2%、「日本の教育制度がわからない」が4.0%、「子どもの話す日本語がわからない」が3.4%など。子どもの教育について何らかの『困りごとがある』割合は23.4%、「特にない」は33.3%。

(2) 課題

- ▶ 子育て・教育に関する情報提供、相談体制の整備などが課題。

8. 仕事について

(1) 結果の概要

- ▷ 今の仕事の業種は「製造業（その他）」が22.0%、「製造業（製紙関連）」が21.0%、「飲食業」が11.3%、「製造業（自動車関連）」が8.8%。『就業している』割合は87.2%、「仕事についていない」は11.4%。
- ▷ 仕事をしていない理由は「専業主婦・子育て」が36.1%、「高齢のため（年金生活など）」が14.5%、「病気または怪我」が12.0%、「最近1年以内に仕事を辞めた」が9.6%など。
- ▷ 週の就労時間は「31～45時間」が47.6%と最も高く、「46時間以上」が21.9%、「16～30時間」が14.6%、「1～15時間」が13.2%など。
- ▷ 雇用形態（雇用契約）は「正社員」が32.4%、「アルバイト・パートタイム」が16.7%、「派遣社員」が16.4%、「技能実習生」が15.6%、「契約社員」が11.3%など。『非正規雇用』の割合は44.4%。
- ▷ 仕事で満足していないことは「賃金が安い」が27.4%、「賃金や昇進で日本人と差がある」が11.0%、「正社員になれない」が9.4%、「日本語が難しくてわからない」が9.2%など。仕事で何らかの『不満がある』割合は47.7%、「特にない」は44.3%。「特にない」が前回調査から13.2ポイント高くなっている。

(2) 課題

- ▶ 企業等と協力・連携して、意思疎通の円滑化、労働環境の向上を図ることが必要。

9. 防災について

(1) 結果の概要

- ▷ 災害（地震、台風、強い雨など）が発生したときは「避難場所に行く」が61.9%、「テレビやラジオから情報を集める（日本語、母国語のSNSなど）」が44.2%、「家族・知人に相談する」が27.2%、「地域の日本人に相談する」が23.4%など。災害発生時の『対応策を考えている』割合は89.8%。
- ▷ 災害の準備でしていることは「避難場所を確認している」が58.7%、「非常食や水を用意している」が51.4%、「身元確認のためのIDを持ち歩いている」が44.3%、「救急車・消防車の呼び方を確認

している」が27.4%など。災害への備えとして何らかの『準備をしている』割合は85.3%。「富士市の地域防災訓練に参加している」が前回調査から5.9ポイント低くなっている。

（２）課題

- ▶ 避難場所を含めた防災全般の情報提供、地域防災訓練への参加促進。

10. 行政サービスについて

（１）結果の概要

- ▷ 富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ（FILS）については、『利用した・知っている』が36.7%、『利用した』が20.1%。「知らない」が61.6%。
- ▷ 富士市国際交流ラウンジ（FILS）のFacebookについては、『見る・知っている』が18.1%、『見る』が10.7%。「知らない」が80.3%。
- ▷ 富士市役所内にある外国人相談窓口については、『利用した・知っている』が32.9%、『利用した』が19.3%。「知らない」が64.5%。
- ▷ 富士市ウェブサイトの多言語版については、『利用した・知っている』が31.3%、『利用した』が12.2%。「知らない」が67.1%。
- ▷ NSF FUJI（外国人市民のための通知支援サイト）については、『見る・知っている』が13.5%、『見る』が5.7%。「知らない」が85.4%。
- ▷ 富士市のメールサービス「まる・かる・めーる」については、『登録している・知っている』が5.5%、『登録している』が2.5%。「知らない」が93.0%。
- ▷ 富士市に暮らす外国人に役立つ生活情報を集めた「INFO BOX F」については、『見る・知っている』が7.1%、『見る』が3.5%。「知らない」が90.5%。
- ▷ 知りたい市の情報は「災害時の避難所など緊急時対応」が45.8%、「日本語講座の開催情報」が31.1%、「病院の情報」が29.4%、「健康診断などの情報」が29.3%など。『知りたい情報がある』割合は79.9%。
- ▷ 充実してほしい行政サービスは「多言語による生活関連情報提供や生活相談」が37.7%、「日本語教室の開催」が32.2%、「案内板などの多言語表示」が31.8%など。『充実してほしい行政サービスがある』割合は80.2%。「ルビ（ふりがな）の表記」が前回調査から13.6ポイント低くなっている。
- ▷ 富士市に住んでいて満足していることは「安全なこと」が50.3%、「自然が豊かなこと」が49.2%、「働く場所があること」が44.7%、「人があたたかいこと」が38.1%など。『満足していることがある』割合は91.6%。「人があたたかいこと」が前回調査から8.3ポイント低くなっている。

（２）課題

- ▶ 「まる・かる・めーる」と「INFO BOX F」は知らない人が約9割で、行政サービスの周知と活用促進が課題。
- ▶ 約4割の人が「多言語による生活関連情報提供や生活相談」を望んでおり、周知や提供体制の充実が課題。

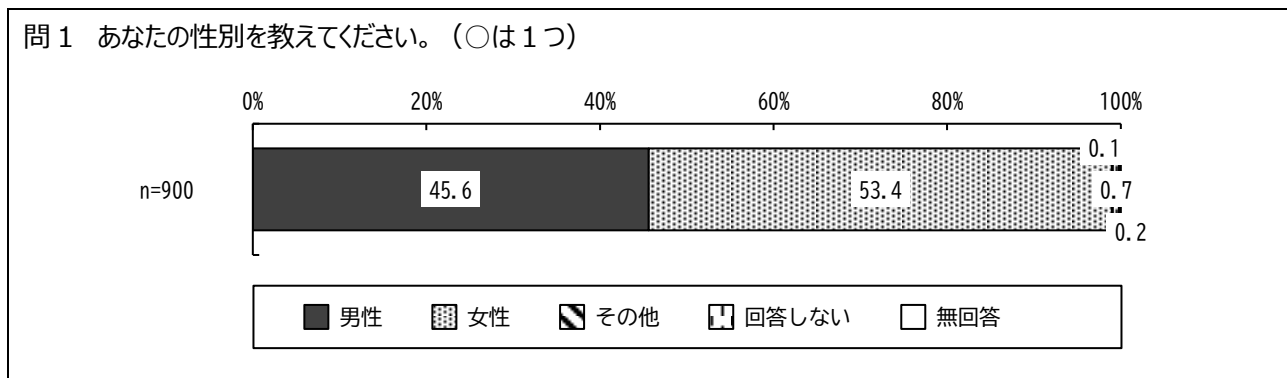
IV 調査結果

IV 調査結果

＜日本人市民意識調査＞

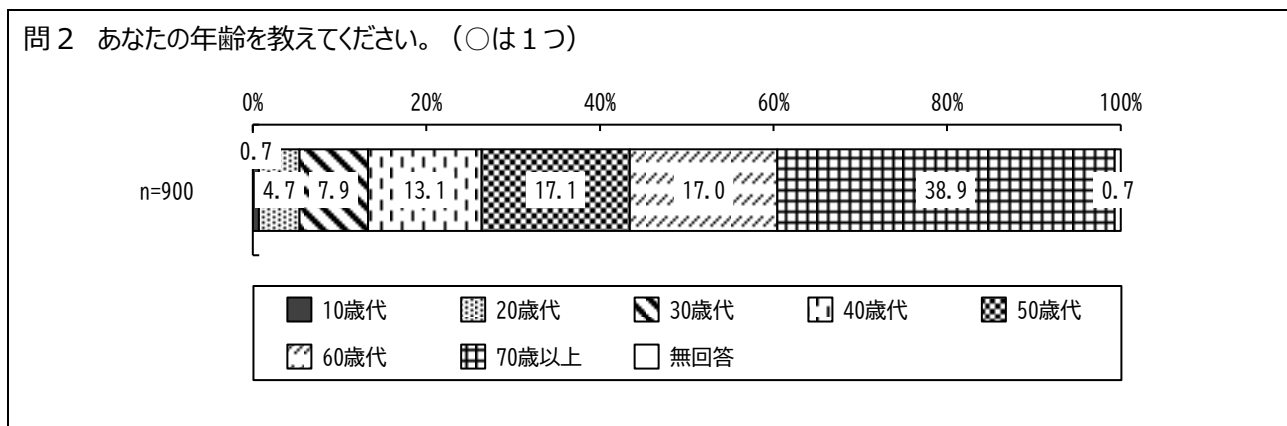
1. 自身のことについて

（１）性別



性別は「男性」が45.6%、「女性」が53.4%、「その他」が0.1%、「回答しない」が0.7%となっている。

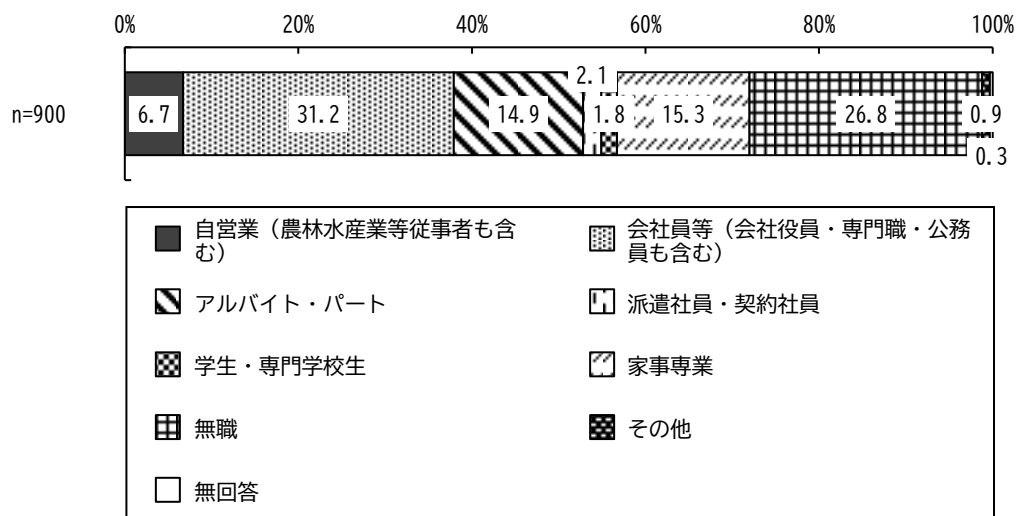
（２）年齢



年齢は「70歳以上」が38.9%と最も高く、次いで「50歳代」が17.1%、「60歳代」が17.0%などとなっている。

(3) 職業

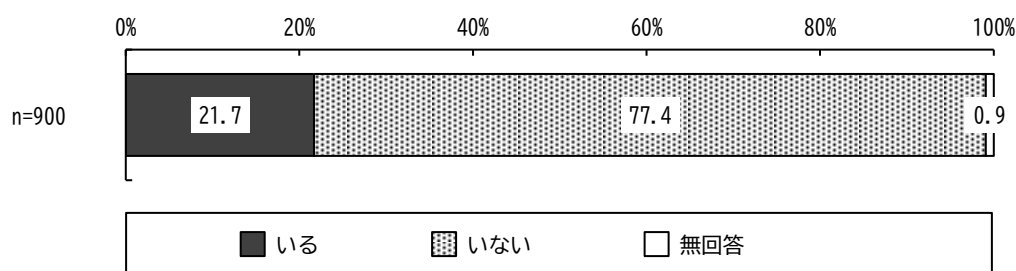
問3 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)



職業は「会社員等（会社役員・専門職・公務員も含む）」が31.2%と最も高く、次いで「無職」が26.8%、「家事専業」が15.3%、「アルバイト・パート」が14.9%などとなっている。

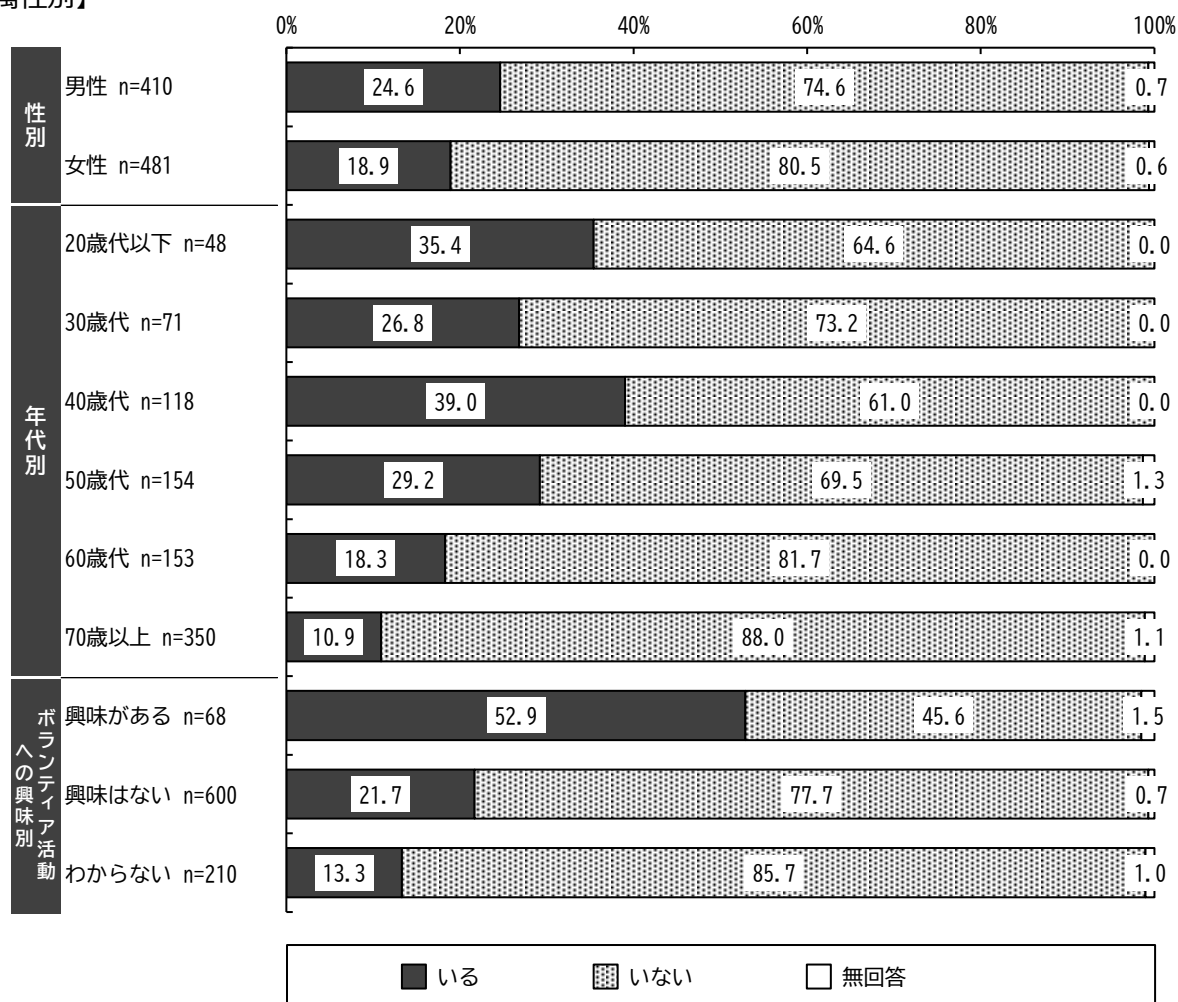
(4) 外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいるか

問4 あなたには、外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいますか。(○は1つ)



外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人の有無は「いる」が21.7%、「いない」が77.4%となっている。

【属性別】

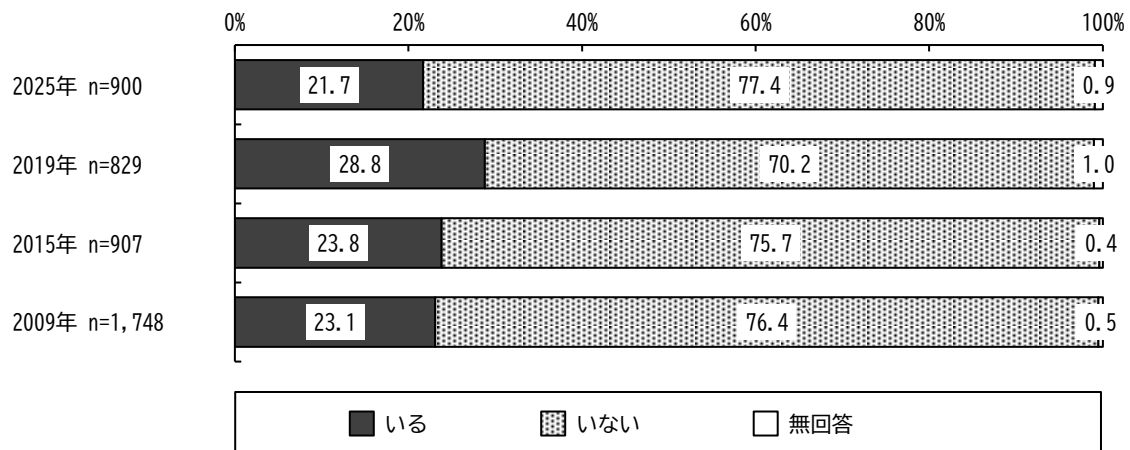


性別にみると、「いる」は男性で24.6%とやや高くなっている。

年代別にみると、20歳代以下と40歳代で「いる」が3割以上、60歳代、70歳以上で「いない」が8割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人は「いる」が5割以上となっている。一方、興味はない人は「いない」が7割以上、興味があるかわからない人は「いない」が8割以上となっている。

【経年比較】

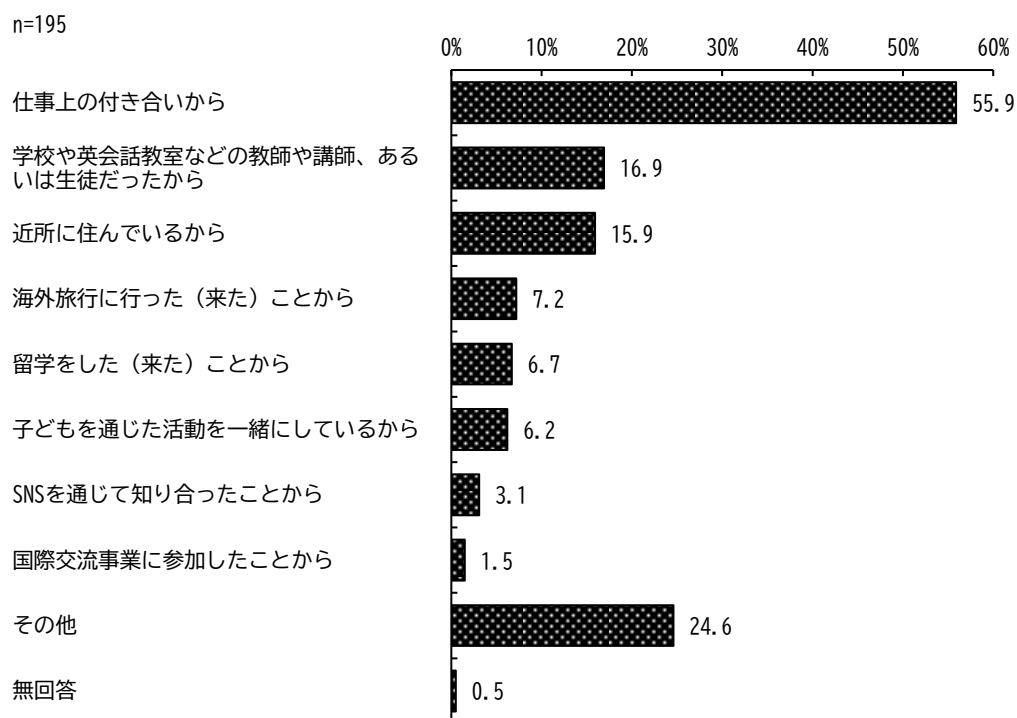


経年比較では、「いる」が前回調査から7.1ポイント低くなっている。

(5) 外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人と知り合ったきっかけ

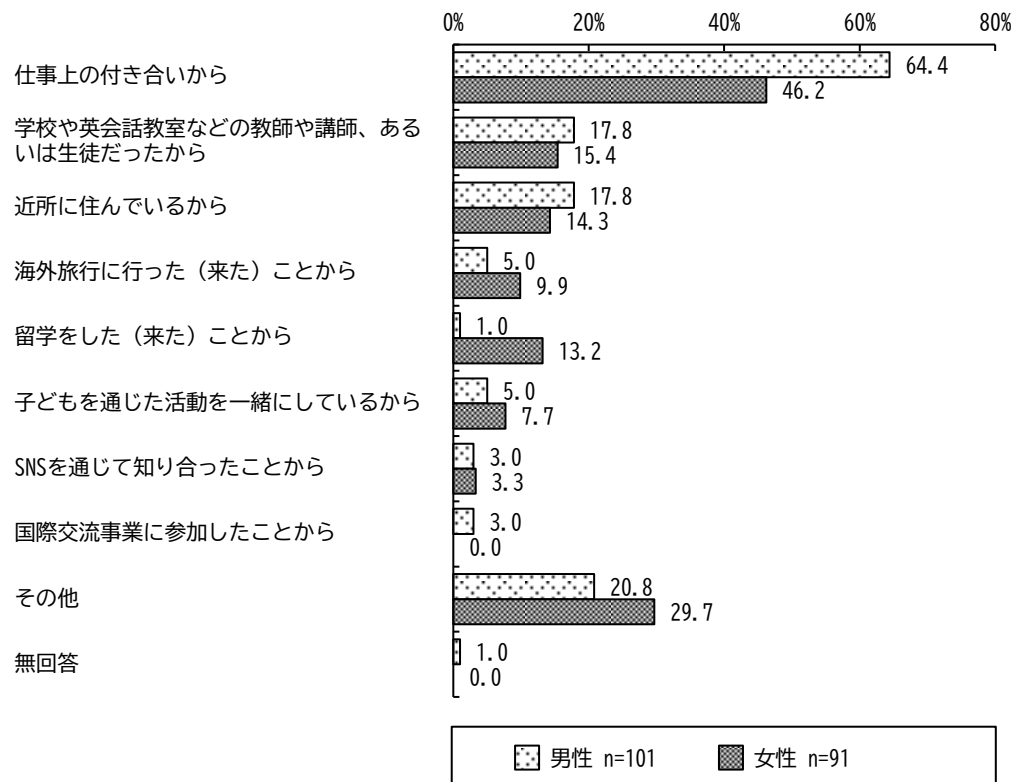
【問4で「1 いる」を選んだ方に伺います。】

問5 知り合ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)



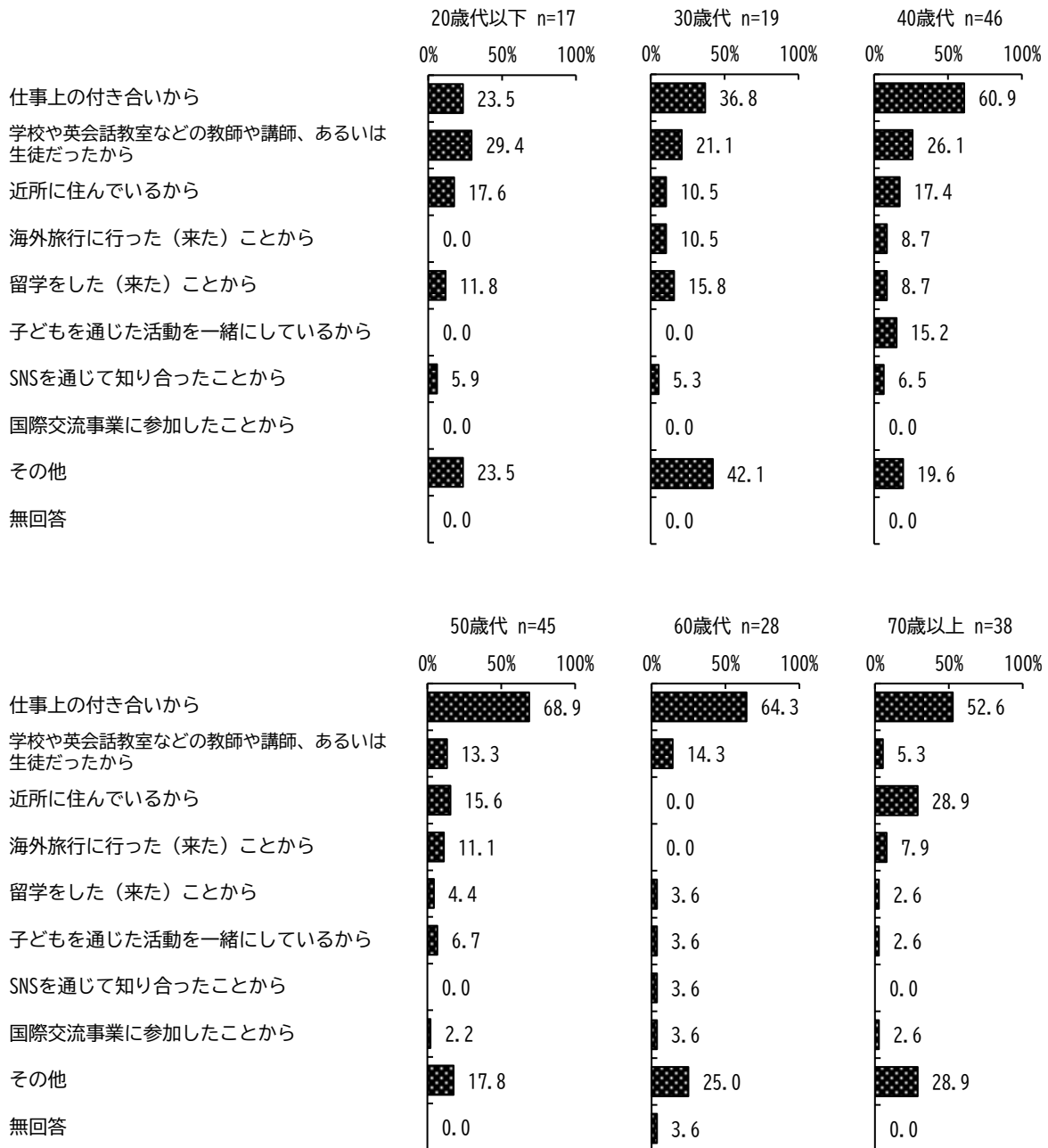
外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人と知り合ったきっかけは「仕事上の付き合いから」が55.9%と最も高く、次いで「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」が16.9%、「近所に住んでいるから」が15.9%などとなっている。

【性別】



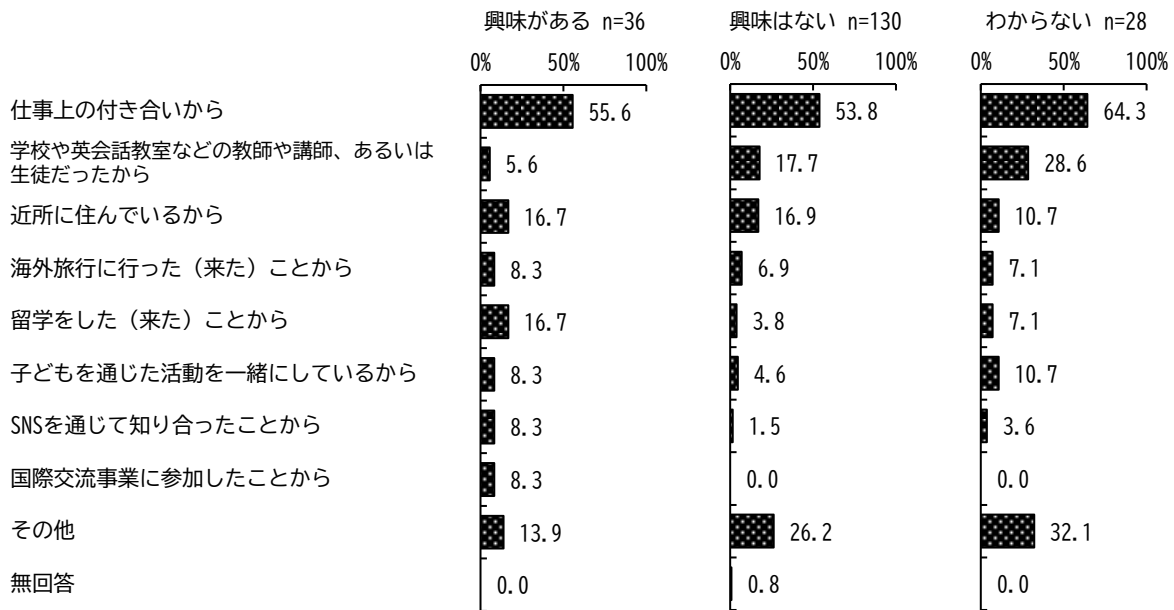
性別にみると、「仕事上の付き合いから」は男性が64.4%、女性が46.2%となり、男性が女性を18.2ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、40歳代・50歳代・60歳代・70歳以上は「仕事上の付き合いから」が6割以上となっている。また、20歳代以下では「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」が29.4%となっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「留学をした（来た）ことから」は興味がある人が16.7%、興味はない人が3.8%となり、12.9ポイントの差となっている。

【経年比較】

	仕事上の付き合いから	学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから	近所に住んでいるから	海外旅行に行った（来た）ことから	留学をした（来た）ことから	子どもを通じた活動と一緒にしているから	SNSを通じて知り合ったことから	国際交流事業に参加したことから	その他	無回答
2025年 n=195	55.9	16.9	15.9	7.2	6.7	6.2	3.1	1.5	24.6	0.5
2019年 n=239	45.2	12.1	11.7	10.0	6.3	6.7	3.3	4.6	31.4	1.7
2015年 n=246	44.0	14.8	11.6	10.2	9.3	8.3	4.6	3.2	22.2	1.9
2009年 n=404	43.6	8.2	10.6	7.4	8.4		0.5	4.2	38.4	0.0

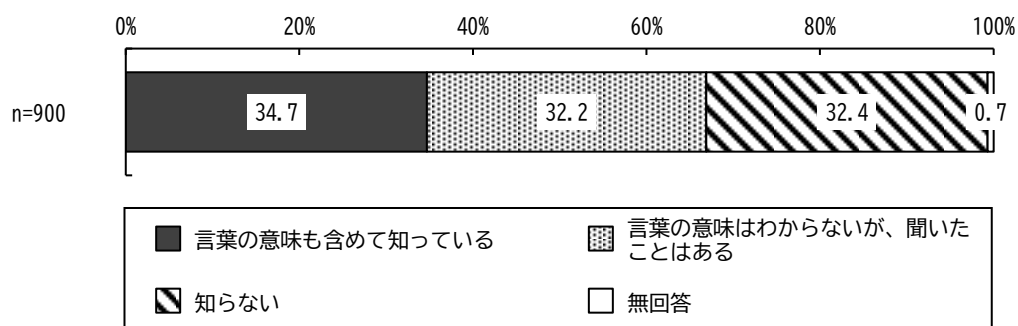
※「子どもを通じた活動と一緒にしているから」は2015年から。

経年比較では、「仕事上の付き合いから」が前回調査から10.7ポイント高くなっている。

2. 多文化共生について

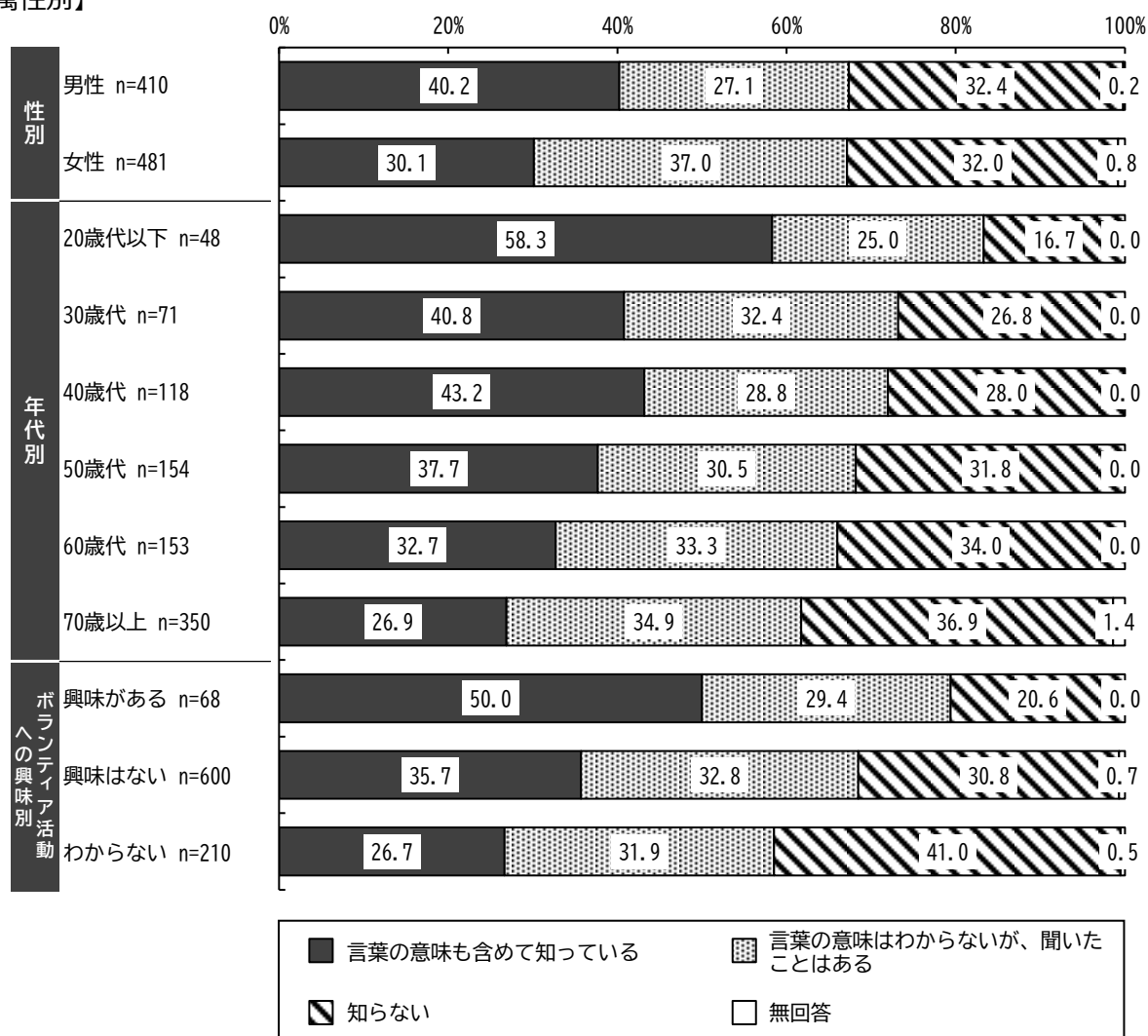
(1) 「多文化共生」という言葉を知っているか

問6 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。(○は1つ)



「多文化共生」という言葉については「言葉の意味も含めて知っている」が34.7%、「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」が32.2%、「知らない」が32.4%となっている。

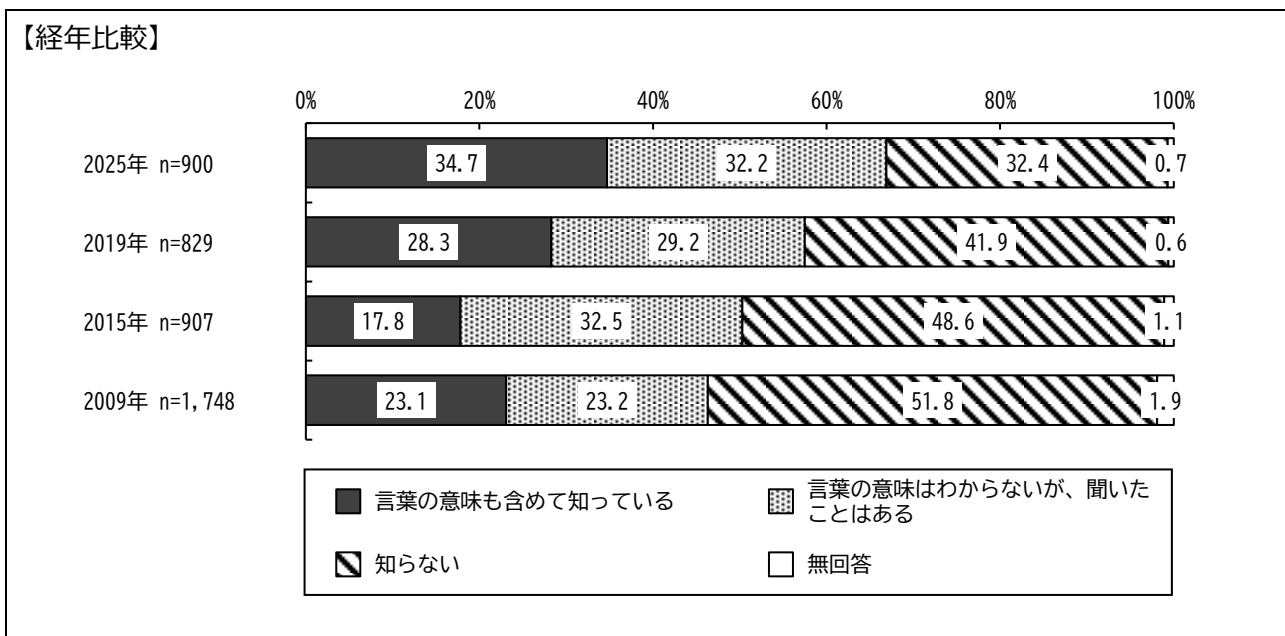
【属性別】



性別にみると、「言葉の意味も含めて知っている」は男性が40.2%、女性が30.1%となり、男性が女性を10.1ポイント上回っている。

年代別にみると、20歳代以下は「言葉の意味も含めて知っている」が58.3%となっている。

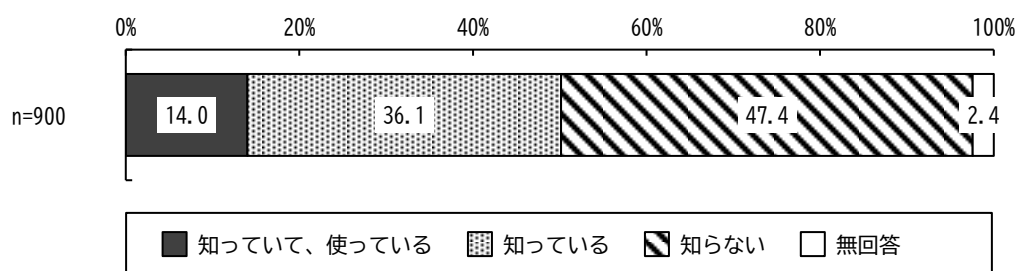
ボランティア活動への興味別にみると、「言葉の意味も含めて知っている」は興味がある人が50.0%、興味はない人が35.7%となり、興味がある人が14.3ポイント上回っている。



経年比較では、「言葉の意味も含めて知っている」が前回調査から6.4ポイント高くなっている。また、「知らない」は前回調査から9.5ポイント低くなっている。

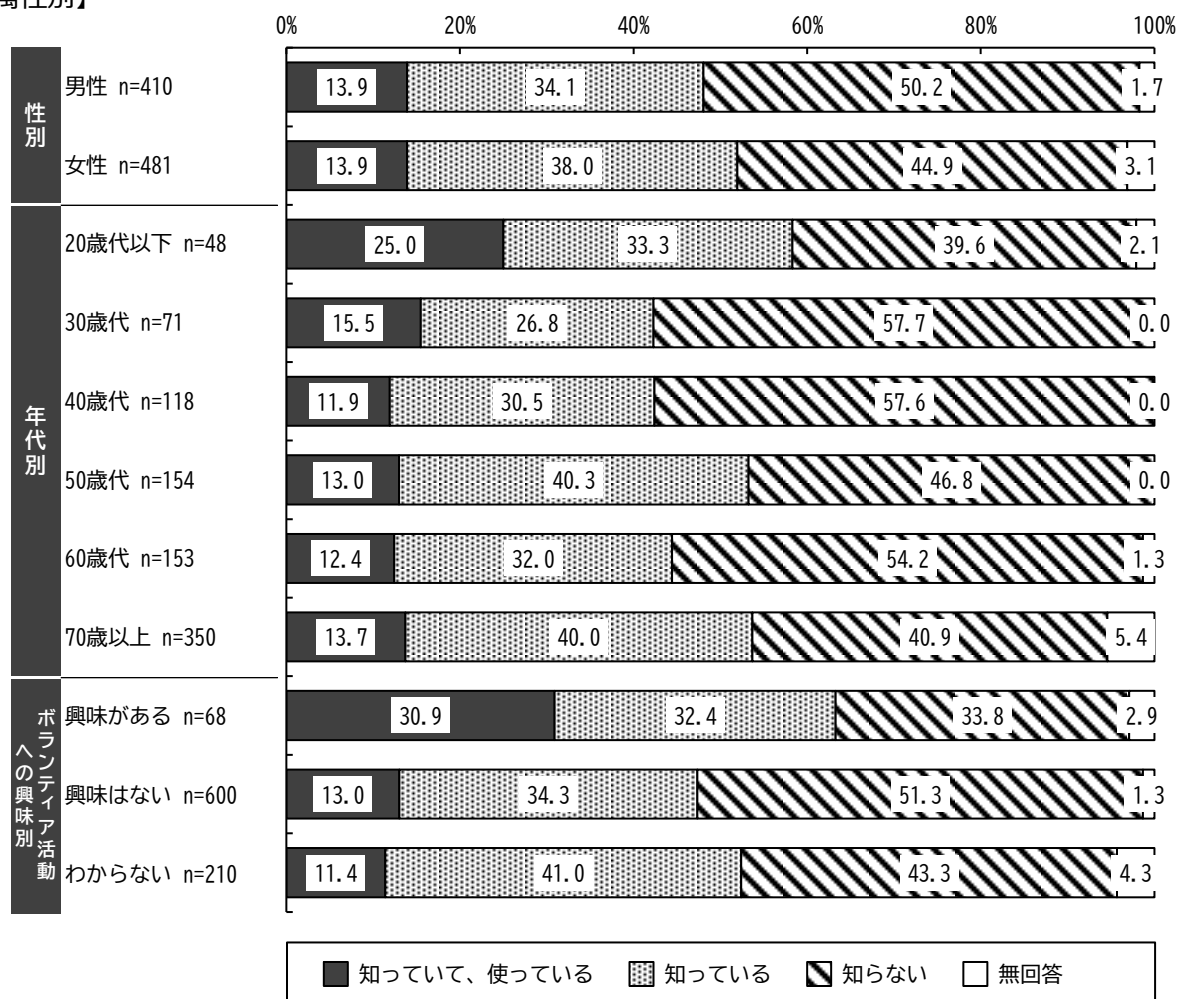
(2)「やさしい日本語」を知っているか

問7 あなたは、「やさしい日本語」を知っていますか。(○は1つ)



「やさしい日本語」という言葉については「知っている、使っている」が14.0%、「知っている」が36.1%、「知らない」が47.4%となっている。

【属性別】

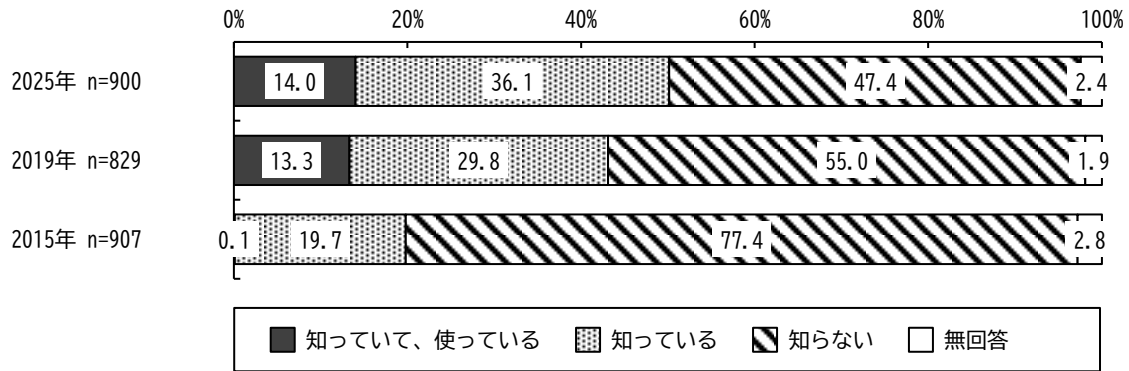


性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、30歳代・40歳代・60歳代は「知らない」が5割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、「知っている、使っている」は興味がある人が30.9%、興味はない人が13.0%となり、興味がある人が17.9ポイント上回っている。

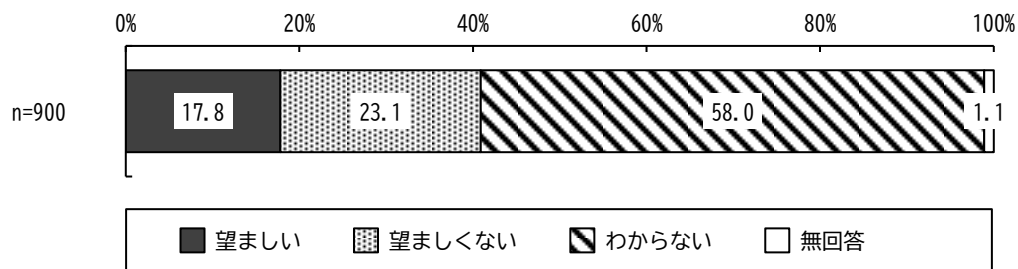
【経年比較】



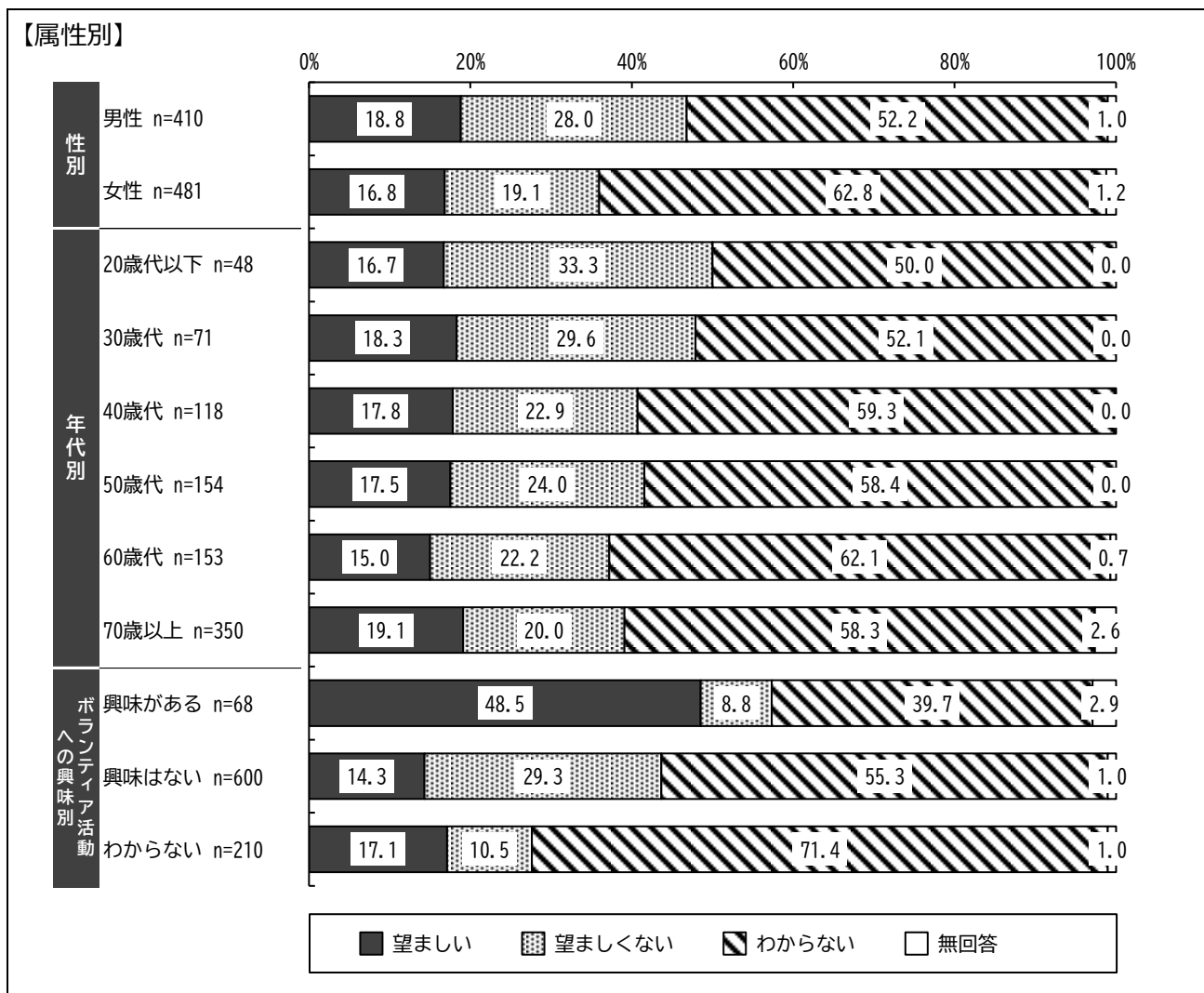
経年比較では、「知っている」が前回調査から6.3ポイント高くなっている。また、「知らない」は前回調査から7.6ポイント低くなっている。

（３）日本社会で生活する外国人が増えることについてどう思うか

問 8 あなたは、日本社会で生活する外国人が増えることについてどう思いますか。（○は1つ）



日本社会で生活する外国人が増えることについてどう思うかは「望ましい」が17.8%、「望ましくない」が23.1%、「わからない」が58.0%となっている。

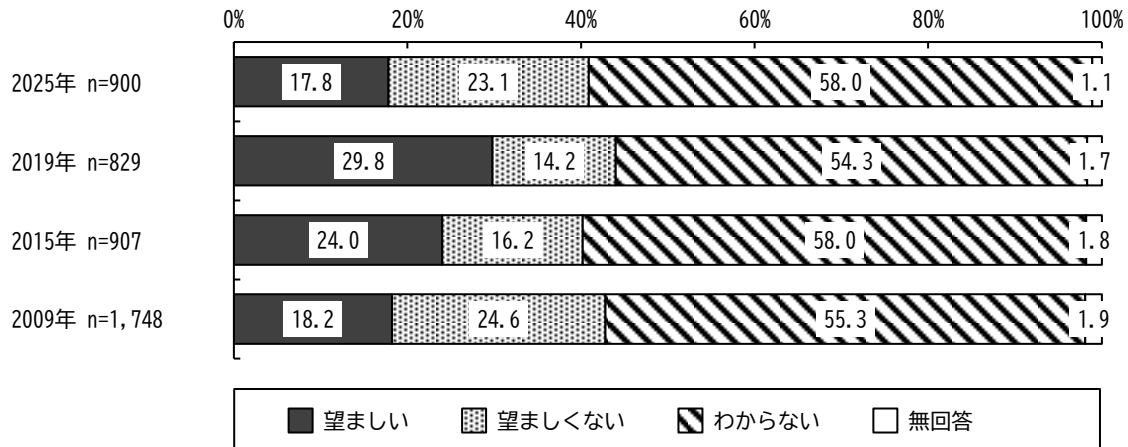


性別にみると、「わからない」は男性が52.2%、女性が62.8%となり、女性が男性を10.6ポイント上回っている。

年代別にみると、全ての年代で「わからない」が5割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、「望ましい」は興味がある人が48.5%、興味はない人が14.3%となり、興味がある人が34.2ポイント上回っている。

【経年比較】



経年比較では、「望ましい」が前回調査から12.0ポイント低くなっている。

【望ましいと思う理由】

- 発展していく。
- 日本は人口が減少しているから。
- 共に仲良くしていったほうがよいと思う。
- 人口減少により、ある程度増加するのは仕方ない。
- 不法滞在でなければ。
- 日本が好きで生活することは日本の未来にもつながると思う。
- お互いの文化や生き方の共有する。
- 文化の発展や交流が増える。
- 就労人口の減少、日本経済の未来のため。
- 多様性が味わえる。
- 多様性を感じる。
- 職場にもいますし、介護の仕事には必要です。
- 望ましいけど、あまり増えても困る。
- 人口減少の中で必要。ただし、共生の教育をしっかりとっていくこと。
- 人口減少なので。
- 私の勤めている会社でも人が不足困っているから。
- グローバルの社会で必然。
- いろいろな文化を知ることができる。
- 文化の違いを認め合ったり、郷に入れる部分があればよい。
- 人口減少していること（日本人の）。
- 少子化している現在、人口減少を止めるため。
- 国際化という時代に突入しているから。
- いろいろな考え方や、文化が混雑することはよいことだと思う。
- 日本の人口が減っていくので。
- 異文化を知ること、価値観が広がる。
- いろいろな社会がわかる。
- いろいろな国の人が共存して助け合って暮らしていくこと。
- 日本の文化を壊さなければ。
- 少子高齢だから。
- 日本人がやらない仕事などもやっている。
- 人口減少で、社会が成り立っていかなくなる可能性あり。
- 考え方や人間性が学べること。
- 外国人労働者がいないと人手不足になる。
- 互いに理解を深め合って共生していく。
- いろんな考え方を共有できるから。食文化も。
- 違う国の文化や生活がわかる。
- 自由だから。
- 日本人も外国で生活している人もいるから。
- 日本人だけがこの地球上で生きているわけではないので。
- 労働人口減少への対応。
- 考え方の多様化。
- 時代の変化で、やむを得ない。
- 労働力不足。
- 外国人を特別だとは思わないので。
- 人口減少にある今増えることに賛成する。

- 海外に移住する日本人もいるから。
- 相手の国の人々をお互いに理解することは望ましい。
- 人員不足の所に外国の方が入ってくれたら、解消されると思うから。
- 雇用の機会が増加するから。
- 活気が生まれる。
- 日本を知ってもらう。また他文化への窓口となってくれる。
- 人間を含め生物にとって多様な状況は良好な環境だと思うため。
- 差別意識を持たないように子どもたちにも伝えているから。
- 人材不足。
- 人が少なくなっていく。
- 共存共生で、地域の活性化、但し、治安面で不安もあるが。
- 日本のルール、マナーを守って生活する。
- 日本人も海外で生活する方が多いしよいと思う。
- もっと日本人に英語を話せるようになってほしい。
- 日本の文化を知ってほしいから。
- 労働人口が足りないから。
- 働き手が少ない今、補ってくれる部分があるかと思う。
- 日本人だけでは人手不足だから。
- 人手が足りない。
- 時代の流れでしかたがない。
- 建設業のため、外国人に頼るしかないです（日本人の応募がないです）。
- 人材
- 日本人の減り方がすごいので、外国人が増えなければ、社会が成り立たない。
- 人口が減っているから。
- 日本人が海外で活躍するので、外国の方も日本で活躍してほしいです。
- 労働力不足解消、多文化。
- 日本のいろいろな文化が外国人に知ってもらうことによいことだと思います。
- 人口減、人手不足。
- 島国の日本が多様な人たちと交流ができ、新しい考え方を学べる。
- 国の発展ため。
- 日本人の見方が広がる。
- 日本を応援してくれる貴重な労働力になるし、共生は益々大切。
- 人口減少少子化を、補ってもらえる。国際交流の機会が、必然と増すから、内向き志向の日本では、世界に視野が広がりやすい。
- 閉鎖的な社会に限界を感じている。
- 色々な国の方の考えを聞いたり見たりすることが必要だと思います。
- 人口が減り、労働者の数が減ってしまう。外国人が来て、労働することで労働人口の減少を防げる。
- 人手不足が進む中、国籍に関係なく協力できると考えます。
- 多様性の観点から望ましい。
- 日本人の出生率が下がっているため、外国籍の労働者は貴重だと思う。
- 人口減少が加速する現代において、外国人が増えることで、労働力不足が多少なりとも解決する。また、これまで島国日本という閉ざされた価値観の社会の中で生きてきた年代が減っていき、その弊害が少なくなるこれからの時代には、多種多様な人がそれぞれに安心して暮らせる国になるためにも、互いに理解し合える社会になっていくことが必要だと思うので。
- 多様性の時代だから。
- 仕事の人材確保。
- 日本人は異文化に対して寛容さがたりないと感じているため、より身近に外国人がいて交流できる環境があつていいと思ったから。
- 少子高齢化が進行している以上、外国人労働者の労働力は決して無視できるものではないため。
- ルーツがどこにあるかと関係ない。他市他県出身者が増えるのと同じ感覚。
- 今の時代何処の国とも共生していくのが、戦争を回避するのにも繋がると思っています。
- 人口減少が進み労働力不足を補うため。
- 多様性は問題解決能力が高くなるし、今後も人手不足が深刻になるのでありがたい。
- 人口減少に伴い、日本人のみでは社会の維持が厳しそうのため。
- 少子高齢化、比較的安全な国、日本に、外国人が増えることは、必然の流れである。
- グローバル化に繋がるから。
- 人口減少。他にその国の料理。
- 日本は人口が減少するため、労働力として外国人は必要と思う。
- 島国の日本には多様性が不可欠。多様性がないと日本が沈んでしまう。
- 今の介護等の職場で人手不足も判りますし、今後他国籍やロボットを導入しなければ社会が回っていかなくなることに危機感を感じています。
- 人口減少が進む中で労働人口の確保は必要。人手不足で会社はどんどん潰れてしまう。
- 多様性は技術や文化の進化を促進すると考えるから（例えば、江戸時代と現代では日本人の移動も比較的增加、出身県を超えた多様な生活圏がある）。
- 労働力人口が維持でき国力を維持できるから。
- 人口が増えることは市にとってよいことだとは思いますが、それに伴う諸々の弊害もあることも事実としてある。望ましい・望ましくないの二択は、アンケートとして相応しくないのではないかと。
- 人口が増えるのは良いことだと思います。
- 人手不足の解消。
- 価値観の違いがあり良い刺激になるがルールを教える必要がある。
- 異なる文化に触れる可能性を拡大してくれるから。
- グローバルに人が移動する時代で当たり前だから。
- 今後日本国として単一国籍での社会継続が困難な状態なので望ましい。
- 日本の人口も減っていく中、一緒に協力していかなければいけないと思う。
- 人手不足
- 物事の考え方が広がる。他国の人との交流でいろいろなことを知ることができる。
- 日本の方だけでなく外国の方のさまざまな、価値観や考え方を持った方々との関わりはいいコトだと思う。

- 外国人もないし、共存できたらいいと思う。
- 外国人に日本文化を知ってほしいからです。
- 外国にも日本人は大勢いるし、同じように日本にも外国人が増えることは良いと思います。日本のことをよりよく知ることに繋がるのでは。
- 生活文化の発展に寄与させると考えるから。
- 多文化に触れることで、価値や視野が広がりより社会を築くことができると思うから。
- 人口減少による働き手・購買層の減少に歯止めをかける可能性があるから。
- 様々な文化が日本社会に入ってくる事でより日本の文化に対しての誇りを日本国民が持てるようになり自信を持てる人が増えると思う。
- 子どもにとっても多文化交流は必要なことだと思うから。
- 多種多様な考え方を取り入れることにつながるため。

【望ましくないと思う理由】

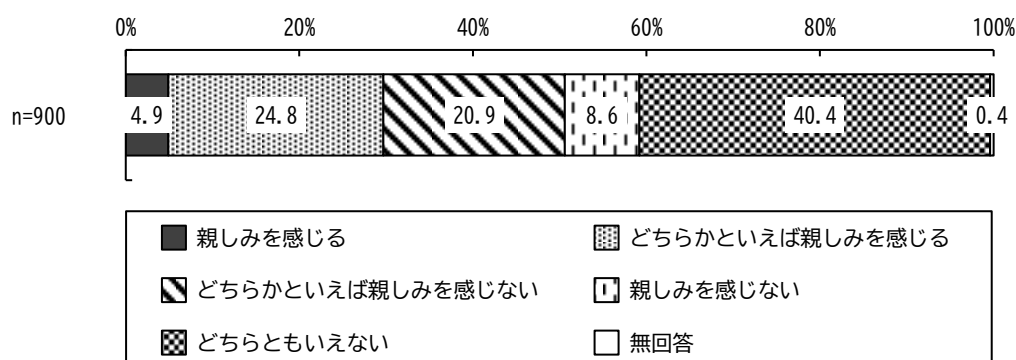
- ルールやマナーを伝えても、なかなか理解してもらえない。
- 日本単一民族を考えると、増え過ぎることはどうかと思う。
- マナーが守れない人が多いため。
- 日本の伝統文化が歴史を歪めて失われる（将来的に）。
- 文化の違い。
- 日本の文化になじもうとしない。
- 犯罪、事件、事故が増える。
- 今のペースで増えることには反対（よい人も悪い人もいるから）。
- 外国人の犯罪が増えているから。
- 犯罪が増えているように感じるから。
- 治安の悪化。
- 文化や考え方の違い、マナーやモラルの問題。
- 治安、マナー等の維持。
- 日本人をもっと大切にしてほしい。
- マナーが悪い。
- 国土が狭い上に、日本独特の国民性があり（外国人は理解しづらい）、それで日本が社会的に成立している。
- 治安の悪化を心配。
- 外国資本による国土の買収など。
- 地域の伝統や文化が壊されていくような気がする。
- 風習や価値観が違うから。こわい。
- 文化の違いは、争いの原因となりうる。
- 安全な社会の崩壊、秩序の喪失の不安。
- 日本の文化がなくなりつつある。交通の不便になる。
- 日本人の持つ、奥ゆかしさ、自然なやさしさが損なわれそうな気がする。
- 治安が悪くなる不安があるから。
- 川口のクルド人のような方たちが増えるのは望みません。
- 素性がわからない。
- 規律が乱れる。
- 増えることは反対ではないが、いろいろなマナーの件で違いがある。
- マナーを知らないため、観光だけならよいと思う。
- きまりを守ってくれる方ならよいと思います。例：ごみ出し、他人の庭を通る。
- 治安が悪くなる。自治会の仕事が増える。社会保障の費用が増える。
- 自分本位に感じる。
- 必ずしも、日本文化にリスペクトをもった人ではないから。
- マナーの悪さ、労働者でない考え方。
- 秩序のなさ、犯罪者の多さ。
- 日本の治安、秩序が乱れる。
- 外国人が多すぎる。
- 日本人らしいがなくなるのが淋しいと思う。
- 増え過ぎることも問題になることも増える（尊重できればよいと思う）。
- 文化の違い。
- 観光客はよい。生活者は長い目で見て不安なし。
- 言葉の問題、生活習慣の違いなど。
- マナーが悪い人が多い、治安の悪化。
- マナーや文化の違いがあるので、増え過ぎることによく思えない。
- 治安の悪化。
- 外国人はもう充分いる。
- 文化の違いがあるため、理解してもらえないことが多い。
- 犯罪が増加しそうだから。
- ルールを守らないから。
- 日本社会が乱れる。
- 治安が心配。
- 何かトラブルがあったら不安。
- 治安が悪化しているから。
- 色々とトラブルが多くなり日本社会が日本らしさがうすらいでいくようで心配ですし怖い気がします。
- 習慣や価値観が違うのでこちらが気をを使うから。
- メリットよりも、デメリットのほうが多いと感じるから。
- 犯罪が増えると困る。
- 親日感情を持っている人ならよいが…。

- 日本（地域）のルールを守らない人が多いから。
- ルールが守られない。
- 日本の常識的なことがわからない。
- 労働者としてはよいが、日常生活がなっていない。
- 日本本来の治安が乱れないか心配。
- こちらのルールにそって生活してくれない人がいる。
- 犯罪が多くなったと思う。
- 日本という国がなくなりそうだから。
- 日本の文化やマナーを尊重しないから。
- 日本の文化を尊重せず地域を乱す人がいるから。
- 多すぎるとよくない。
- 日本のルールを守ってほしい。
- 治安悪化のリスクが上がるため。
- 大切な日本文化が傷つけられてしまう。
- 日本の文化について知らない・ルールを守らない…ことが不安。
- 日本文化を理解できない外国人が結果的に多くなるため（制限を設定すべき）。
- 全般的にみて、日本の風習などを理解せず、ただ収入を得るために、日本にきたように感じる。もちろん、そうでない、立派な人もいます。
- 文化が異なるから、日本の社会常識に馴染まないと思うから。
- 郷に入っては郷に従える人は歓迎するがそうではない者は、望ましくない。
- 何年後日本でなくなるのでは。
- 外国人のルール違反、犯罪が多く発生しているから。
- 日本のルールやマナーを守らない人が多いから。
- 治安が悪くなる。
- 習慣や文化を理解しないまま国内に移住し、周りに関わりを持とうとしない。
- 治安が悪くなる。
- 増え過ぎて、特定の国の人々だけの自治区のような物ができ上がってしまわないか心配だから。
- 日本人による犯罪もあるけど、外国人が犯す犯罪が悪質、治安が悪くなる。
- 治安の悪化
- 環境が悪くなる。
- 治安が悪くなる。
- 環境や文化、常識などの違いから最近ではトラブルにつながる人が多いと感じている。
- 多文化共生はできません。それは各国の移民政策失敗がもたらしています。
- 犯罪増加
- 言葉の壁があり、コミュニケーションを取ることが難しく、意思疎通を図るのが困難に感じるため。
- 日本の文化や生活をむやみに荒らされるのが不満、観光客価格と地元民価格を作って日本の文化を安売りしないでほしい。日本の土地を取得できる権利などの条件を高くするなどして好き勝手にさせないでほしい。
- ルールを守らない。地域住民と協力する文化がない。
- 治安の悪化を招く。
- バランスが崩れる。
- 日本を深く理解し日本を心から敬愛する外国人なら歓迎ですが、ただ闇雲に受け入れるのは望ましくない。
- 自国の文化をそのまま持ち込もうとする輩が多いと思うから。
- 性善説の価値観が浸透していると思われる社会へ、それと異なる考え思想を持つ人が自然に交わるためには、まだまだ長い時間がかかる。
- 治安が悪くなる。
- マナーのなっていない外国人が多い。
- 治安が悪化する心配がある。
- 富士市内ではまだそんなに多くはないかもしれませんが、大都市に集まっている外国人の方々にそこに住んでいる日本人の方々が生活に困っている状態もあるから。
- マナーや常識を理解しない外国人が一部いて規制できなくなる恐れがある。
- ある程度はいいと思うがあまりにも増えすぎると本来の日本人に対しての対応が悪くなりそうだから。
- 同じ班にベトナム人が住んでいるが、ゴミ出しなど迷惑かける。
- 過剰に増えるには望ましくない。
- まずは日本人を増やすことを考えてほしいから。
- 日本が好きで、日本の文化を尊重して共生しようとするような外国人なら望ましいが、マナーやルールを守らない外国人の問題が今非常に多く、犯罪が増え、治安が悪くなる地域もあるという情報を聞いたことがあるから。
- 文化の違いによる治安等の悪化。
- 日本を好きで日本の文化を尊重してくれる外国人は歓迎しますが、文化を尊重できない、日本のことをよく知ろうとしない外国人が増えるのは反対です。行政で外国人の選別とルールを確定して外国人の日本への受け入れを行うべきです。
- 言葉の壁やマナーの問題が目立つ。
- 治安が悪くなることが心配。
- 私の地元では、外国人による犯罪が多発しているため。
- 外国人労働者を増やすより、日本の少子化に対してのより現実的なアプローチをするべきだと思うため。
- 日本の文化、習慣に馴染めない人を見かけることが多い。
- 外国人は日本のマナーを知らない人が多く、日本国内で日本人と共生すると、日本人が快適に生活することができなくなるから。
- 外国人によるマナー違反、事件、事故などが目立つため。
- 日本のルールがどんどん崩れていく、犯罪も怖い。
- 日本のルールを守らない。
- 日本人に対する割合が増えるから。
- マナーの悪い外国人が多い。外国人犯罪の増加、中国人の日本の土地買い占め、生活保護、運転免許証（住所がホテルでも取得できる）、マナー違反と問題が多すぎる。日本中国化計画進行中。
- 外国人が多過ぎて日本ではないみたいだから。
- 犯罪が増えるから。
- 外国の方のせいばかりではないですが、浜松など外国人が多い街はやはり事件が多いので。
- 言葉が通じないから。

- 犯罪の増加、外国人同士または外国人と日本人とのトラブルが増加している。
- 文化の違いからなのか、マナーの悪い人が多いから。
- 日本が島国であるが故に海外との文化的違いが多く揉めごとが起こりやすいから。
- マナー違反が目立つ。また昔から外国人の多い地域では治安について危惧されていたから。
- 日本の風習、習慣になじもうとしない者が目立つように思うから。
- 異なる文化を持った外国人が増えることで、窃盗や性的犯罪が起きてしまうと思うからです。実際にニュースや記事でも取り上げられていて、外国人の犯罪は年々増えていると感じます。これ以上外国籍の方が増えてもそういった事案が増えてしまうと考えます。
- 日本社会の質が低下し迷惑を被る場合がある。また都合が悪くなると、日本語わかりませんでごまかすことが多い。
- 外国人の中には親切で礼儀正しい方もたくさんいるが、その一方で昨今治安の悪化が多く見受けられ、日本の文化の崩壊や生活への影響が無視できないと思うから。
- 騒音問題やゴミの処分等、日本国内のルールを周知させる基盤が整っていないと感じるから。
- 治安の悪化などが考えられるから。
- 外国人に対して使われるお金が増え、日本人に対して使われるお金が減っているように感じるため。
- お互い文化が違う同士で共生して生きて行くのは難しいと思う。
- 全く望ましくないとは思わないけれど、日本でのルールなどが守れないことや日本の良さが失われてしまう懸念があるので不安な部分が大きい。
- 治安悪化の懸念。
- 文化の違いかも知れないが日本のルールを守れないから。
- 日本の文化やルールを重視せず、出身国のものを優先する方が見受けられるため。
- 犯罪が増えるリスクが高い。
- 差別感情ではないが、島国の日本に文化や考え方の違う外国人がこれ以上増えることはデメリットのほうが多そう。
- 全部だめではなく制限を、設けて増やしてほしいです。
- 日本人の生活や権利などが脅かされるのではないかと心配している。
- 日本人の仕事が減って収入が減り、日本全体が貧しくなるから。
- ①雇用機会の減少・賃金の停滞：安価な労働力として外国人労働者が雇用されることで、日本人労働者の仕事が奪われたり、賃金が上がりにくくなったりするのではないかと懸念があります。②治安の悪化：一部の犯罪が外国人によって引き起こされると感じます。外国人増加が治安の悪化につながるのではないかと考えます。生活習慣や文化の違いによる摩擦：文化的背景や生活習慣の違いから、ごみの分別、騒音、宗教上の慣習など、地域社会でのトラブルが発生するのではないかと不安があります。以上の理由で外国人が増えることは望ましくないと考えます。
- 治安が乱れる気がするから。
- 治安が悪化する。
- その外国人に対し税金で補填する部分があるならば、自分の国の国民の生活を守ってからにしてほしい。マナーが悪い外国人が多い。
- 接し方に不安がある。日本の文化を理解できてない方がいる。
- 文化やモラルの違いを理解して日本に馴染もうとする人は歓迎しますが、それ以外の人が増えることは望まない。
- 治安が悪くなる気がする。
- 定住する外国人が多いとルールや日本の風習などを理解できていない人も増えて治安が悪化しそうだから。しっかりルールや風習などを尊重して守るならばまだ良いが増えすぎるのは反対。

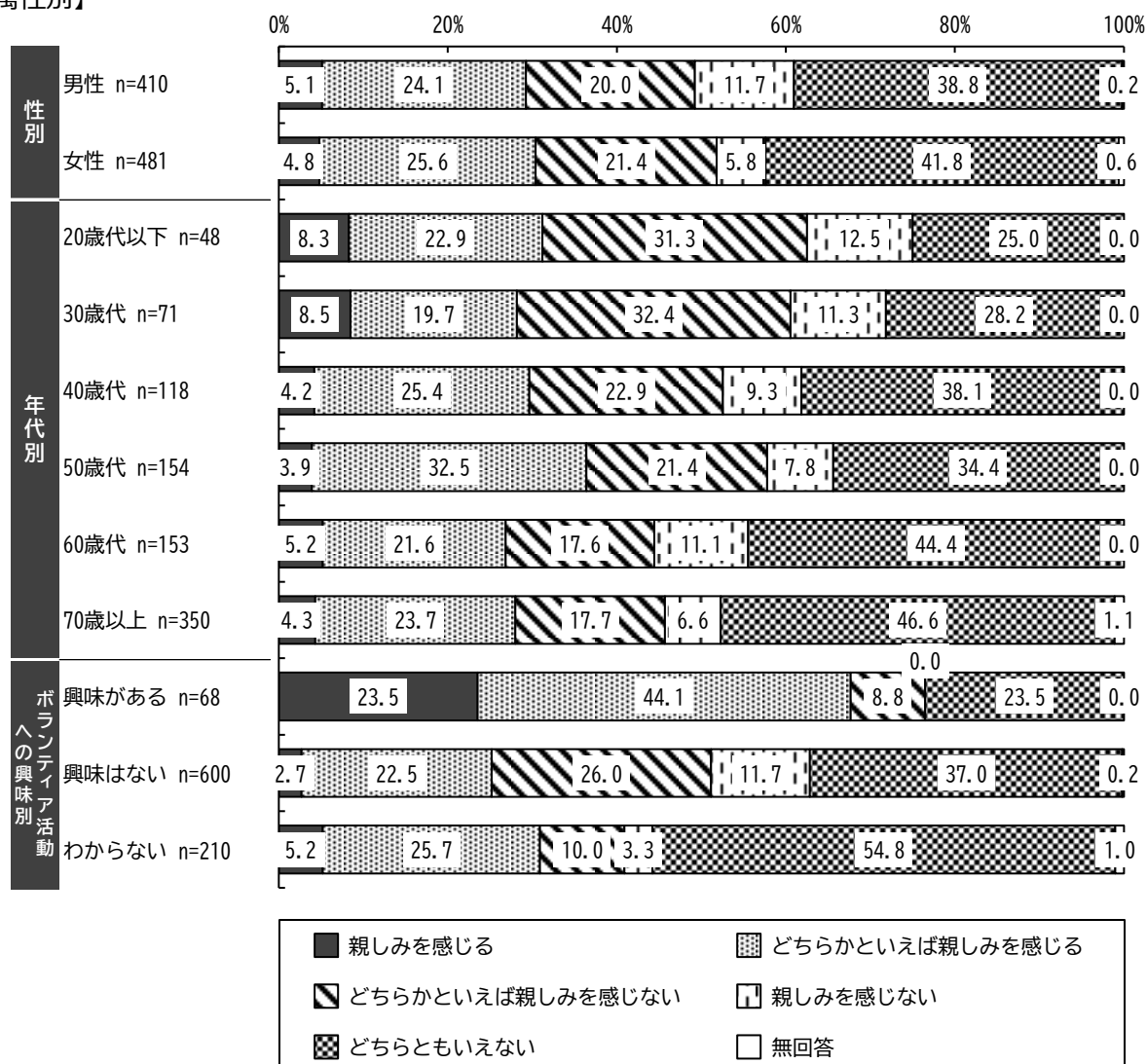
(4) 外国人に対してどのような印象を持っているか

問9 あなたは、外国人に対してどのような印象を持っていますか。(○は1つ)



外国人に対してどのような印象を持っているかについては「親しみを感ずる」の4.9%と「どちらかといえば親しみを感ずる」の24.8%を合わせた『親しみを感ずる』割合は29.7%、「どちらかといえば親しみを感ずらない」の20.9%と「親しみを感ずらない」の8.6%を合わせた『親しみを感ずらない』割合は29.5%となっている。また、「どちらともいえない」は40.4%となっている。

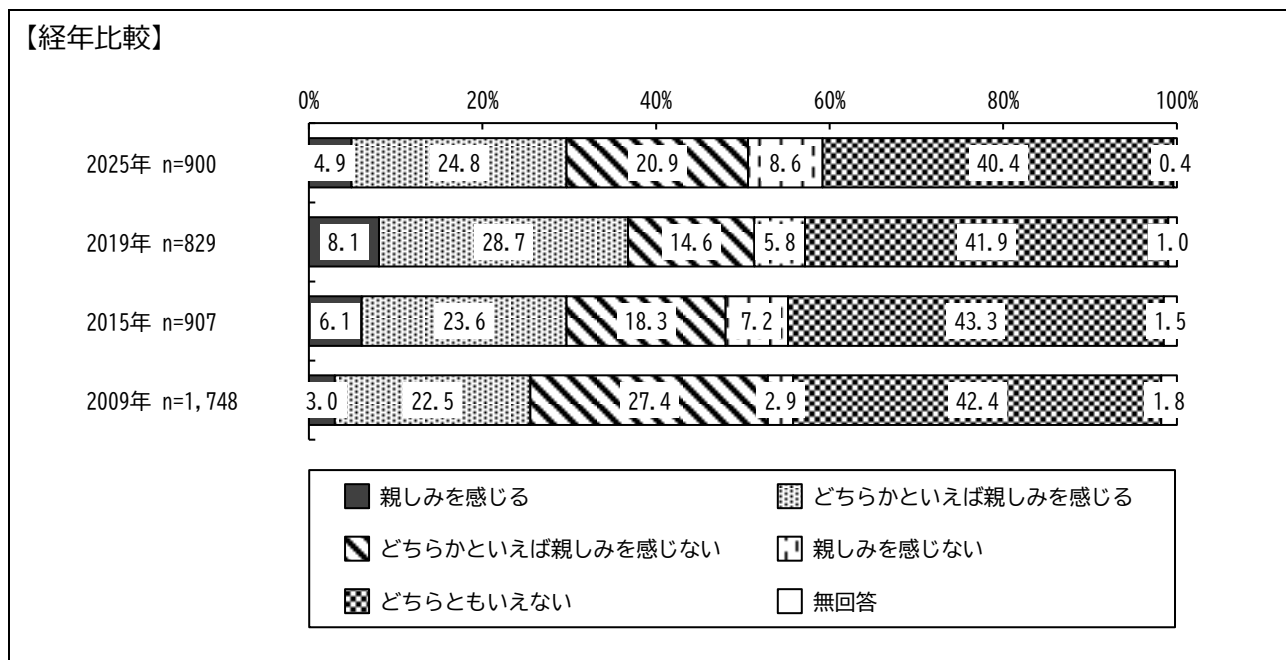
【属性別】



性別にみると、男性で「親しみを感じない」が11.7%と女性よりも割合が高くなっている。

年代別にみると、50歳代で『親しみを感じる』割合が36.4%となっている。また、20歳代以下・30歳代で『親しみを感じない』割合がそれぞれ4割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、『親しみを感じる』割合は興味がある人が67.6%、興味はない人が25.2%となり、42.4ポイントの差となっている。



経年比較では、『親しみを感じる』割合が前回調査から7.1ポイント低くなっている。

(5) 外国人に対する印象の理由

問10 問9のように感じる理由を教えてください。

「親しみをを感じる」理由

- 世界皆平等だから。
- 「カタコト」の日本語で話しかけてくる。
- 同じ人として話したり、活動をするとうわりあえる部分が多い。
- 1950年代、アイルランドに3年間会社勤めをした（会社の工場があったので）。
- 日本の文化、社会に馴染んで、生活しているのを見てから。日本人以上に仕事を一生懸命やっている。
- 私の会社ではスリランカの人が多くいるが、とても礼儀がよくまじめで仕事熱心。
- 私の知っている外国人はみんなにこやかで、だいたい言葉もよくわからない国へきて生活していることにすごいと思うから。
- 会社員の中に外国人が沢山働いていて努力して、頑張って優しく、よい子たちばかりです。
- 自分にはない考え方や文化の違いに興味を感じる。
- 日本の小さな国から、外へ出て、いろんな国の人と知り合って、交流を求めたり、自分の知らない言葉や、いろんなこと、知りたい。
- 明るいから。
- 同じ職場で働いている。
- 知っていることを、知らないことを教え合うとき。
- 祖国をはなれ日本に来るということは、かなりの覚悟と決断をもってきているはず勇気ある行動に応援したい。
- 病院で黒人の子と自分の子が一緒に遊んでいたから。子どもも何も思わず、普通に遊んでいたから。
- 3年間家族の海外赴任に同行した際、(国籍)言語や肌の色関係なく生活していた。私などでも道をたずねられたり…そういった経験を通して、親しみをを感じるようになった。他に、外国籍の方と結婚して、海外で生活している親戚もいることから。
- 嫁がフィリピン人。
- テレビで外国人を見て、親しみを感ずる。“すもう”を見ていて、しみじみ感ずる。
- 沢山の素敵な外国人の友だちがいるから。
- 外国人が好きだから。
- オープンな性格の方が多いという印象を持っているから。
- 10年以上、毎年ベトナムから実習生が来てくれてベトナムに家を建てた人も居ました。多少むらはありますが、今年はインドネシアも4人入り、頑張ってくれています。
- フレンドリーだから。
- 言葉や文化は違えど、同じ人間だから。
- 娘の夫が日本に来て色々な体験をしながら日本に馴染んだ経緯を近くで見ているので、『この方も頑張っているなあ！』とつい応援したくなるから。
- 仕事を一生懸命やるから。
- やはり、一生懸命に言葉、仕事を理解するよう勤めている。
- 職場にいる外国人は良い印象の人が多いため。
- 自国から出て来て、頑張る人は応援したくなる。
- 知らない新しいことを知ることができる。
- 気軽に声をかけてくれる。
- ITの仕事をしていて以前オフショア開発をしているがみな良い人たちであった。
- 他国で生活するのは大変な事を経験し、また海外での生活で親切にいただいたので、頑張っている姿を見ると、声を掛けたいと思ったり、応援したい気持ちになります。
- 同じ人間でしょ。
- 実際コロナに3年間住んでいたため。
- 子どものころ、遊びながら英単語を覚えて楽しかったという記憶が強く、学生時代は英語を学ぶのが楽しかったのも、自然と外国に対して興味湧いた。社会人になってからは、ネイティブの方の英会話講座に通っていたこともある。多くの日本人と違い、自分の意見をはっきり言う方が多いところが良いと思う。

「どちらかといえば親しみをを感じる」理由

- 近所に生活しているから。
- マイノリティーなので、謙虚に暮らしているイメージがあるので。
- 自分にはない物を、いろいろと持っているから。
- 同じ人間として、感じないより感じたほうがよいと思う。
- 人によりけりですが、以前海外旅行に行った時、ホテルや街で声をかけてくださり、こちらから手を差し伸べたい気持ちになりました。ことができました。フランクなところがよいですね。
- 外国で親切にもらったから。
- 日本人が外国に旅行や仕事で行った時に親切にもらえるのと、ありがたい気持ちになるのと同じように日本にいる外国人にも同じように接したいと感じるため。
- よい悪いは外国人だからではない。人となりをみて判断しているので、親しみを感ずる感じないという質問がわからない。
- 以前、職場に技能実習生の方が居て、とてもまじめで、話しやすかった。こちらから手を差し伸べたい気持ちになりました。
- 外国人と親しく話したことはありませんが、見かけたときは何か不自由はないかしらと思ひ、あれば助けてあげたいと思う。
- 子どもが国際科のある学校に通っているの、外国人の先生と接することがあるので。
- 同じ人間だから。
- 自分が出会ってきたなかだと日本が好きで、日本語でがんばって話かけてきてくれたりして親しみを少し感じたことがあるから。
- 仲良くなり、いろいろしゃべれたらよいかな。
- 私の知人たちとは普通に対話している。日本に長く住んでいるので、日本人と変わりが無い。
- 英語を使って話したいから。

- 仕事仲間であるし違和感はありません。
- 近所に住んでいる外国人は必ずあいさつしてくれる。
- 外国人というよりも人間性で評価したい。
- 日本の文化に興味を示してくれるので。
- 会社で外国人がいるため。
- どちらかといえばの中には日本人でも外国人でも悪い人は居る中で、言葉が通じ切らない外国人に不安もあるから。
- 言語はわからないが、明るい雰囲気好感が持てる。
- 仕事場などにて、時間や空間を共にすることが日常であるから。
- お客様に何人かいます。
- 外国のことを知ることができる。
- 近所の工場やコンビニで働いている外国人の印象がよいから。ただ積極的に受け入れるかは、別の問題。ニュースで日本の不動産屋や土地を買い占めたり、犯罪などを聞くと、日本の将来に不安を感じる。
- 茶畑に働いている人々に対しては礼はする。
- 外国の人と話してみたい。
- 日本に来ている外国人は、生活のため（日本で生きていこうとしている人）ビザで就業などをしていると思います。様子を見ていますと、真面目さもあるようなので、そう思いました。
- 関りがある人は感じる。
- 個人として対面の場合、人柄によって判断するので。
- 異文化の人に興味を持つ（考え方、生活態様、習慣etc）日本の（地方都市）よいところ、よいことを教えてやりたい。
- 陽気な様子や、自分の意見をしっかり持っている点。
- ベトナムの女性、子どもをお産してからもどり、子どもを置いて日本に帰る。ご主人はそのまま日本で仕事。本人はビザの関係で帰国しました。私のこと事をおばあちゃんと呼び、料理をつくって持ってきてくれました。
- 外国に住む、働くということは、いろいろなハードルを越えてられていると思う。
- 訪来されている方たちなので、やさしい方が多い印象はある。
- 近年街中でも増えているように感じるが違和感を感じない。
- 親しくなれば言葉が違っても考えは同じになる。
- 海外での生活経験もあるので、特に外国人に対して負の印象などはもたない。
- わからないことや自分の考えを相談してくること。
- 日本を選んでくれて、なじもうとしてくれる人が多いから。
- 興味を持って日本を選んだところ。
- 話し合えば理解し合える。
- 日本のことを知ろうとする姿や一生懸命仕事をしている。
- 嫌な思いをさせられたことがないから。
- 変わった人もいるかもしれないが、日本人でも甘ったれた人や変わった人がいるから、別によい人やがんばっている人も多いと思うので。
- 息子や娘が留学の経験がある。
- 親しみをを感じる一方でマナーの悪さが目立つ。
- 大人より子どもたちの明るさがよい。
- 異国で頑張っているから。
- 外国人にも、日本の法律を守る、ルールを守る、マナーを守る人がいるから。
- 外国人の友人が2人いますので、親しみを感ずます。
- 職場に外国人の方がいたので。
- 外国人の友人はいないけど、欲しいとは思ふ。身近にはいないけど、親しみは感じる。
- どんな関心から来日したのかなと思うので。
- 人間五大陸肌の色は違っても同じ気持ち。
- マナーのできる外国人についてはよいと思う。少し入国者に常識を教える。
- 日本に来てくれているから。
- あいさつをよくする。
- どの国の方でも、笑う等協調できるのは同じと思う。ただそれには語学が必要だなあ〜と。
- 個人差があることですので、一概には伝えにくい。
- よく知るとよい人がほとんど。
- その人のこと、国も含め、知りたい、話してみたい。
- 文化や伝統など親しみをもっている人たちは外国人だからということで悪い印象を感じることはない。
- 日本のよい点を教えられるし、多文化にも接しられる。
- 言葉や生活習慣など、積極的になじもうとしていて、好感がもてる。
- 積極的に話しかけてくる。ことばの意味を知ろうとする。
- 会社で一緒に仕事をしているので仲間だと感じる。
- 日本にきて一生懸命に働いている。
- 人間である。
- 生まれた場所により、文化的、思想的差異はあるものの、同じ人間であるため。ただ、コミュニケーションをどう確率するかが問題。
- 同じ人間として、分けて考える必要はない。
- 日本で暮らす外国人、訪れる外国人は基本的に親日家であるから。
- 異国の地でがんばっている外国人、応援したくなります。
- どちらかというと、よい外国人が多いから。
- 国籍・人種にかかわらず、互いに理解し合う努力ができる人も多くいると感じるため。他方で無責任な行動を悪気なく繰り返す人もおり、隣人になってほしくない人もいます。
- 常に笑顔で、言葉はわからなくても伝えようと気持ちがあるから。
- 外国人と話してみたいから。
- 仲間として仕事をしているので。
- 職場では、いろいろ聞いてくる。がんばって物事を知ろうとしている。
- 公園の清掃等を進んで手伝ってくれる。
- 日本の習慣を知ろうと頑張っている人、日本の生活に溶け込んでいる。
- 街を歩くと目と目が合います。まず、その場面で"ニコッ"と笑顔を交わすと、やさしく嬉しい気持ちになります。
- 異文化交流によい。

- 今の時代に合っている。日本人だけでは仕事を含めやって行けない（人口減）。
- 相手国の文化を知りたいから。
- 何らかで接すると笑みを浮かべてくれる。
- 近所に住んでいるし、コンビニで働いている人も見かけるし、子どもが学校に通学しているときは、クラスに外国籍の子どもがいて親御さんとも普通に接していたし、どこにいても見かけるから。
- 以前は中国人の友人がいましたが、富士市に3年前に転居したため、今は交流がなくなった。
- 中には心のきれいな感じのよい方もいるので。
- 見かけるだけで直接かわる機会がない。
- 相手の方の言葉を日本語で話してくれるとか「あいさつ」をしてくれる所。
- 日本に来て必死に稼ぐことに努めているのが素晴らしい。基礎的な言葉の習得も早い。
- 外国人はいつもニコニコして、友好的だと思う。
- 知らない土地、言葉も違う国で、がんばっていることはすごいと思う。一部では、犯罪を犯してしまう外国籍の方も居るけど、まじめに、日本人が働かない職業に就いている人もいるから。
- 通りすがり笑顔や少しでも頭を下げる行動。
- 現在身近にはいないが、今後増えていくのではないかと、必要に応じ理解していこうと思う。
- 自分自身、他の国へ行けば、外国人であるし、いろいろな人がいるから。
- 知り合いのご主人が外国の方で穏やかな人だから。
- 会うと頭を下げる人がいます。
- 同じ日本という国に住んでいる仲間として。
- 日本人と同じように外国人もやさしい人がいると思うから。
- 全世界の人々と仲よくしたい。
- 病院の看護師として働いている人もあり一生懸命頑張っている人もいます。
- 以前よりも外国の人が増えているのはあきらかで、散歩していてもお互い気持ちよい挨拶ができているため。
- 人による。
- 日本に興味があって来てくれていると思っているので。
- 義母の通うデイサービスで介護にあたっている方が外国人で、お世話になっているから。
- テレビ等の印象で。
- 意思の疎通に不安がある。
- 仕事でタイへ何度か行ってるが、一緒に仕事する中で全く嫌な感じはしないし仲良くなれる。
- これまで自らの在外勤務で外国人と関わるが多かったため。
- 日本語を理解して、日本に来るから。
- 笑顔が素敵だったり、言葉を英語で話するのが上手だったりなど、色々な外国人がいて、綺麗な人だと思ったから。
- 幸い、私が接して来た外国人に不満を感じたことがないから。
- 一部例外はありますが、優しくて良い人が居るのを知っているから。
- 同じ人間だから。
- グローバルな視点で考えた場合、同じ人間だから、そこに国籍は関係ないと思うため。
- 日本で頑張っているので応援したくなる。
- グローバルな大学だったから。
- 周りの外国人が親しみやすいから。
- 国籍によって親しみをを感じる度合いが違うため。
- 少なくとも日本に興味を持ってきてくれていると思うから。
- 自分の国を離れて異文化の中暮らすことは大変だろうし応援したいから。
- それぞれの国の文化に敬意を持っているから。
- 身内にいるのもあるが、幼いころから親の職場の外国人労働者が家に来ていたことが影響しているかもしれない。
- 国が違っただけだから。
- 言葉や文化は違うが、同じ人間だから。
- 近所にも仕事場にも何人もいて2世、3世の方々は仕事も真面目で好感が持てます。
- コンビニエンスストアでの外国人の方の接客に好感があるから。
- 今まで会った外国人は良い印象の人が多かった。
- 過去には一緒にお仕事をしてきた経験もあるから。
- 素直で愛嬌のいい外国人とそうでない外国人がいるので。
- 言葉の問題とかを乗り越え、富士市で生活している姿を見て、感じた。
- 自国以外で生活していること。
- 助けてあげたくなる。
- 外国人は、気さくな人が多い。また会社で知り合った女性は、日本人にない様々な苦勞の経験があり、深く付き合うととても尊敬できる。
- 是非日本で頑張ってもらいたい。
- 国籍関係なく同じ人間なので。
- 以前の派遣先でフィリピンの方と仲良くなり、結婚式にも呼ばれました。観光地（京都）で中国や韓国の人に道を尋ねられ対応したことがあります。
- 日本人も同じように善人と悪人がいるので、優しい心を持った外国人は親しみを感ずります。
- オープンでフレンドリーな感じだから。
- 悪い人ばかりではない。
- 犯罪人も多いが、日本に来る大半の人は、日本が好きで、話すととても友好的。
- 明るいから。
- マナー等の守れる外国人なら問題ないが、犯罪を犯したりマナーを守れない外国人も多数見受けられるから。
- 話しかけると優しいから。
- 日本語が通じれば感じる。
- 人柄が良い。
- 様々に価値観や文化を提供してくれる人たちで、生活の刺激になる。
- 外国の歴史や文学、風俗その他もろもろ好きで興味があるから。
- 同じ人間だから。ある程度は人材不足を補うため、外国人労働者が必要だと思うから。
- 周りにいる外国人の方にお世話になっており、仲良くしてもらっているから。
- 以前一緒に仕事していた。

- 異なる文化思想から学ぶことも多い。
- 知人の外国人は幼少期から日本に住んでおり日本人との差異を感じなかった。
- 国は違ってても良い人はいる。
- 大学生のころ外国語大学の付近でアルバイトをしていたため多くの外国人の礼儀正しさを知ったことや、日本の文化（アニメや漫画など）へ興味を持ち日本語や文化を学ぼうとしてくれる彼らの存在は嬉しいと感じるため。
- 日本人と基本的にはかわらないです。
- 日本に慣れている方が多く、言葉がカタコトでも文化の違いによって外国の方だと感じる事があまりなかったり、実際に関わってみるとフレンドリーな方が多く親しみやすかったりするため。
- 親しいとまではいかないが、学校で保護者同士として話をする機会があったりするから。
- フレンドリーだから。
- 韓国に出張していたことがあり、親切に対応してくれたから。
- 国民性としてフレンドリーな外国があるから。
- 話をすれば分かり合える。
- 私が働いているところには外国人がいて皆さん一生懸命に仕事してて優しい人たちだからです。
- 旅行者であれば歓迎する。
- 自宅近くに日本語学校があったり、子どもの学校でも保護者が外国人だったり、外国人はよく見かけるので、親しみはあるほうです。
- 日本にない文化を持ち合わせているから。
- 基本的には善良な人が多いとは思う。
- 自分の周りにいる外国人は良い人なので。
- 積極的にコミュニケーションを取ってくるフレンドリーな人が多い印象があるから。
- 在日外国人が日本の労働人口の不足を支える必要な存在だとは思いますが、増加に伴い様々なバックグラウンドの人が入り、犯罪を含め様々なトラブルが起き始めていると思う。
- 日本人と分ける必要がないと思うから。
- 日本でまじめに働いている外国人を見たときに、ありがたいなと思ったので。
- 他国へ来て頑張っている姿は応援したいと感じるから。
- 特に外国人だからとか日本人だからとか特別な印象は持たないため。
- 訪日外国人や、移住者など、ハーフやクォーターの友人は数多くいますが、そういったコミュニティーや実際の知り合いなどは個人個人で評価しているため、外国人というフィルター認識で接していないからどちらとも言えない。昨今社会問題になっている移民問題（クルド人）や労働実習制度などの就労生による犯罪や闇バイトなどは別問題と捉えていますが、総合複合的な話となると勘案せざる得ないため、この様な回答と致します。
- 会社に何人か海外の方がいるから。
- お隣に住む方が外国の方です。言葉は分かりませんがご挨拶をしたり野菜を交換したり人の交流は同じ国籍の方ではなくても、ルールを守る価値観が同じならお互いに気持ちよく暮らせると思うから。
- 異国の地で頑張っているのだから応援してあげたい。
- 職場にも外国人がいるが良い人達なのでそう感じる。
- 今まで出会った外国人の方が（数名ですが）素敵な方々ばかりでとても楽しい時間を過ごせたので。
- 職場に患者さんとして外国人の方がよく来られるので。
- 外国人と一緒に仕事をする機会が多かったため。
- 日本に関心を持って渡航していると思うため。
- 友達や知っている外国の方はいい人ばかりだから。

「どちらかといえば親しみを感じない」理由

- 生活していて接する機会が少ないためです。
- 昔は別に感じていなかったのですが、近くの方の中国の方のやりたいほうだいに他の国の方を見る目まで変わってきてしまいました。ほんの一部の方だとは思いますが、何とかならないものかと…。
- 直接理解し合える人がいないので。
- 文化の違い。
- どのように接するのがよいか、相手に失礼がないか、頭で考えてしまい、少し距離がでてしまう（初対面において）。
- ルールを守らない人が多いから。
- 理由なく親しくしようとは思わない。
- 外国人＝犯罪と云うイメージを感じる（一部の人たちだと思います）。
- 何を考えているかわからない。
- マナーが悪い、観光地に行くとうるさくてルールを守らずTVなどの報道でも、とても悪いことばかり報道されていてよい感じがしないが、娘が若い時留学したが、とても世話になった。高校での留学、市の行事。
- 自分たちのコミュニティをつくり、逆に日本人が気をつかうし、日本人が入れなくなる地域ができてしまう。当然その地では、外国人の独自ルールができ、近所の市民では太刀打ちできなくなる。
- 外国人はマナーが悪い人が多い。
- こわいと感じる。
- 言葉の壁があるから。
- 知って交流がある人は、親しみを感じる。
- 日本人をなめている言動を聞いた。
- 外国人の友人、知人もいないし、接触する機会もないので。
- 日本のルールを守って生活する人が少ない気がする。
- 相手にもよりますが、暗くこわい感じの人が多い。
- 日本文化に対してのマナーが悪い方々の多さを自治体が放置しすぎ。
- 関わることはあまりないが、一緒に仕事をしたことが過去にある。共生対策を行っていた。
- どうしても意識して、親しみを感じにくい、知りあってしまえば、問題ない。
- 平等と考えている。
- こわい印象がある。
- コミュニケーションをとるのが難しい。
- 互いの言語が異なるため。

- あまり言葉を交わす機会がないから。
- 地域の文化風習になじまない。
- どこに行っても、集団でうるさく感じるから。
- 個人的に接点がない。
- とけこみにくい。
- 身近にはいないので。
- 日本の文化、ルール、無視が多い。
- 言葉を共有できないので。
- 言葉の問題で相手も（外国人）なじんでこない。
- 文化やモラルの違い。
- 普段、自転車に乗っている外国人はよく見ますが、話したりすることがないので、親しみまでは感じない。
- 自宅周辺に外国人が住んでいたことがあったとき、夜中に音楽をかけて歌ってる声、しゃべっている声がうるさかった。言葉の壁もあり泣き寝入りするしかなかった、ごみの出し方等のルールも守れず迷惑にしか感じられなかった。
- 本心かわからない。自分の過ちを認めない。
- 自分の欲得で日本に来ている人たちは、歓迎できませんが、外国人だからどうのこうのではなく、同じ人間としてすべての人たちと仲良くすべきだと思っています。
- 以前、ごみ出しのときに、マナーを守っていない、外国人を見かけたので。
- 異文化なので、理解できないところがある。
- 体験が少ないからだと思う（実体験は0である。）。
- 怖いから（今年自宅庭に勝手に入ってきたので警察へ連絡しました）（先日にも近所をうろろしている人がいました）。
- 外国人と直接接することがあまりないため。
- マナーが悪い印象が強い。
- 外国人との接点がない。
- 交通マナー、車の運転が危なく、あまりよい印象がない。
- 社会のルールを守らず、自国の価値観を押し付け、且つ外国人がからんでいる犯罪が増加してきているから。
- 私の地区は外国人がいますが話したことはありません。よい話も聞かないので、あまり親しみを感じません。
- オーバーツーリズム、傍若無人な振る舞いが多い、日本に対するリスペクトを感じない。
- 関りがなく、大勢集まって大声で話しているのを見るとこわい。
- 外国人と接する機会が少ない。
- 現在いる外国人のとにかくマナーが悪い感じがする。
- 都合のよいときに日本語が通じないふりをする。
- 外国人と接したことはありません。
- 世代的に周りに外国人がいなかったため、あまり親しみを感じない。
- 身近にいない。
- 文化のちがひ。共生するか否かは別として“親しみ”は感じない。
- 文化の違いや価値観の違いがあり、日本文化を理解している人が少ない。
- 言葉が通じないこと。ルールを知らないこと。
- あまり接する機会がないから。
- 風紀が悪くなっている一因なのでは。
- 日本語で喋ってくれればいいけど英語はわからない。
- 身近にいないから。
- 仕事、収入を目的として暮らしているから短期間で居なくなってしまう。
- 外国人を見かけるが、実際にあまり接点がないため。
- 交流がないから。
- 好き嫌いを言えるほど外国人と交流していない。
- 身近にいないからだと思う。
- あまり関わりがないから。
- コミュニケーションが取れないので不安。だか、必要なら努力して会話をします。
- 戦争を経験しているから、良い印象がない。
- 悪い人ばかりではないとは思いますが、犯罪も多いので、色眼鏡で見えてしまうことも多い。
- ルールを守らない。地域住民と協力する文化がない。
- 言葉がわからないから。
- 近年、外国人による犯罪が増えているから。
- まわりにいないため。
- 犯罪や事件事故でメディアが取り上げる機会が増え続けている印象がある。
- 外国人はフレンドリーな印象があるが、価値観や言語が違うため仲良くなるのに時間がかかると思うから。
- 文化の違いにより考え方の相違を感じる。
- 生活している上であまり外国人とか関わりがないため。
- 怖い。
- 外国人と関わる機会がないから。
- マナーなど違和感を感じることが多いから。
- 日本人も含め、とくにルーツや国籍によって他人にとりわけ好意を感じないため。
- 見かけることは増えたが話す機会がないので。
- 文化が違うため。
- 文化の違い。
- よい印象がない。
- 日本のルールに反する行為をする人がいるため。金銭目的で来日する外国人がいる（日本の医療費タダ乗りなど）など、ネガティブな情報を見聞きするため。日本の警察が、外国人の軽犯罪に対して甘いため。
- ふれあいの機会がない。
- 文化の違いがありトラブルの原因になりうるから。
- 外国に行ったこともないし、言葉も何も分からないから。
- あまり交流の機会がないし、コミュニケーションの取り方がわからない。
- 外国人の悪いニュースをテレビで見る頻度が多いから。外国人が日本人のための制度を悪用してるように感じるから。
- コミュニケーションがとれないから。

- 集団で生活しているからか、騒がしい声を聞くことが多い。
- 国々の文化の違いがあるから。
- テレビニュース等で悪いニュースもよく目にするから。
- 外国人の犯罪。
- これまで殆ど外国人と関わっていないから。
- 外国の方のせいばかりではないですが、浜松など外国人が多い街はやはり事件が多いので。
- 言葉の問題とマナーの悪さ。
- 国際交流よりも日本人を大事にすることを考えてください。そんな余裕が今日本にありますか？
- お互いの文化的背景が異なるから。
- 話している言葉が分からないから。
- うるさい、自己中心的で日本人の特徴と逆の人が多から。
- あまり親しく話す機会がないから。
- 言葉が通じないから。
- 日本語話せない場合どう接すればいいかわからない。
- それ程度意識していないから。
- 治安が良くない国出身の方は怖い。
- 互いの文化を尊重する文化のない方々も居るため。
- 個人的には関わりがないため強くは感じないが、川口市のクルド人や中国人関係の悪いニュースの印象が強いため。
- 日本語以外の言語で大声で話しているのをよく見かけるため。
- 近くに住んでいても関わりが一切なくこちらに関心がないから。
- 周囲にいないのでわかりません。
- 文化や生活習慣・マナーなどが違うから。
- 周りにいないため。
- 少し話しかけるのに躊躇ってしまう。
- 生活習慣の違いや文化が違うため。
- 犯罪があるから。
- 身近にいないため。
- 最も大きな理由の一つは、言語の違いです。うまくコミュニケーションが取れるか不安に感じたり、言葉が通じないことへのストレスから、積極的に関わりたと思えません。もちろん親しみを感ずる外国人もいますが、全体的な割合で考えると親しみを感ずりません。
- 社会のルール、騒音だったりゴミの問題等、日本人と感覚が違うから。
- 川口のクルド人の問題から。
- 近くにいない。
- 文化、言語がかなり異なるため。
- 外国の方と関わるのがないから。
- 挨拶をしても冷たい反応をする人が多い。
- 交流がないから。
- 日本人じゃないから。
- 日本の秩序を乱されそう。

「親しみを感ずない」理由

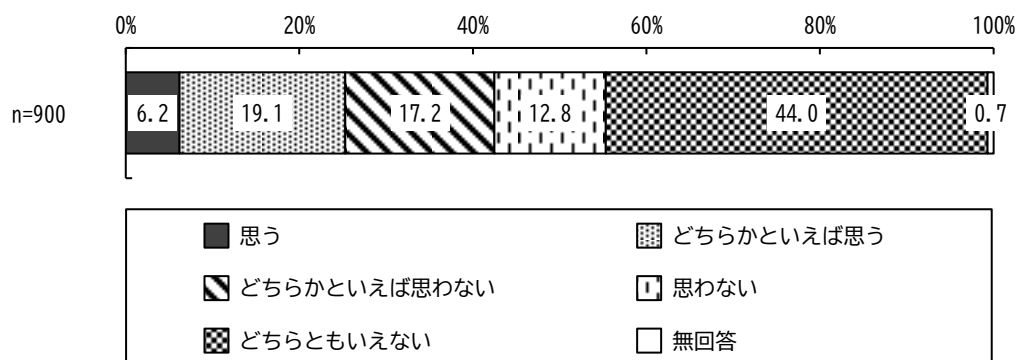
- 普段の生活のなかで外国人と親しくすることがないため。
- 知人にいないから。
- 言葉の違いから話せない。
- 町内会にもいるが、迷惑でしかない。
- マナーが悪い。
- 近くでも外国人が増えていて、あいさつする人もいます。交流もないし、少しこわいイメージがあります。
- 外国の方々は、人それぞれちがうから。
- その国の独特な伝統、習慣に気がつかって生きることに気疲れすると思う。特に共産圏の外国人は拒否したい！
- 感覚が違う気がする。
- こわい、雑、自己中心的。
- 日本人のマナー、行動、主張と相容れない。
- マナー違反、犯罪、日本の常識を勉強してほしい。日本の中でも貧困家庭が増えている中で、もう少し考えてほしい、日本もそんなに住みやすくない。
- 育ってきた文化が違う。
- 外国人は大型銭湯に行ったとき、とても大きな声で大勢でさわいでいた。それはいつも行くとき同じなので私は早目に出た。使ったドライヤー、イスも片づけない！自分の髪もそのまま、子どもが走っても注意しない、私は海外に行ったときはいつも気をつかうのに。
- 最近街中でよく外国人（観光客）の方を見掛けるが、ほとんど接することがない。
- 言葉がわからない。
- ずるい。傲慢。言い訳する。日本のルールに従わない。義務を果たさず。権利ばかり主張する。仕事をさぼる。上げたらきりがなし。
- 言葉がわからない壁がある。
- 一部のルールを守らない人たちがいるせいで、日本人が困っているから。都合が悪くなると「日本語わからない」で済ませようとするから。日本のこと、勉強してから来日してほしい。
- 一人や二人なら何とも思わないが数人でいると怖い。
- 無口であいさつしない。
- 違うことがないから。
- 外国人の印象はよくない。犯罪が多いため。
- 関わりが少なかったから。
- 怖い。全ての人がそうではないが、生活する上で公共の場でも考えて行動してほしいと感ずることが多いから。
- 言葉が通じないと思うから。
- 接する機会が全くない。
- 言葉の壁

- マナーが悪いから。
- なんとなく。
- 人種に限らず、関係性による。
- 日本の文化も理解しようとせずにやりたい放題、注意すれば差別だ！ヘイトだ！こんな人達と共生できるわけがない。
- 人類進化の過程と育った環境からやむを得ないと理解しているが、人としての生き方、家族の在り方、宗教感等、外国人・日本人を形成してきた環境があまりに違いすぎる。
- 職業柄、外国人を見るだけで嫌になる。
- あまり馴染みがないため、言葉の壁があるため。
- 外国語の単語などは知っていても、やはり実際にそれを話す人間と会話するのには困難や壁を感じるため。
- 怖いと思うこともあるから。
- 文化が違うから。
- 日常において外国人と直接関わりがないため。
- 迷惑かけるから。
- 外国人のマナー違反やルール違反が目立っていて良い印象が持てないから。
- 触れ合うことがないから。
- 身近にいないので。
- 私の地元では、外国人による犯罪が多発しているため。
- 思考や文化が日本人と大きくことなるから。また、外国人も日本人に親しみを感じて接してこないから。
- ルールや文化がなくなっていく。
- マナーを守らない。
- 外国人と関わりたくないと思っているので。
- 親しみをを感じる理由がないから。
- 近い関係外国人が居ない。
- 周囲におらず、実際に外国人の対応を把握できないから。
- 外国人観光客の中にはゴミの不法投棄や自然破壊（桜の枝木を折るなど）といった問題も実際起きており、長期で滞在している外国籍の方は、日本語をうまく話せず、お店側に迷惑をかけることも多々あります。先程の問いでも回答した通り、車の窃盗や性的犯罪、転売といった日本人に対して生活を脅かす方々の中にはいます。こうした問題は文化の違いが原因とも言えるので親しみを感じません。
- 外国人はマナーが悪く、また日本のルールが守られていないため迷惑である。
- 近くに外国人がいないから。
- 性善説が通じなさそう。
- 関わる機会がない。

(6) 富士市は積極的に外国人を受入れるべきだと思うか

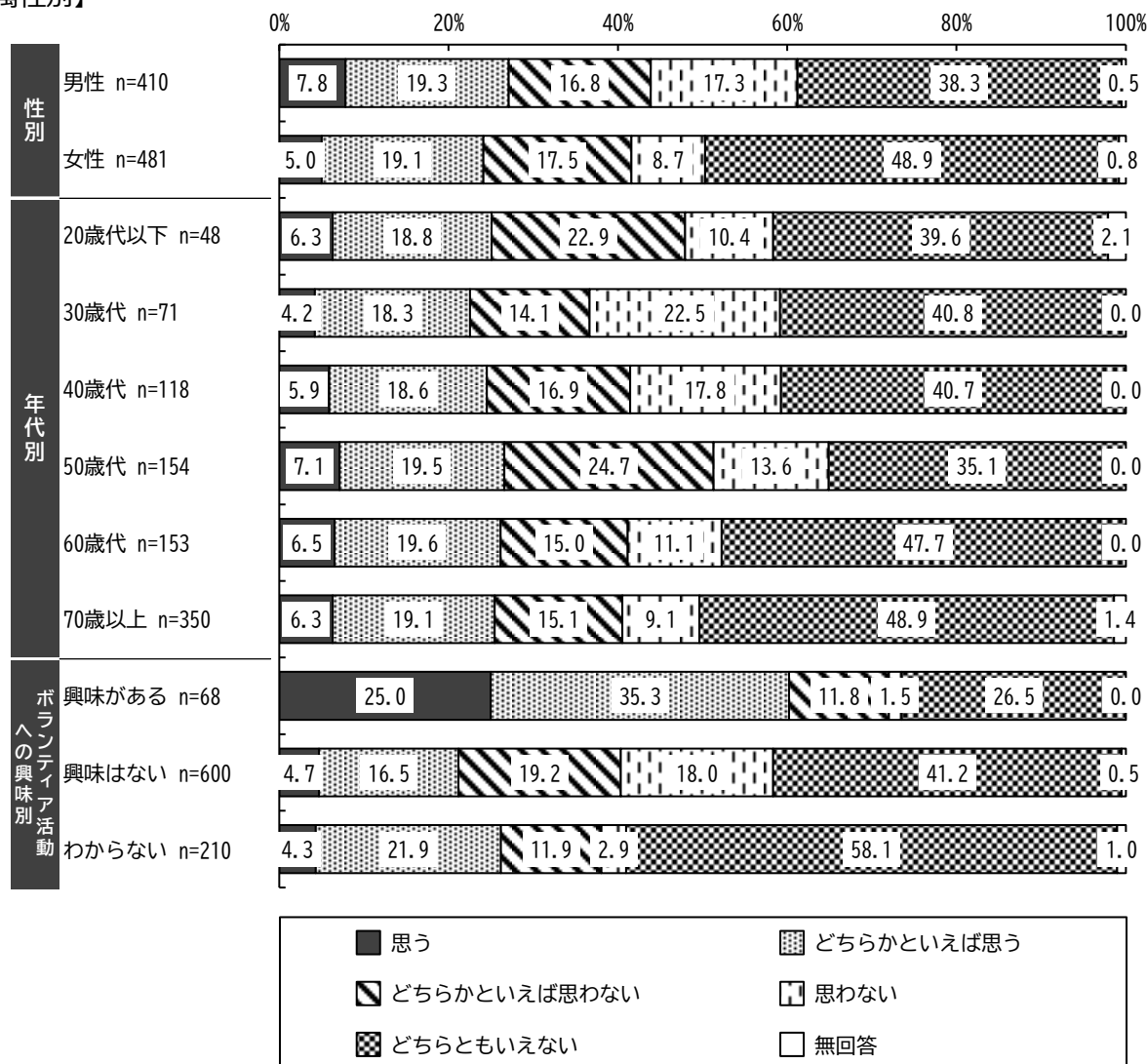
問11 あなたは、富士市は積極的に外国人※を受入れるべきだと思いますか。(○は1つ)

※外国人：ここでの外国人は就労等で中～長期で滞在する外国人の方を想定しています。(観光客などの短期滞在の方は含みません)



富士市は積極的に外国人を受入れるべきだと思うかについては「思う」の6.2%と「どちらかといえば思う」の19.1%を合わせた『思う』割合は25.3%、「どちらかといえば思わない」の17.2%と「思わない」の12.8%を合わせた『思わない』割合は30.0%となっている。また、「どちらともいえない」は44.0%となっている。

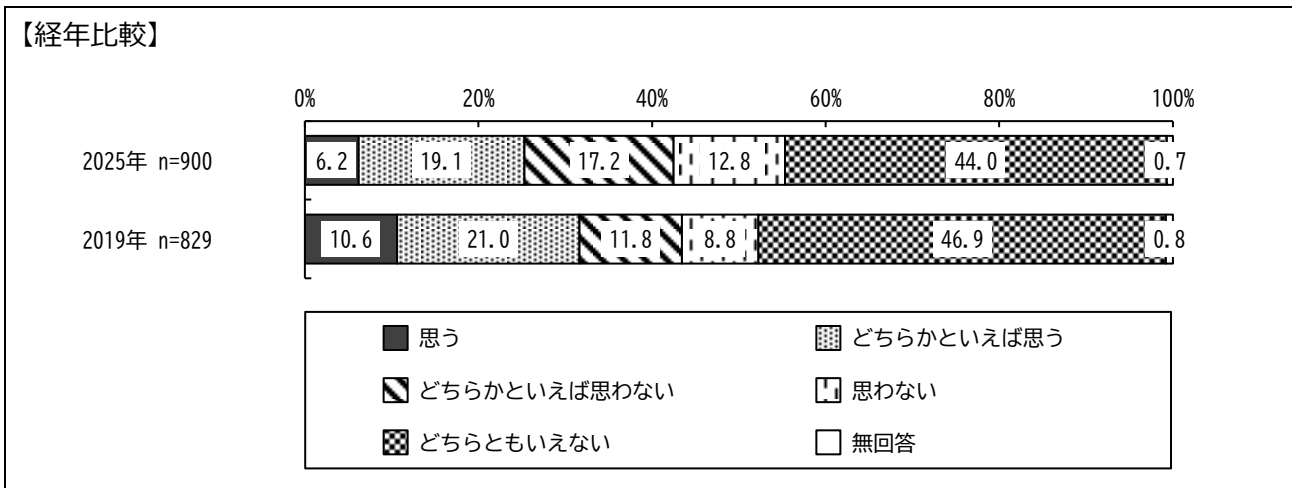
【属性別】



性別にみると、「どちらともいえない」は男性が38.3%、女性が48.9%となり、女性が男性を10.6ポイント上回っている。

年代別にみると、20歳代以下・30歳代・40歳代・50歳代で『思わない』割合がそれぞれ3割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、『思う』割合は興味がある人が60.3%、興味はない人が21.2%となり、39.1ポイントの差となっている。



経年比較では、『思わない』割合が前回調査から9.4ポイント高くなっている。

【「思う」理由】

- お互いにすべての面で成長していくと思う。
- 就労、技術の継承。
- 就労人口が少なくなっているから。
- いろいろな文化や思いを受け入れ豊かなものに。
- 若い層をより交流して価値観などをより広くするべき。
- オーストラリアの例を参考にすればよい。
- 日本の人口減が必須なので。
- 日本の文化、社会に馴染んで、生活しているのを見ているから。日本人以上に仕事を一生懸命やっている。
- 人材不足だから。
- 子どもたちが自然に親しめるようになる。
- 労働力になる。
- 人口減少している。
- 若者が働かない（日本人）。
- そびえ、ほほえんでいる富士を見てほしい。
- 人間平等。
- 人口減少対策。
- 人手不足。
- 井の中のカワズにならないため。
- 雇用の機会が増加するから。
- 世界遺産、富士山のおひざもと、仕方ない？
- 人が少なくなっていく。
- グローバルな選択肢が増える。
- 労働人口が足りない。
- 日本人の若い人は身体を使うようなことをしたくないような気がします。
- 生活できる収入が得られれば悪いことをしようとする人たちは少ない。日本人より一生懸命働いている。
- スーパーに買い物に行くと外国人が多い。
- 雇用（介護、技能実習）は必要。
- 人類仲よく。
- 労働力の不足は見えている。
- 国際都市には不可欠だから。
- 人口の減少が顕著であり、どの業界も人材不足で苦慮しているため。
- 日本人の子供が減っているため、近い将来労働者の確保は絶対に課題なると思うから。富士市は工場多いし。
- 人口減少、流出が進む中で、外国人を受け入れるということは、同時にそこに住む富士市民も、市外から移住を希望する人にも住みやすい街にならないと受け入れは進まないと思うので、より快適な富士市になるためにも相互理解を進めながら積極的に受け入れると良いと思う。

- その個人が働く場所や生活する場所として富士市を選んだのなら、意思を尊重し、快く受け入れてあげたい。「外国人」という理由で門戸を閉ざすことに違和感を覚える。
- 私の知っている方は仕事に対する姿勢が本当に真面目です。近所の方もしっかり仕事しています。
- 富士市で、働きたい、住みたいと思う外国人は、受入れるべきであり、富士市が必要とすることでもある。
- 人口減少。
- 労働人口が減るなかで、外国人にも力になってもらう必要があるため。
- 就労等の受け入れ先がしっかりしていて、市でもちゃんと補助や現状把握をして苦情や問題等が発生しなければ良いと思います。
- 労働力
- 工場や介護施設の人手不足緩和できないか期待したい。
- 人手不足の解消。
- 頑張ろうとしている人の応援をしたいと思うからです。
- うちの会社でも受け入れるから。
- 今職場では人手不足のため外国人が来ていてすごく助かるため。
- 人口減少による働き手・購買層の減少に歯止めをかける可能性があるから。

【「どちらかといえば思う」理由】

- 近所の人口が少なくなってきた。
- 同じ人間だから仲良くしていきたい。
- グローバル化社会が進んでいると思われる。
- 日本人ではまかないきれない労働を外国の方に分け隔てなくすればよいと思う。
- 富士市のよさを世界に発信してほしい。
- 同じ人間だから。
- 誰でもよいと思わない。人柄が重要。
- 働く人が不足している。
- 多様性が広まる。
- 仕事仲間であるし違和感はありません。
- 人手不足を補うため。
- 日本（富士）の事を色々知ってもらおう。
- 人口減少が激しくこのままでは疲弊してしまうかもしれないから。
- 地域活性化のため。
- 働く希望の人々に内戸を広く。
- やはり富士山の街だし、観光のためにも。
- 市民減少を止めるため。
- 街の活性化。
- これからの国際的な社会に対応する必要があると思う。
- 一緒の人なので。
- 犯罪をおこさない人ならば。
- 人手不足なら仕方がない。
- 人手不足のために外国人に働いてもらう。
- 人口が減ってきているから。
- 人口減少のため受け入れる。
- 人材不足のため。
- 求人があれば受け入れればよい。
- 労働力不足だから。
- 中小企業が多いから。
- 必要に応じて受け入れる。
- 視野が広がると思うから。
- 人口も減っている中、増えることはよいことでは…。
- 将来外国人と協力していくべき時代がくる。
- 世界的な流れだと思う。
- 人手不足。
- ただし国による。
- 外国人を特別だとは思わないので。
- 外国人は、あまり休みを取らない（行事など）。
- お互いに助け合える。
- 活気づくから。
- 現代社会が多文化共生に進んでいると思う。
- 職を求めて富士市にやってくる外国人はそれぞれ事情があるだろうから受け入れるべき。
- 高齢化、少子化等により人手不足がみこまれるため。
- よく働く。
- 人手がないと社会が成り立たない。
- 人口減少を考えると。
- 労働者不足の改善。
- 若い世代が減ってきていることと、異文化にふれることも大事だから。
- 国際化に必要。
- 若者不足。
- 企業などは人手不足の問題があるので、外国人の働き手が必要なかもしれません。
- 人口減少が、経済の衰退につながると思うから。
- セブンで働いている黒人さんがまじめでよいから。
- 原動力。
- 外国人と言う概念がない、人間という概念。

- 共に仲よく助け合って生きたい。
- まじめに働くのなら。
- 仕事をしている人を見て、がんばっているところ。
- 差別する必要ないと思う。
- 世界に有名な富士山があり歴史もあり観光だけではない富士市を知ってほしいし、自国の人にも発信してほしい。ご自分の出身国のことも教えてほしいです。
- 労働力不足解消。
- 安定した職業を持ち生活する上で、必要な人材確保。
- 人手不足だから。
- 働く人の確保。
- 働く人が増えたから助かると思う。
- 幅の広い考え方を持つ点で受け入れが必要。
- 工場が多く、人材不足解消のため。
- 職種によっては人手不足なので。
- 人口減少による労働力低下を補うため。
- 日本人だけで仕事ができない状況になっている。ルールを守り、外国人が安心して働ける条件が準備できれば良いと思う。
- 労働者不足を補う。
- 富士市が住みやすく気に入ってルールを守ってもらえるなら。
- どの産業分野においても人手不足や、高齢者労働者だから。
- 日本の労働者がいないのなら仕方ないので。
- 高齢化に伴い、就労が困難な社会に外国人の方の力をお借りできればと思うので。
- 介護等の大変な仕事を一生懸命にやっておられるのを見ると、日本で働いていただけるのが有り難いと思うので。
- 社会的には外国人の受け入れは理解するが、対面でのコミュニケーションに不安がある。また、今までの通念が受け入れられるか不安だ。
- 受入れて共に働けば仲良くなれるし仕事も円滑に進められそう。
- 外国人が富士市で生活することで、労働してもらえるから。
- 日本を、沢山満喫してほしいから。
- 少子高齢化の中、しっかりした人であれば積極的に受け入れて行ったほうがよいかと。
- 会社は人材が足りなくて困っているから。
- ちゃんと一緒に働く人として、外国人も日本人も関係ないと思う。
- 人手不足のため。
- 外国人との交流で、視野が広がることも多いと思う。お互いの文化を尊重し合い、良い関係を築きたいから。
- 少子化だから。
- 人材が増えるのは良いことだと思いますが、治安が悪化しないか等心配なため。
- 仕事上、やむを得ない。
- 仕事があるなら外国人労働者もどんどん取り入れていくべきとは思一方で、集まりすぎると自治を始めたりしてしまうのではないだろうかという懸念も少しだけあり、外国人受け入れに賛成派ではあるが完全な賛成ではないため。
- 人手不足などに対応するためには、必要であれば受け入れた方が良いと思う。
- 働き手が少なくて、困るから。
- 富士市に限らず今後日本人が減少していくことを考えると、外国人労働者が必要になってくると思う。
- 特出した施設もないため、外国人を増すことで日常品等の消費者を増やし富士市の経済発展を目指してほしいから。
- 労働力不足を補うため。
- どんな人にも来てほしいとは思えない。富士市で受け入れられるだけの人数に、富士市はどんなところかよく理解した上で、来てほしい。
- 現時点で就労中の外国人は多く見かけるので、今後のためにも制度を整え見直すのは有意義に感じられる。
- 経済の発展のため。
- 人手不足だから。
- 少子化による労働力不足があると思うので。
- 日本は人口が減少するため、労働力として外国人は必要と思う。
- 労働力に期待し、見合った賃金が払えれば良いと思うか、現実には齟齬がある。
- 日本人の人口が減少してるから！
- 人口減少による衰退の防止。
- 働き手が減ってきているので、そういう意味での受け入れは良いと思う。
- 文化の違いから生まれる問題は多々あると思うので、そこは教育を含め、ただ単に増やせばよいという問題ではない。
- 安価な労働力としての受け入れではなく、多様性を高めるために受け入れ、受け入れを促進する体制をより整えるべきだとは思。
- 高齢者が増えて、若年層の働き手が減少していくから。
- 人手不足。
- 人手不足に有効だと思います。新しい文化なども知ることができると思われます。
- 経済活性化。
- 就労者の確保。
- 介護が人手不足なので働いてほしいです。
- あまり増えてほしくはないが、真面目な人達は歓迎したい。
- 人手不足を補ってもらえそうだから。
- 拒む理由がないので。
- 日本人の労働人口が減っているため。
- 人口減少に危機感があるから。
- 多文化と皆で触れ合うことで、子どもたちへ良い影響があると思う。
- 仕事での人材不足。
- 観光者が増え、町が盛んになると思ったから。
- 富士市は工業地域であり、人手不足の深刻化は懸念の一つである。受け入れざるを得ないのではないかと思います。
- 人手不足、人口減少。
- コンビニのレジなどでニコニコして明るくて良いと思いました。
- 就労人口を増やすためには良いと思うから。
- 日本人だけの労力では最早日本は立ち行かないから。

- 日本国内に生活している外国人はたくさんいます。富士市も受け入れていくべきだと思います。
- 積極的とは言わないが、受け入れていく方向にデメリットを感じない。
- 人手不足の、企業の手助けになるから。日本の技術を学ぶことができる。どちらにも良いことだと思う。
- 働く人口が減っていくため。
- マンパワーが足りていないようなので。
- マナーや、犯罪。一部のそう言う方々がいるのも事実だと不安な点もあるから。
- 現在でも外国人労働者を見かけるがとても真面目で印象が良いため。
- 製造現場の若手社員が激減、新入社員も入社してきません。
- 過疎が進んでいるのだから、異文化交流も含め新しい目線で前向きに受け入れて行くべきだと感じる。
- 富士市は工業が盛んなため仕事としてもお互いウィンウィンだと思う。
- 普段の生活から外国人と接する機会が増えることでお互いの文化などの理解が深まると思う。
- 必要があれば。
- 地域の産業の担い手として力をかしていただきたい。また外国の文化を知ることで視野が広がると思うから。
- 日本人の雇用先も確保する必要があると思うため。
- 富士山という日本のシンボルのような存在があるので、都会とも近いし、海外の方が気軽に日本文化に触れやすいのではないと思う。しかし「どちらかといえば」というのは、マナーが悪い人も多いため、怖いと感ずることがあるから。

【「どちらかといえば思わない」理由】

- 人材として必要でも、コミュニケーションが取りづらい。
- 今後日本人の人口が減る傾向にあり、外国人が増えることで地域文化の継承もなくなり、外国人による土地の買い取り、また、犯罪の増加があり（テレビの報道も多い）日本人の場合はその地縁、血縁等で犯罪は少ない、将来的には不安要素とも考えられる。
- 組合にいますが行事は一切参加しない。5年いるが組長の順番も断られる。
- 就労等で来日するならば身元保証をつけるべき。
- 治安が悪くなる気がする。
- 富士市に多くの国の人を受け入れる体制ができていないとは、全く思えない！
- 文化の異なりが大きな影響を与えている（よい面も悪い面も）。
- 積極的に…ではなくてもよいと思う。
- 市としての「外国人受入れ」のスキルがないと思うから。
- 治安の問題。
- マスコミ等で見聞するが、ルールを守らない。
- 集団でいるとこわい。
- 世話する人も大変でしょうが、ニュースとかで挫折して、問題をおこす事例も聞きます。
- 富士市に目的を持って来られるのなら受け入れてもよいと思う。
- 日本人だけのコミュニティの方が安心。
- 日本の若い人をもっと厚く優遇し育てる。
- 言葉で余りわかちあえない。
- 単純労働者が増えるのは好ましくない。
- クルド人問題などあるので。
- 人手不足だが、マナーの悪さが困る。
- きまりを守ってくれる方ならよいと思います。例：ごみ出し、他人の庭を通る。
- 労働者として考えているから。
- 今でも多いと感ずるので。
- 外国人が多すぎる。
- 必要以上に市の経費が増大します。
- 文化が違ふことで理解するのが難しいと感ずる人たちもいる。
- 行政が責任をもって地域のこと教えられるか？
- 文化の差、モラルの差を感ずるから。
- 富士山マナーなど。
- 市が積極的にという意味がわからない。企業が外国人を受け入れるということなら受け入れてもよいが、そのかわり日本（自治体）で生活するルールは知っておいてほしい。
- たとえば災害時とか、戦争など相手国の受け入れなど助け合うことはとても大事なことでと思うが、受け入れには厳しい検査が必要だと思う。
- 受け入れることには反対ではないが、積極的にとは思わない。
- マナーが悪い。
- 事情があつて住むのであれば考慮してあげればよい。
- 外国人の犯罪が多い、多くの人が入ってくると日本の文化に合わない、人が多くなり他国でも多くの問題が出ていると聞いている。
- 治安が悪くなると思う。
- 治安が悪化しているから。社会のルールを守らず、自国の価値観を押し付け、且つ外国人がからんでいる犯罪が増加してきているから。
- 積極的ではなく、状況による。
- 日本の文化、ルールをリスペクトしない者が多い。
- もうすでに多くいる。
- 日本人が生活しづらくなるのは困る。
- 治安が悪くなるような感じがする。
- 小競り合いがごみのこととかであるように聞いているので。
- ごみの出し方などトラブルが多くなりそう。
- 近所でドロボーに入られた。
- 住みにくいのは嫌だ。
- 受け入れは賛成だが、積極的でなくてもよいのでは。
- 積極的の必要を感ずないため。
- 言葉が通じないこと。ルールを知らないこと。
- 治安が心配。

- 昨今、外国人（長期滞在と思われる）のトラブルが日本全国で増えているため。
- 富士市には元々就職先が少ないし、文化的施設がなさすぎる。
- 介護や労働力として大きな力となっていることを見聞します。しかし、事件が多すぎる。
- 治安が心配、考え方や習慣の違いかも。
- 相手の人格等がわからないから。
- 就労は日常生活より大変だと想像します。
- 今のままで落ち着いているため。
- 反日、不法滞在、犯罪に関与しない身元のしっかりした外国人が入国することは問題ない。そうではない人間が容易に滞在できたり、日本の支援を受けたりできる制度には反対。現在はそういった精査がきちんとしてきていないと感じるため。
- 犯罪が増える。道徳レベル低下。
- 近所の外国人はゴミの分別ができない、日本の常識やルールが通じない人も多いから。
- ルールを守らない。地域住民と協力する文化がない。
- 日本人の雇用や給与額アップにもっと力を入れるべきだと思うから。
- 仕事の技術を勉強という体で受け入れているが、実際は企業が安い賃金と補助金目当てで雇っている所が多いので。
- 自国の文化をそのまま持ち込もうとする輩が多いと思うから。
- 文化の違いや考え方、宗教的な観点から、余り外国人が増えると不安に感じる。
- 受け入れるためのルールや環境が整っていないので。
- 名目上は技術や文化を学ぶと言うが、実際は出稼ぎ目的だから。中には前向きな外国人もいる。
- 宗教感覚や治安が心配。就労となると東南アジア系が多くなるので、浜松のようにするのは理想ではない。
- 外国人を就労で使う前に日本人を使ってほしい。
- 過剰に増えてほしくないから。ルール守る人ならいい。
- きちんとした枠組みで受け入れる分には賛成。日本語もできない、ルールやマナーも守れない、義務も果たせない方まで、受け入れありきで大量に受け入れることには賛成できない。学校でも、日本語ができない外国人家族がいて、そこへの対応に時間を割かれているとも聞きます。
- 治安等の維持。
- 外国人の犯罪などのニュースをよく聞くので。
- よい印象がないから。
- 真っ当な外国人なら受け入れてもいいが、日本の常識から逸脱した人は来ないでほしい。
- 日本人の雇用をまず考えてほしい。
- 犯罪が増える可能性が高まる。外国人自身の犯罪、外国人を利用する日本人の犯罪、両方。
- 治安面の問題が考えられる。
- 犯罪とかが怖い。
- 悪い人もいるので治安の悪化につながる可能性がある。
- これ以上増えることは望ましくないと考える。多くの考えや思想を迎える器がない。
- 日本人を増やしたほうがいいと思うから。
- 自国で就労しない外国人は、能力または立場的に問題があり、他国にて就労を希望する事例が多い。就労にて積極的に富士市が外国人を受入れたとしても、就労終了後、及び就労受入れ失敗時の帰国管理に市政として問題があり、結果的に不法あるいは未管理の移民が市内に増える可能性が高いため、どちらかといえば受入れに賛成できない。
- 都会ほど受け入れが多く見受けられるがサービスの低下を感じるため。
- 富士市では工場等の外国人の働き口が多くあると思うが、騒音問題やゴミの処分等、日本国内のルールを周知させる基盤が整っていないと感じる理由があるため
- 働き手が増えたり地域の活性化にも繋がると思うが、やはり外国人に対して使われるお金が増え、日本人に対して使われるお金が減ってしまうため。また、一部の外国人のマナーの悪さは少し怖いと感じてしまうため。
- バランスが大事。
- 日本語が全て通じるわけではないため、仕事などのコミュニケーションが難しい。
- 治安が悪くなる。
- 交通ルールを守れていない方を目の当たりにしたことがあるので。
- 労働力は魅力的だが治安の不安があるから。
- 増え続けるのはリスク。人手不足問題は外国人に頼らない方法を考えつつ、一定数の受け入れを検討したほうが良いと思う。
- 限度を決めてほしい。制限なくは反対です。
- 外国の方との意思疎通がきちんとできるのかどうかわからないから。
- 文化や生活習慣・マナーなどが違うから。
- いろんなバックボーンを持つ多様な外国人を受入れ体制ができていない状態で受入れる事は、双方にとって良くないことだと思う。
- 安い労働力を利用して外国人があまりにも多くなる環境は良くないと考える。手に職をつけられず、犯罪をしてしまう現状を有り得る。
- 富士市の生産人口が減少している中、外国人の長期滞在者が増えると家族滞在者も増えることが見込まれ、結果的に社会保障等の面で市民の負担が増えると思う。また、元々外国人が多くないため外国人に対して閉鎖的な土地だと思う。
- 外国人による犯罪など増えているため。
- 犯罪があるから。
- ①低賃金・劣悪な労働環境：外国人労働者が、日本人労働者よりも低い賃金で、過酷な労働条件で働かされるケースが問題視されています。このような状況が続くと、労働市場全体が健全性を失い、日本人労働者にとっても不利益をもたらすという見解です。②地域社会との摩擦：言葉の壁や生活習慣、文化の違いから、外国人との間でトラブルが発生したり、既存のコミュニティが分断されたりするのではないかという懸念があります。特に、教育やゴミの出し方、騒音などが問題になることがあります。③ヨーロッパでの失敗：移民コミュニティが、主流社会とほとんど交流せず、独自の言語や文化、価値観を守りながら生活する「平行社会（parallel societies）」を形成しました。これにより、社会全体の一体感が失われ、相互理解が進まなかったとされています。以上の理由により外国人の受け入れは積極的にはしない方が良いと考えます。
- すでにかなりの外国人がいるから。
- 川口のように、治安が悪化することが怖い。
- 人口減少、生産人口減少の側面より人口増加税収が上がるという面であればメリットであると感じますが、そのために補助金を出したり（過去にスミドキ40などの県外日本人移住者受入れのスキームがあったと思いますが）するのは費用対効果から言ってもあまり全体のパイからすると数的にみてあまり現状メリットにならない可能性があります。現在外国人市民6000人前後、富士市の人口対比率2%ほどかと推測されます。しかしながら日本の人口が半分になれば単純計算4%ですがそうなる前であっても受け入れ比率も上がれば10%~15%のラインに来ることも想定はできると感じます。そうなった場合、施作ない場合は他市や他県に出遅れる可能性があります。単純な補助金ではなく魅力的なまちづくりや雇用体制の市と民間企業の歩みよりが必要だと感じます。
- 犯罪増加の懸念あり。

- 治安が悪くなる。
- 日本のルールを知っているかは分からないが、日本人だったらしないようなことをしてる人が多いので。
- なんとなく。

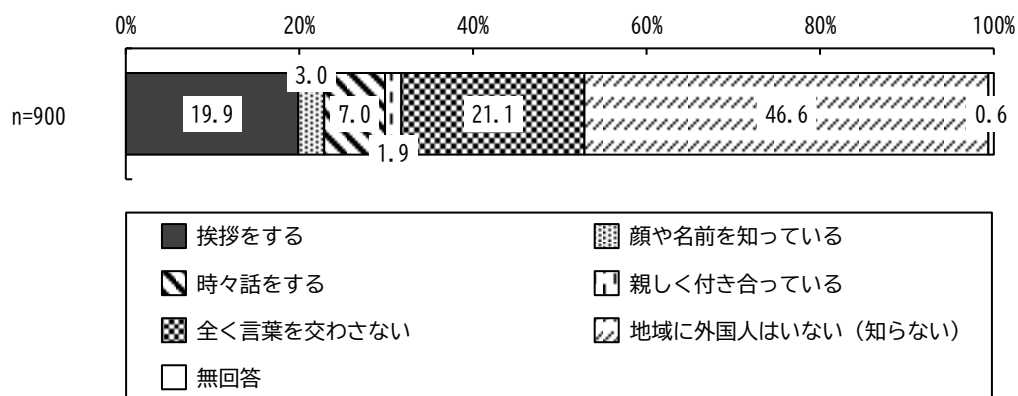
【「思わない」理由】

- ルールを守れない方々が多いため。
- 仕事なくなる。
- 治安が悪くなる。外国人にお金を使うから（支援とか）。
- 積極的に入れた後のことを考えるべき。
- 積極的に受け入れる必要はないと思うから。対応できる体制が整っているのか？そのための人件費や労力が必要なのでは？
- 文化的な違い。
- 富士市は、日本人富士市民のための街です。
- 将来地域が外国人に支配されるようにならないか不安だ。
- 日本が外国化しつつよさがなくなり始めている。
- 必要ないから。
- それぞれの国が持っている習慣や伝統のなかで生きてゆけばよいと思う。
- 川口のクルド人のような方たちが増えるのは望みません。
- 治安の悪くなること。
- 人による。無制限にだれでも、というのはNG。
- 必要なし。
- 犯罪が増える、ルールを守らない。
- 政治がしっかりしていない。
- 外人を受け入れる前に、出生率を上げるべき。
- よい印象がない。
- 外国人より日本人の就労について考えてもらいたい。
- 周りにいるがマナーが悪い人が多い。
- 地域が乱れると嫌だから。
- 怖い。
- ルールを守る。守らない外国人をちゃんと選別、取り締まりできないなら反対。
- 日本文化が理解できない外国人が結果的に増えて迷惑行為、犯罪の増加が不安。
- すでに街中でよく見かけるくらい多く居て、大抵集団で行動しているので、やや近寄りがたい。
- しいて必要がない。
- 現在、工業団地周辺の外国人のマナーが悪すぎる。交通ルールや買い物時の態度。
- 他地域のニュースなどを見ると、就労しに来てるからといって、日本に好意的な人ばかりではないと思うから。
- 言葉が通じない。
- よくない。
- 環境や文化、常識などの違いから最近ではトラブルにつながる人が多いと感じている。
- 就労等での中長期滞在は基本的に金銭目的であり、そのような人には来てほしくない。日本人だけで対応できるような社会の仕組み、教育等をして日本人純粋な地域でありたい。
- 日本という国にいて、何故日本人を優先せず外国人を積極的に受け入れるべきなのか理解に苦しむ。中長期在留外国人であれば、いずれ国に帰る可能性が高く人口等は定着せず、それは富士市の人口増加、経済発展にはつながらない。また、埼玉県川口市のように、外国人コミュニティによる犯罪の増加、治安の悪化を招く。もちろん国籍を問わず、高度な技術・文化を有する外国人を招き、富士市の経済発展等に寄与していただける人物であれば受け入れるべきであるが、現実には技能実習生が多数であり受け入れるべきではない。外国人を積極的に受け入れる体制をとる時間、お金で日本人を積極的に富士市に受け入れるべきではないでしょうか。
- 自分の生活において必要性がない。
- 治安が悪くなる。
- 日本人の雇用機会が減る。
- 受け入れるだけのキャパシティがない。
- 日本人の仕事から減るから。
- 以前に比べてすごく多くなっていると思う。車の運転が危険だったり公共の場でのマナーなどに嫌悪感を感じることも多い。
- 労働力が必要でも、日本人に迷惑かける。
- 日本人を増やす方針をもっと考えてほしい。
- 言語の差も、文化の差もあり、共生は難しいと思うから。マナーの悪い外国人の問題を解決してもらわないことには一緒に地域で暮らしていくことに恐怖を感じるから。
- 逆に日本人への就労支援はちゃんと行っていると思っていますか？働く女性の支援、私は満足できません。そんな中外国人への支援を優先する意味が分かりません。日本は日本人のための政策を先に考えるべきです。市民の声をしっかり聞いてください。
- 犯罪発生率、社会的秩序の乱れに繋がる恐れがある。
- 外国人は日本のマナーを知らない人が多く、日本国内で日本人と共生すると、日本人が快適に生活することができなくなるから。
- 治安が悪い、怖い。
- 治安等の不安が拭えない。
- マナーを守らない。
- 外国人のマナー違反問題、犯罪が多すぎるから。
- 受け入れをした自治体はことごとく犯罪が増えてるから。
- 外国の方のせいばかりではないですが、浜松など外国人が多い街はやはり事件が多いので。
- 厚切りジェイソンやデーブ・スペクターくらい日本のことを学んで、日本語を話せるようになってから滞在されれば良いとは思う。
- マナーの悪い外国人が多いから。
- 外国人が夜中に騒いだりルールを守らない人の割合が日本人に比べて多かったり共生していくことで多くの課題があるため。
- 治安の悪化。
- まずは富士市に住む日本人の生活の質をあげてほしい。
- 中～長期の期間の扱いが不明瞭で具体的な期間が示されていないから。

- 富士市は元々、治安がいい街とは言えません。それでも大きな問題となっていないのはお互いが日本人だからです。この国の法で裁くことができ、話し合いで解決することもできます。しかし、外国籍の方が相手では少し難しくなります。自らが進んで争いの火種を持ち込む必要はないと思います。
- 現在でもルールが守れず、日常生活にも迷惑をかけて困っている。
- 日本人の雇用が脅かされる。また、汚い仕事ばかり外国人にやらせられない。
- 治安悪化の懸念。
- 日本に馴染もうとする姿があまり見られない方々を見かけるため。
- まずは富士市の日本人の人口を増やす政策が先。外国人を増やすのはその後からゆっくりやれば良い。
- 免許を取り直したりその人が来る国から補助が出る等、日本人の生活に支障がでないならいいかもしれません。
- 社会が混乱する。まず自国民の減税や十分な社会保障が優先。何故外国人と共生しなくてはならないのか意味がわからない。
- 仕事を奪われそうだから。

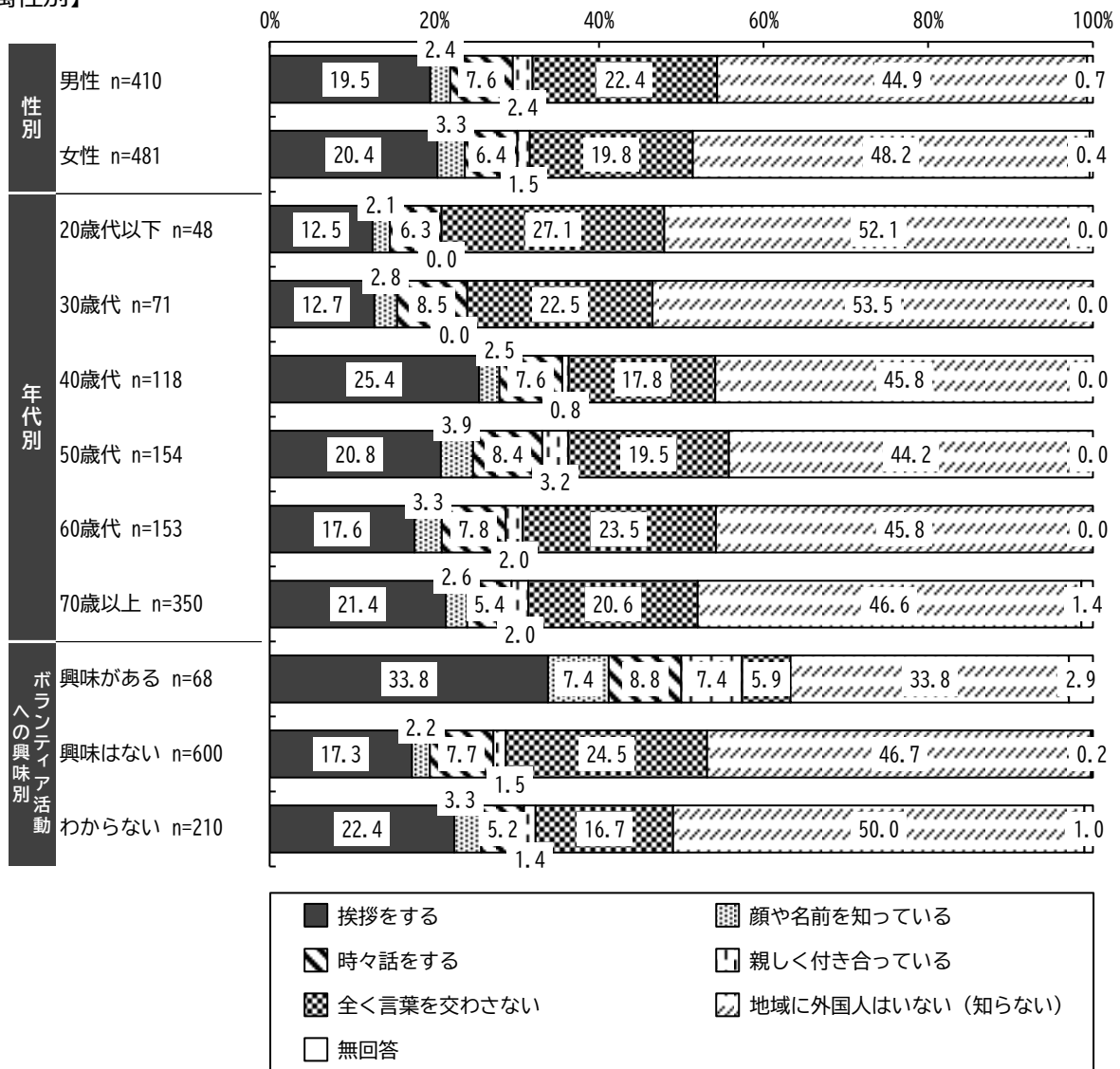
（７）現在、地域の外国人とどのような付き合いをしているか

問12 あなたは現在、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。（○は1つ）



現在、地域の外国人とどのような付き合いをしているかについては「挨拶をする」が19.9%「顔や名前を知っている」が3.0%、「時々話をする」が7.0%、「親しく付き合っている」が1.9%となり、これらを合わせた『付き合いがある』割合は31.8%となっている。一方、「全く言葉を交わさない」は21.1%、「地域に外国人はいない（知らない）」は46.6%となり、これらを合わせた『付き合いはない』割合は67.7%となっている。

【属性別】

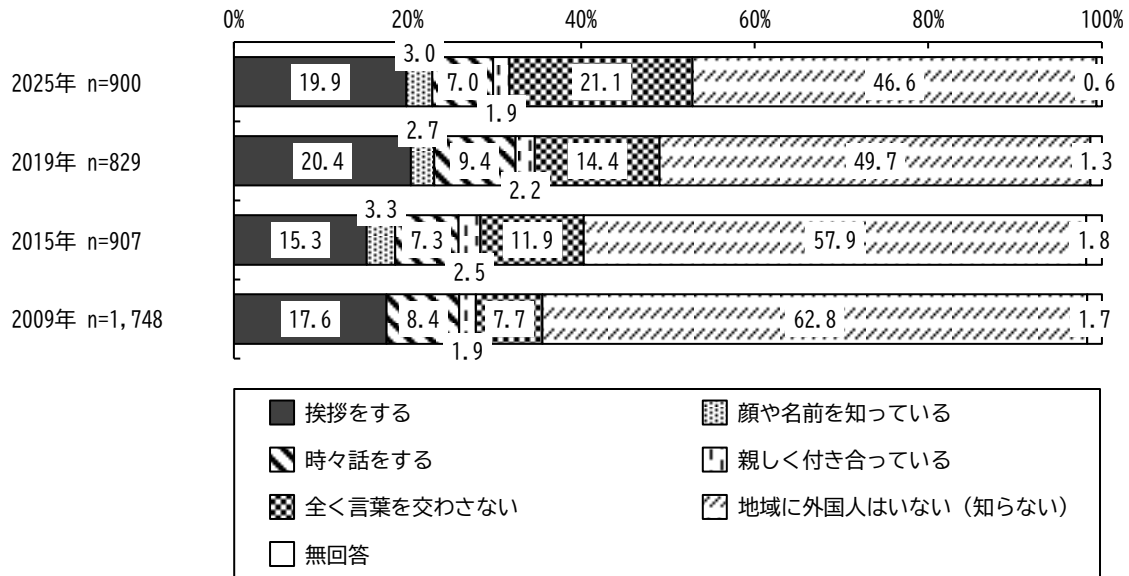


性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、40歳代で「挨拶をする」が25.4%となっている。また、20歳代以下・30歳代で『付き合いはない』割合がそれぞれ7割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、「挨拶をする」は興味がある人が33.8%、興味はない人が17.3%となり、16.5ポイントの差となっている。

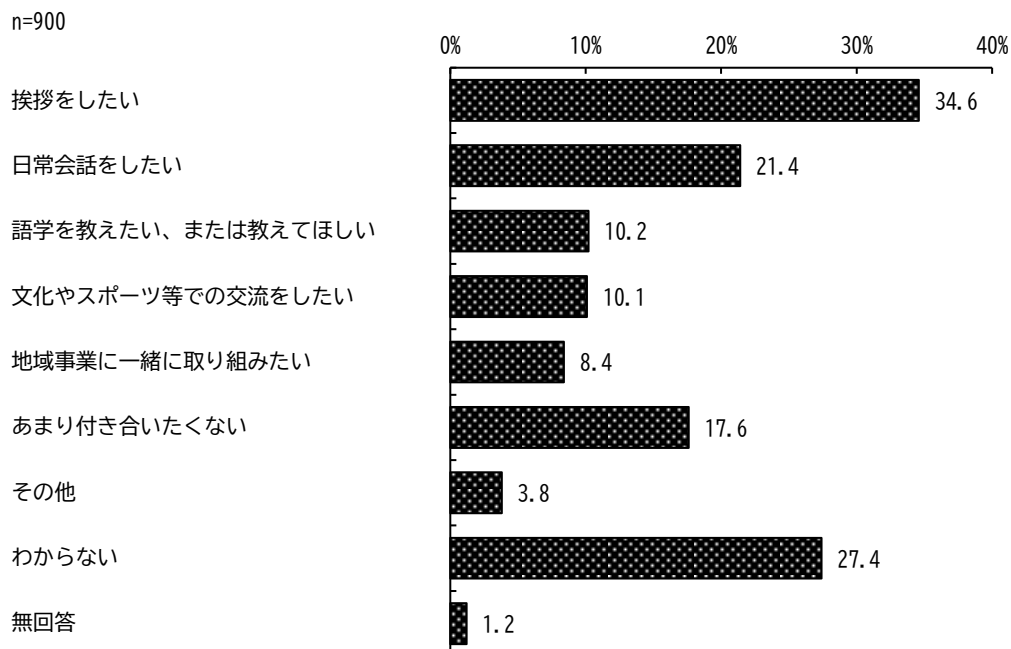
【経年比較】



経年比較では、「全く言葉を交わさない」が前回調査から6.7ポイント高くなっている。

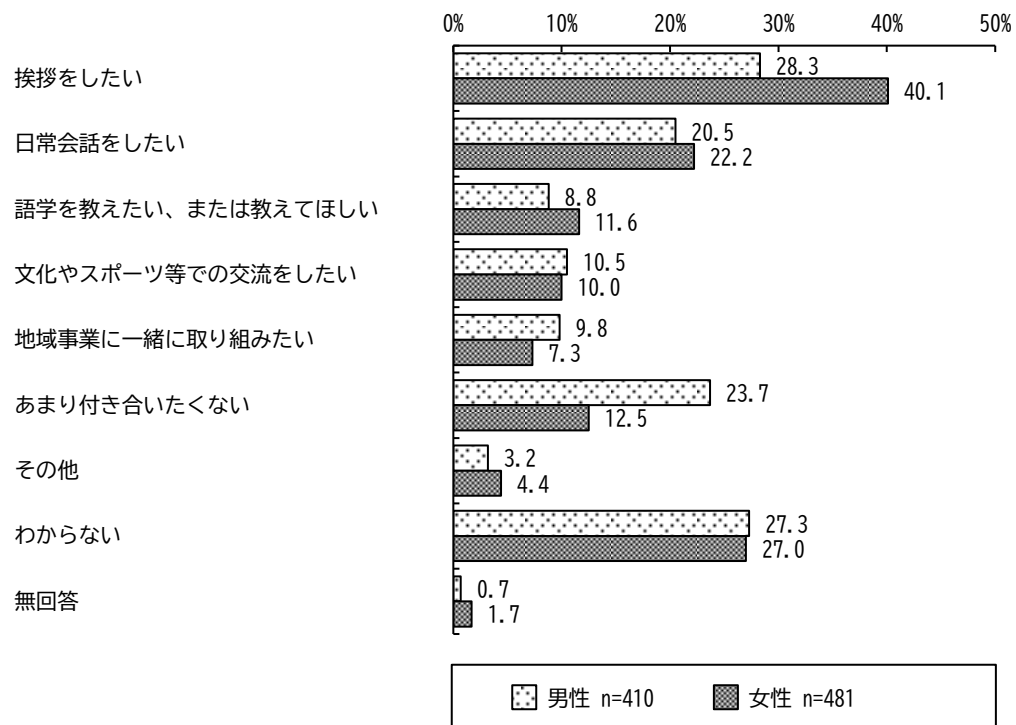
（８）今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいか

問13 あなたは今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。（○はいくつでも）



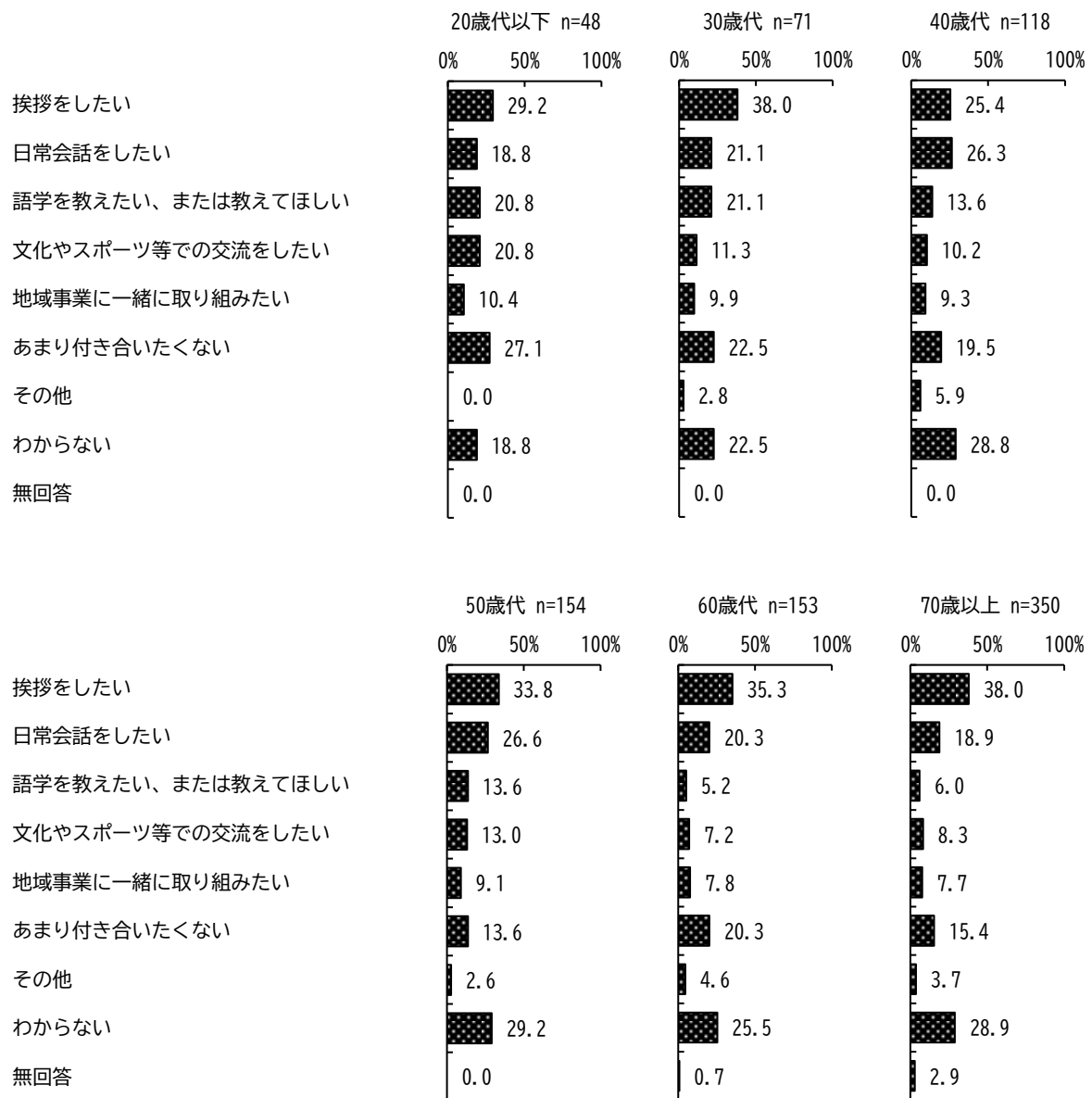
今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいかについては「挨拶をしたい」が34.6%、「日常会話をしたい」が21.4%、「語学を教えたい、または教えてほしい」が10.2%、「文化やスポーツ等での交流をしたい」が10.1%、「地域事業と一緒に取り組みたい」が8.4%などとなり、何らかの『交流意向がある』割合は53.8%となっている。一方、「あまり付き合いたくない」は17.6%、「わからない」は27.4%となっている。

【性別】



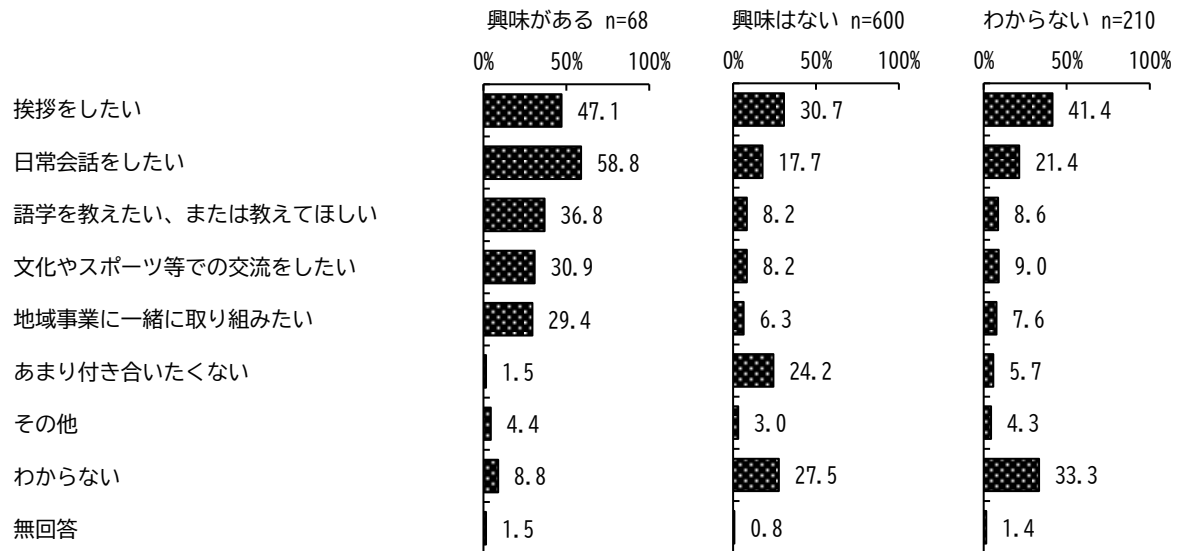
性別にみると、「挨拶をしたい」は男性が28.3%、女性が40.1%となり、女性が男性を11.8ポイント上回っている。一方、「あまり付き合いたくない」は男性が23.7%、女性が12.5%となり、男性が女性を11.2ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、30歳代・50歳代・60歳代・70歳以上は「挨拶をしたい」が3割以上となっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「日常会話をしたい」は興味がある人が58.8%、興味はない人が17.7%となり、41.1ポイントの差となっている。また、「あまり付き合いたくない」は興味がある人が1.5%、興味はない人が24.2%となり、22.7ポイントの差となっている。

【経年比較】

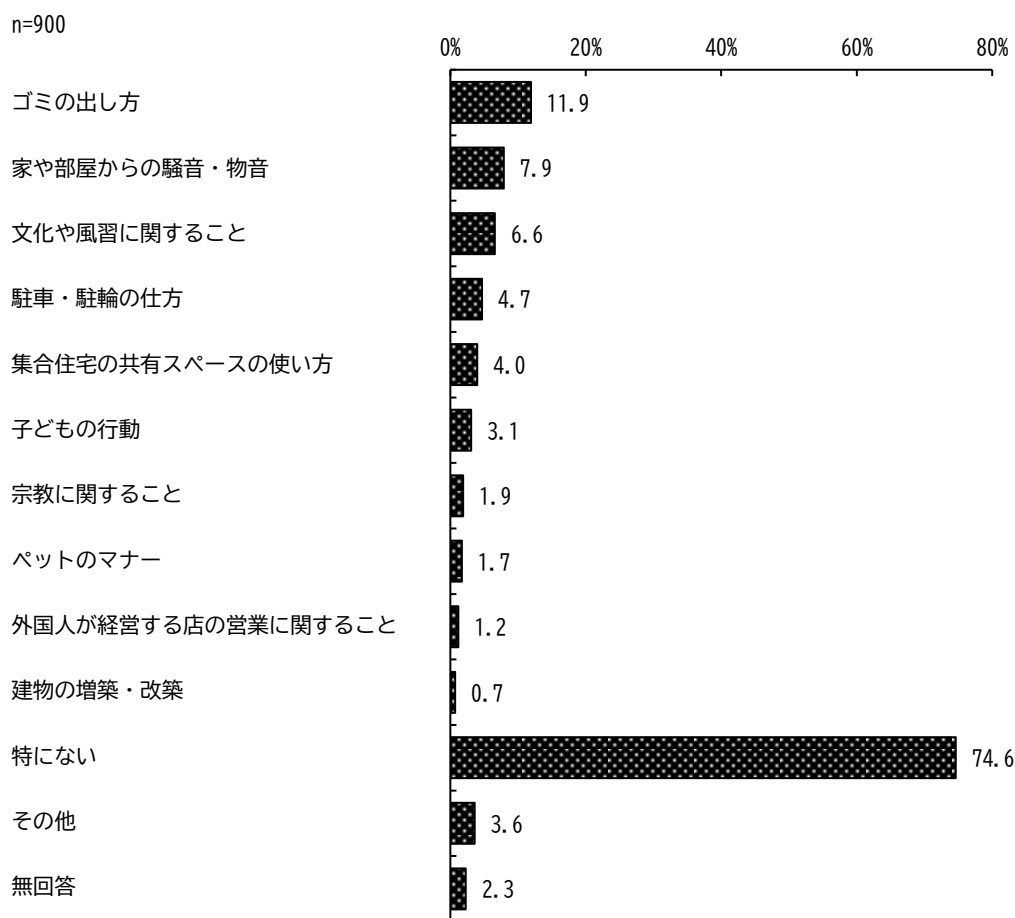
	挨拶をしたい	日常会話をしたい	語学を教えたい、または	文化やスポーツ等での交	地域事業と一緒に取り組	あまり付き合いたくない	その他	わからない	無回答
2025年 n=900	34.6	21.4	10.2	10.1	8.4	17.6	3.8	27.4	1.2
2019年 n=829	35.1	24.4	14.6	16.2	13.5	9.4	3.1	25.7	1.7
2015年 n=907	33.4	27.1	12.1	13.1	12.1	12.2	2.8	26.0	2.1

経年比較では、「あまり付き合いたくない」が前回調査から8.2ポイント高くなっている。

（９）今までに地域で外国人住民との間にトラブルがあったことはあるか

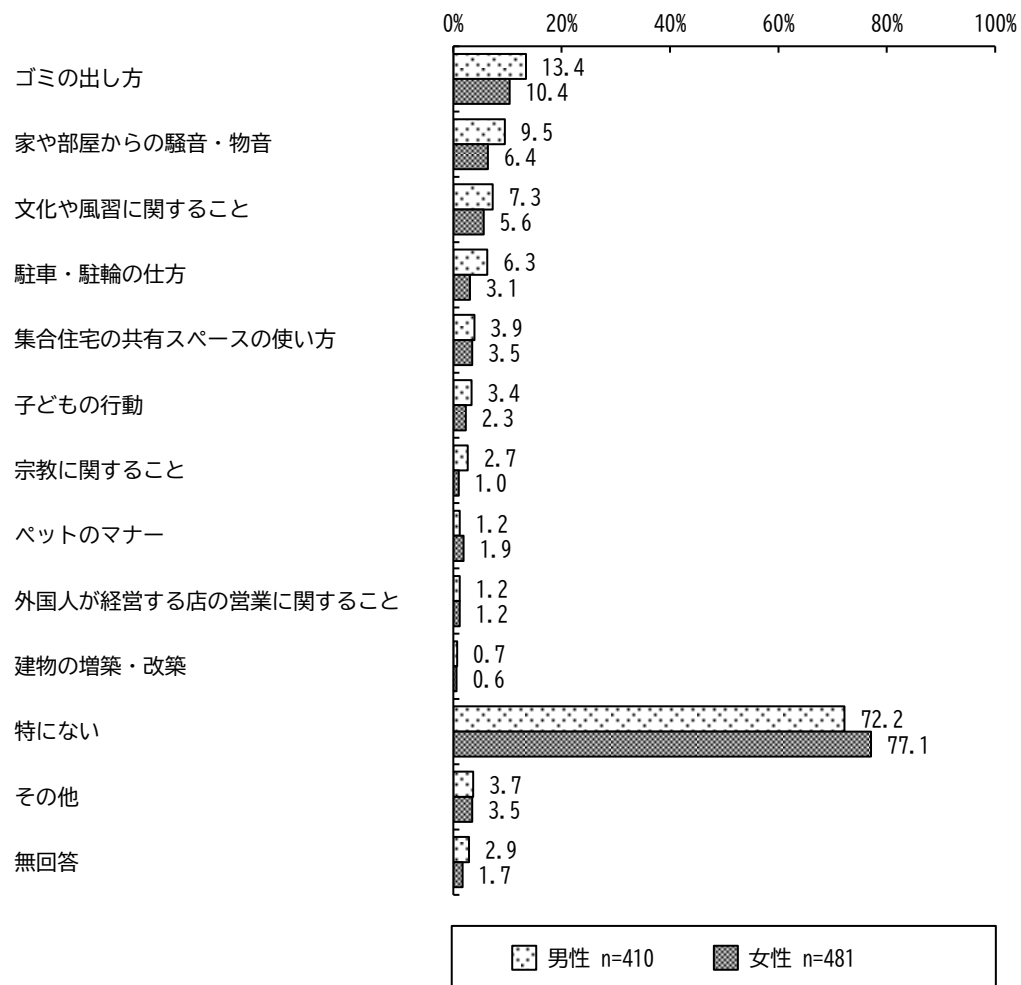
問14 あなたは、今までに地域で外国人住民との間にトラブルがあったことはありますか。

（あてはまるものすべてに○）



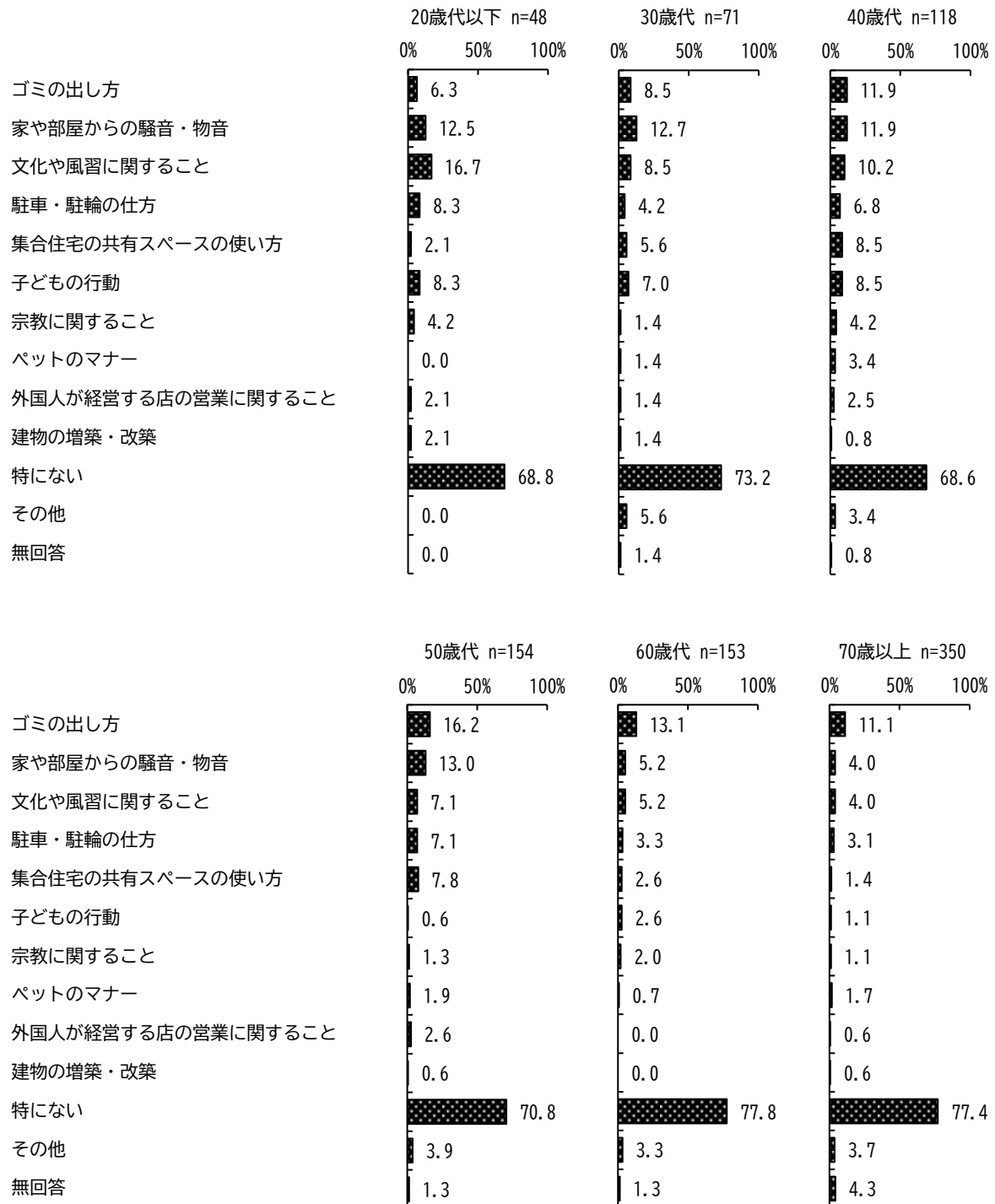
今までに地域で外国人住民との間にトラブルがあったことはあるかについては「ゴミの出し方」が11.9%と最も高く、次いで「家や部屋からの騒音・物音」が7.9%、「文化や風習に関すること」が6.6%、「駐車・駐輪の仕方」が4.7%などとなり、これらを合わせた『トラブルがあった』割合は23.1%となっている。一方、トラブルは「特にない」は74.6%となっている。

【性別】



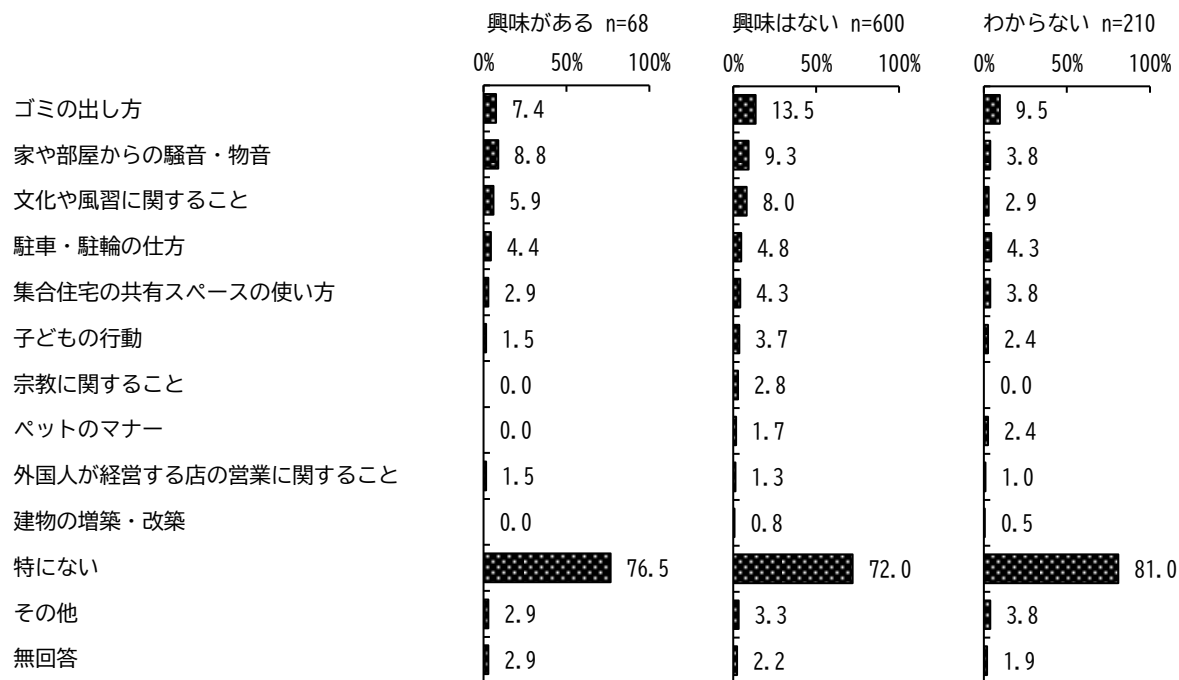
性別にみると、「特にない」は男性が72.2%、女性が77.1%となり、女性が男性を4.9ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、大差はみられない。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、大差はみられない。

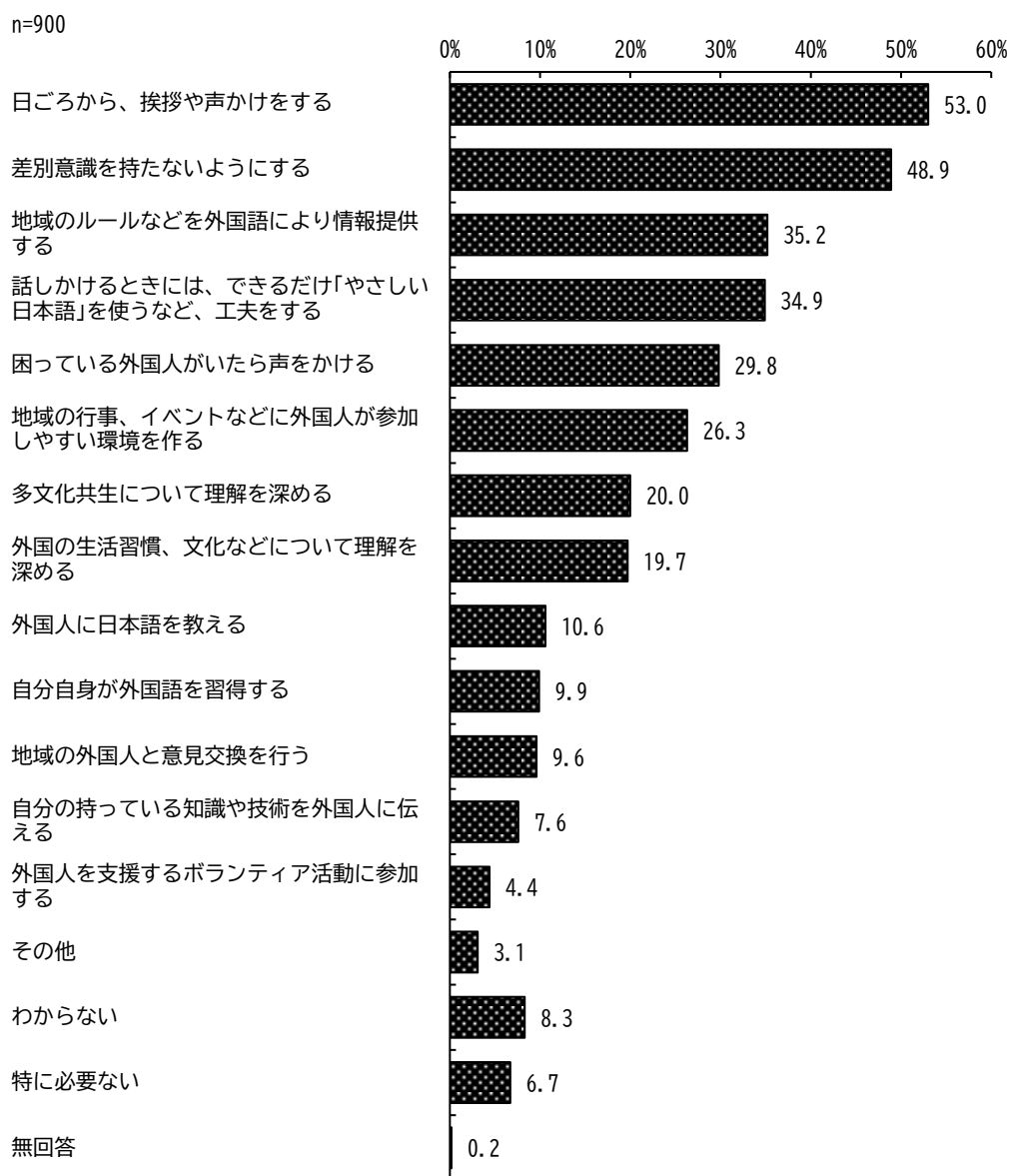
【経年比較】

	ゴミの出し方	音 家や部屋からの騒音・物音	文化や風習に関すること	駐車・駐輪の仕方	集合住宅の共有スペースの使い方	子どもの行動	宗教に関すること	ペットのマナー	外国人が経営する店の営業に関すること	建物の増築・改築	特になし	その他	無回答
2025年 n=900	11.9	7.9	6.6	4.7	4.0	3.1	1.9	1.7	1.2	0.7	74.6	3.6	2.3
2019年 n=829	6.3	5.2	3.5	2.4	2.8	1.9	1.3	1.3	1.2	0.2	80.5	4.2	4.5

経年比較では、「ゴミの出し方」が前回調査から5.6ポイント高くなっている。

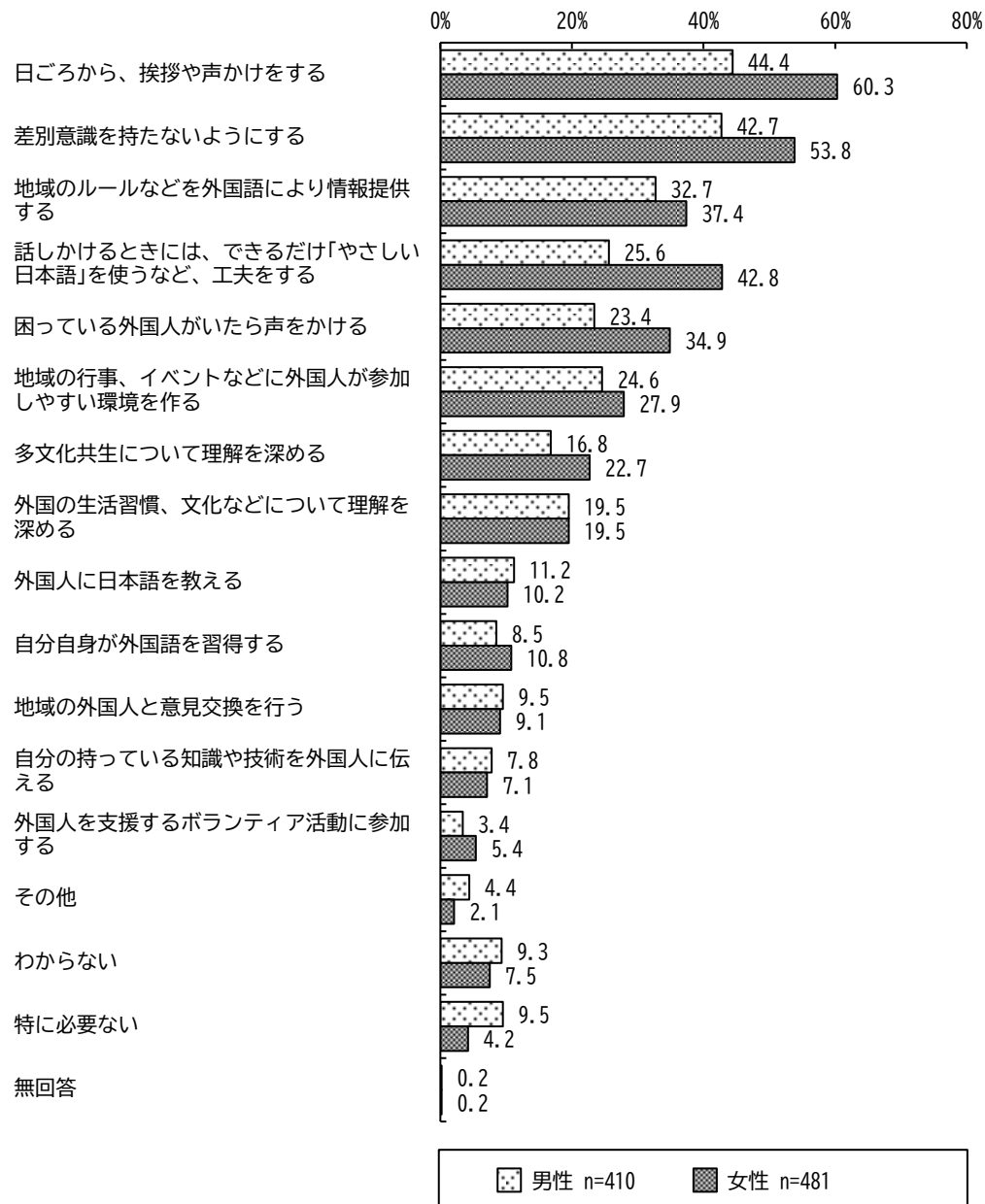
(10) 富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人に必要なこと

問15 あなたは、富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）



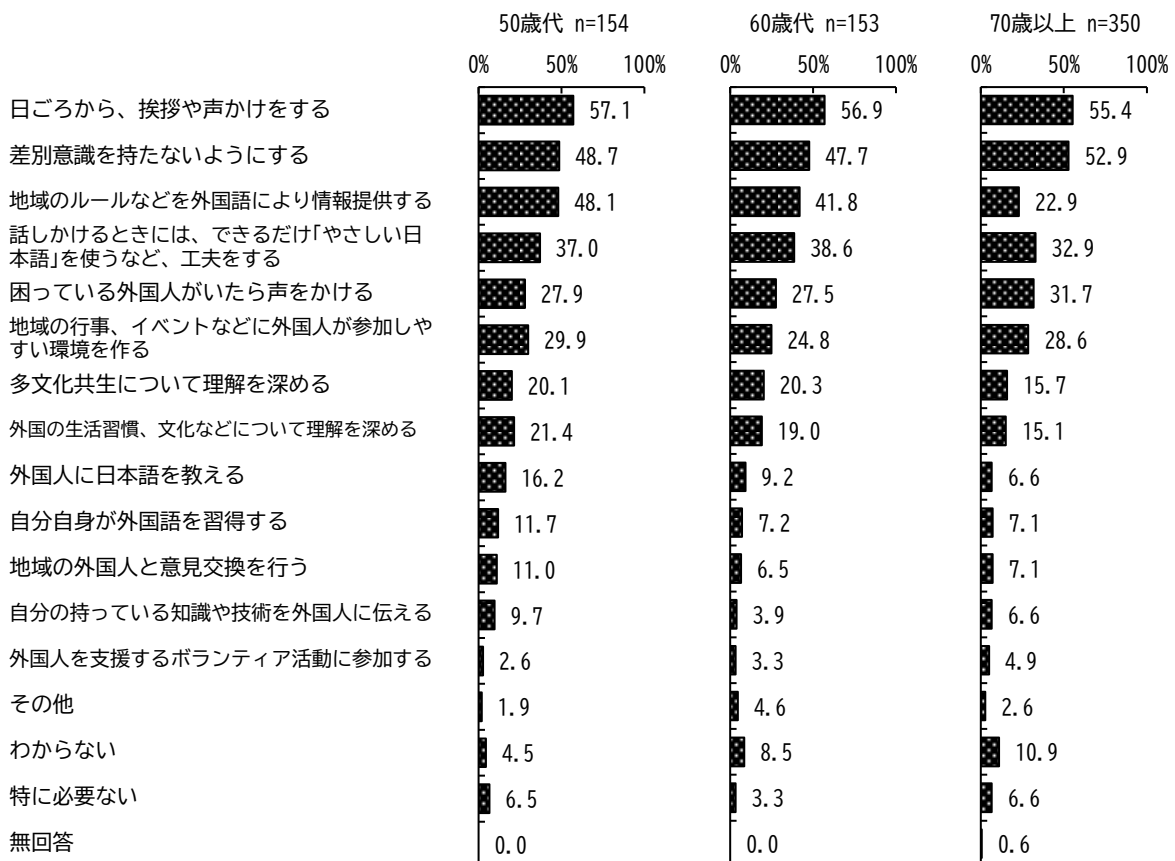
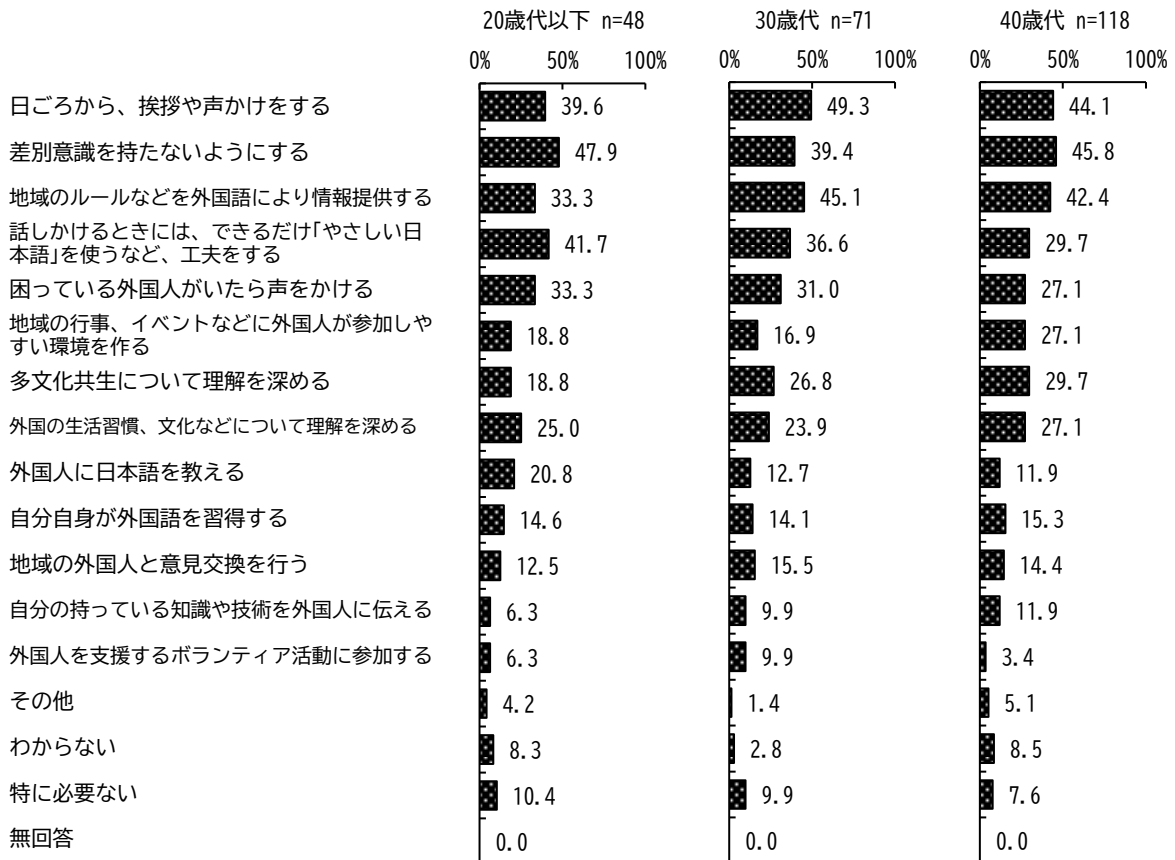
富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人に必要なことは「日ごろから、挨拶や声かけをする」が53.0%と最も高く、次いで「差別意識を持たないようにする」が48.9%、「地域のルールなどを外国語により情報提供する」が35.2%、「話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫をする」が34.9%などとなっている。一方、「わからない」は8.3%、「特に必要ない」は6.7%となっている。

【性別】



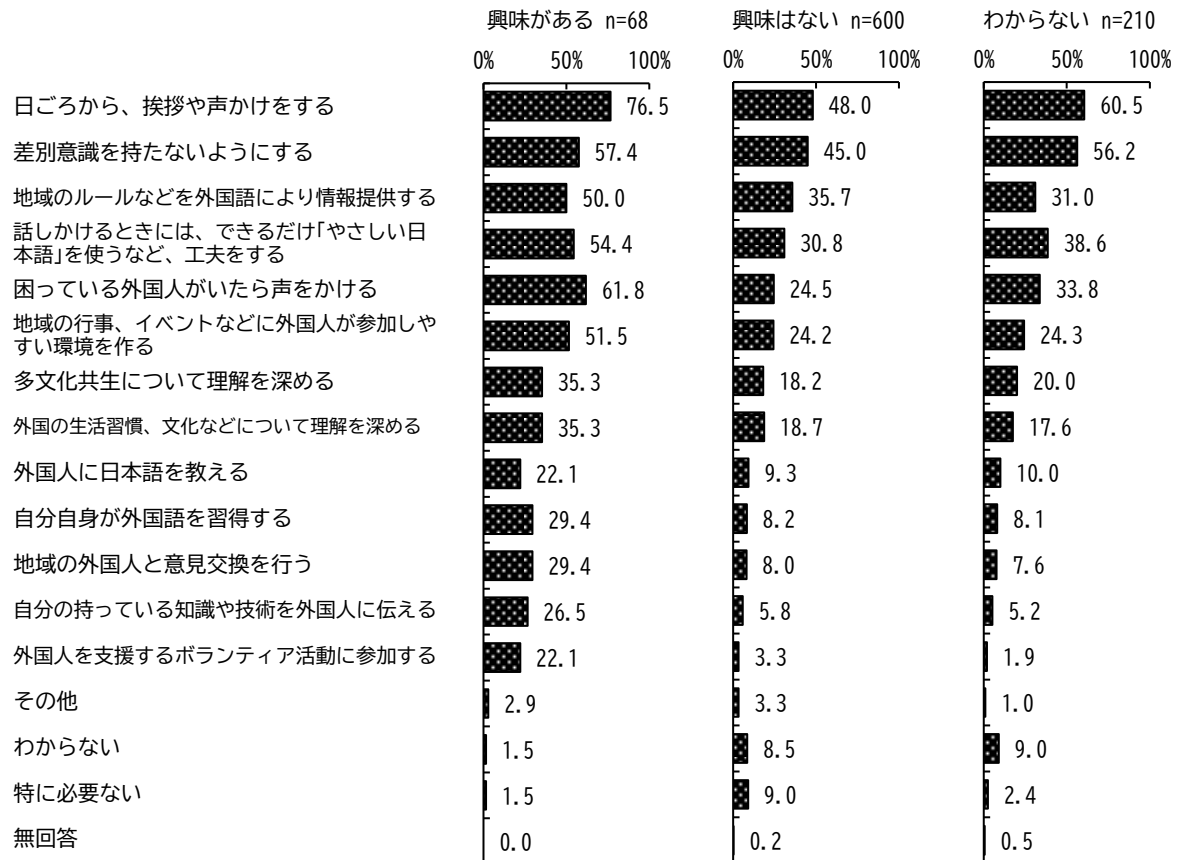
性別にみると、女性が男性を上回っている項目が多い。

【年代別】



年代別にみると、50歳代・60歳代・70歳以上は「日ごろから、挨拶や声かけをする」が5割以上となっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人は全ての項目において回答の割合が高くなっている。

【経年比較】

(%)

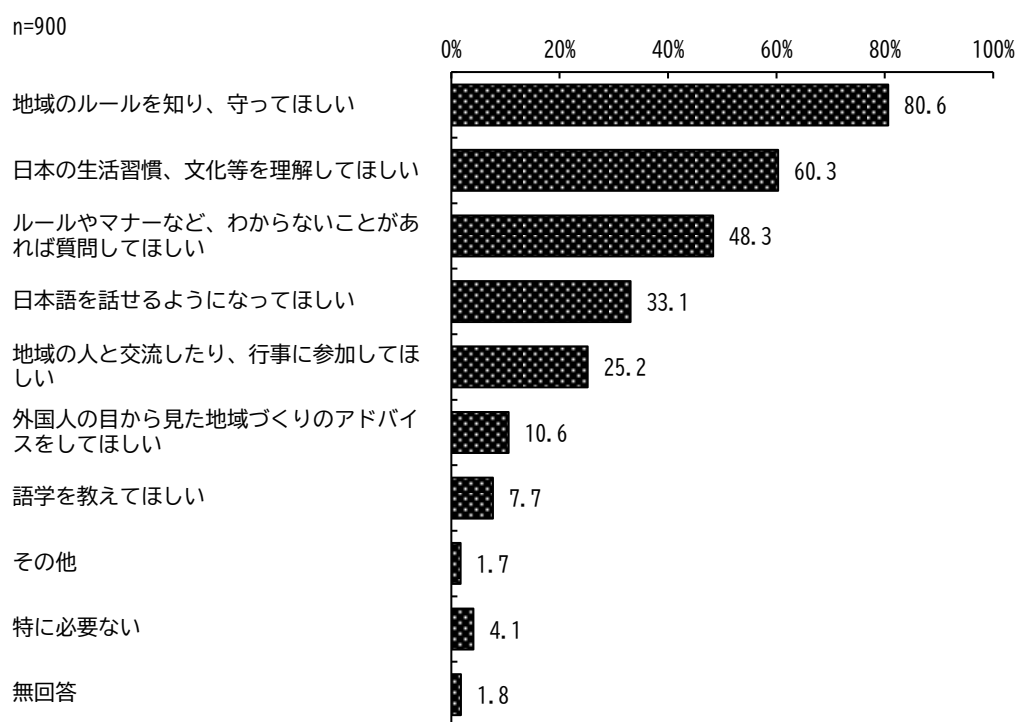
	外国人に日本語を教える	外国の生活習慣、文化などについて理解を深める	多文化共生について理解を深める	地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る	困っている外国人がいたら声をかける	話しかけるとときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫をする	地域のルールなどを外国語により情報提供する	差別意識を持たないようにする	日ごろから、挨拶や声かけをする
2025年 n=900	<div><div></div></div> 10.6	<div><div></div></div> 19.7	<div><div></div></div> 20.0	<div><div></div></div> 26.3	<div><div></div></div> 29.8	<div><div></div></div> 34.9	<div><div></div></div> 35.2	<div><div></div></div> 48.9	<div><div></div></div> 53.0
2019年 n=829	<div><div></div></div> 12.8	<div><div></div></div> 25.5	<div><div></div></div> 24.5	<div><div></div></div> 38.1	<div><div></div></div> 32.6	<div><div></div></div> 34.9	<div><div></div></div> 32.4	<div><div></div></div> 53.3	<div><div></div></div> 64.3
2015年 n=907	<div><div></div></div> 10.4	<div><div></div></div> 25.8	<div><div></div></div> 20.7	<div><div></div></div> 39.4	<div><div></div></div> 32.1	<div><div></div></div> 37.5	<div><div></div></div> 27.2	<div><div></div></div> 59.8	<div><div></div></div> 61.6

	する自分自身が外国語を習得	を地域の外国人と意見交換	技術の持つて外国人に伝える	外国人を支援するボランティア活動に参加する	その他	わからない	特に必要ない	無回答
2025年 n=900	9.9	9.6	7.6	4.4	3.1	8.3	6.7	0.2
2019年 n=829	13.9	11.0	8.8	4.7	1.8	6.6	4.2	0.7
2015年 n=907	12.2	9.6	9.6	5.2	1.2	6.9	3.6	1.9

経年比較では、「日ごろから、挨拶や声かけをする」が前回調査から11.3ポイント低く、「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る」が前回調査から11.8ポイント低くなっている。

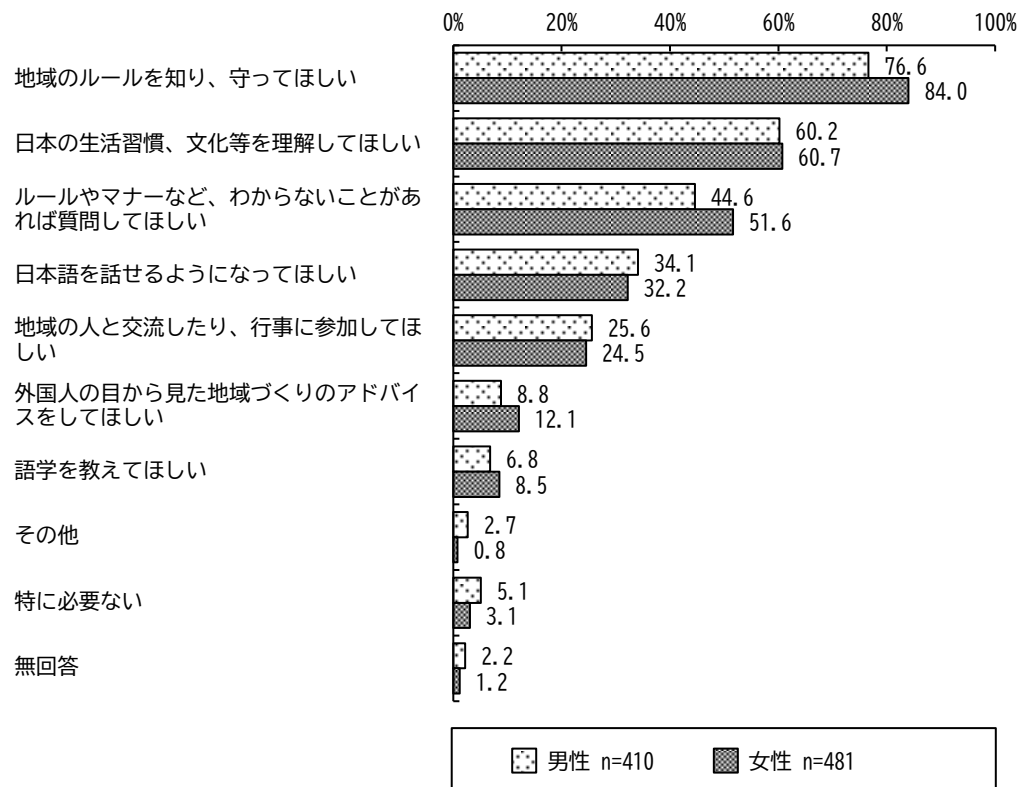
(11) 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人に希望すること

問16 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)



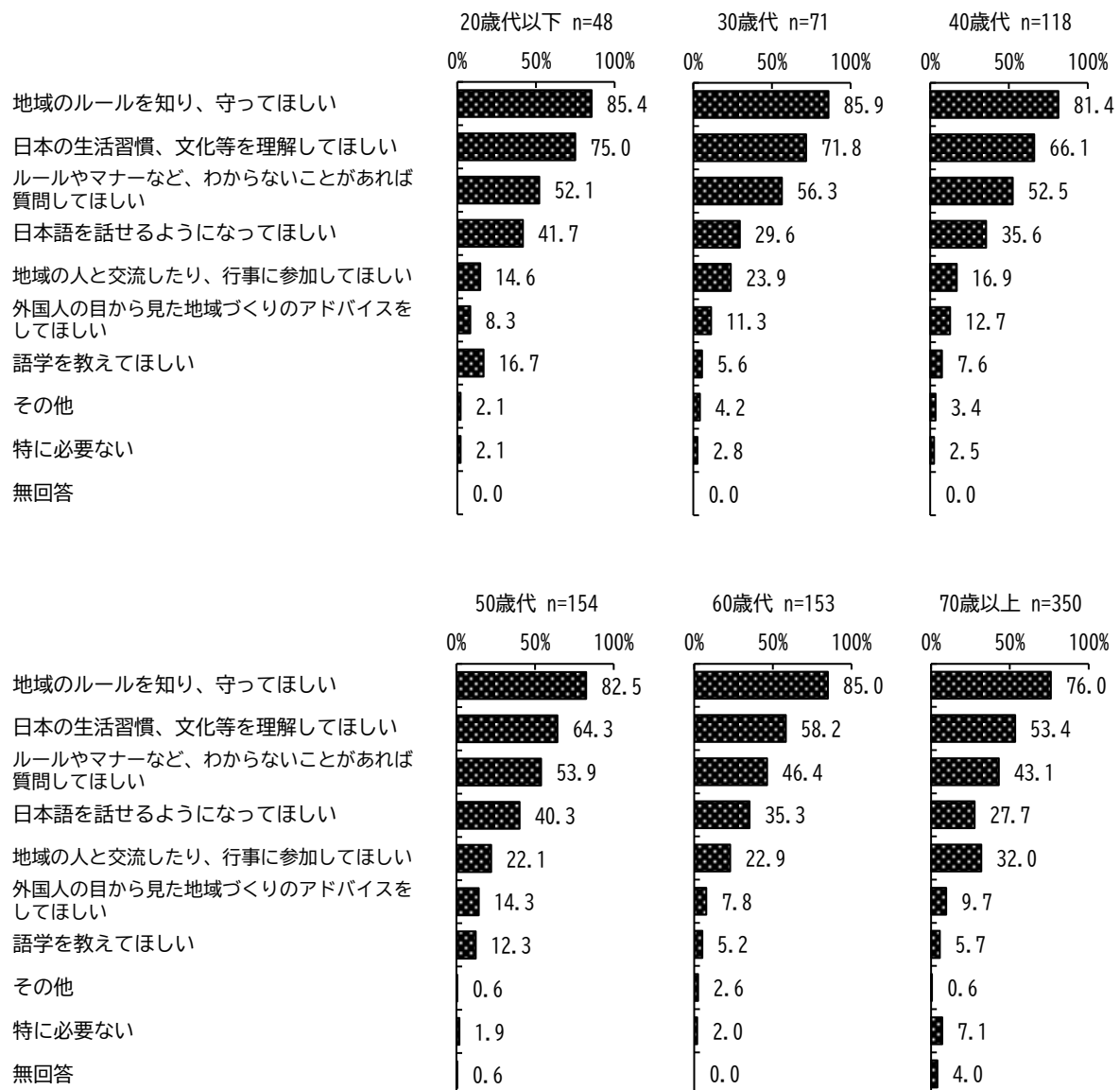
富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人に希望することは「地域のルールを知り、守ってほしい」が80.6%と最も高く、次いで「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」が60.3%、「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」が48.3%、「日本語を話せるようになってほしい」が33.1%などとなっている。また、「特に必要ない」は4.1%となっている。

【性別】



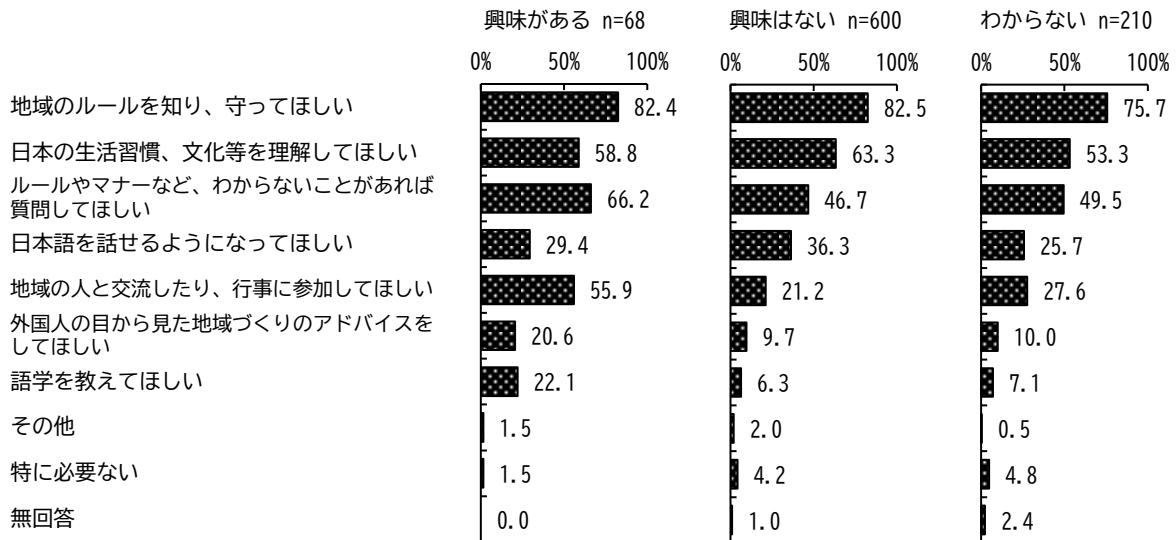
性別にみると、「地域のルールを知り、守ってほしい」は男性が76.6%、女性が84.0%となり、女性が男性を7.4ポイント上回り、「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」は男性が44.6%、女性が51.6%となり、女性が男性を7.0ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、全ての年代で「地域のルールを知り、守ってほしい」が最も高くなっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「地域の人と交流したり、行事に参加してほしい」は興味がある人が55.9%、興味はない人が21.2%となり、34.7ポイントの差となっている。

【経年比較】

	地域のルールを知り、守ってほしい	日本の生活習慣、文化等を理解してほしい	ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい	日本語を話せるようになってほしい	地域の人と交流したり、行事に参加してほしい	外国人の目から見た地域づくりのアドバイスをほしい	語学を教えてほしい	その他	特に必要ない	無回答
2025年 n=900	80.6	60.3	48.3	33.1	25.2	10.6	7.7	1.7	4.1	1.8
2019年 n=829	73.9	58.0	49.3	31.8	32.9	14.0	11.8	2.3	3.9	1.4
2015年 n=907	65.2	55.8	40.9	32.0	34.7	14.6	13.3	1.0	6.4	2.2
2009年 n=1,748	62.8	64.8		37.8	36.9	16.1		2.1	2.9	1.9

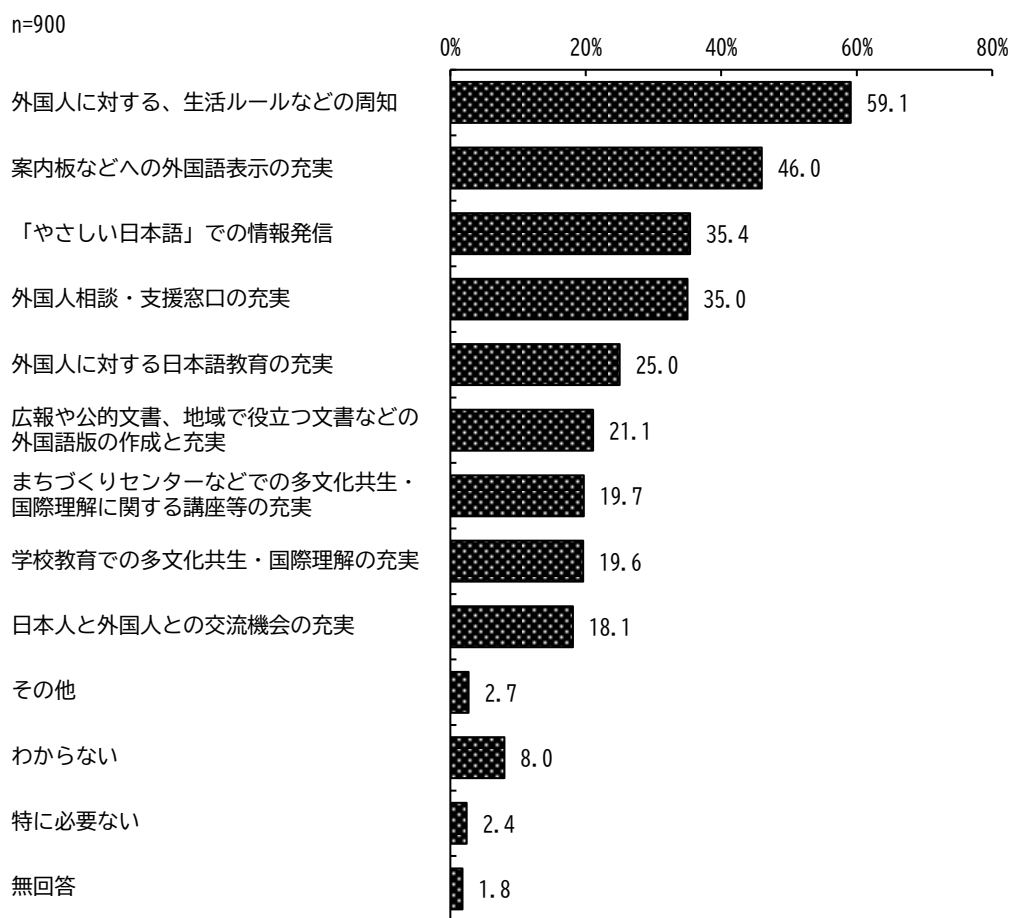
※「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」と「語学を教えてほしい」は2015年から。

経年比較では、「地域の人と交流したり、行事に参加してほしい」が前回調査から7.7ポイント低く、「地域のルールを知り、守ってほしい」が前回調査から6.7ポイント高くなっている。

(12) 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市として必要な取り組み

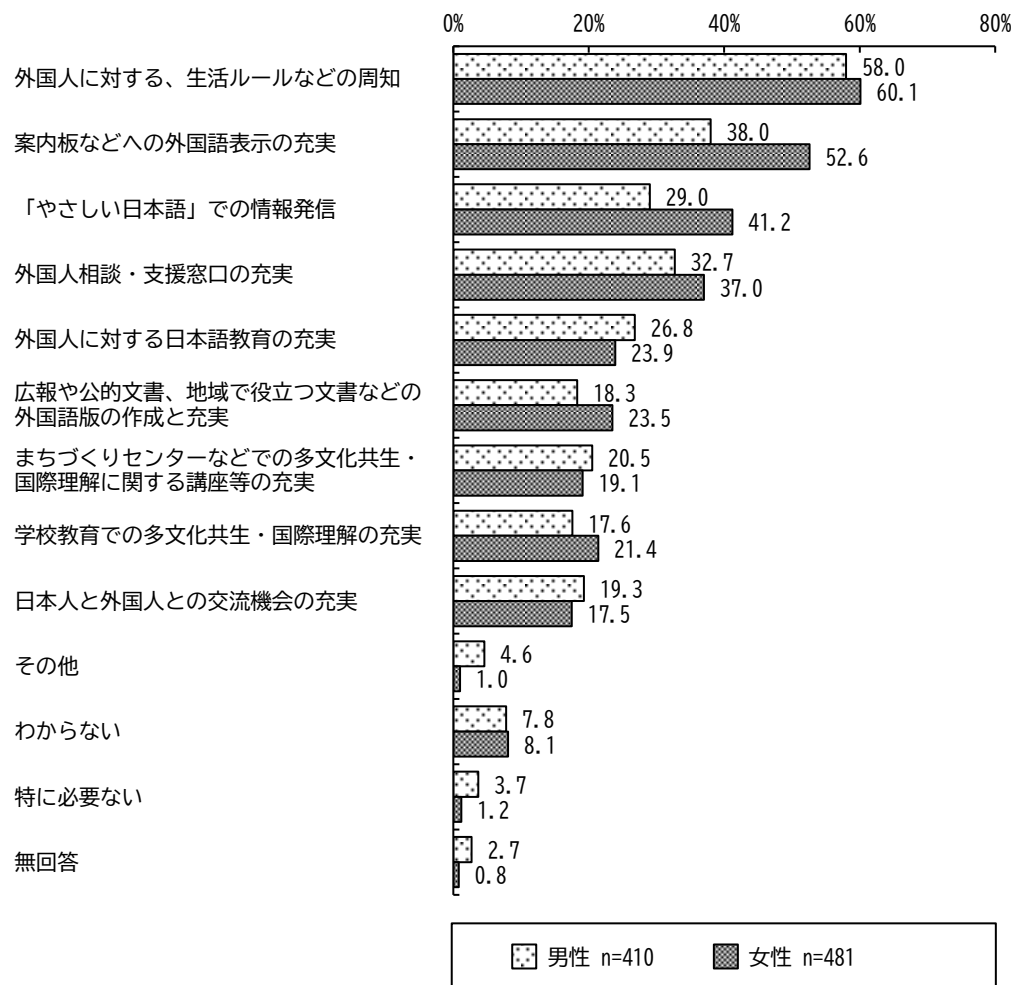
問17 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)



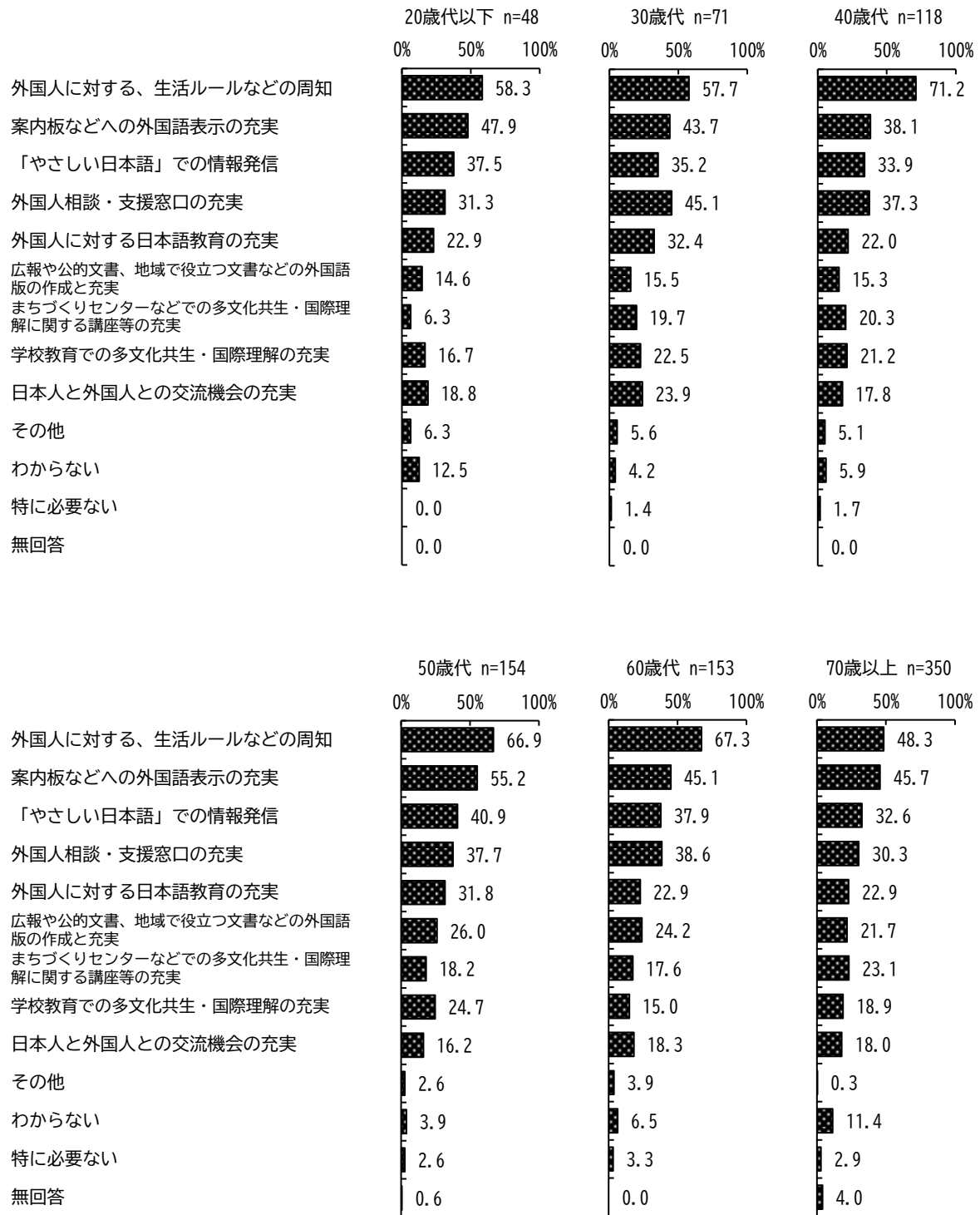
日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市として必要な取り組みは「外国人に対する、生活ルールなどの周知」が59.1%と最も高く、次いで「案内板などへの外国語表示の充実」が46.0%、「「やさしい日本語」での情報発信」が35.4%、「外国人相談・支援窓口の充実」が35.0%などとなっている。

【性別】



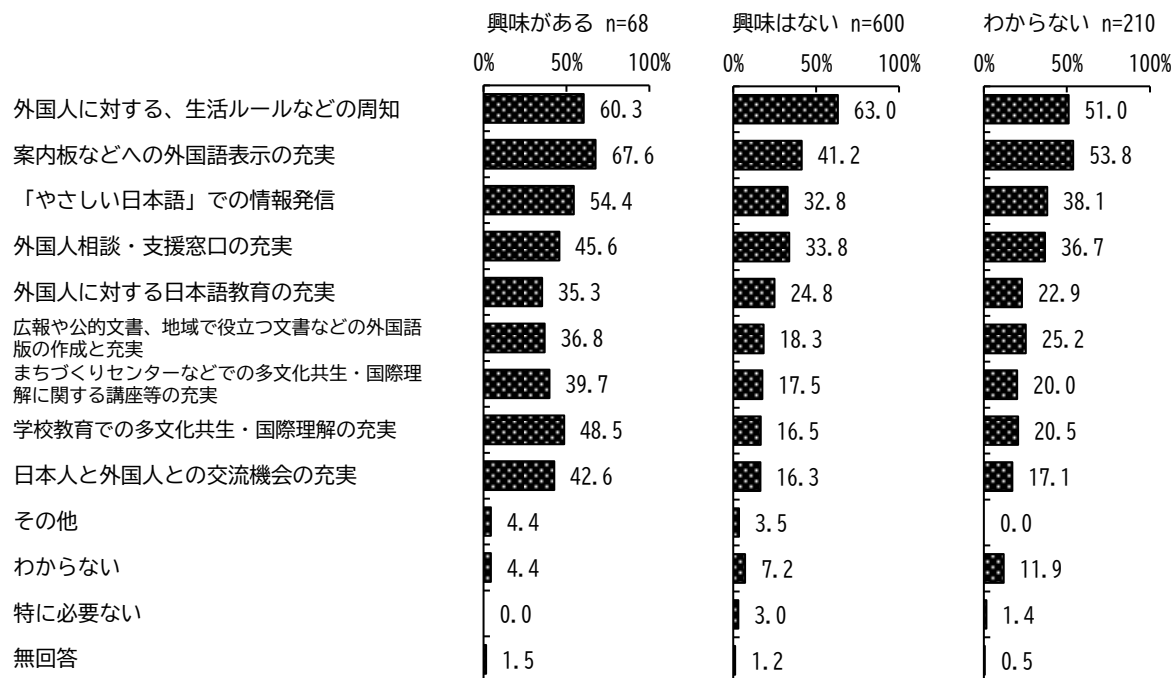
性別にみると、「案内板などへの外国語表示の充実」は男性が38.0%、女性が52.6%となり、女性が男性を14.6ポイント上回り、「やさしい日本語」での情報発信は男性が29.0%、女性が41.2%となり、女性が男性を12.2ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、30歳代で「外国人相談・支援窓口の充実」が45.1%と他の年代より高くなっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての項目において回答の割合が高くなっている。また、「学校教育での多文化共生・国際理解の充実」は興味がある人が48.5%、興味はない人が16.5%となり、32.0ポイントの差となっている。一方、「外国人に対する、生活ルールなどの周知」はボランティア活動への興味別に関わらず5割以上となっている。

【経年比較】

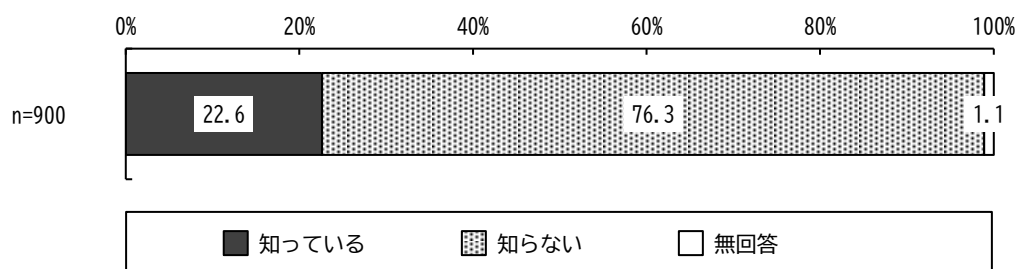
	外国人に対する、生活ルールなどの周知	案内板などへの外国語表示の充実	「やさしい日本語」での情報発信	外国人相談・支援窓口の充実	外国人に対する日本語教育の充実	広報や公的文書、地域で役立つ文書などの外国語版の作成と充実	まちづくりセンターなどでの多文化共生・国際理解に関する講座等の充実	学校教育での多文化共生・国際理解の充実	日本人と外国人との交流機会の充実	その他	わからない	特に必要ない	無回答
2025年 n=900	59.1	46.0	35.4	35.0	25.0	21.1	19.7	19.6	18.1	2.7	8.0	2.4	1.8
2019年 n=829	52.0	47.0	35.0	37.8	26.2	21.5	24.4	27.6	29.9	0.8	7.1	1.3	1.7
2015年 n=907	42.4	53.1	33.8	38.8	24.5	22.3	24.7	25.2	31.2	1.2	8.9	1.7	2.3
2009年 n=1,748	44.1	29.4		40.9	31.1	22.6	23.6	27.6	42.3	1.0		4.8	2.6

※「「やさしい日本語」での情報発信」と「わからない」は2015年から。

経年比較では、「日本人と外国人との交流機会の充実」が前回調査から11.8ポイント低くなっている。

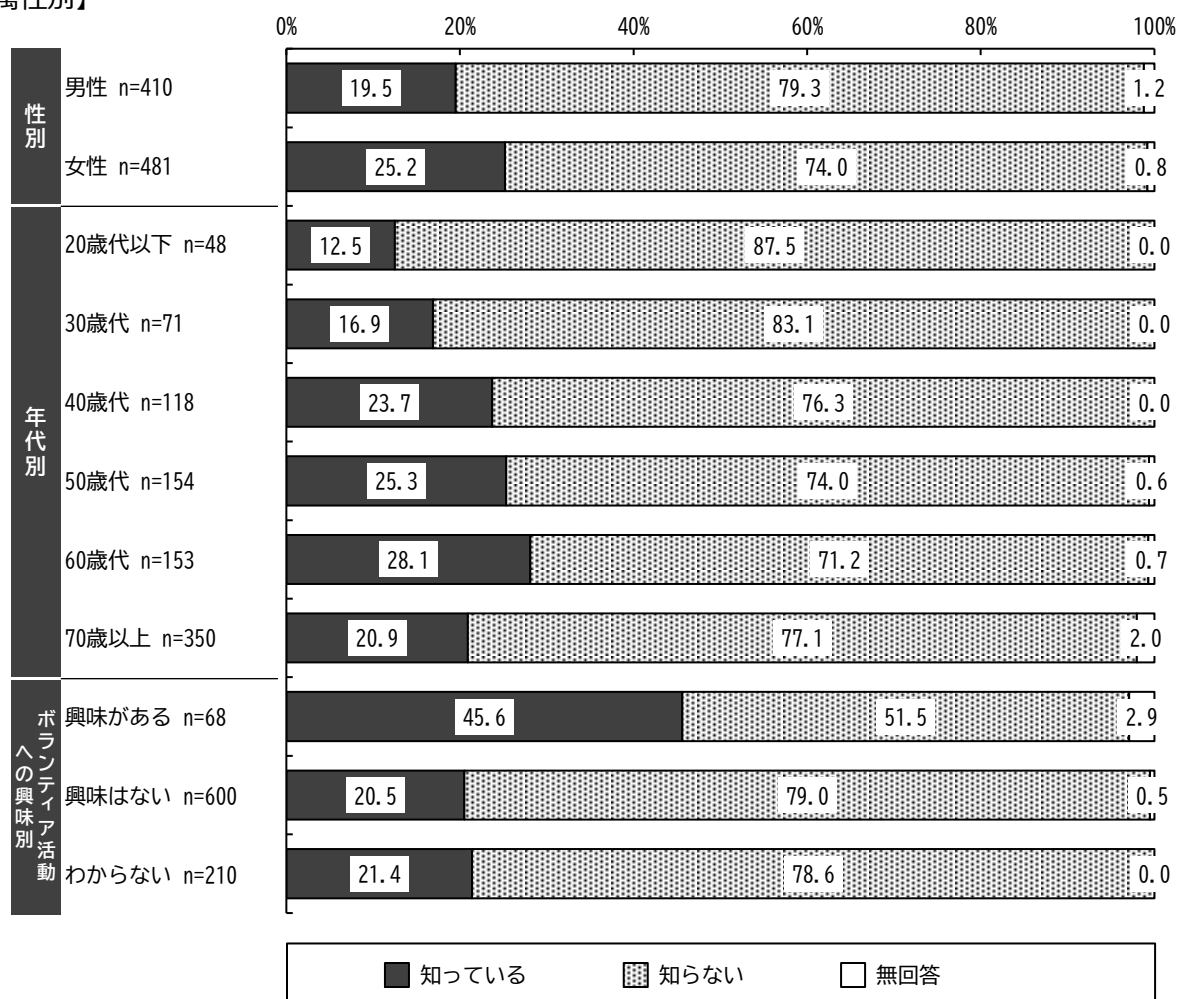
(13) 富士市役所内に外国人相談窓口があることを知っているか

問18 あなたは、富士市役所内に外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）があることを知っていますか。
（○は1つ）



富士市役所内に外国人相談窓口があることを知っているかについては「知っている」が22.6%、「知らない」が76.3%となっている。

【属性別】

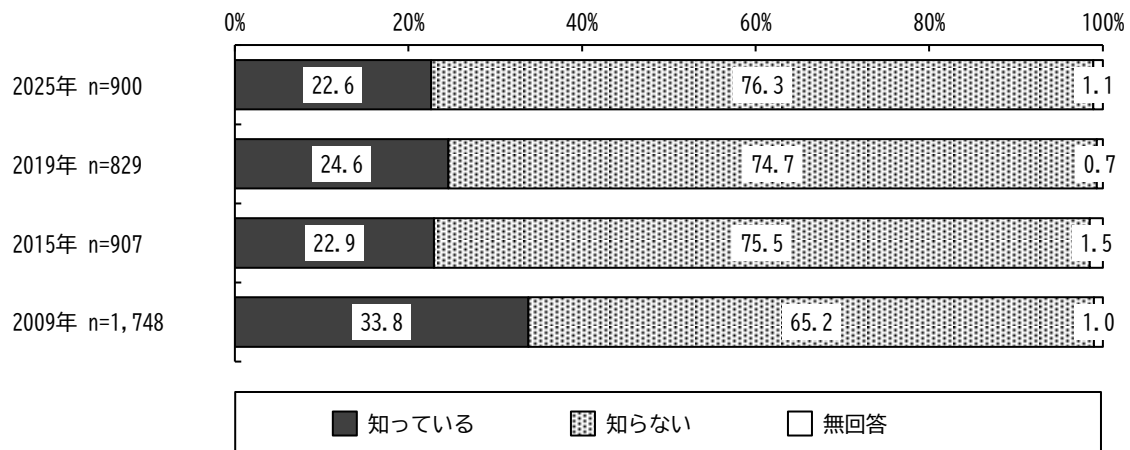


性別にみると、「知っている」は男性が19.5%、女性が25.2%となり、女性が男性を5.7ポイント上回っている。

年代別にみると、20歳代以下から60歳代までは、年代が上がるにつれて「知っている」が高くなっている。

ボランティア活動への興味別にみると、「知っている」は興味がある人が45.6%、興味はない人が20.5%となり、25.1ポイントの差となっている。

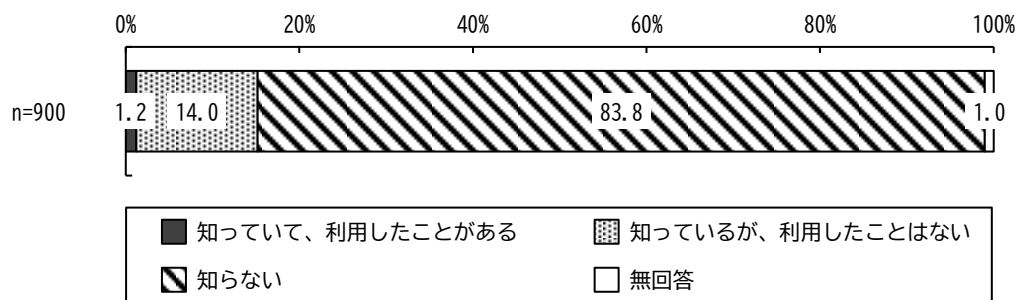
【経年比較】



経年比較では、前回調査から大差はみられない。

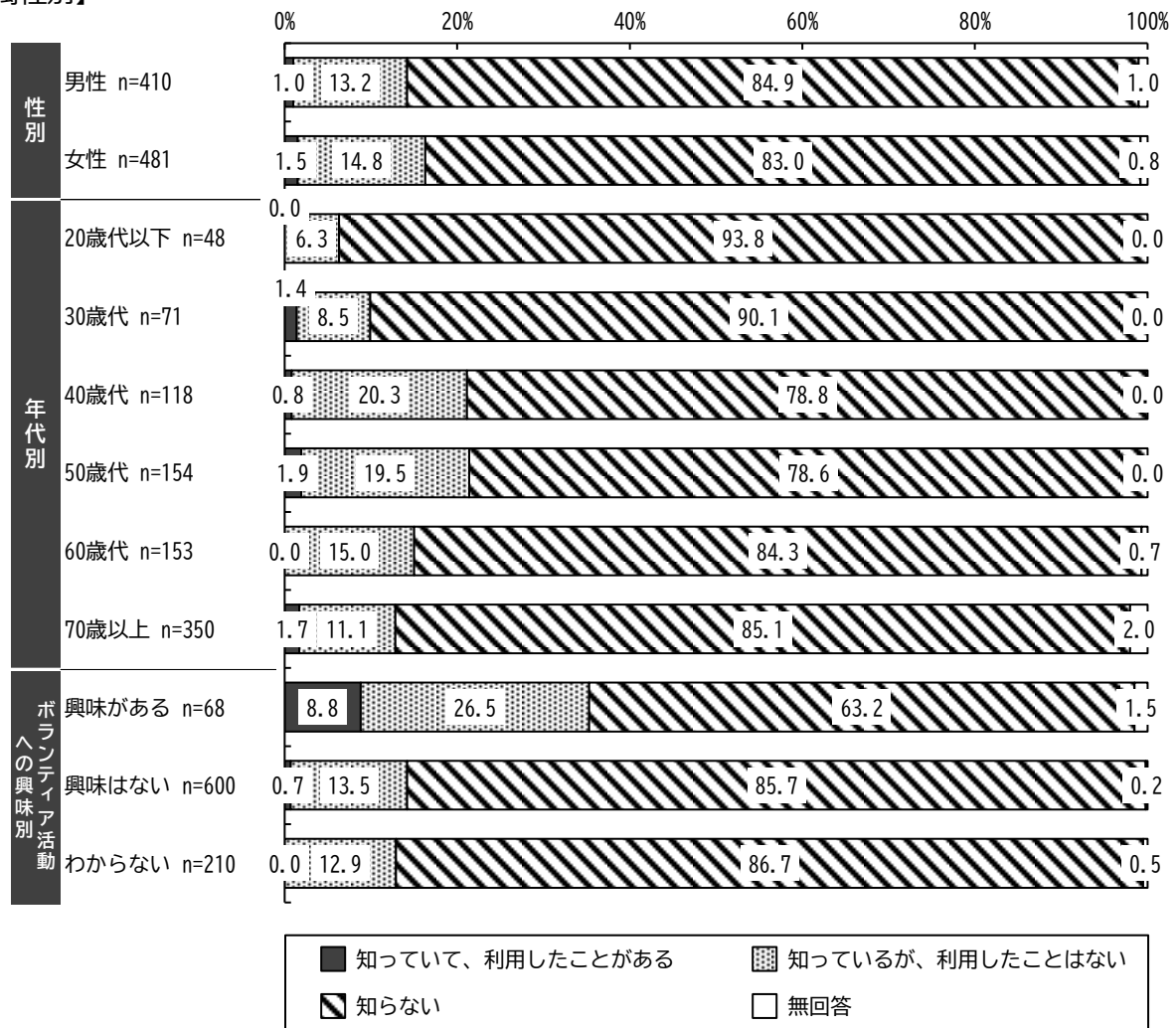
(14) 「富士市国際交流ラウンジ (FILS)」を知っているか

問19 あなたは、「富士市国際交流ラウンジ (FILS (フィス)) ※」を知っていますか。(○は1つ)



「富士市国際交流ラウンジ (FILS)」を知っているかについては「知っている、利用したことがある」が1.2%、「知っているが、利用したことはない」が14.0%、「知らない」が83.8%となっている。「知っている、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』割合は15.2%となっている。

【属性別】

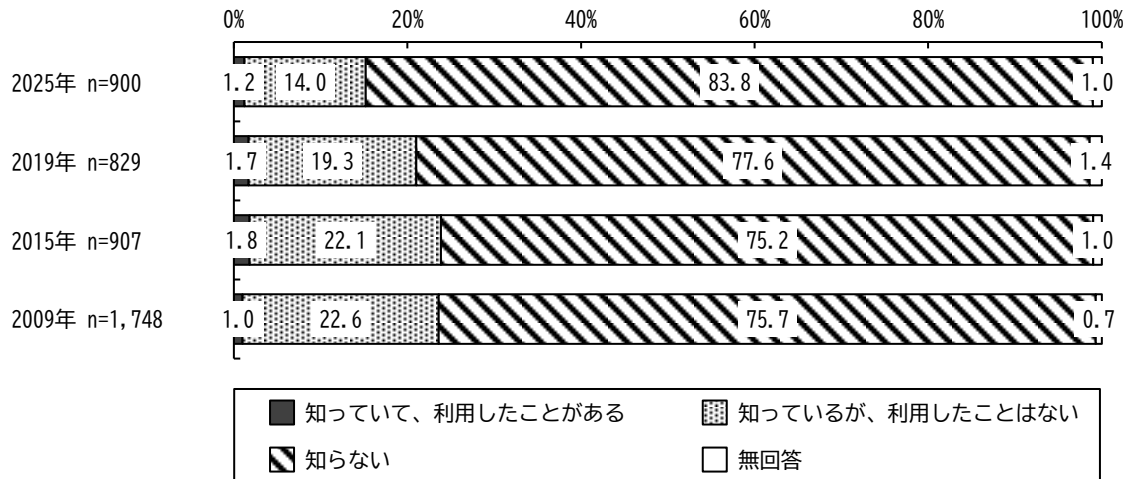


性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、40歳代・50歳代は『知っている』割合が2割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、『知っている』割合は興味がある人が35.3%、興味はない人が14.2%となり、21.1ポイントの差となっている。

【経年比較】

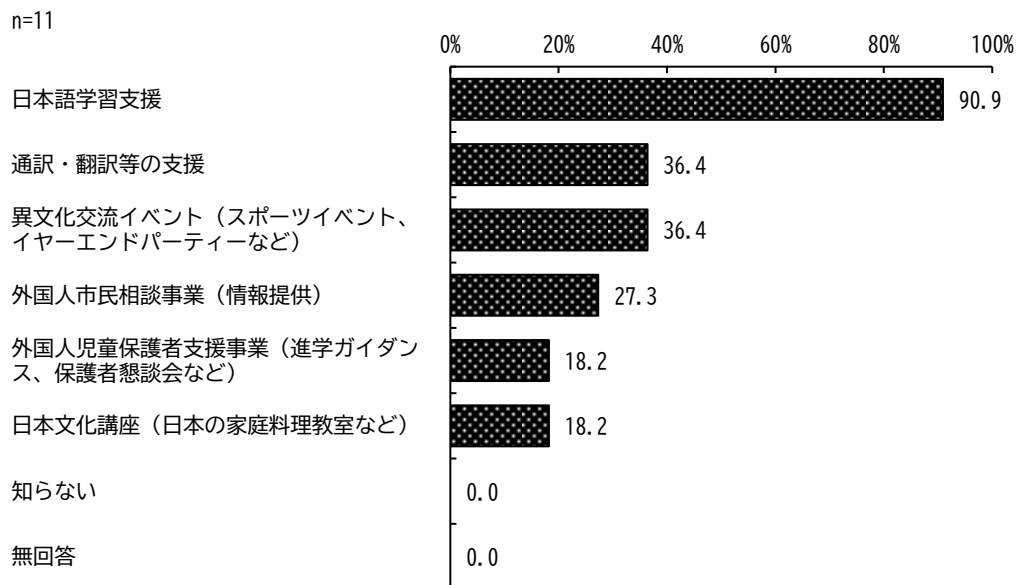


経年比較では、『知っている』割合が前回調査から5.8ポイント低くなっている。

(15)「富士市国際交流ラウンジ（FILS）」が行う事業について知っているか

【問19で「1 知っている、利用したことがある」を選んだ方に伺います。】

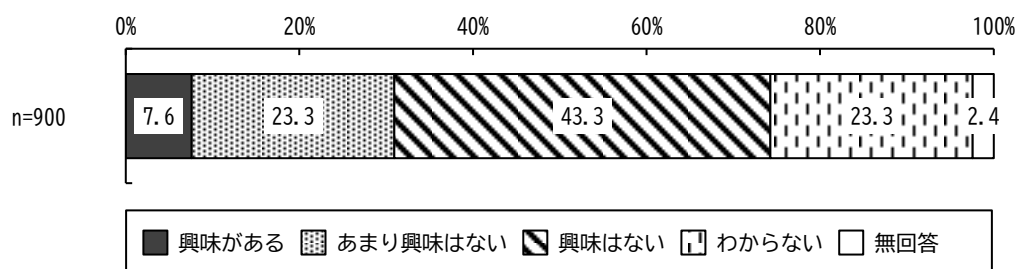
問20 あなたは、富士市国際交流ラウンジ（FILS）が行う事業について知っていますか。（○はいくつでも）



「富士市国際交流ラウンジ（FILS）」が行う事業について知っているかについては、回答者数が少ないので参考までの掲載とする。

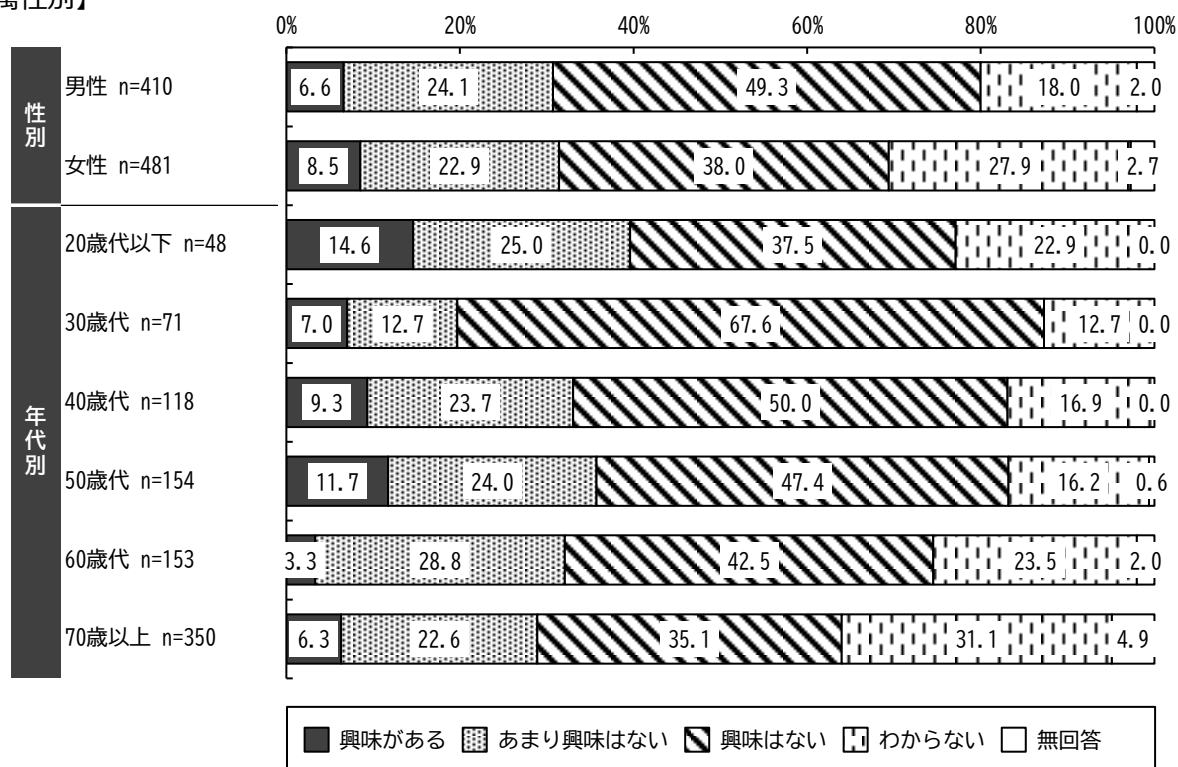
(16) 外国人支援のボランティア活動に興味があるか

問21 富士市国際交流ラウンジ（FILS）では外国人に日本語を教えるなどのボランティア活動が行われています。あなたは外国人支援のボランティア活動に興味がありますか。（○は1つ）



外国人支援のボランティア活動に興味があるかについては「興味がある」が7.6%、「あまり興味はない」が23.3%、「興味はない」が43.3%、「わからない」が23.3%となっている。「あまり興味はない」と「興味はない」を合わせた『興味はない』割合は66.6%となっている。

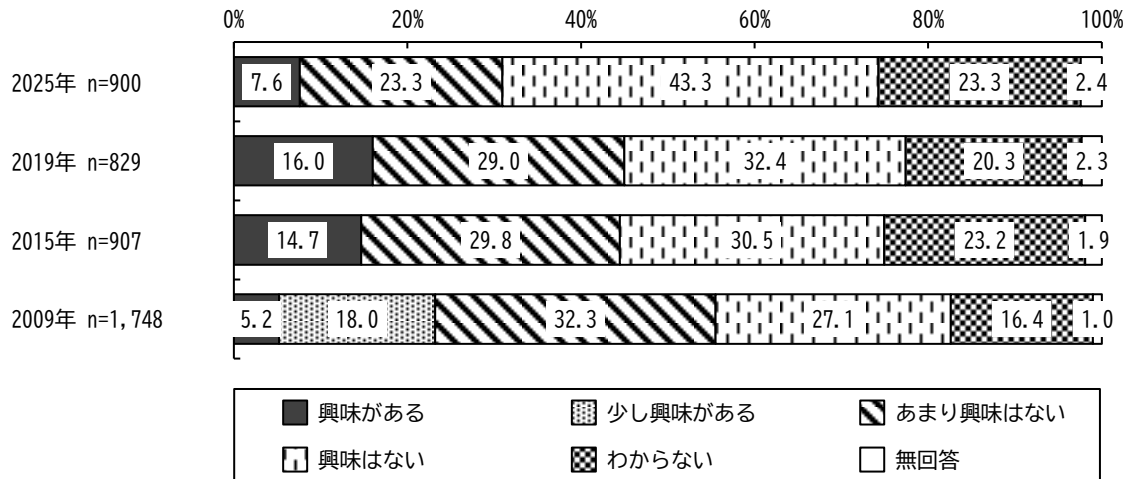
【属性別】



性別にみると、「興味はない」は男性が49.3%、女性が38.0%となり、男性が女性を11.3ポイント上回っている。

年代別にみると、30歳代で「興味はない」が67.6%となり、「あまり興味はない」と合わせた『興味はない』割合は80.3%となっている。

【経年比較】

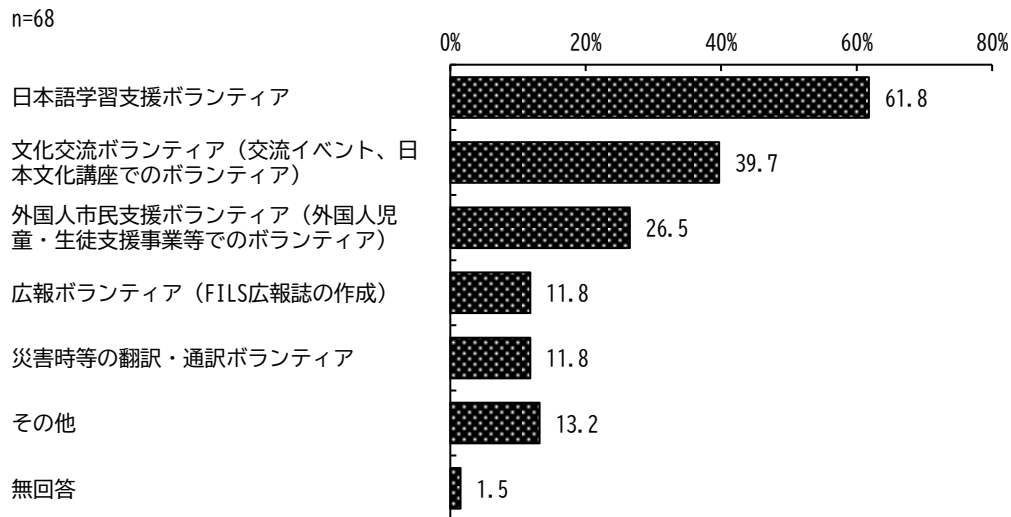


経年比較では、「興味はない」が前回調査から10.9ポイント高くなっている。

(17) 活動してみたい外国人支援のボランティア

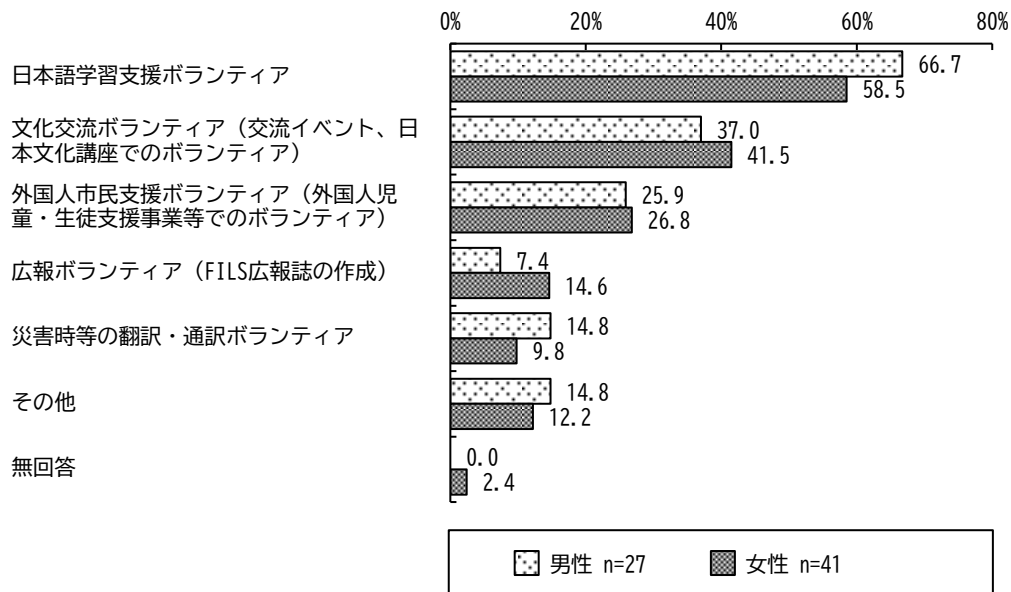
【問21で「1 興味がある」を選んだ方に伺います。】

問22 下記のボランティアの中で、活動してみたいボランティアはありますか。（○はい/×でも）



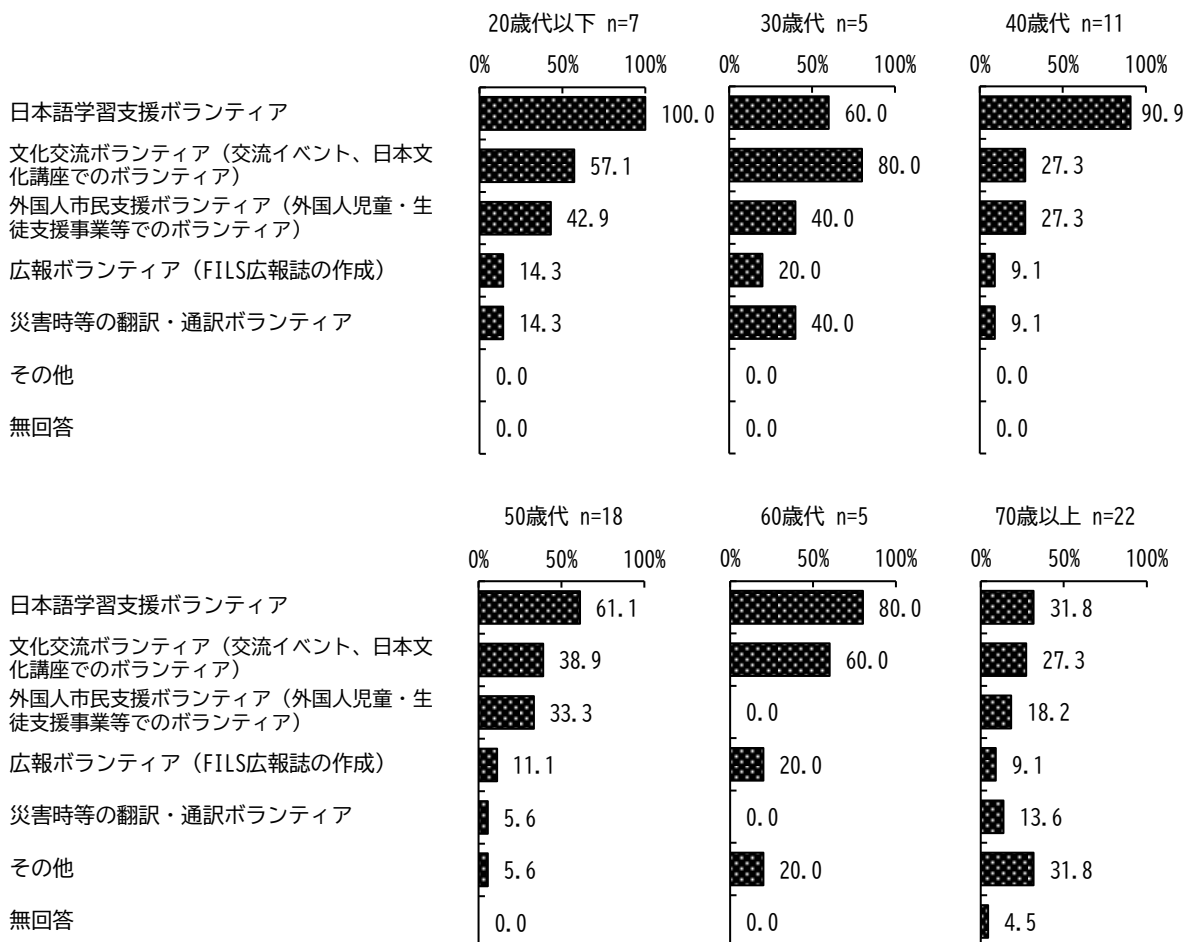
活動してみたい外国人支援のボランティアは「日本語学習支援ボランティア」が61.8%と最も高く、次いで「文化交流ボランティア（交流イベント、日本文化講座でのボランティア）」が39.7%、「外国人市民支援ボランティア（外国人児童・生徒支援事業等でのボランティア）」が26.5%などとなっている。

【性別】



性別にみると、「日本語学習支援ボランティア」は男性が66.7%、女性が58.5%となり、男性が女性を8.2ポイント上回っている。

【年代別】

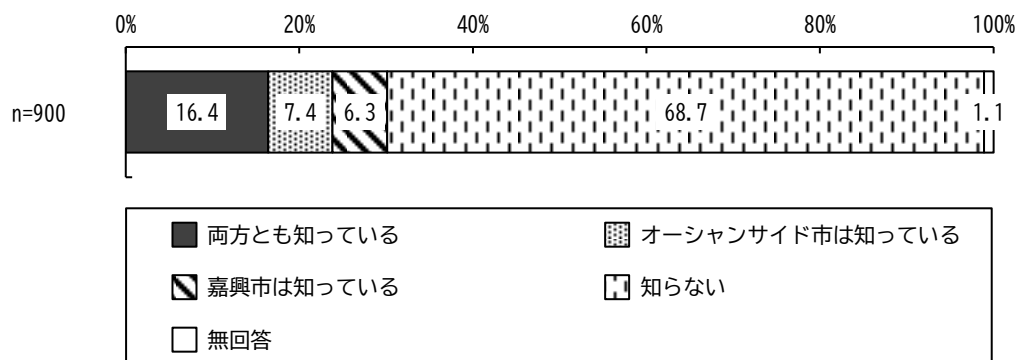


年代別は、それぞれの調査対象が少ないので参考までの掲載とする。

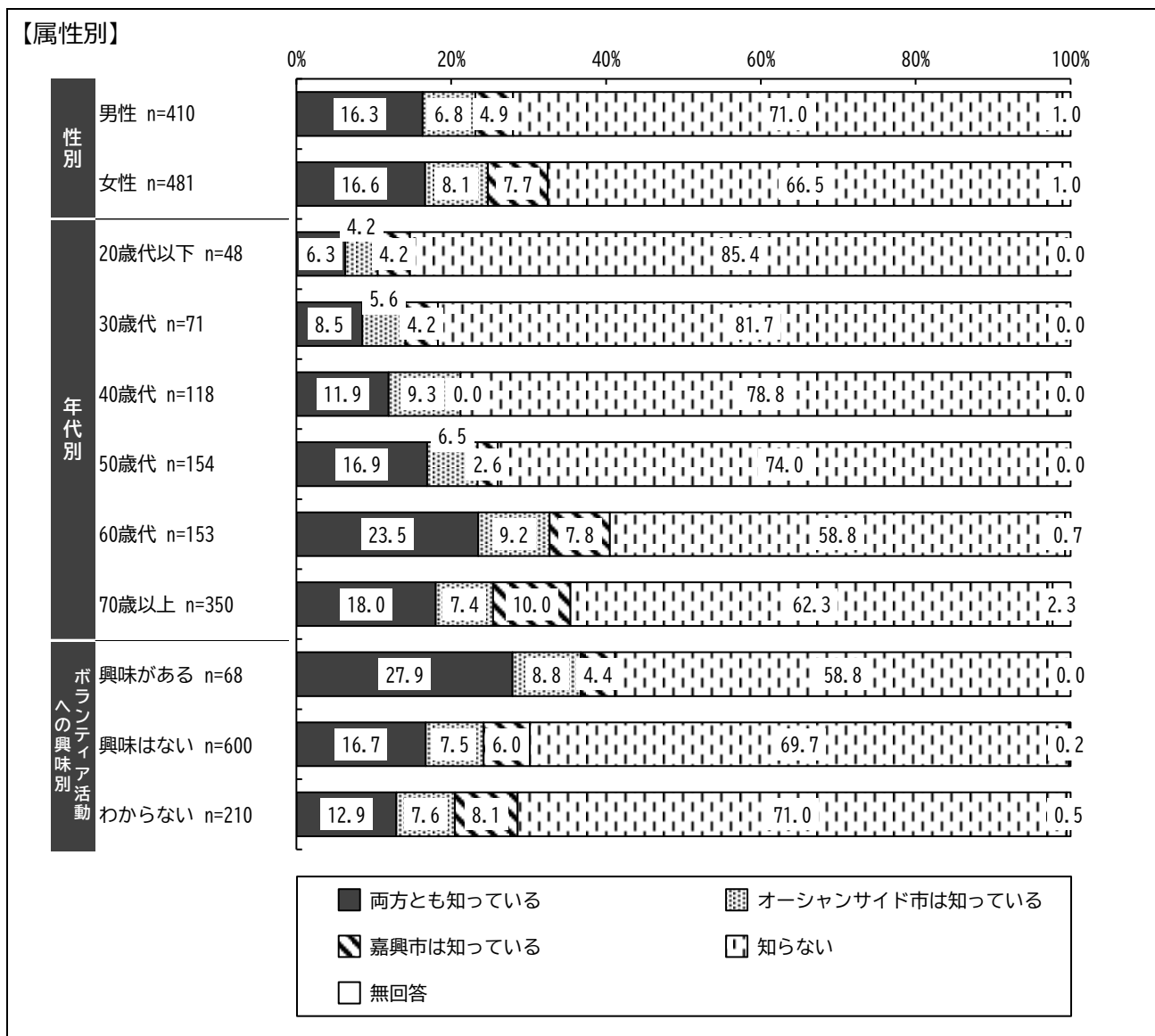
3. 姉妹友好都市交流について

(1) 富士市がオーシャンサイド市、嘉興市と姉妹友好都市提携を結んでいることについて

問23 あなたは、富士市が米国・オーシャンサイド市、中国・嘉興市と姉妹友好都市提携を結んでいることを知っていますか。(○は1つ)



富士市がオーシャンサイド市、嘉興市と姉妹友好都市提携を結んでいることについては「両方とも知っている」が16.4%、「オーシャンサイド市は知っている」が7.4%、「嘉興市は知っている」が6.3%、「知らない」が68.7%となっている。「両方とも知っている」と「オーシャンサイド市は知っている」と「嘉興市は知っている」を合わせた『知っている』割合は30.1%となっている。

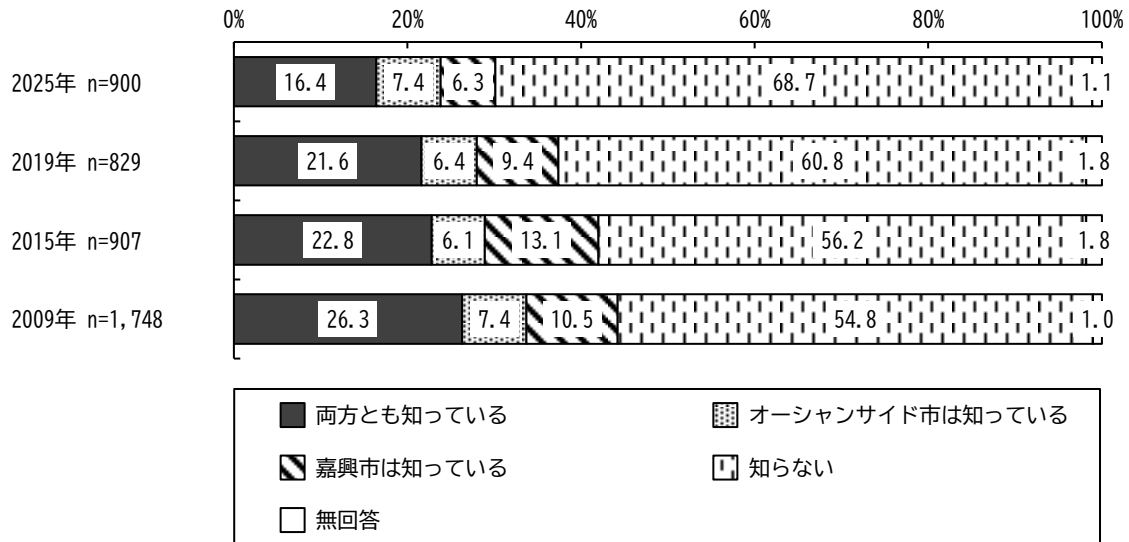


性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、20歳代以下から60歳代までは、年代が上がるにつれて「両方とも知っている」が高くなっている。

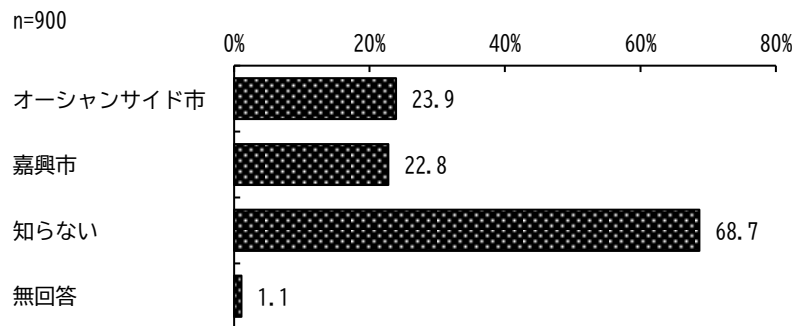
ボランティア活動への興味別にみると、「両方とも知っている」は興味がある人が27.9%、興味はない人が16.7%となり、11.2ポイントの差となっている。

【経年比較】



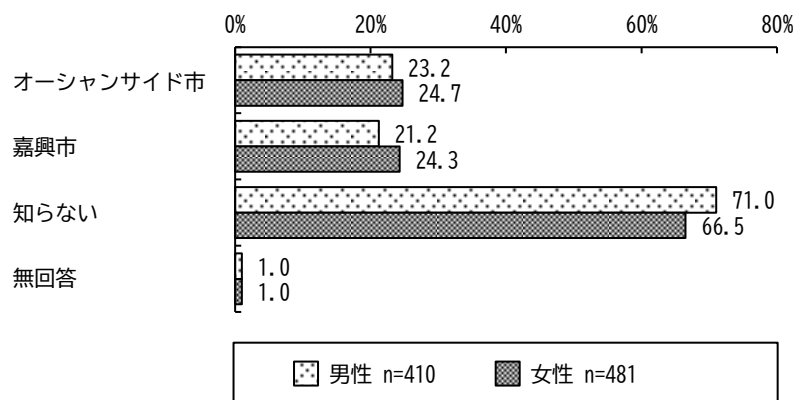
経年比較では、「知らない」が前回調査から7.9ポイント高くなっている。

■ どの姉妹友好都市を知っているか



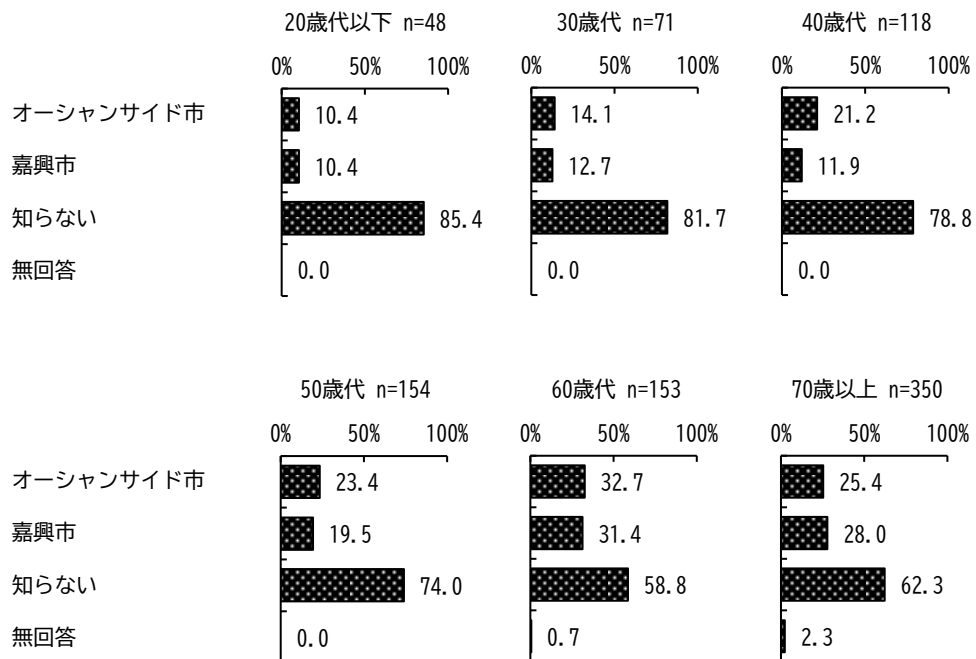
どの姉妹友好都市を知っているかは「オーシャンサイド市」が23.9%、「嘉興市」が22.8%、「知らない」が68.7%となっている。

■ どの姉妹友好都市を知っているか 【性別】



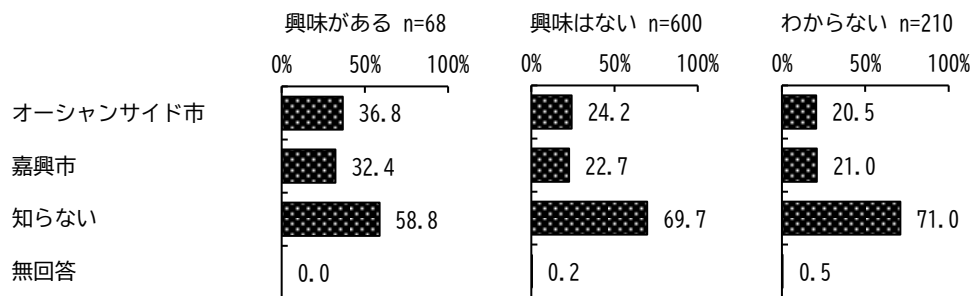
性別にみると、大差はみられないが、オーシャンサイド市、嘉興市ともに女性が男性を上回っている。

■どの姉妹友好都市を知っているか【年代別】



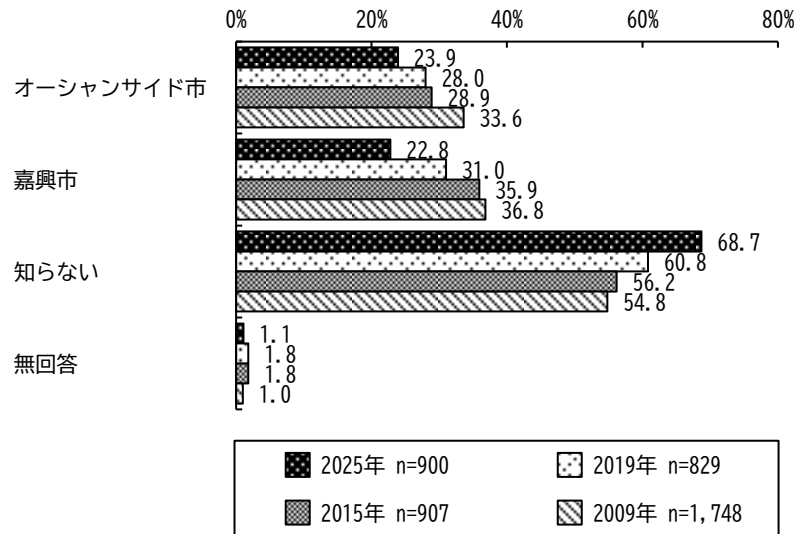
年代別にみると、20歳代以下から60歳代までは、年代が上がるにつれて「オーシャンサイド市」が高くなっている。

■どの姉妹友好都市を知っているか【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「オーシャンサイド市」は興味がある人が36.8%、興味はない人が24.2%となり、12.6ポイントの差、「嘉興市」は興味がある人が32.4%、興味はない人が22.7%となり、9.7ポイントの差となっている。

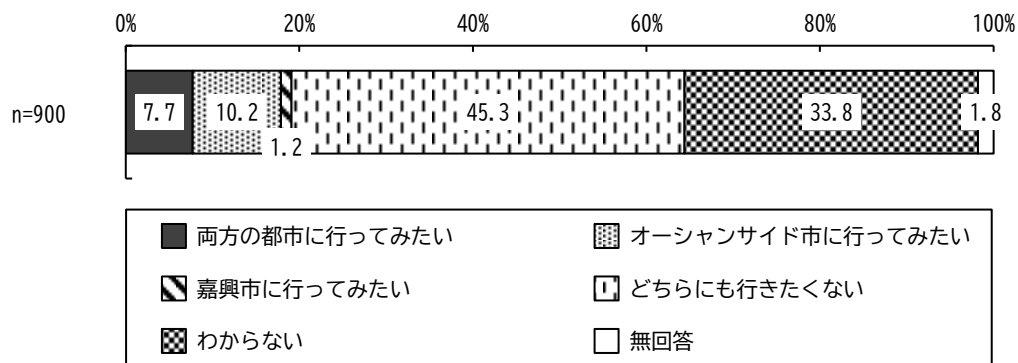
■ どの姉妹友好都市を知っているか 【経年比較】



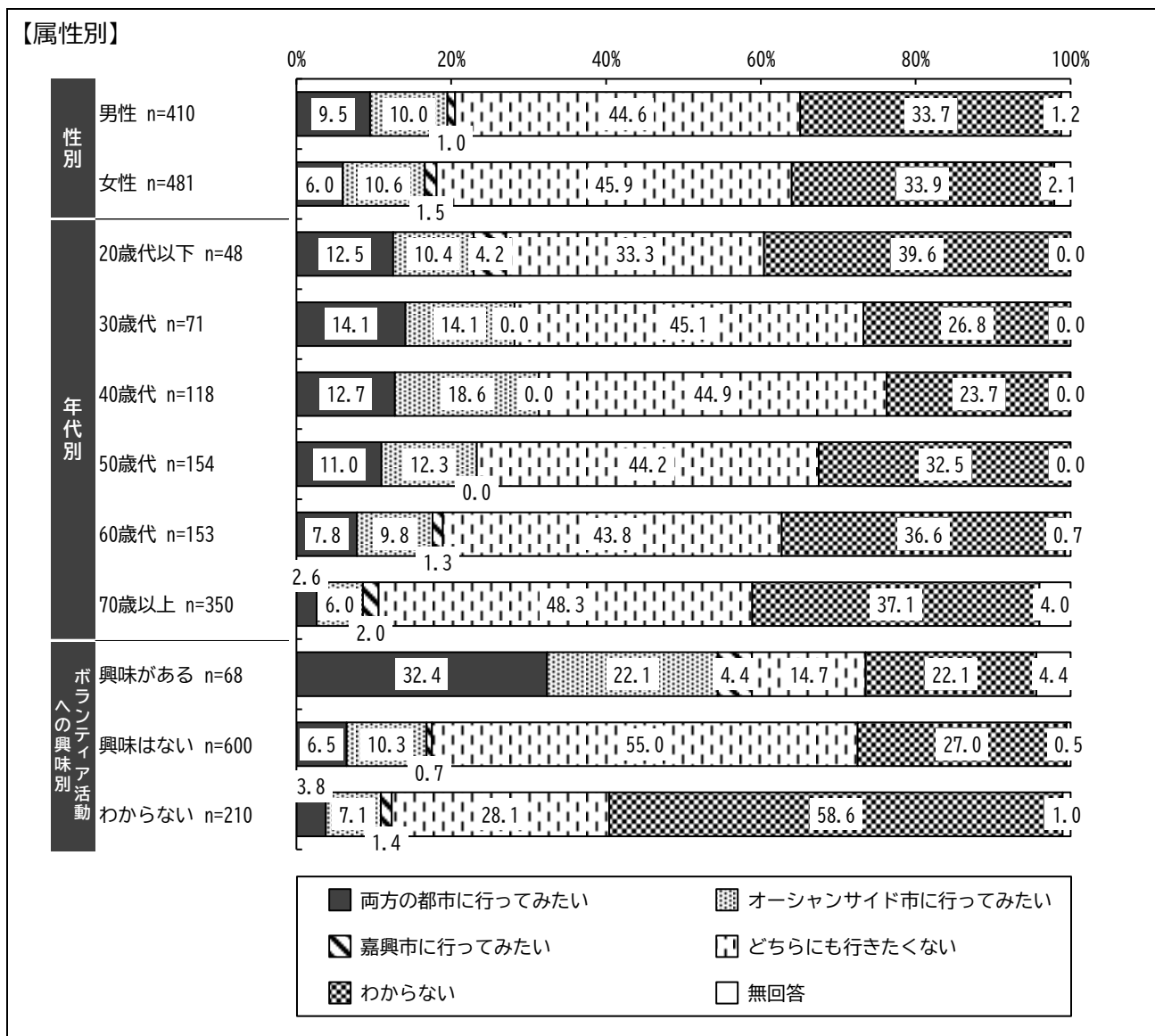
経年比較では、「オーシャンサイド市」、「嘉興市」とともに減少傾向、「知らない」は増加傾向となっている。

(2) オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいか

問24 あなたは、今後、オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいですか。(○は1つ)



オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいかについては「両方の都市に行ってみたい」が7.7%、「オーシャンサイド市に行ってみたい」が10.2%、「嘉興市に行ってみたい」が1.2%となり、合わせた『行ってみたい』割合は19.1%となっている。一方、「どちらにも行きたくない」は45.3%、「わからない」は33.8%となっている。

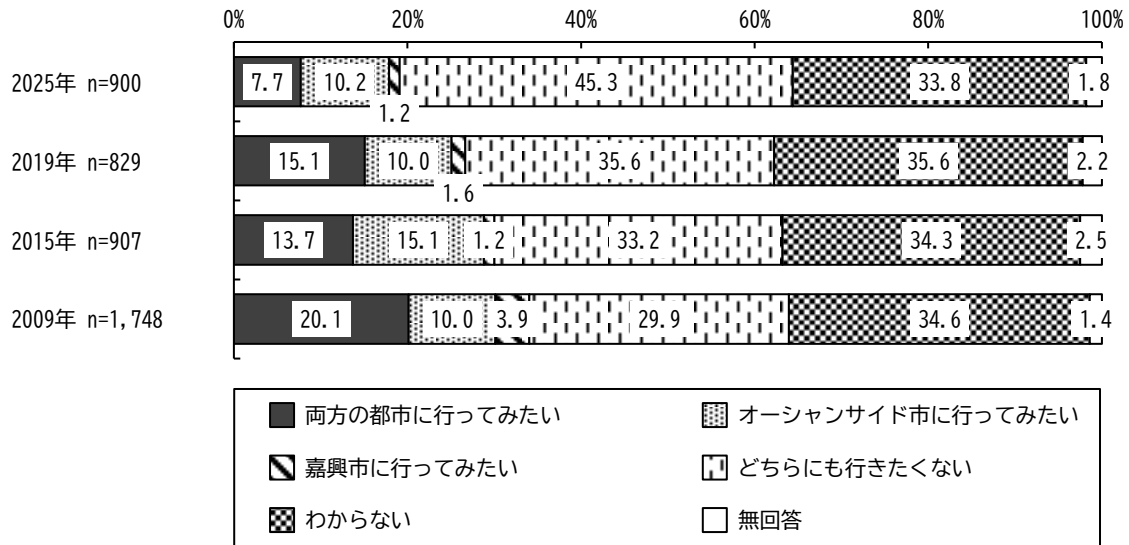


性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳以上で「どちらにも行きたくない」が4割以上となっている。

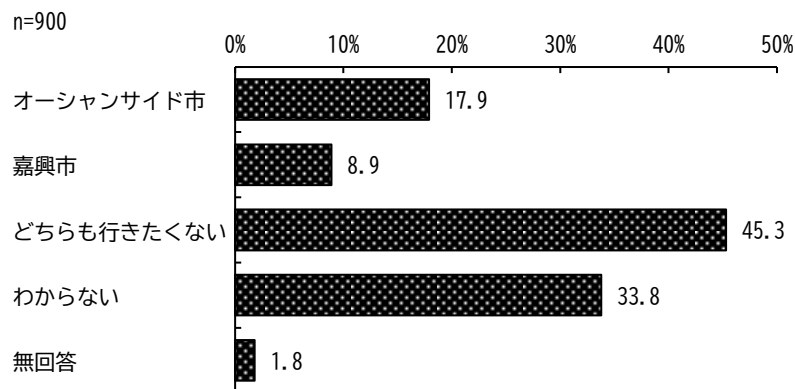
ボランティア活動への興味別にみると、「両方の都市に行ってみたい」は興味がある人が32.4%、興味はない人が6.5%となり、25.9ポイントの差、「どちらにも行きたくない」は興味がある人が14.7%、興味はない人が55.0%となり、40.3ポイントの差となっている。

【経年比較】



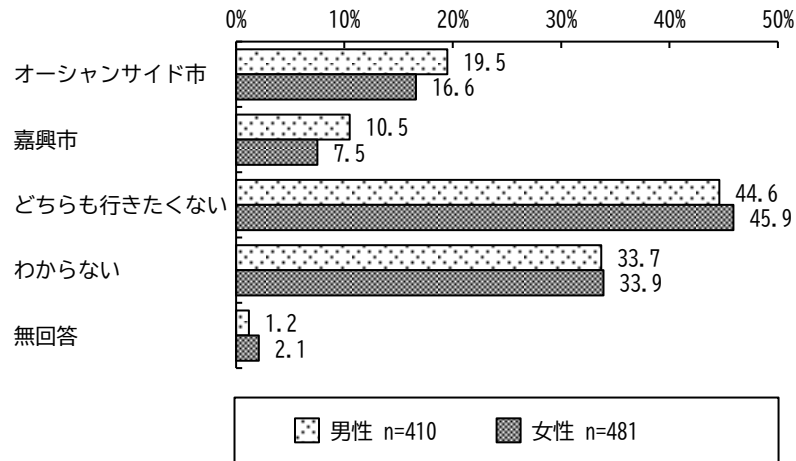
経年比較では、『行ってみよう』割合が前回調査から7.6ポイント低く、「どちらにも行きたくない」が前回調査から9.7ポイント高くなっている。

■ どの姉妹友好都市へ行きたいか



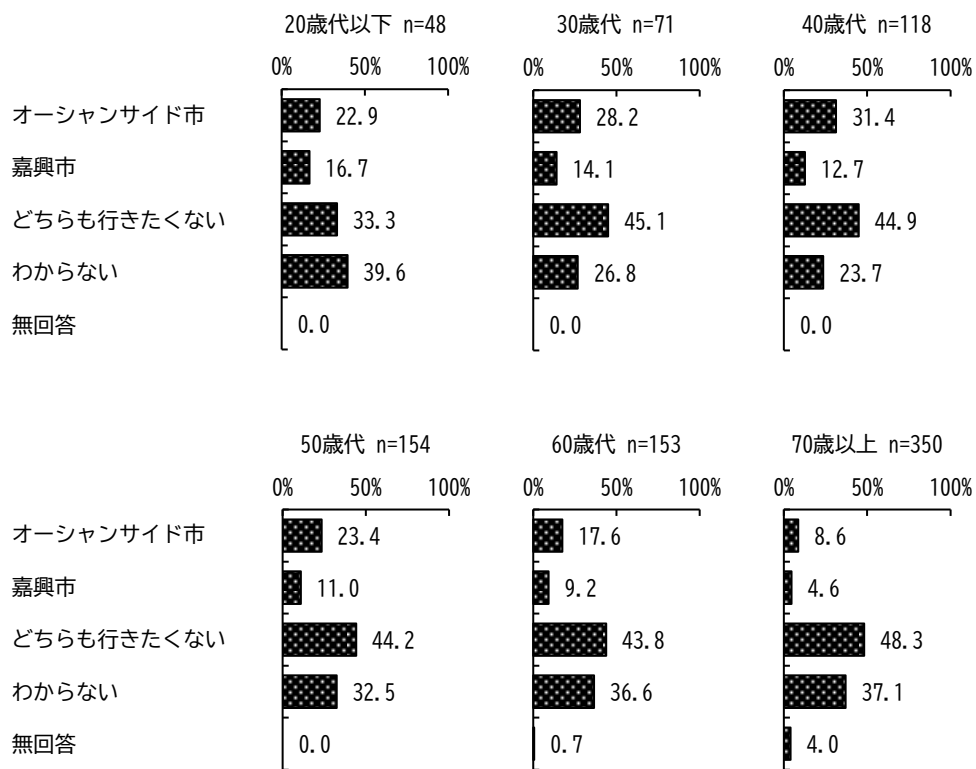
どの姉妹友好都市へ行きたいかは「オーシャンサイド市」が17.9%、「嘉興市」が8.9%、「どちらも行きたくない」が45.3%、「わからない」が33.8%となっている。

■どの姉妹友好都市へ行きたいか【性別】



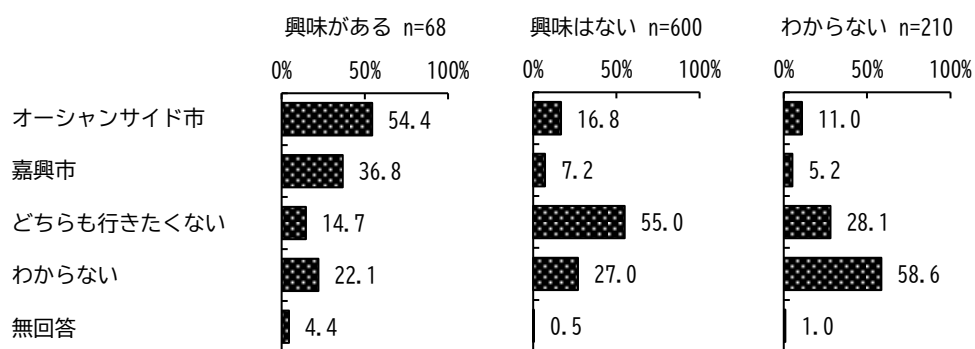
性別にみると、大差はみられないが、オーシャンサイド市、嘉興市ともに男性が女性を上回っている。

■どの姉妹友好都市へ行きたいか【年代別】



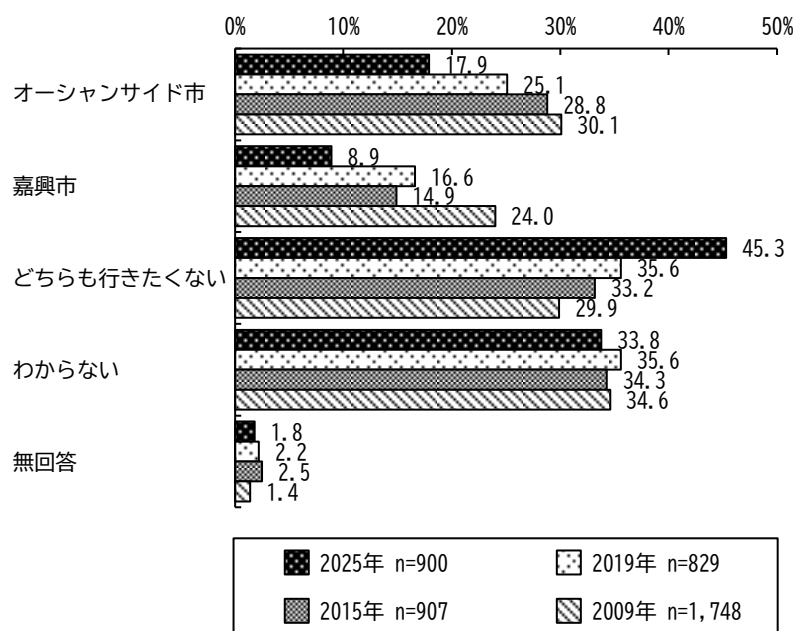
年代別にみると、40歳代で「オーシャンサイド市」が31.4%となっている。

■どの姉妹友好都市へ行きたいか【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「オーシャンサイド市」は興味がある人が54.4%、興味はない人が16.8%となり、37.6ポイントの差、「嘉興市」は興味がある人が36.8%、興味はない人が7.2%となり、29.6ポイントの差となっている。また、「どちらも行きたくない」は興味がある人が14.7%、興味はない人が55.0%となっている。

■どの姉妹友好都市へ行きたいか【経年比較】

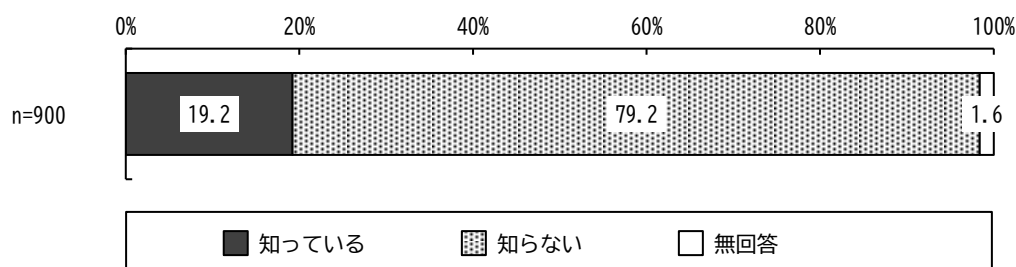


経年比較では、「オーシャンサイド市」が前回調査から7.2ポイント低く、「嘉興市」が前回調査から7.7ポイント低くなっている。「どちらも行きたくない」は前回調査から9.7ポイント高くなっている。

(3) 富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っているか

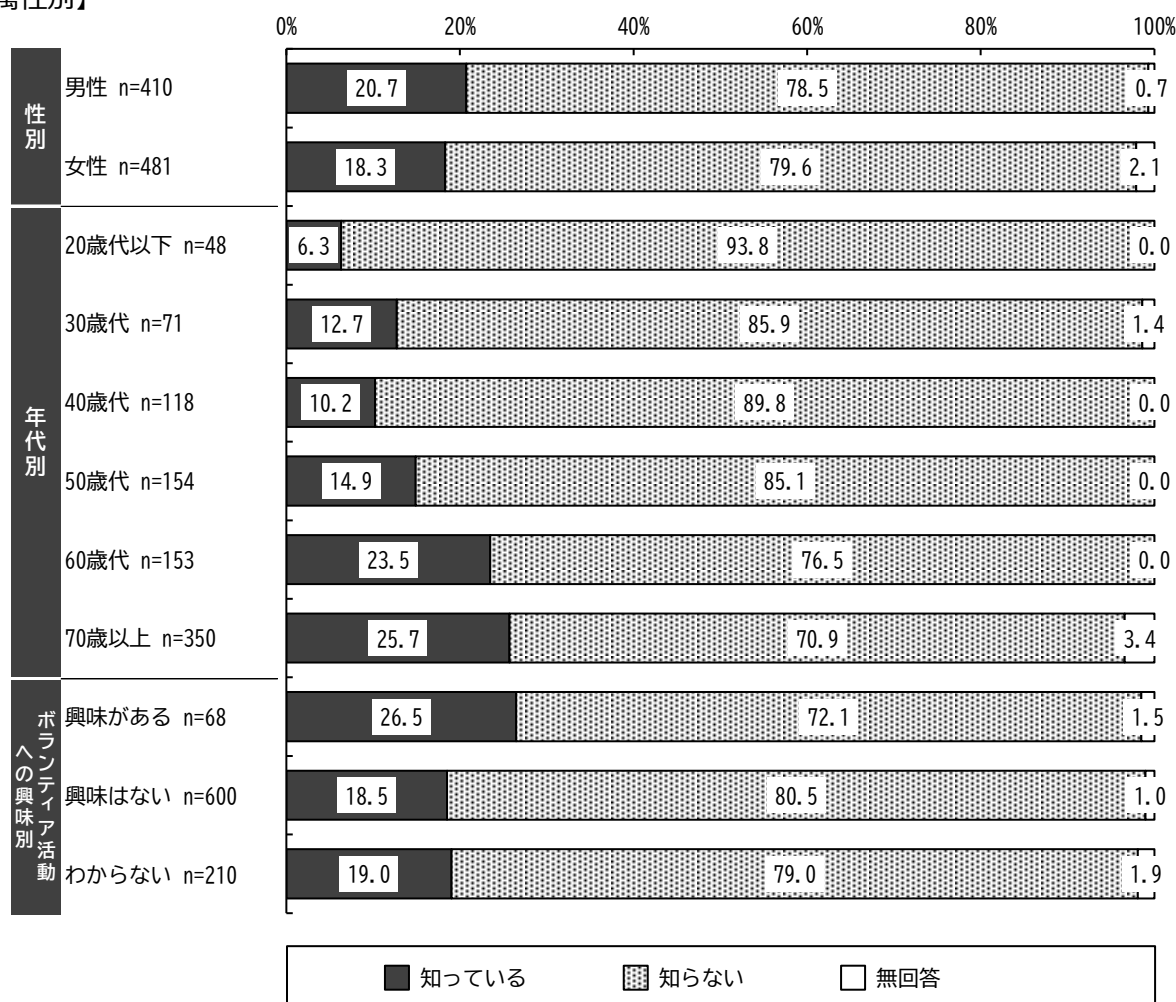
問25 あなたは、富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っていますか。

(○は1つ)



富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っているかは「知っている」が19.2%、「知らない」が79.2%となっている。

【属性別】

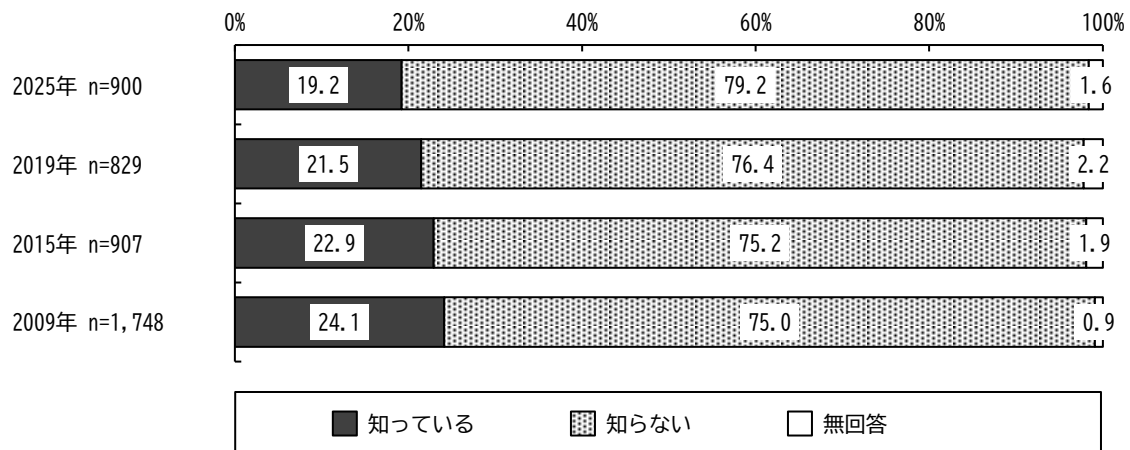


性別にみると、大差はみられない

年代別にみると、「知らない」は20歳代以下で93.8%、30歳代・40歳代・50歳代で8割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、「知っている」は興味がある人が26.5%、興味はない人が18.5%となり、8.0ポイントの差となっている。

【経年比較】

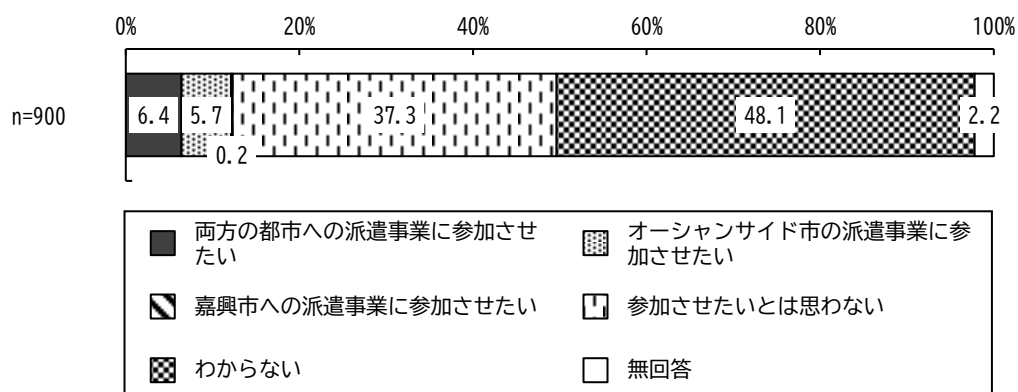


経年比較では、前回調査から大差はみられない。

(4) 家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいか

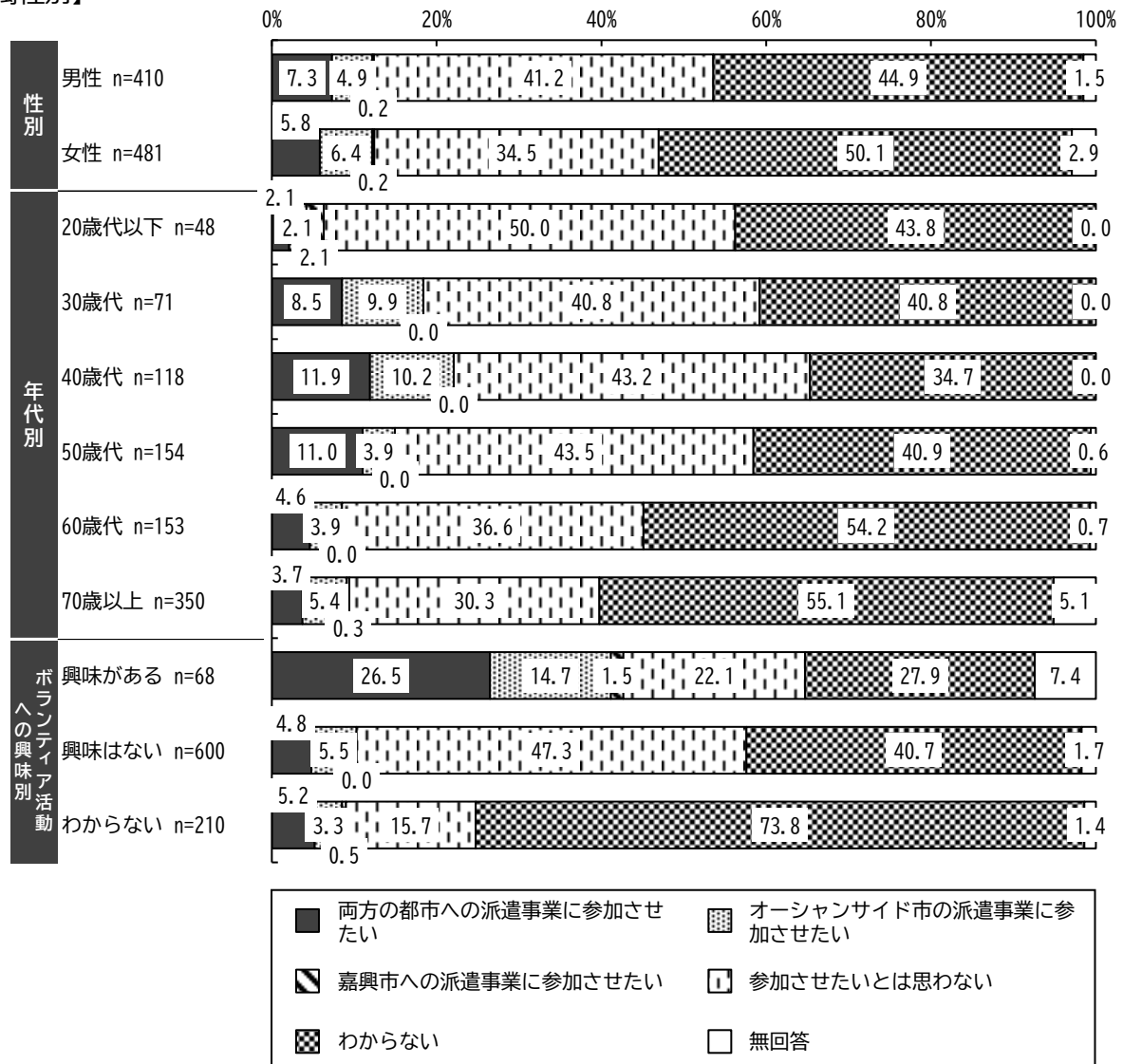
問26 あなたは、あなたのご家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいと思いますか。

(○は1つ)



家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいかは「両方の都市への派遣事業に参加させたい」が6.4%、「オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい」が5.7%、「嘉興市への派遣事業に参加させたい」が0.2%となり、合わせた『参加させたい』割合は12.3%となっている。一方、「参加させたいとは思わない」は37.3%、「わからない」は48.1%となっている。

【属性別】

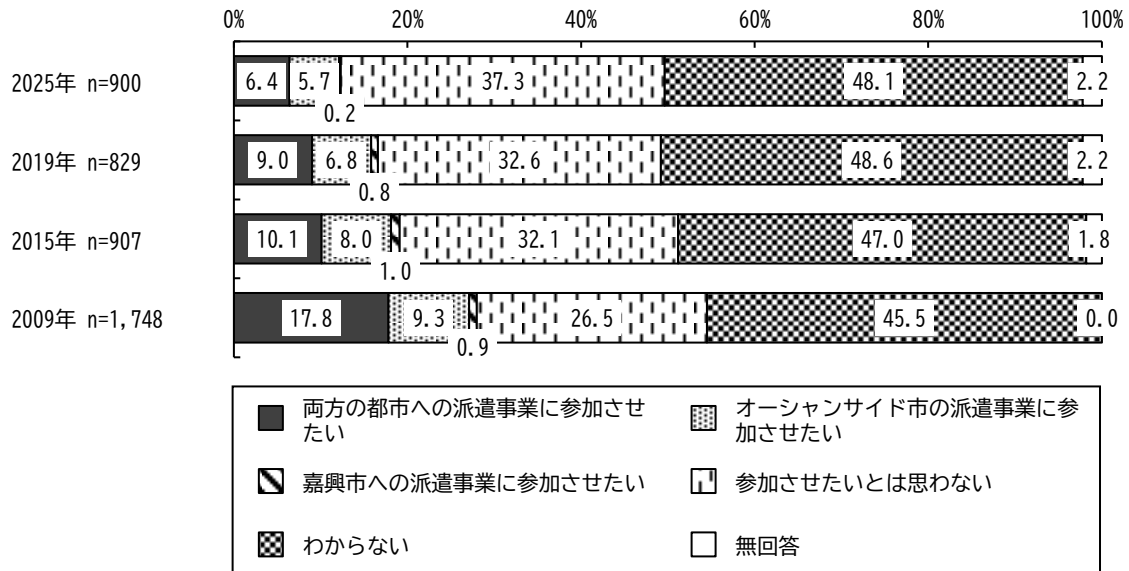


性別にみると、「参加させたいとは思わない」は男性が41.2%、女性が34.5%となり、男性が女性を6.7ポイント上回っている

年代別にみると、「参加させたいとは思わない」は20歳代以下で50.0%、30歳代・40歳代・50歳代で4割以上となっている。

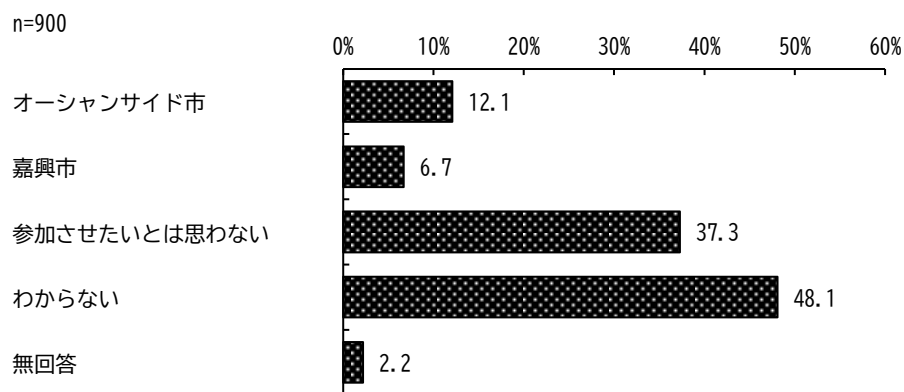
ボランティア活動への興味別にみると、『参加させたい』割合は興味がある人が42.7%、興味はない人が10.3%となり、32.4ポイントの差となっている。

【経年比較】



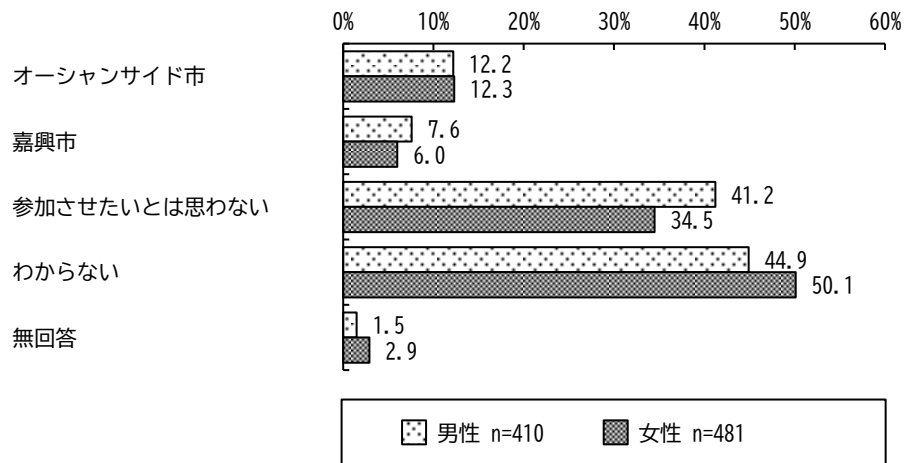
経年比較では、『参加させたい』割合が前回調査から4.3ポイント低くなっている。

■ どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいか



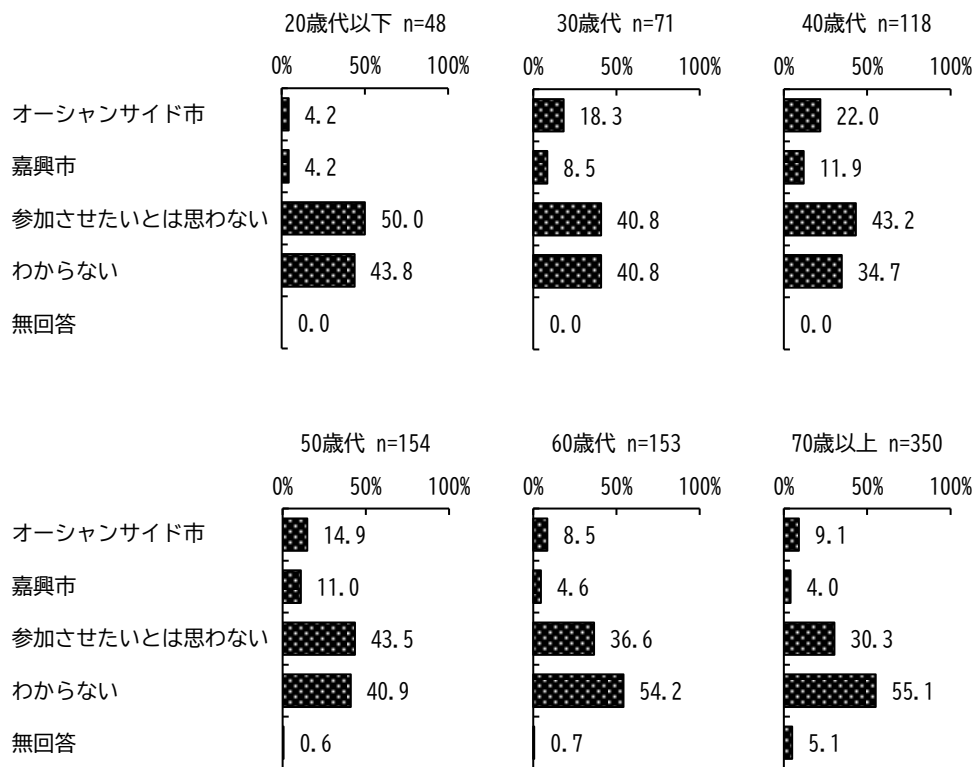
どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいかは「オーシャンサイド市」が12.1%、「嘉興市」が6.7%、「どちらも行きたくない」が37.3%、「わからない」が48.1%となっている。

■どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいか 【性別】



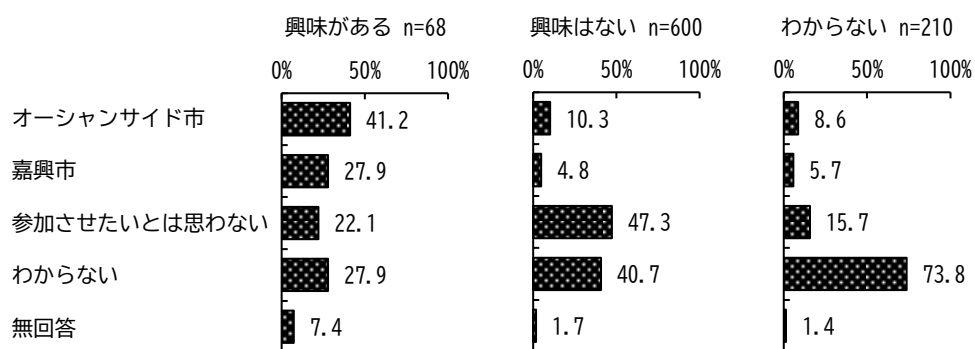
性別にみると、「参加させたいとは思わない」は男性が41.2%、女性が34.5%となり、男性が女性を6.7ポイント上回っている。

■どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいか 【年代別】



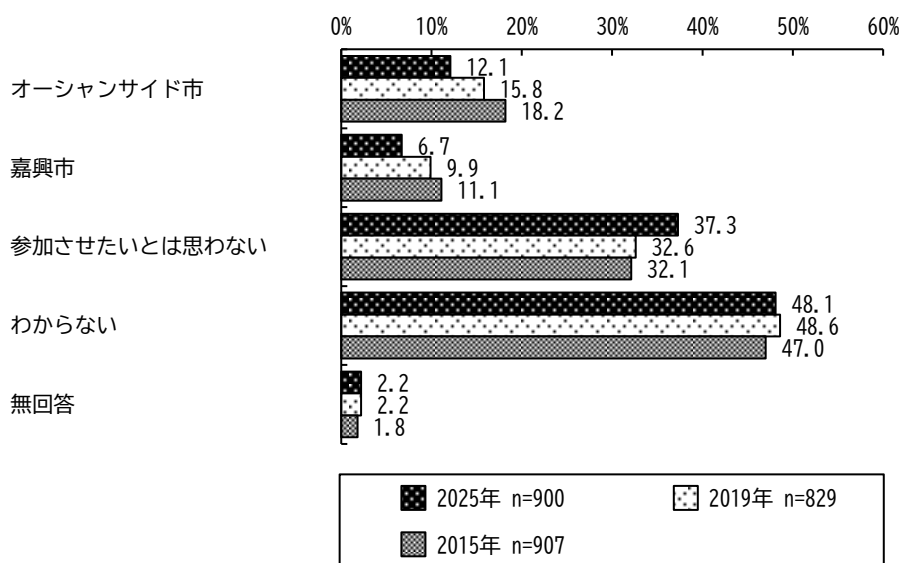
年代別にみると、40歳代で「オーシャンサイド市」が22.0%となっている。また、「参加させたいとは思わない」が20歳代以下で50.0%となっている。

■どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいか 【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「オーシャンサイド市」は興味がある人が41.2%、興味はない人が10.3%となり、30.9ポイントの差、「嘉興市」は興味がある人が27.9%、興味はない人が4.8%となり、23.1ポイントの差となっている。また、「参加させたいとは思わない」は興味がある人が22.1%、興味はない人が47.3%となっている。

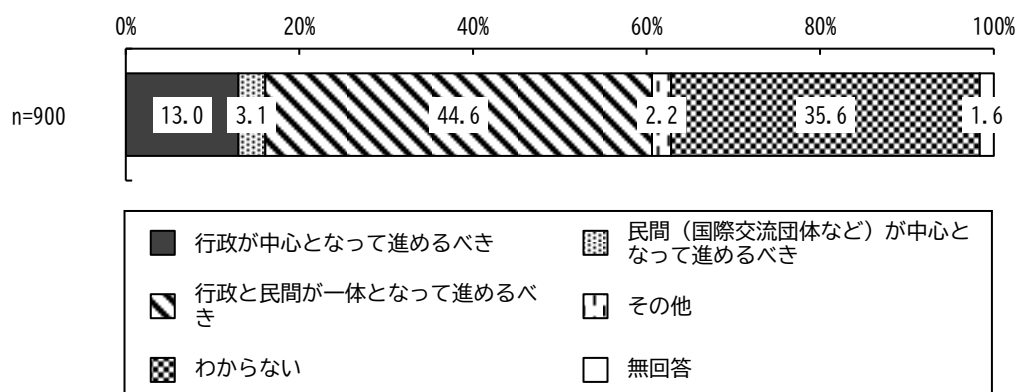
■どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいか 【経年比較】



経年比較では、「オーシャンサイド市」が前回調査から3.7ポイント低く、「嘉興市」が前回調査から3.2ポイント低くなっている。「どちらも行きたくない」は前回調査から4.7ポイント高くなっている。

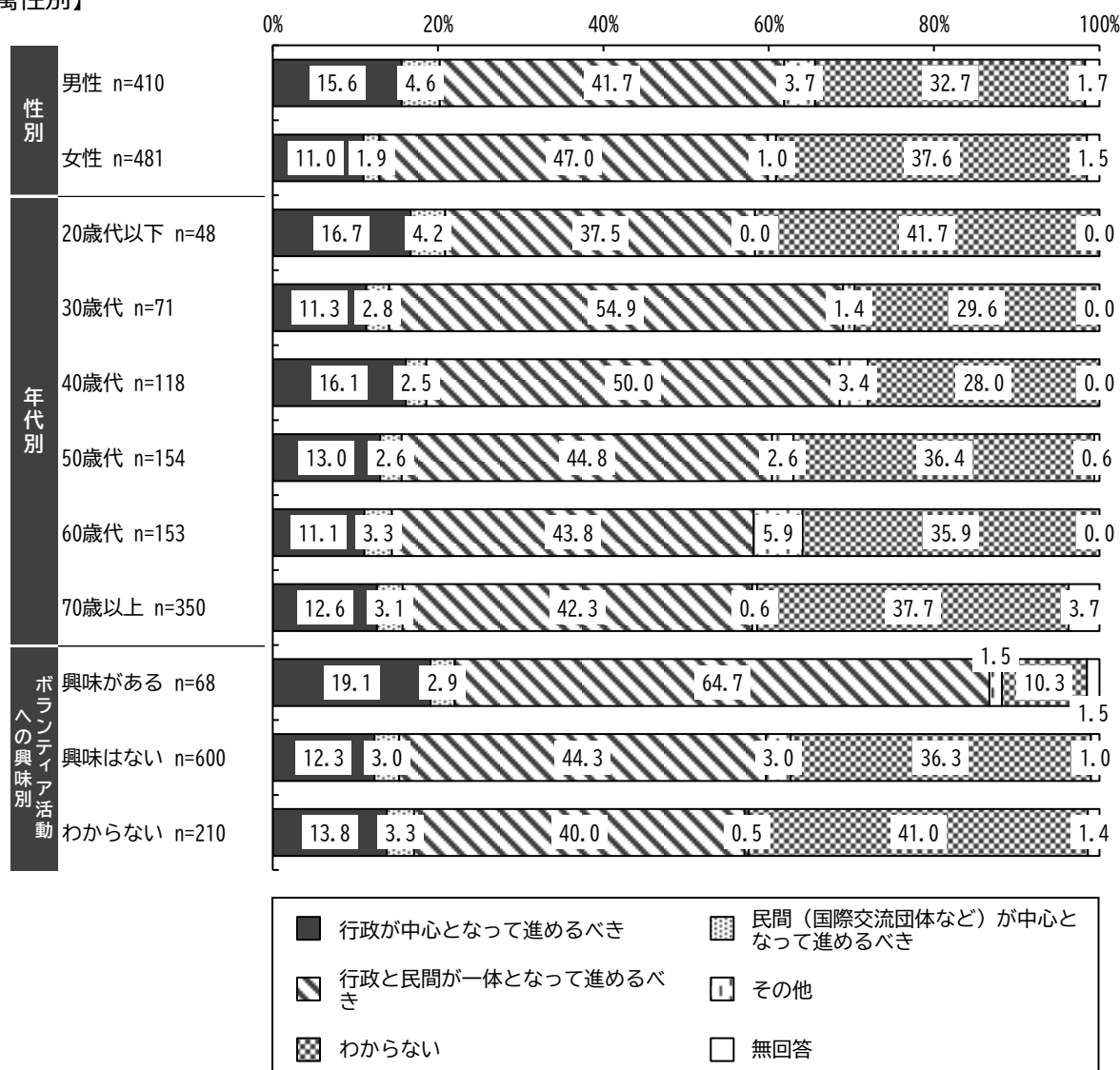
（５）姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思うか

問27 あなたは、今後の姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思いますか。（○は1つ）



姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思うかについては「行政が中心となって進めるべき」が13.0%、「民間（国際交流団体など）が中心となって進めるべき」が3.1%、「行政と民間が一体となって進めるべき」が44.6%、「その他」が2.2%、「わからない」が35.6%となっている。

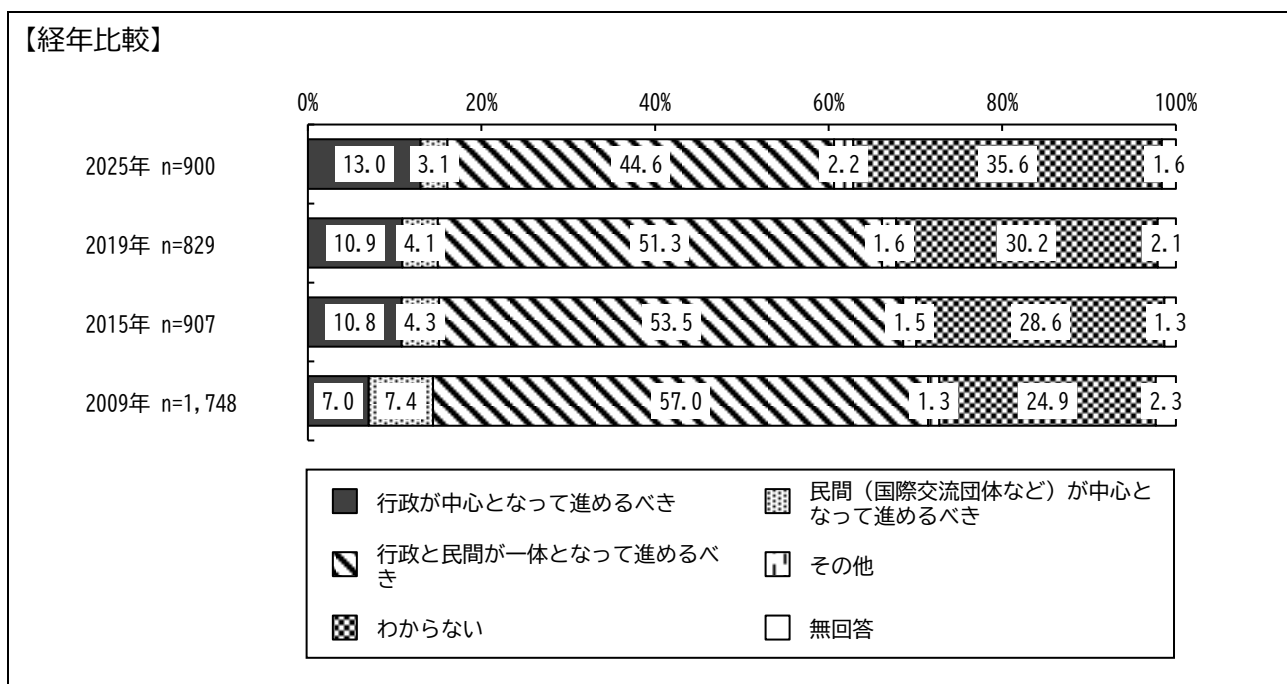
【属性別】



性別にみると、「行政と民間が一体となって進めるべき」は男性が41.7%、女性が47.0%となり、女性が男性を5.3ポイント上回っている。

年代別にみると、30歳代・40歳代は「行政と民間が一体となって進めるべき」が5割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、「行政と民間が一体となって進めるべき」は興味がある人が64.7%、興味はない人が44.3%となり、20.4ポイントの差となっている。また、「わからない」は興味がある人が10.3%、興味はない人が36.3%となっている。

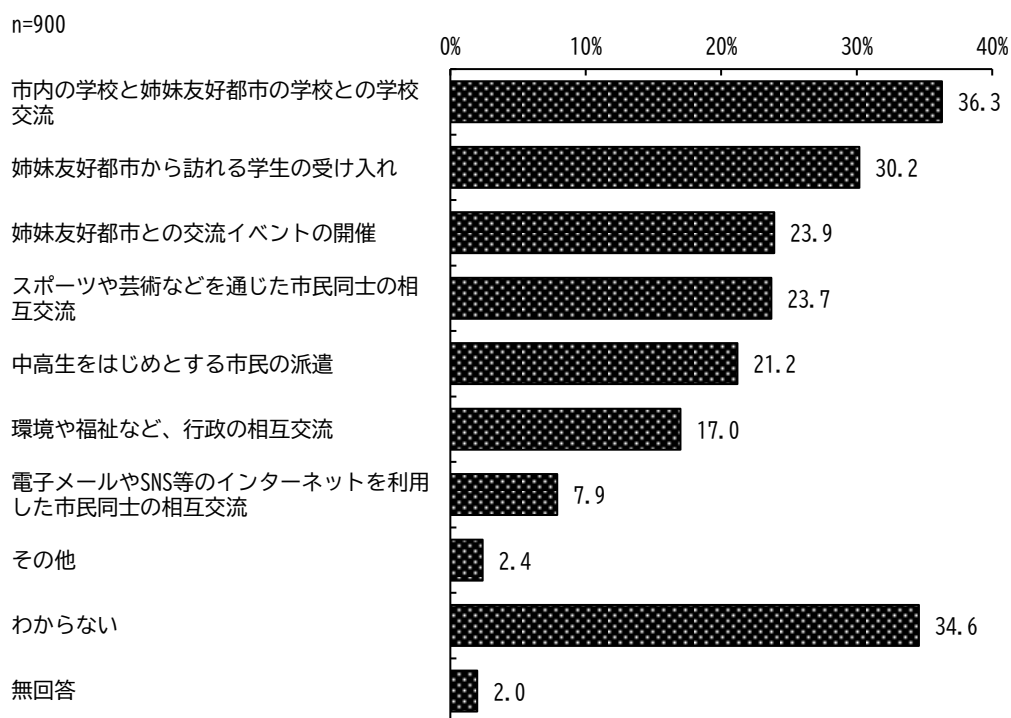


経年比較では、「行政と民間が一体となって進めるべき」が前回調査から6.7ポイント低くなっている。「わからない」は前回調査から5.4ポイント高くなっている。

(6) 姉妹友好都市との交流はどのような交流内容を重視して進めていくべきだと思うか

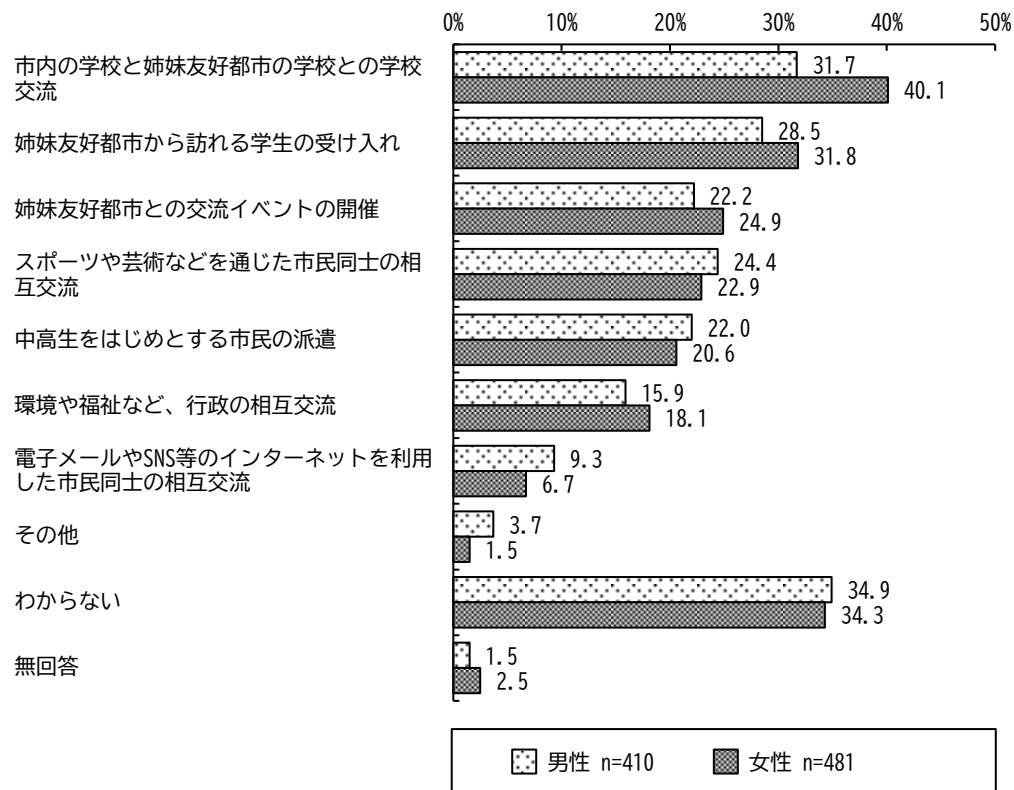
問28 姉妹友好都市との交流は、今後どのような交流内容を重視して進めていくべきだと思いますか。

(○はいくつでも)



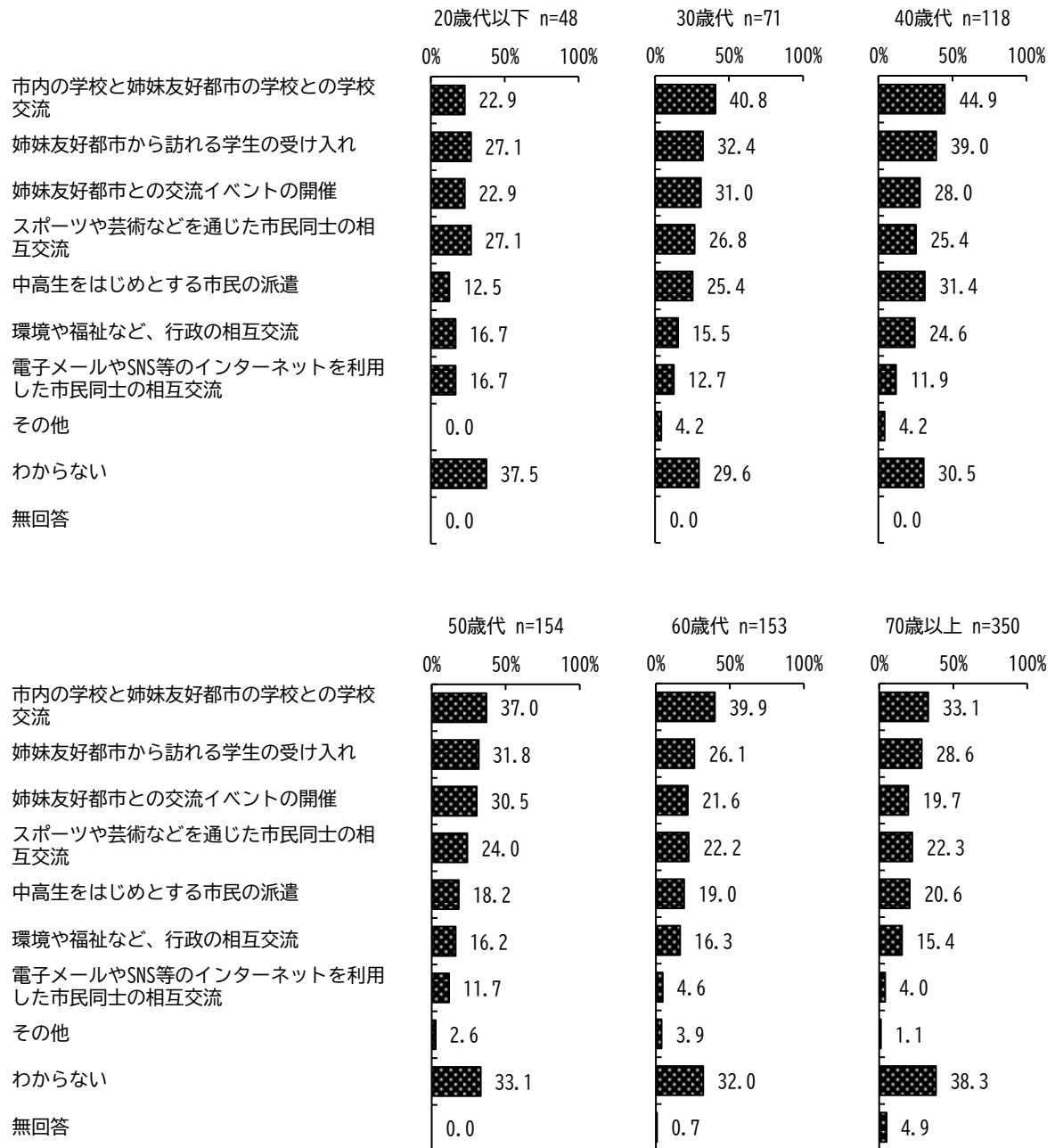
姉妹友好都市との交流はどのような交流内容を重視して進めていくべきだと思うかは「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が36.3%と最も高く、次いで「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」が30.2%、「姉妹友好都市との交流イベントの開催」が23.9%、「スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流」が23.7%などとなっている。また、「わからない」は34.6%となっている。

【性別】



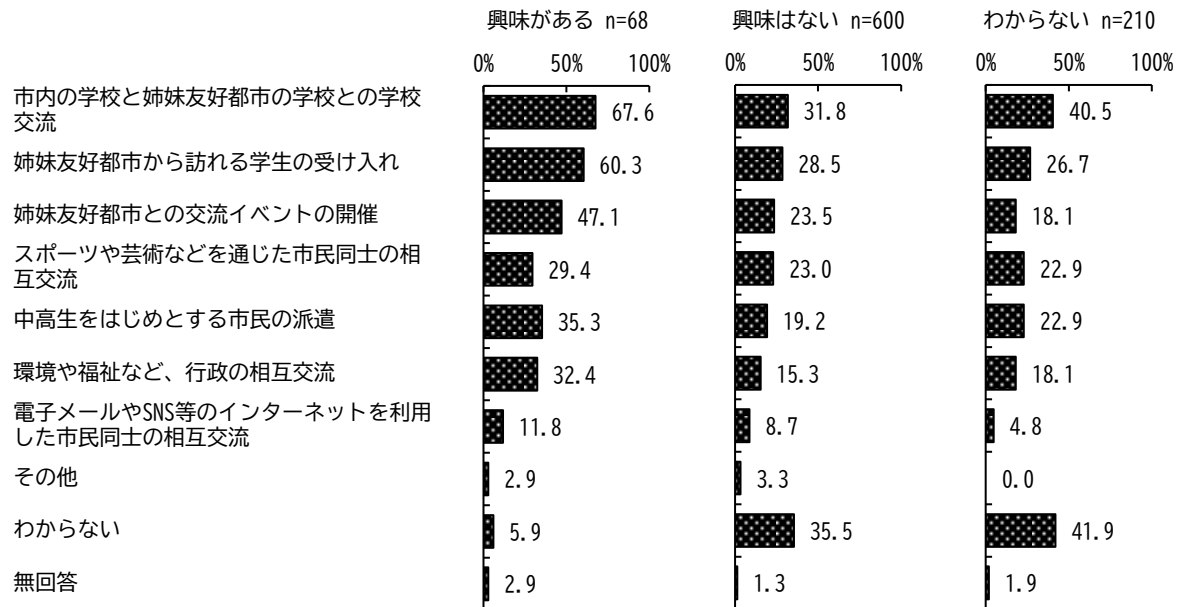
性別にみると、「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」は男性が31.7%、女性が40.1%となり、女性が男性を8.4ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、30歳代・40歳代は「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が4割以上となっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」は興味がある人が67.6%、興味はない人が31.8%となり、35.8ポイントの差、「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」は興味がある人が60.3%、興味はない人が28.5%となり、31.8ポイントの差となっている。

【経年比較】

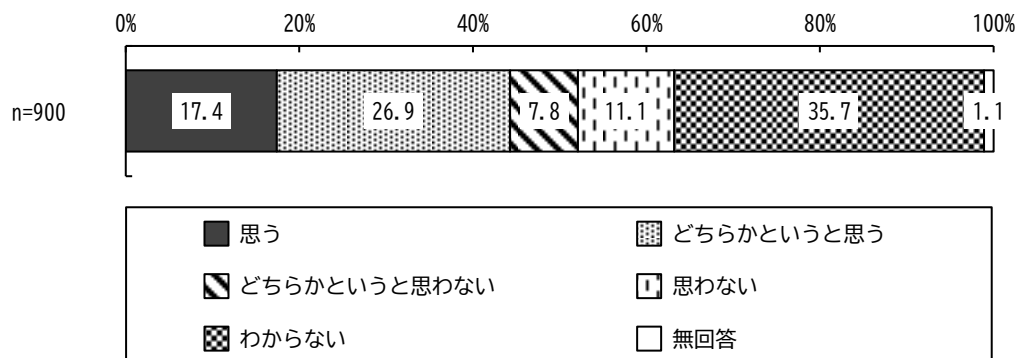
	(%)									
	市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流	姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ	姉妹友好都市との交流イベントの開催	スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流	中高生をはじめとする市民の派遣	環境や福祉など、行政の相互交流	電子メールやSNS等のインターネットを利用した市民同士の相互交流	その他	わからない	無回答
2025年 n=900	36.3	30.2	23.9	23.7	21.2	17.0	7.9	2.4	34.6	2.0
2019年 n=829	43.7	34.6	26.4	26.9	23.8	17.6	6.6	2.4	23.6	2.8
2015年 n=907	40.9	36.4	36.1	27.5	24.1	20.4	5.1	1.7	24.6	1.5
2009年 n=1,748	37.4	22.2	27.6	31.9	18.6	19.1	3.5	1.1	23.7	3.0

経年比較では、「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が前回調査から7.4ポイント低くなっている。また、「わからない」は前回調査から11.0ポイント高くなっている。

(7) 富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと思うか

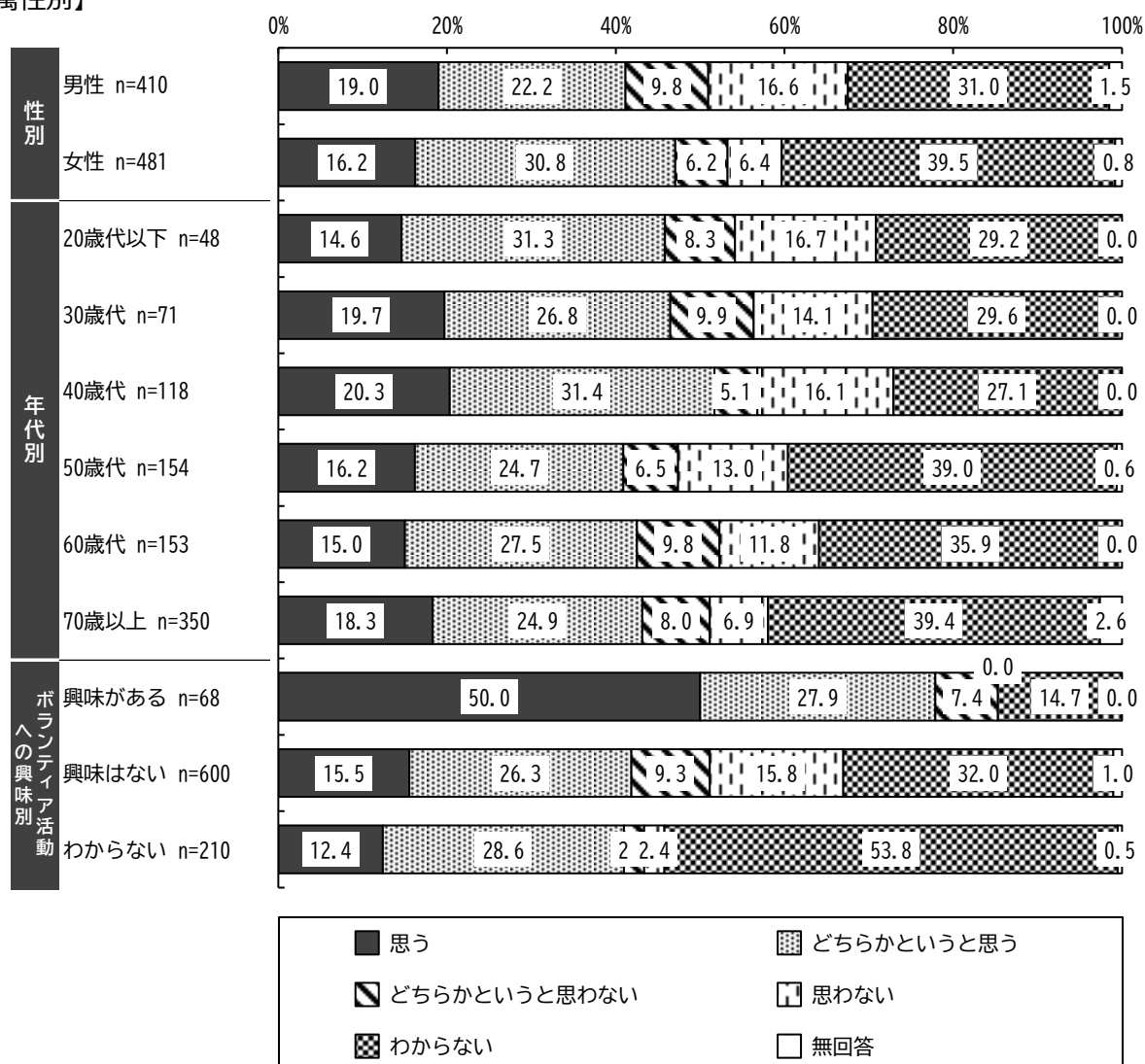
問29 あなたは、富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと思いますか。

(○は1つ)



富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと思うかについては「思う」の17.4%と「どちらかといえば思う」の26.9%を合わせた『思う』割合は44.3%、「どちらかといえば思わない」の7.8%と「思わない」の11.1%を合わせた『思わない』割合は18.9%となっている。また、「わからない」は35.7%となっている。

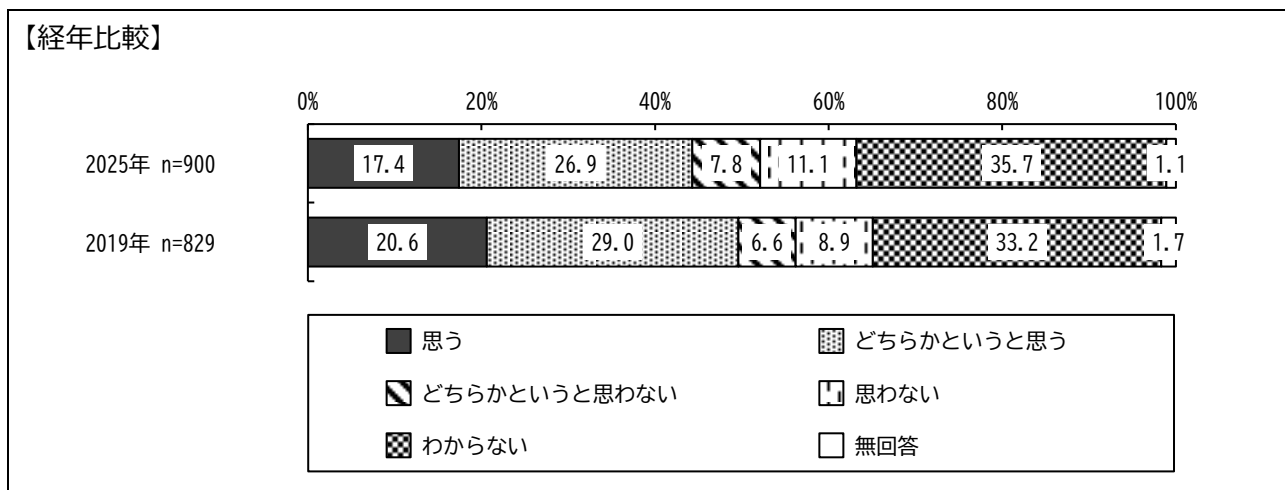
【属性別】



性別にみると、『思う』割合は男性が41.2%、女性が47.0%となり、女性が男性を5.8ポイント上回り、『思わない』割合は男性が26.4%、女性が12.6%となり、男性が女性を13.8ポイント上回っている。

年代別にみると、40歳代で『思う』割合が51.7%となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、『思う』割合は興味がある人が77.9%、興味はない人が41.8%となり、36.1ポイントの差となっている。

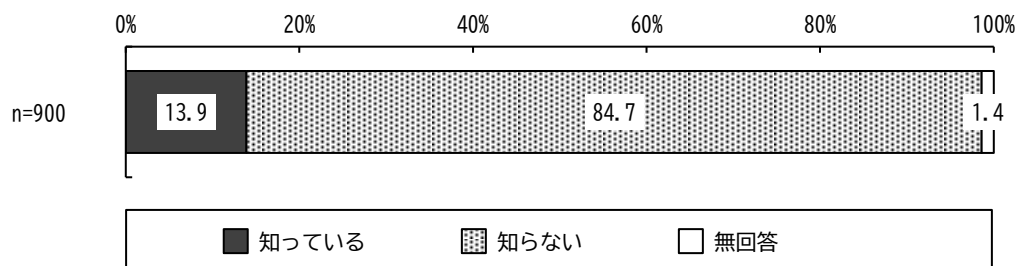


経年比較では、『思う』割合が前回調査から5.3ポイント低く、『思わない』割合は前回調査から3.4ポイント高くなっている。

4. 富士市国際交流協会について

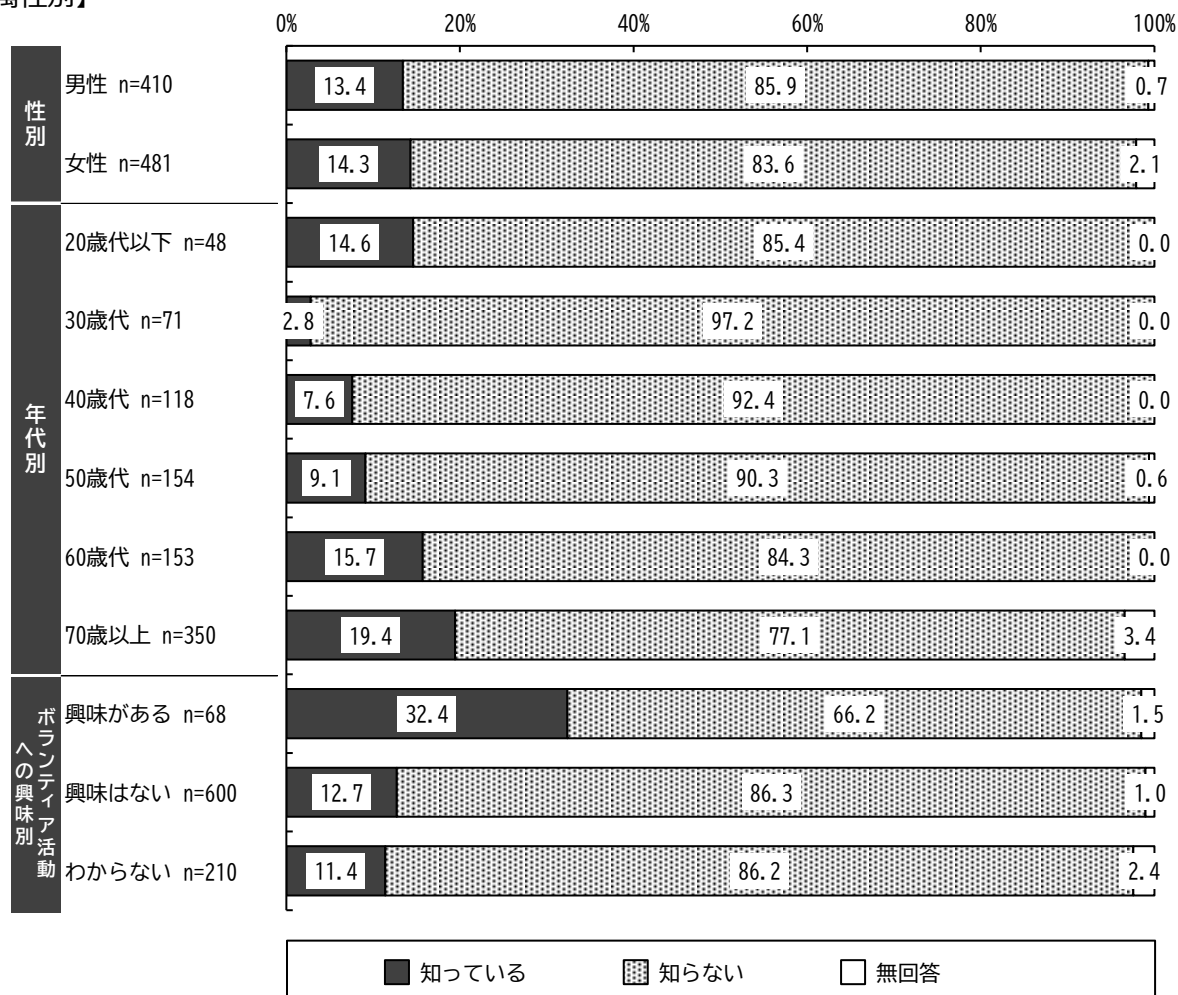
(1) 富士市国際交流協会について知っているか

問30 あなたは、富士市国際交流協会について知っていますか。(○は1つ)



富士市国際交流協会について知っているかは「知っている」が13.9%、「知らない」が84.7%となっている。

【属性別】



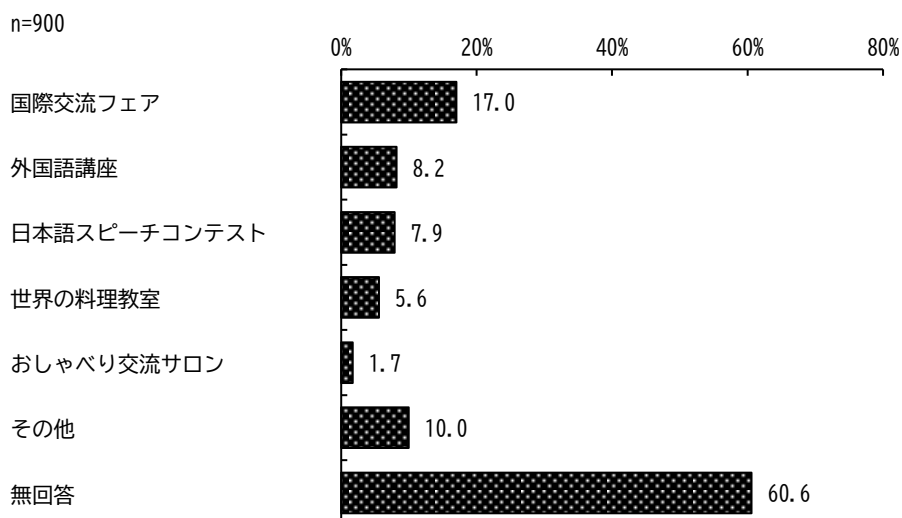
性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、30歳代から70歳以上で年代が上がるにつれて「知っている」が高くなっている。

ボランティア活動への興味別にみると、「知っている」は興味がある人が32.4%、興味はない人が12.7%となり、19.7ポイントの差となっている。

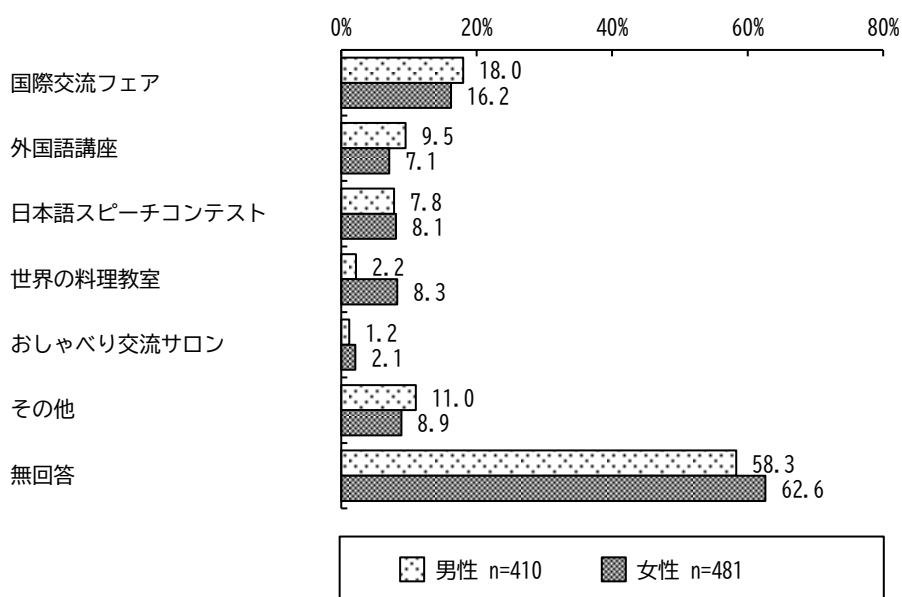
（２）富士市国際交流協会が実施する事業の中で知っているもの

問31 富士市国際交流協会が実施する事業の中で、あなたの知っている事業はありますか。（○はい/×いいえ）



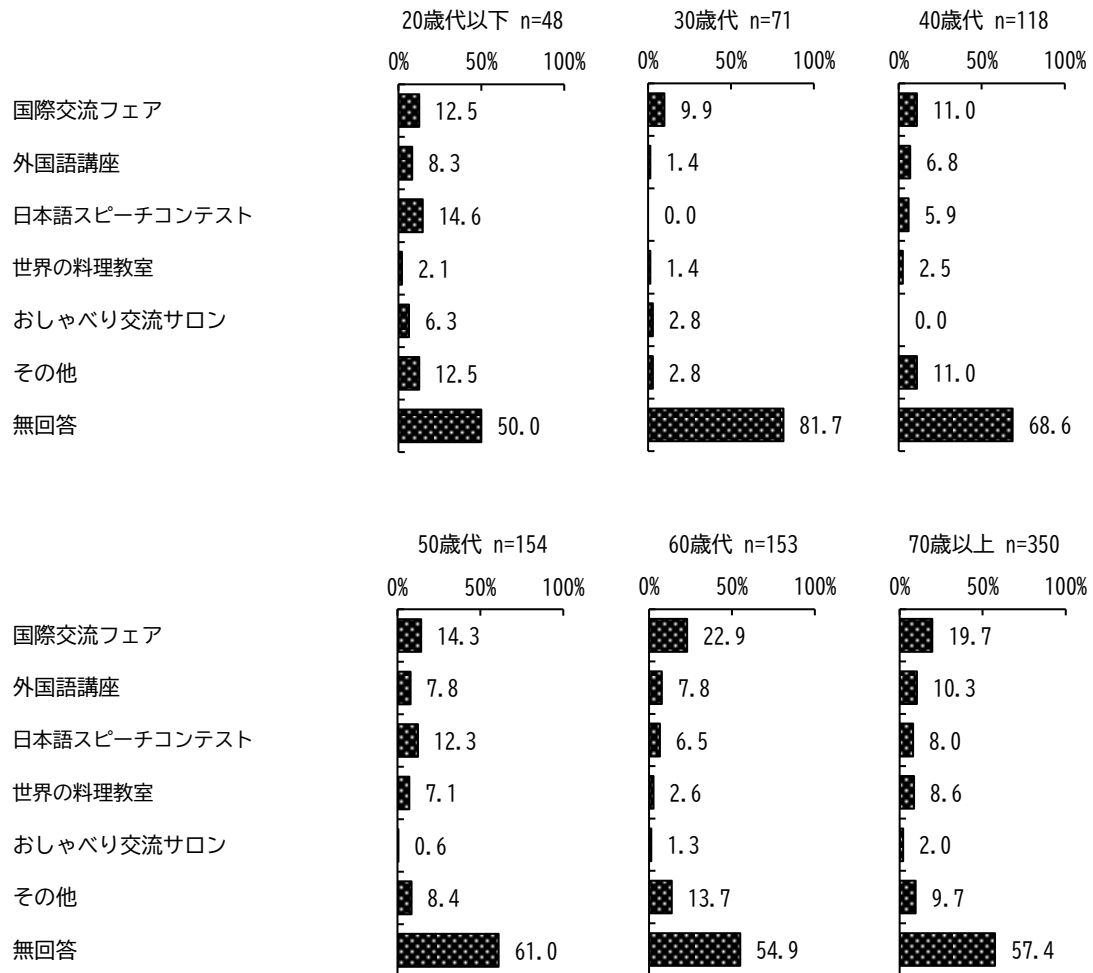
富士市国際交流協会が実施する事業の中で知っているものは「国際交流フェア」が17.0%と最も高く、次いで「外国語講座」が8.2%、「日本語スピーチコンテスト」が7.9%などとなっている。

【性別】



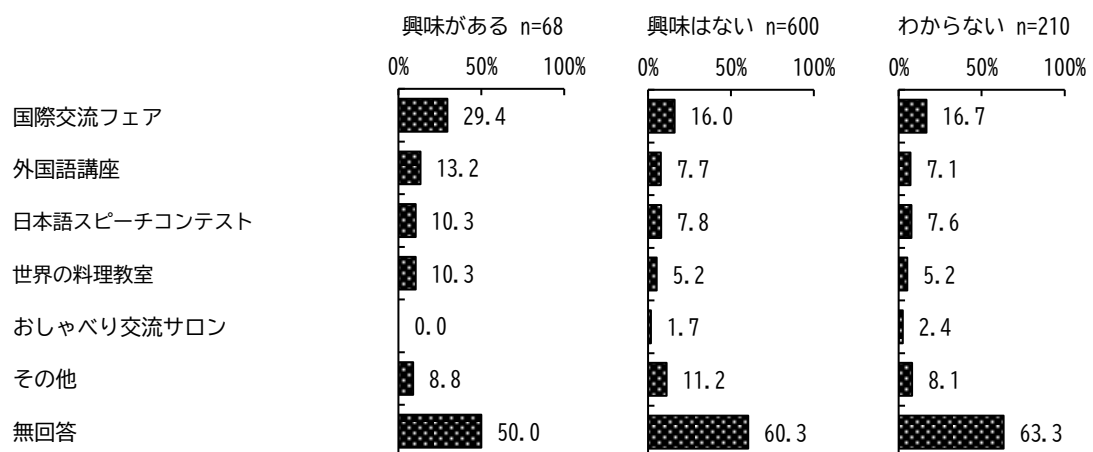
性別にみると、「世界の料理教室」は男性が2.2%、女性が8.3%となり、女性が男性を6.1ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、60歳代で「国際交流フェア」が22.9%となっている

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「国際交流フェア」は興味がある人が29.4%、興味はない人が16.0%となり、13.4ポイントの差となっている。

(3) 富士市国際交流協会に実施してほしい事業

問32 富士市国際交流協会に実施してほしい事業はありますか

- 母国の紹介のビデオ等の放映。…………… (男性60歳代)
- 交流の実体験がないので、何が必要か想像ができません。…………… (男性70歳代以上)
- 交流ゴルフコンペ…………… (男性40歳代)
- 小中高との交流機会を設けてほしい。…………… (女性40歳代)
- 多国籍で受け入れるのではなく、国を限定するのがよい。どの国でも対応が難しく、来られた方も苦勞する。…………… (男性60歳代)
- 大人も子どもも参加できるイベント。…………… (女性30歳代)
- 高齢者だけの生活なので、今のことはよくわからないが、20年も前だが娘が市の交流でニュージーランドへ行ってとてもよい体験をしたので、そういう交流を続けてほしいです。また反対に私たちが受け入れるようなことも大切かと思います。… (女性70歳代以上)
- 若い人のスポーツ交流。…………… (男性70歳代以上)
- 見聞を広めるための海外渡航費用の支援。…………… (男性70歳代以上)
- 特にはないが、せめて富士市民がみんな知っているくらいに知名度はあげたほうがよいと思います。…………… (女性40歳代)
- 国際交流フェア…………… (女性70歳代以上)
- 申し訳ありませんが、国際交流というものが身近に感じられません。…………… (男性60歳代)
- 同じ西側諸国の女性と日本男性の交流。…………… (男性70歳代以上)
- コメントできない(知識がないので)。…………… (男性70歳代以上)
- 難しいことは抜きに、とにかく雑談。…………… (男性70歳代以上)
- 本会の啓発活動。…………… (男性60歳代)
- チラシで事業をみかけた程度です。特に希望はありません。ただ、有意義な事案と感じています。…………… (女性60歳代)
- 交流イベント…………… (男性70歳代以上)
- 外国人の一般常識の徹底を強化する。…………… (男性70歳代以上)
- 事業をもっと積極的にアピールして、中央公園の集まりで、スポーツの交流や文化を体験できる機会を増やしてほしい。…………… (女性70歳代以上)
- どういう理由で今の友好都市を選んだか教えてほしい。…………… (女性70歳代以上)
- スポーツ…………… (男性50歳代)
- 今やっている事業を知らない人に興味をもってもらうように発信すればよいと思います。…………… (女性60歳代)
- 日常会話(外国語)教えてほしい。…………… (女性60歳代)
- 留学にかかる、かかった費用を負担してほしい。…………… (女性20歳代)
- 外国人と言ってもいろいろな種類の人が居ます。おそらく経済的理由により日本に出稼ぎの人もいるだろうし(ほとんど)永住を望む者、お金を貯めて帰る者。その辺の選別も必要。特に不動産利益目的の中国人は注意。個々のロケーションは最高だとか。(男性60歳代)
- 日本という国の中で、外国から見た「富士市」は、どういった印象なのか。海外の方にたずねてみたい。…………… (女性50歳代)
- わかりませんが、現在実施している事業を布教いただきたい。…………… (男性60歳代)
- ヨーロッパ諸国との文化、学術交流を重視してほしいと考えます。…………… (男性70歳代以上)
- 気軽に外国人が地域の行事等に、少人数でもよいので参加できる機会を増やす(各地域の代表と相談のうえ)。…………… (男性60歳代)
- スポーツや芸術などを通じた交流。…………… (女性50歳代)
- 外国語を用いた仕事の斡旋。…………… (女性20歳代)
- 相互のアンテナショップの開店、食品、衣料、伝統工芸品などの販売。…………… (男性60歳代)
- 防災…………… (女性50歳代)
- スポーツ…………… (男性50歳代)
- 私を含め活動を知らない人が、周知できるように大きなイベントについては広報を。…………… (男性50歳代)
- まず何をしているのかが分からない。…………… (男性40歳代)
- 日常生活の体験。…………… (男性70歳代以上)
- 交流会…………… (女性20歳代)
- 農業体験…………… (男性60歳代)
- フリーマーケット。その国の雑貨などを集めて売ってほしい。…………… (女性50歳代)
- いろいろな発信。…………… (男性30歳代)
- 外国人との散歩イベント(史跡巡り等)…………… (男性70歳代以上)
- 日本の文化を伝える講座。…………… (女性50歳代)
- 料理教室開催を増やしてほしい。…………… (女性60歳代)
- 国際交流だけでなく、各家庭の現状も見、纏めて市民に伝えてもらいたい。今普通の家庭でも生活していくのに大変だから、他国籍の方はなお一層大変なのでは。…………… (女性60歳代)
- 富士市に転入してきたばかりで、富士市の活動を十分把握できていません。…………… (男性60歳代)
- 地域単位での料理教室や文化祭参加。…………… (男性60歳代)
- 学生世代の交流イベント…………… (男性20歳代)
- やっぱり発信だよ。…………… (男性50歳代)
- 互いが気軽に交流できる場。…………… (女性60歳代)

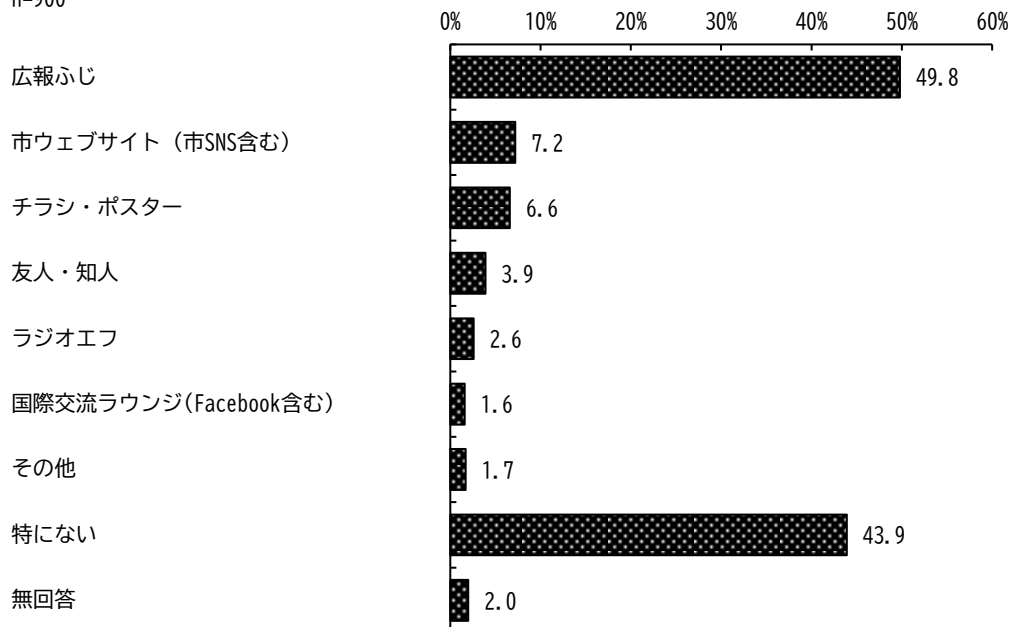
5. 多文化共生・国際化について

(1) 市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手しているか

問33 あなたは、市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手していますか。

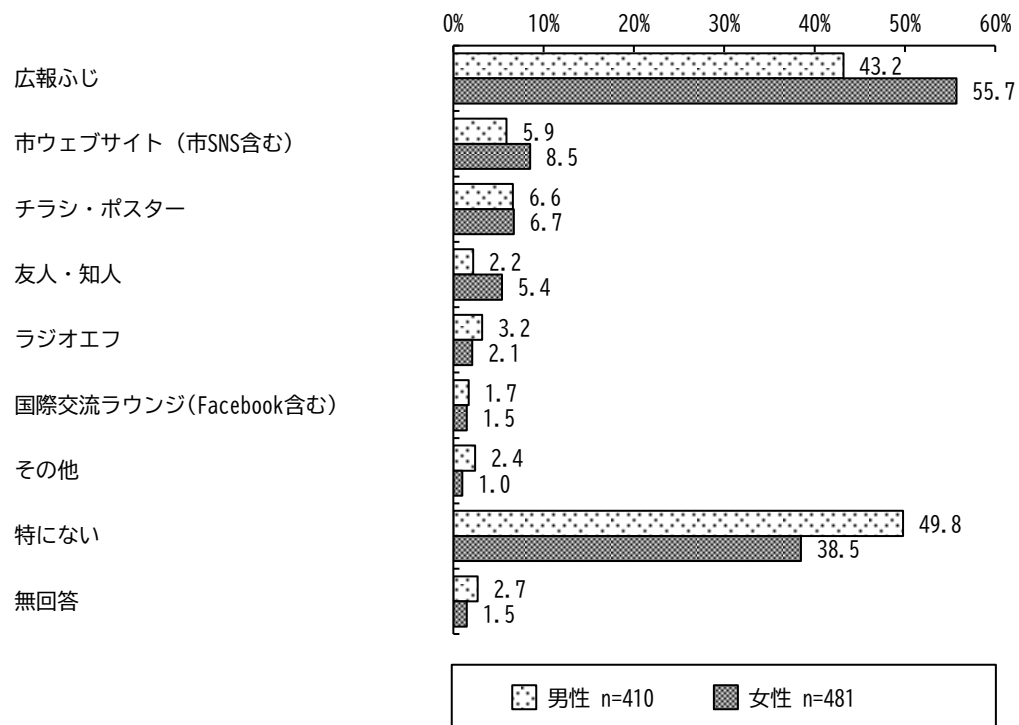
(○はいくつでも)

n=900



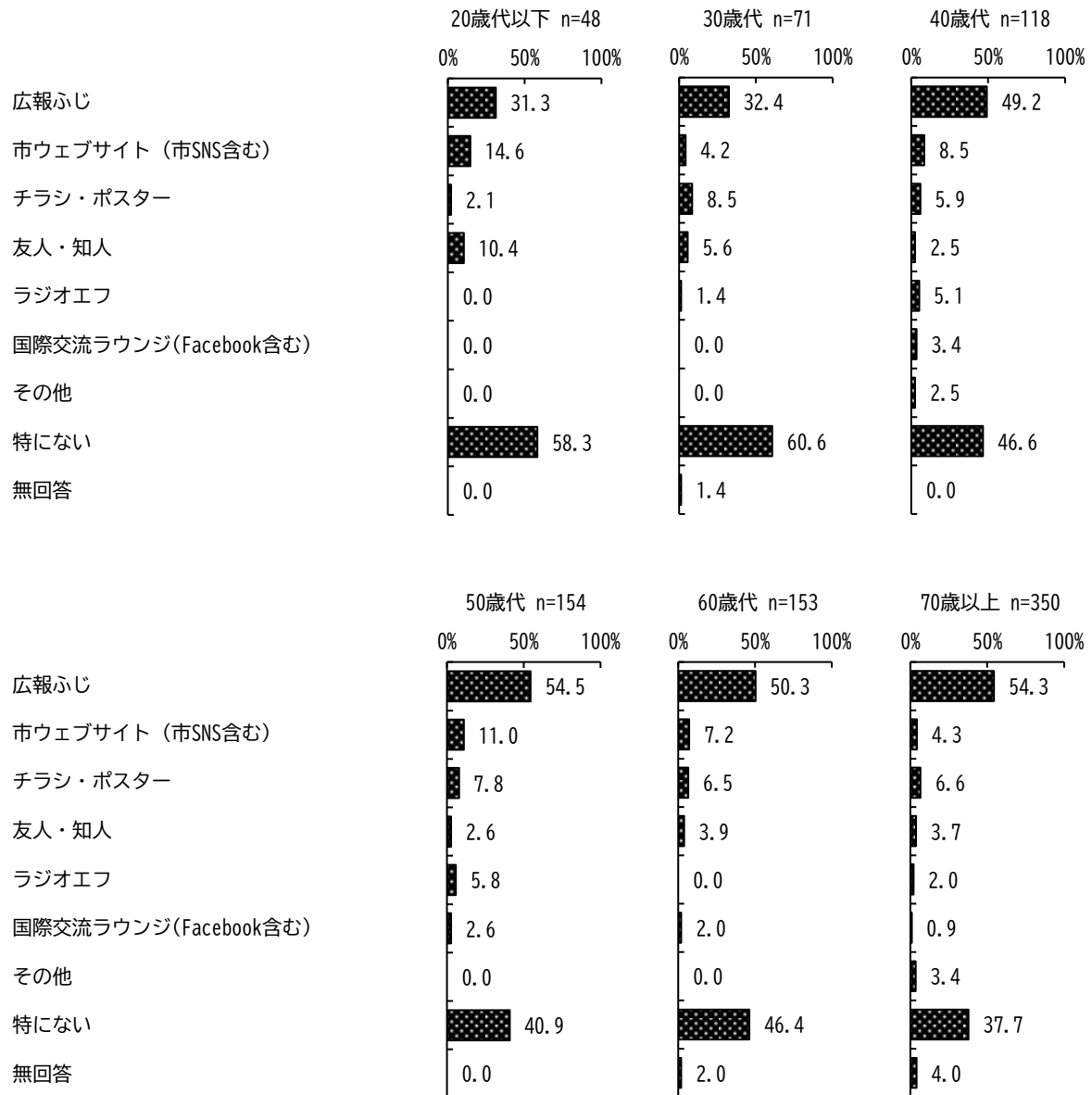
市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手しているかについては「広報ふじ」が49.8%と最も高く、次いで「市ウェブサイト (市SNS含む)」が7.2%、「チラシ・ポスター」が6.6%、「友人・知人」が3.9%などとなっている。一方、「特にない」は43.9%となっている。

【性別】



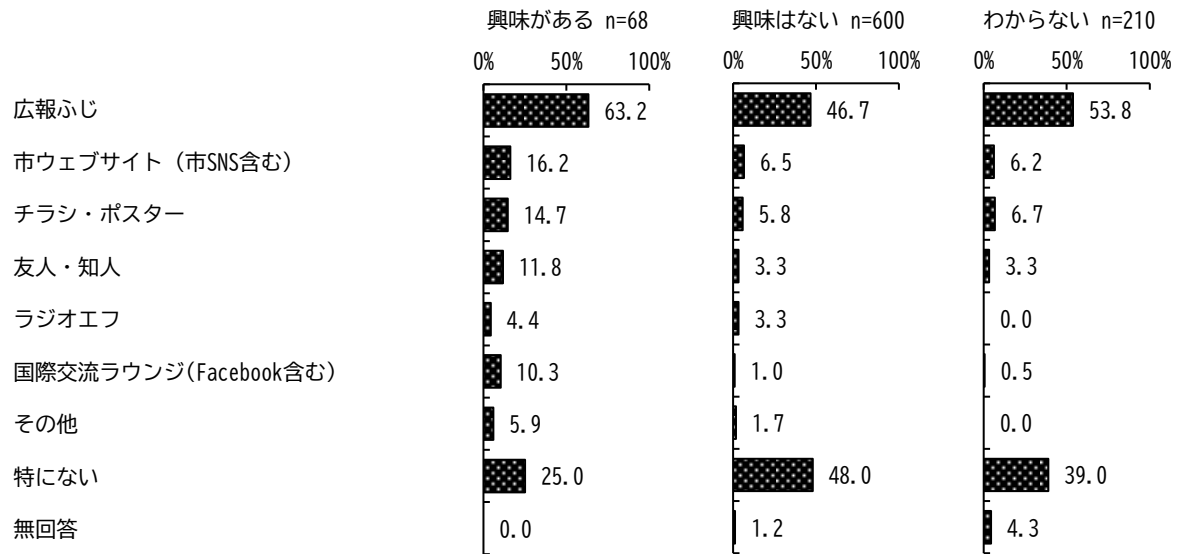
性別にみると、「広報ふじ」は男性が43.2%、女性が55.7%となり、女性が男性を12.5ポイント上回っている。また、「特にない」は男性が49.8%、女性が38.5%となり、男性が女性を11.3ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、50歳代・60歳代・70歳以上は「広報ふじ」が5割以上となっている。また、30歳代で「特にない」が60.6%となっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「広報ふじ」は興味がある人が63.2%、興味はない人が46.7%となり、16.5ポイントの差となっている。

【経年比較】

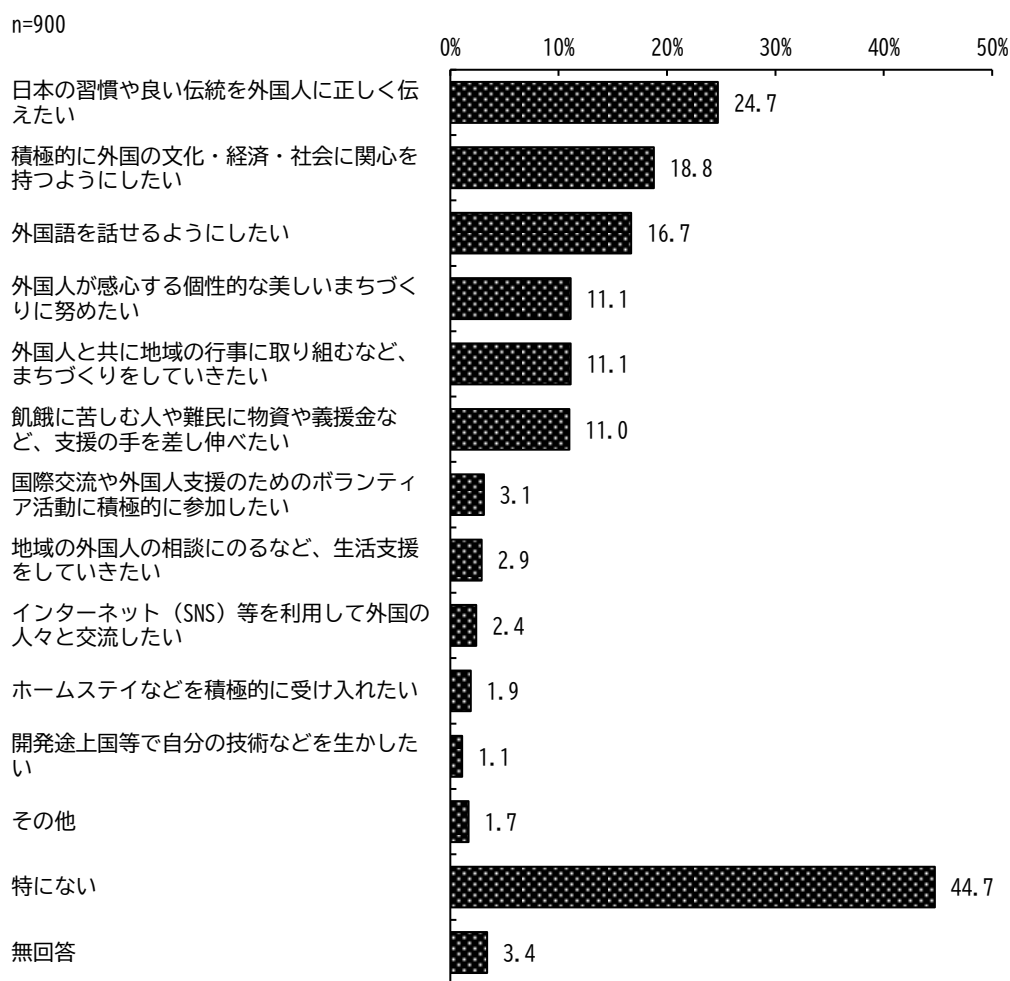
	広報 ふじ	市ウ ェブ サイ ト（ 市 SNS 含 む）	チ ラ シ ・ ポ ス タ ー	友 人 ・ 知 人	ラ ジ オ エ フ	国 際 交 流 ラ ウ ン ジ （ F a c e b o o k 含 む）	そ の 他	特 に な い	無 回 答
2025年 n=900	49.8	7.2	6.6	3.9	2.6	1.6	1.7	43.9	2.0
2019年 n=829	46.1	1.9	7.7	5.1	3.1	1.1	1.9	48.4	2.3
2015年 n=907	49.1	2.5	7.9	5.1	3.9	0.9	1.3	45.8	2.3

経年比較では、「市ウェブサイト（市SNS含む）」が前回調査から5.3ポイント高くなっている。

(2) 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、どのような対応をしていきたいか

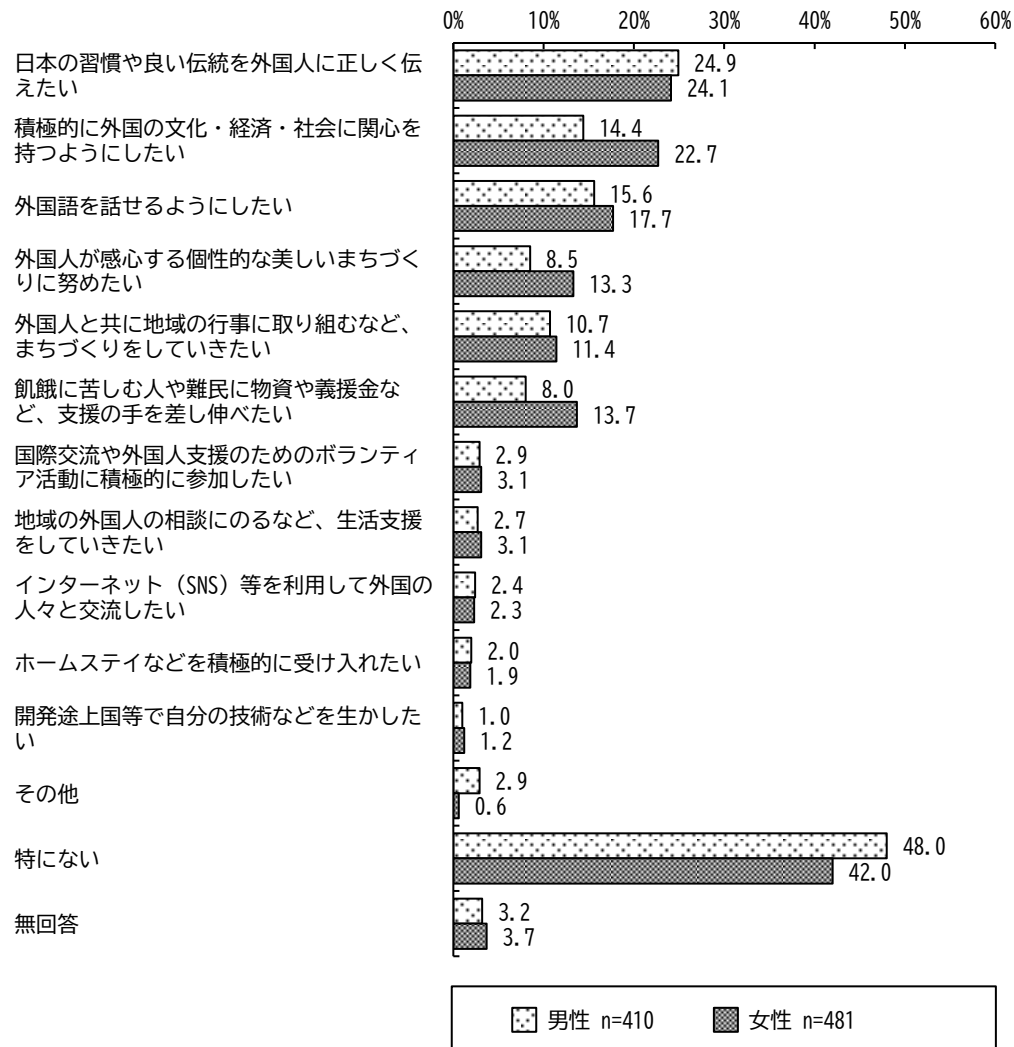
問34 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいですか。

(○はいくつでも)



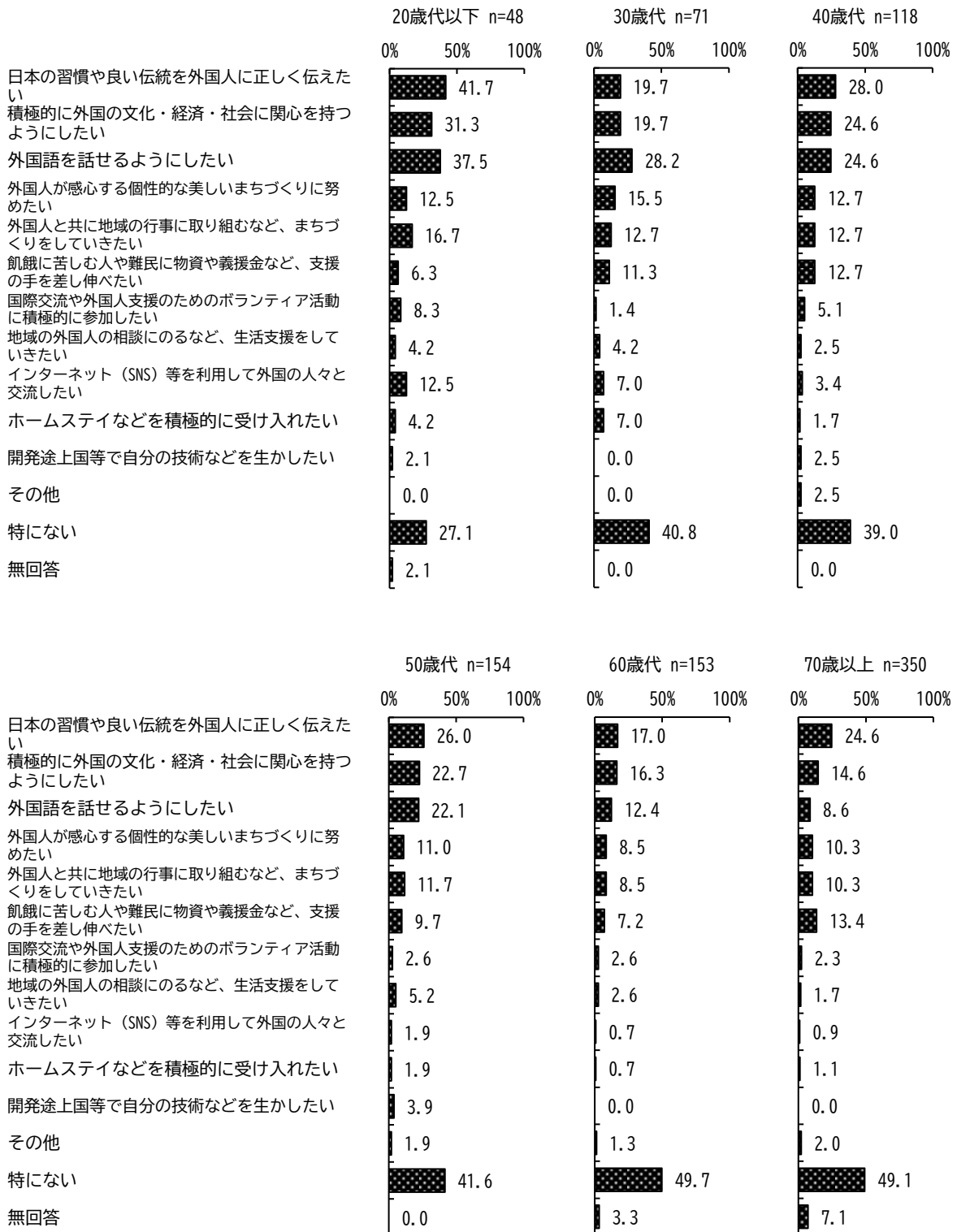
今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、どのような対応をしていきたいかについては「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」が24.7%と最も高く、次いで「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」が18.8%、「外国語を話せるようにしたい」が16.7%、「外国人が感心する個性的な美しいまちづくりに努めたい」と「外国人と共に地域の行事に取り組むなど、まちづくりをしていきたい」が11.1%などとなっている。

【性別】



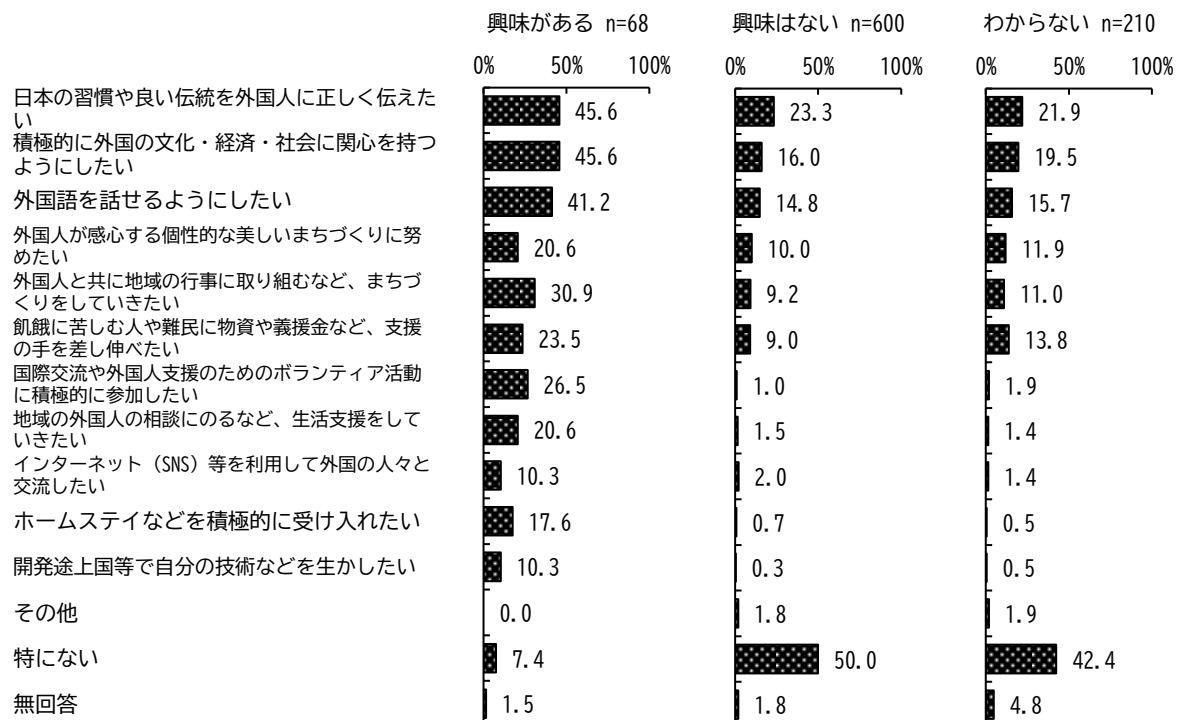
性別にみると、「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」は男性が14.4%、女性が22.7%となり、女性が男性を8.3ポイント上回っている。

【年代別】



年代別にみると、20歳代以下で「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」が41.7%となっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」は興味がある人が45.6%、興味はない人が16.0%となり、29.6ポイントの差となっている。一方、「特にない」は興味がある人が7.4%、興味はない人が50.0%となり、42.6ポイントの差となっている。

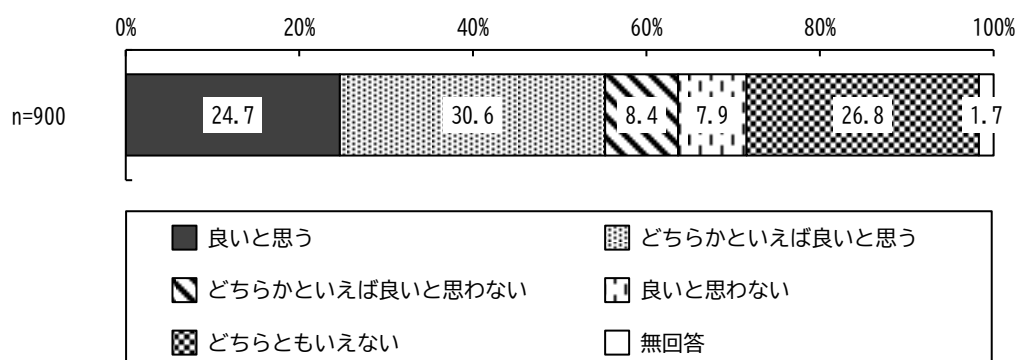
【経年比較】

	外国に日本人の習慣や文化を伝えるようにしたい	外国語を話せるようにしたい	外国人が感心する個性的な美しいまちづくりに努めたい	外国人と共に地域の行事に取り組むなど、まちづくりをしていきたい	飢餓に苦しむ人や難民に物資や義援金など、支援の手を差し伸べたい	国際交流や外国人支援のためのボランティア活動に積極的に参加したい	地域の外国人の相談にのるなど、生活支援をしていきたい	インターネット（SNS）等を利用して外国の人々と交流したい	ホームステイなどを積極的に受け入れたい	開発途上国等で自分の技術などを生かしたい	その他	特にない	無回答
2025年 n=900	24.7	18.8	16.7	11.1	11.1	11.0	3.1	2.9	2.4	1.9	1.1	44.7	3.4
2019年 n=829	32.8	28.5	23.0	18.1	13.8	13.8	5.8	5.4	3.3	4.3	1.8	32.2	2.3
2015年 n=907	34.4	28.7	21.9	19.1	16.6	18.0	6.5	5.0	3.2	2.6	1.4	31.1	2.1
2009年 n=1,748	38.9	28.5	22.4	18.6	0.0	30.4	5.2	5.2	2.3	3.0	0.7	25.9	3.2

経年比較では、全ての項目が前回調査から低くなり、「特にない」が前回調査から12.5ポイント高くなっている。

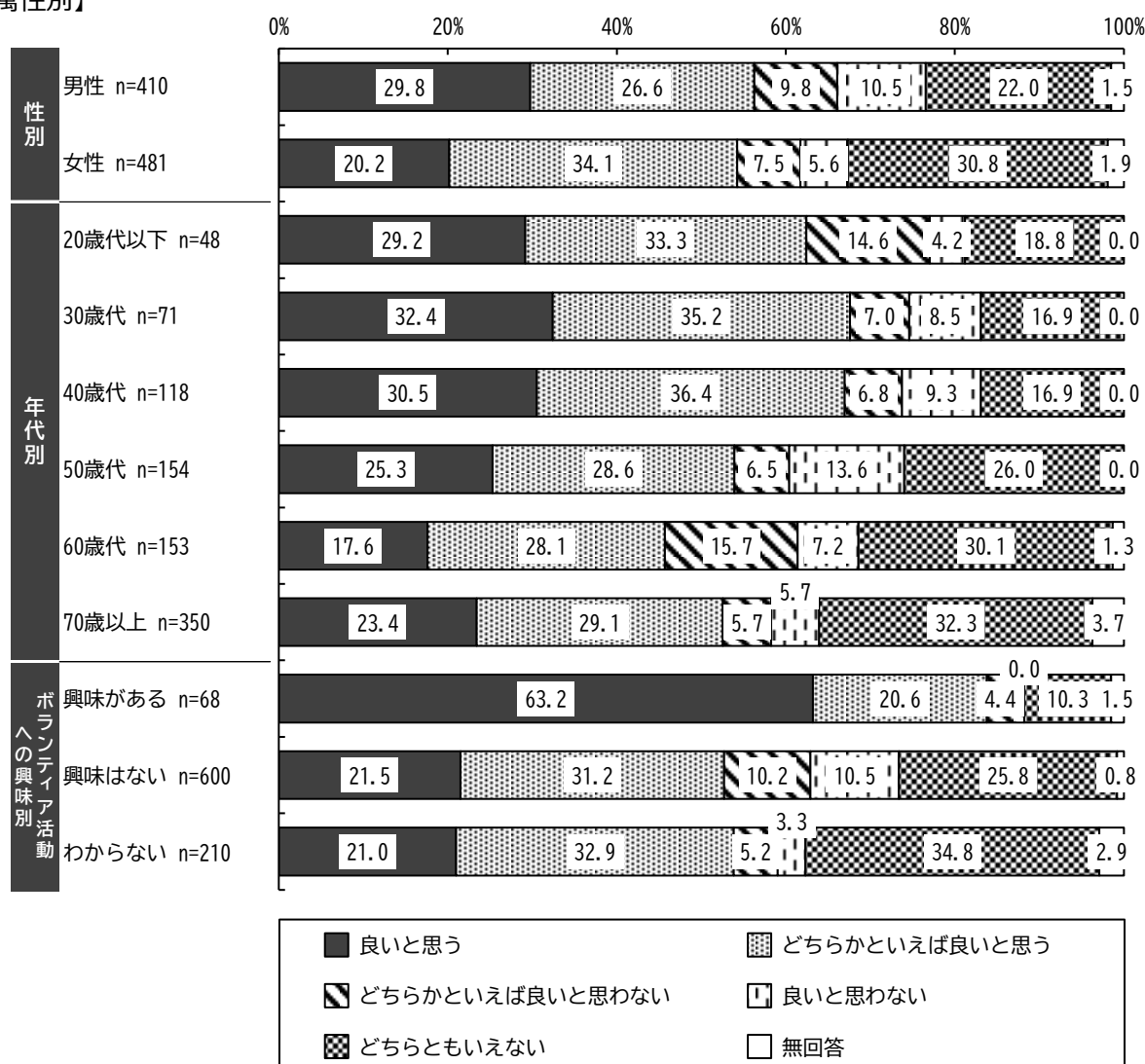
(3) 富士市を訪れる外国人観光客が増加することについてどう思うか

問35 富士市を訪れる外国人観光客が増加することについてどう思いますか。(○は1つ)



富士市を訪れる外国人観光客が増加することについては「良いと思う」の24.7%と「どちらかといえば良いと思う」の30.6%を合わせた『良いと思う』割合は55.3%、「どちらかといえば良いと思わない」の8.4%と「良いと思わない」の7.9%を合わせた『良いと思わない』割合は16.3%となっている。また、「どちらともいえない」は26.8%となっている。

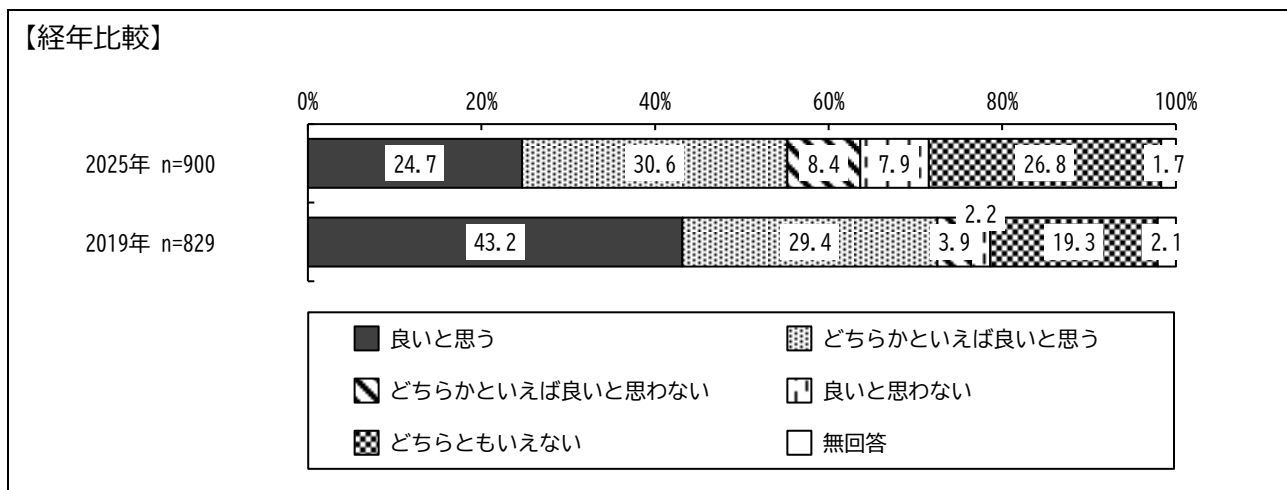
【属性別】



性別にみると、『良いと思わない』割合は男性が20.3%、女性が13.1%となり、男性が女性を7.2ポイント上回っている。

年代別にみると、20歳代以下・30歳代・40歳代は『良いと思う』割合が6割以上となっている。

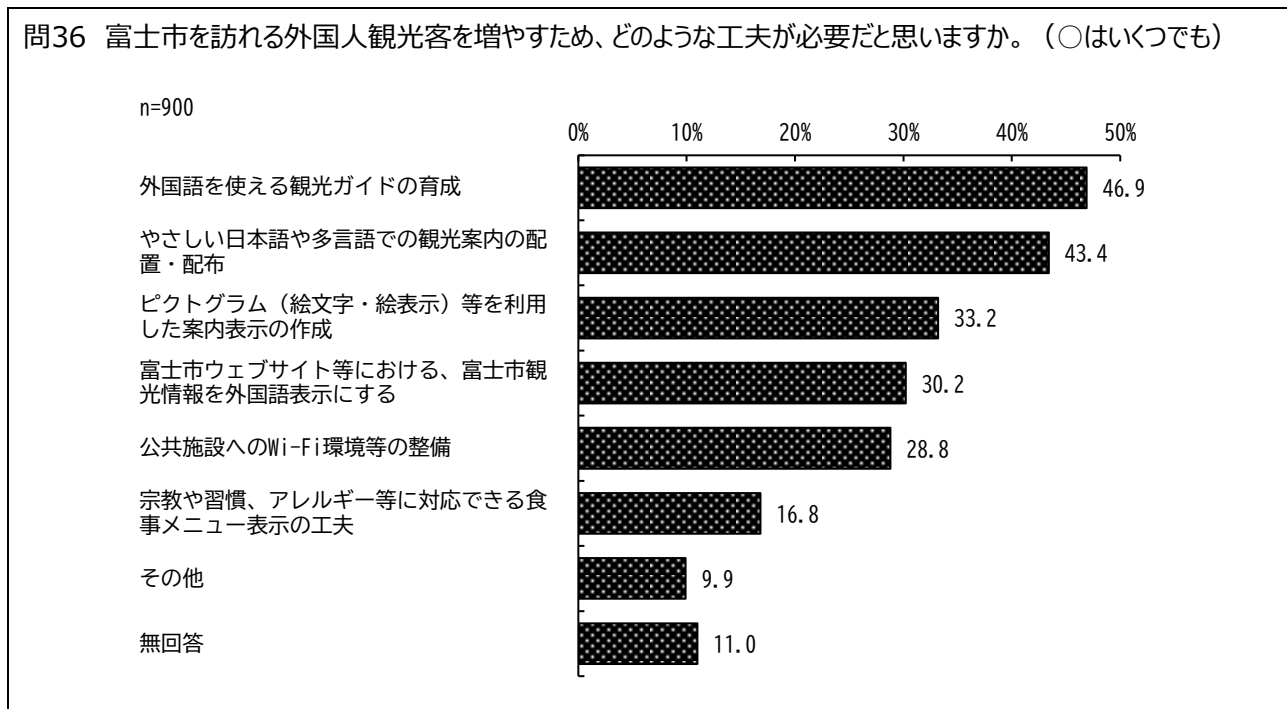
ボランティア活動への興味別にみると、「良いと思う」は興味がある人が63.2%、興味はない人が21.5%となり、41.7ポイントの差となっている



経年比較では、「良いと思う」が前回調査から18.5ポイント低くなっている。

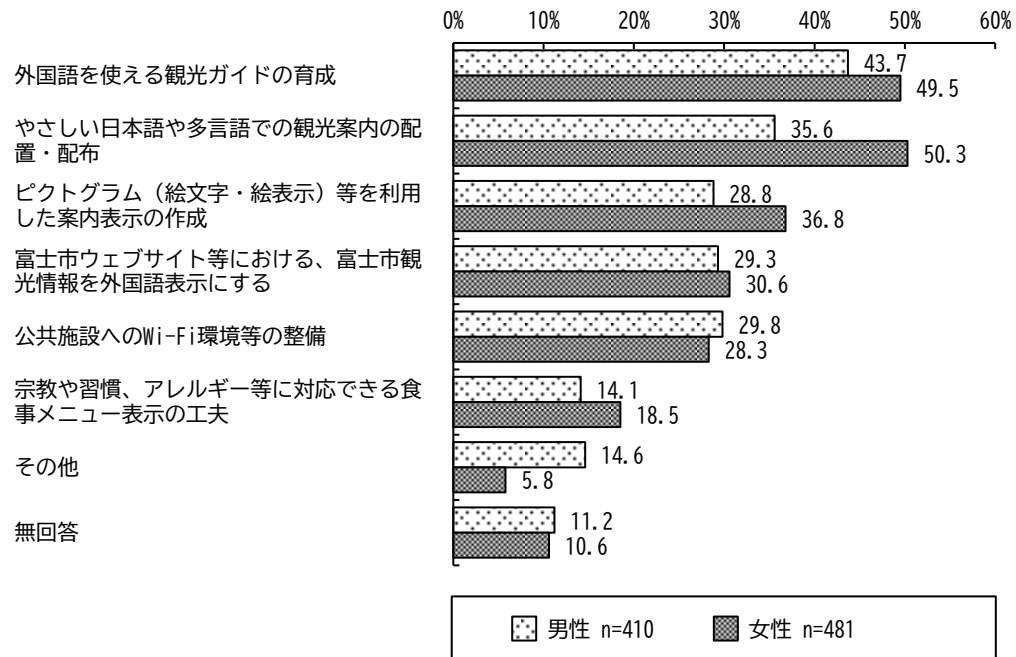
（４）富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思うか

問36 富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思いますか。（○はいくつでも）



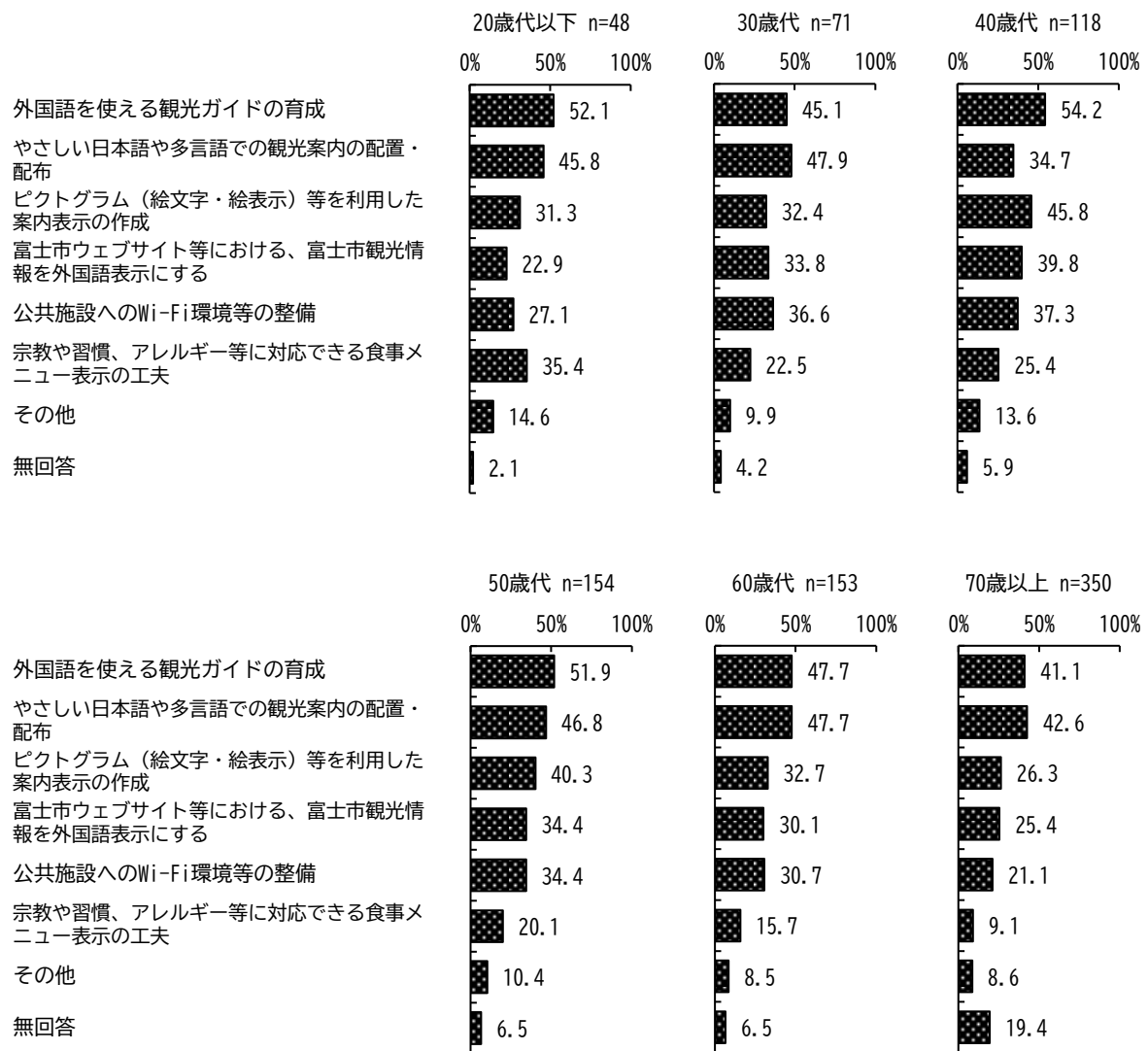
富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思うかについては「外国語を使える観光ガイドの育成」が46.9%と最も高く、次いで「やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布」が43.4%、「ピクトグラム（絵文字・絵表示）等を利用した案内表示の作成」が33.2%、「富士市ウェブサイト等における、富士市観光情報を外国語表示にする」が30.2%などとなっている。

【性別】



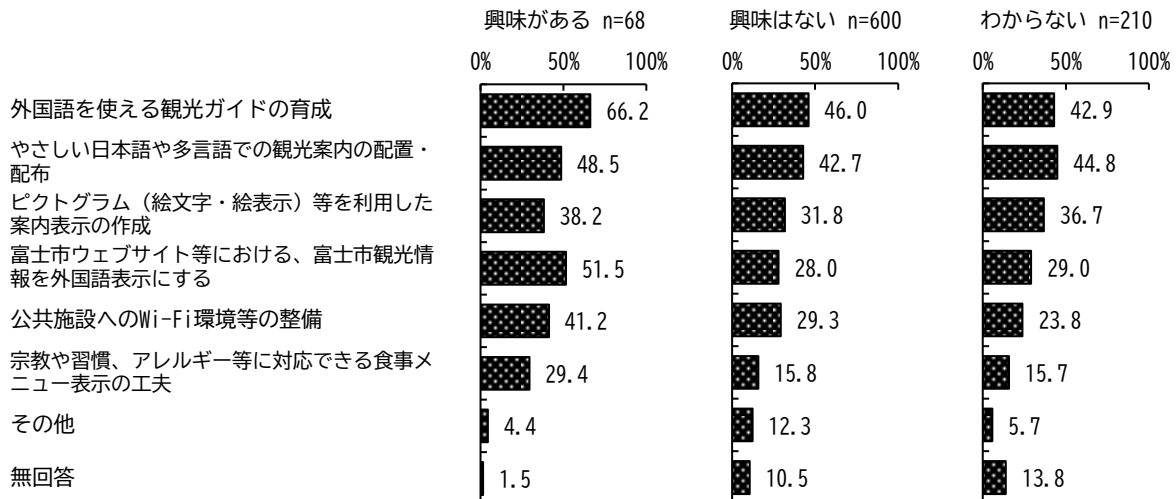
性別にみると、「やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布」は男性が35.6%、女性が50.3%となり、女性が男性を14.7ポイント上回っている。

【年代別】



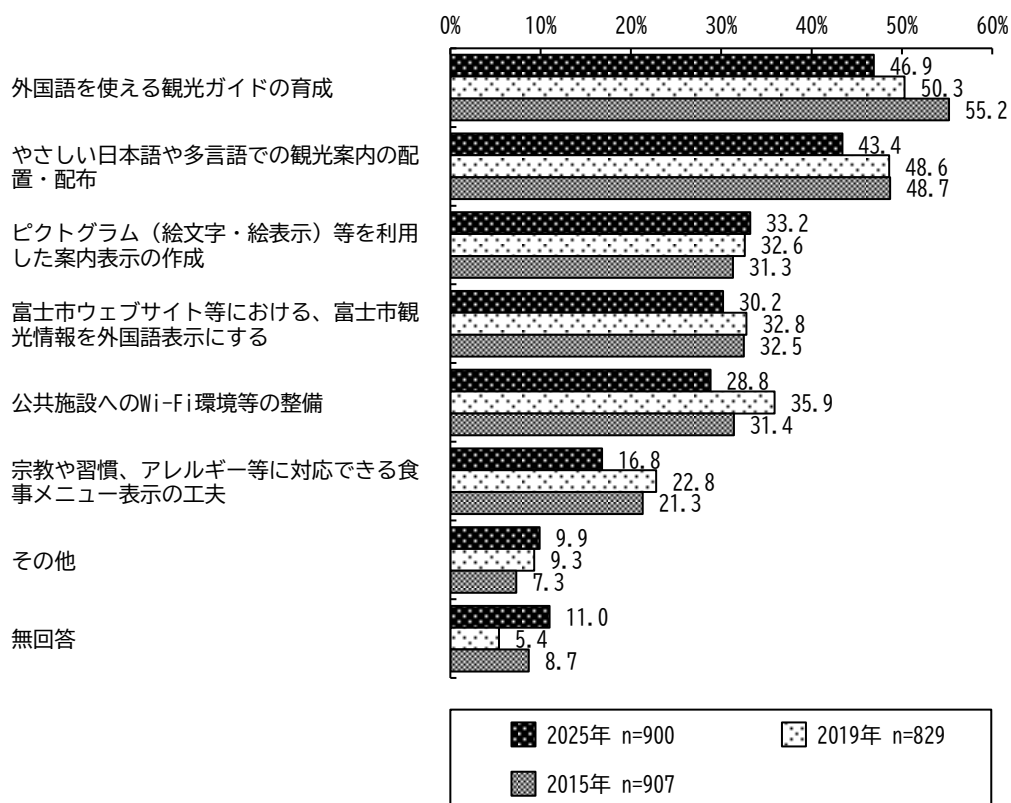
年代別にみると、20歳代以下・40歳代・50歳代は「外国語を使える観光ガイドの育成」が5割以上となっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「富士市ウェブサイト等における、富士市観光情報を外国語表示にする」は興味がある人が51.5%、興味はない人が28.0%となり、23.5ポイントの差となっている。

【経年比較】

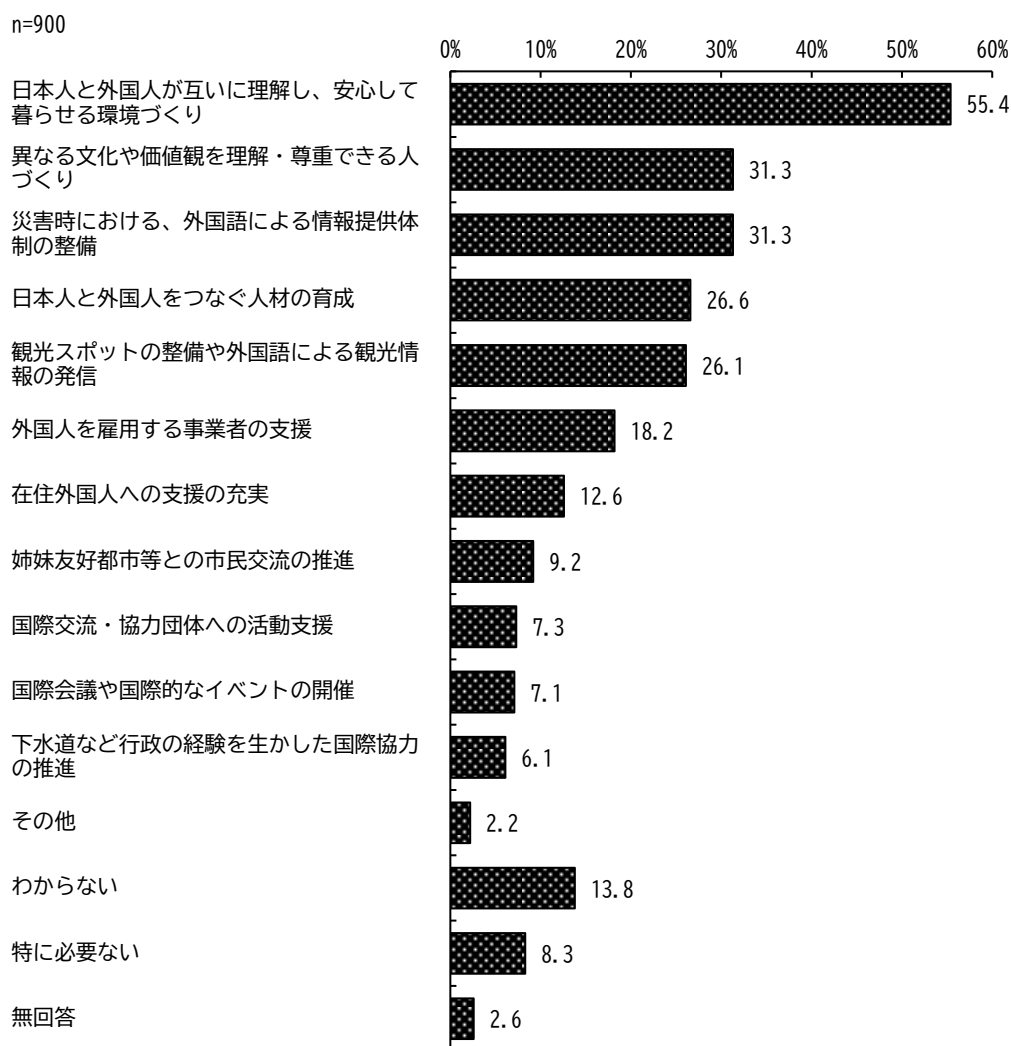


経年比較では、「公共施設へのWi-Fi環境等の整備」が前回調査から7.1ポイント低くなっている。

(5) 多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えるか

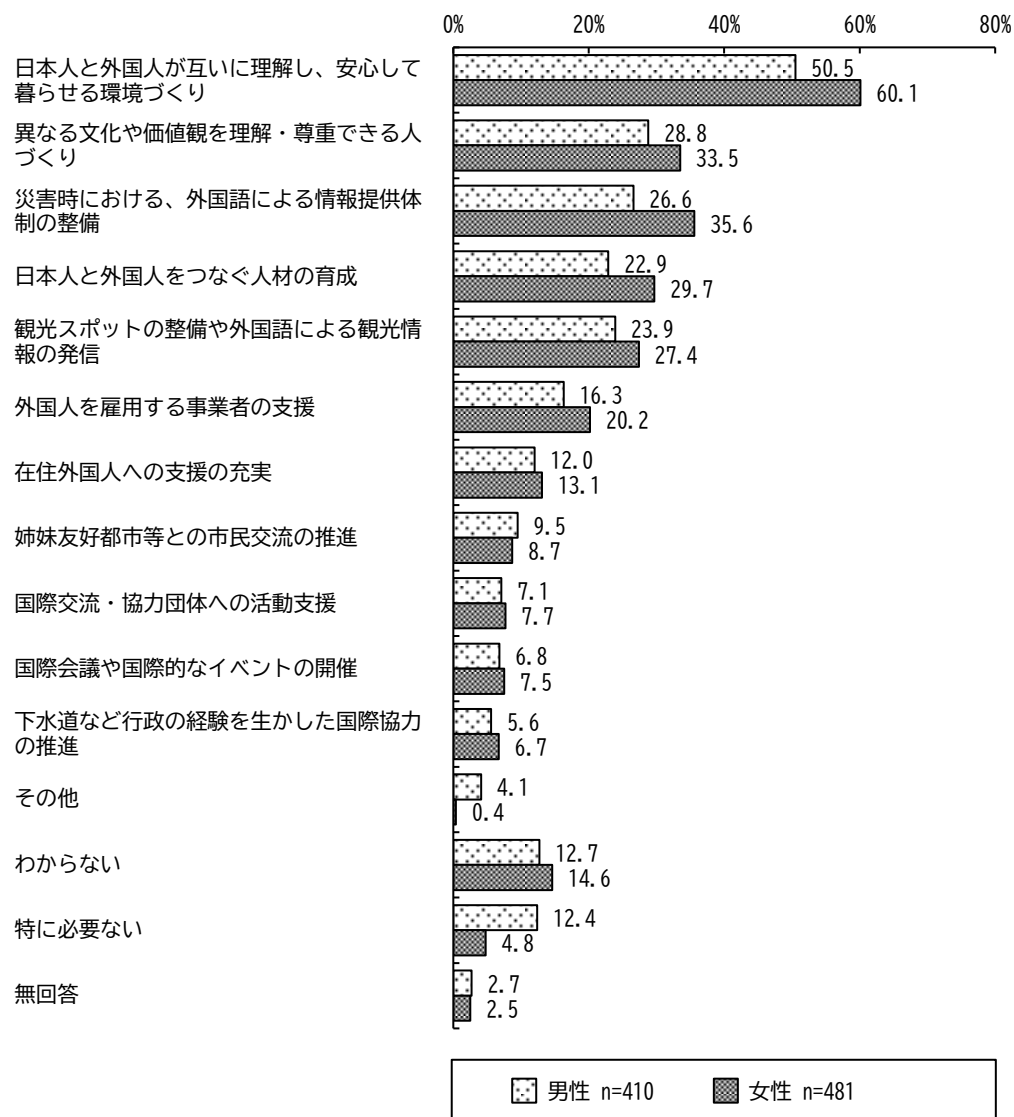
問37 多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えますか。

(○はいくつでも)



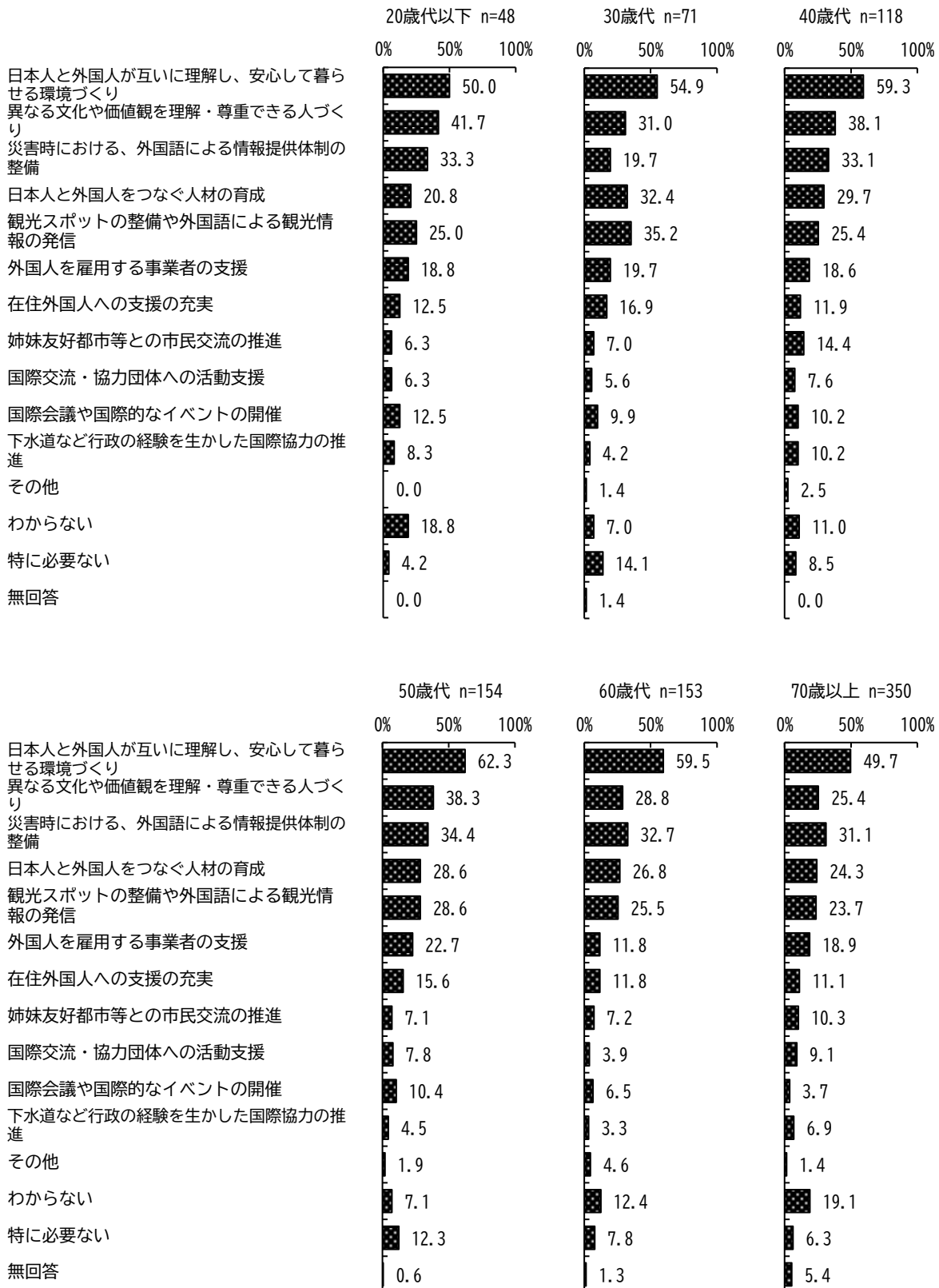
多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えるかについては「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」が55.4%と最も高く、次いで「異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり」と「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」が31.3%、「日本人と外国人をつなぐ人材の育成」が26.6%、「観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信」が26.1%などとなっている。一方、「わからない」は13.8%、「特に必要ない」は8.3%となっている。

【性別】



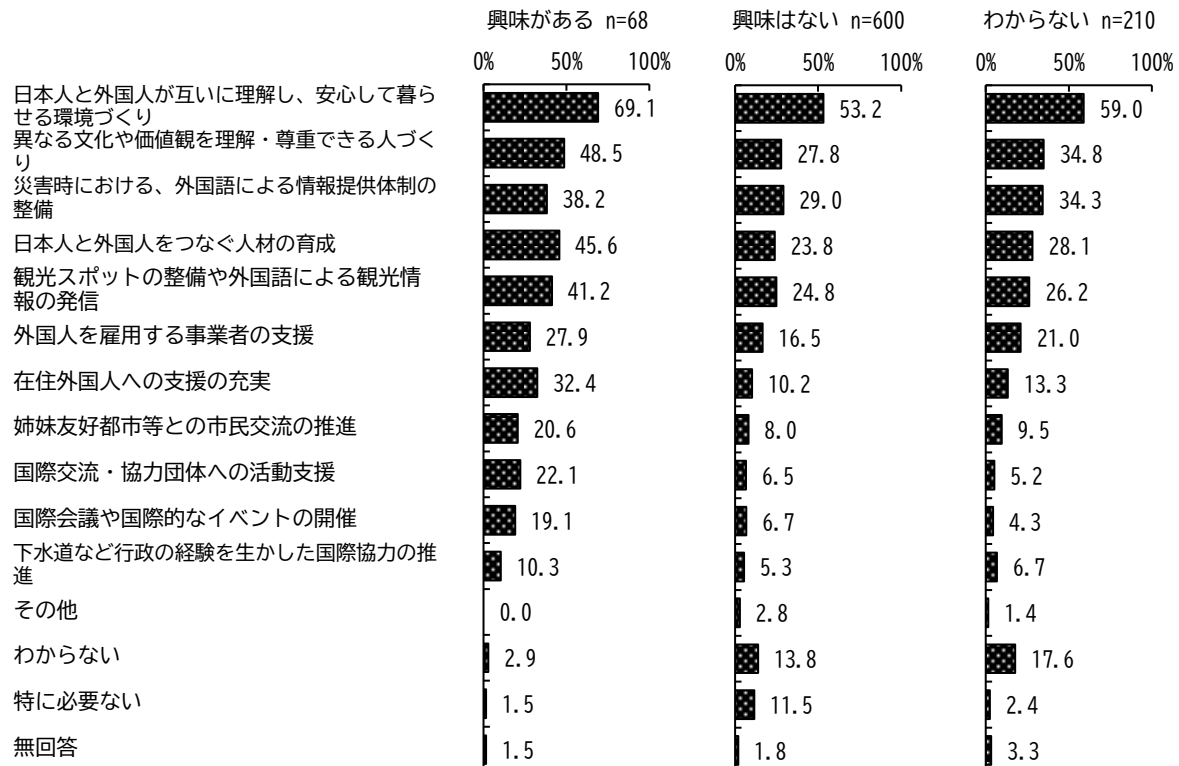
性別にみると、「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」は男性が50.5%、女性が60.1%となり、女性が男性を9.6ポイント上回っている

【年代別】



年代別にみると、「観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信」で30歳代が35.2%と他の年代より高くなっている。

【ボランティア活動への興味別】



ボランティア活動への興味別にみると、「在住外国人への支援の充実」は興味がある人が32.4%、興味はない人が10.2%となり、22.2ポイントの差となっている。

【経年比較】

	日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり	異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり	災害時における、外国語による情報提供体制の整備	日本人と外国人をつなぐ人材の育成	観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信	外国人を雇用する事業者の支援	在住外国人への支援の充実	姉妹友好都市等との市民交流の推進	国際交流・協力団体への活動支援	国際会議や国際的なイベントの開催	下水道など行政の経験を生かした国際協力の推進	その他	わからない	特に必要ない	無回答
2025年 n=900	55.4	31.3	31.3	26.6	26.1	18.2	12.6	9.2	7.3	7.1	6.1	2.2	13.8	8.3	2.6
2019年 n=829	62.4	37.0	37.4	33.5	33.9	25.3	17.6	15.2	11.0	8.8	7.7	1.2	11.7	3.0	1.9
2015年 n=907	58.5	39.7	34.3	34.6	37.9			19.2	13.6	12.6	7.3	1.1	11.0	3.4	1.7
2009年 n=1,748	63.1	36.1			26.5			19.6	13.2	10.6	9.7	0.9	14.0	4.0	3.2

※「日本人と外国人をつなぐ人材の育成」と「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」は2015年から。

※「在住外国人への支援の充実」と「外国人を雇用する事業者の支援」は2019年から。

経年比較では、「観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信」が前回調査から7.8ポイント低くなっている。

(6) 多文化共生・国際化推進に関する自由意見

問38 多文化共生・国際化推進につきまして、ご意見などがあればご記入ください。

- 自分が生きたい場所、住みたい場所が富士市だと決めたなら、共に仲良く楽しく、成長しながら送りたい。争いのない平和な富士市になってほしいと願う。…………… (男性70歳代以上)
- 多文化共生として、地域の構成員であることから、地区の班長をすることで、住民との繋がりが深まると思います。国際推進として、外国人と日本人の共同生活（シェアハウスのようなもの）ができれば、交流が深まると思う。…………… (男性60歳代)
- 外国の方々の生活の支援よりも、富士市に住む日本人にとって優しい富士市であってほしいと思います。…………… (女性40歳代)
- 不法滞在だけは、困る。…………… (男性70歳代以上)
- 様々な情報発信、受信に努めていただき、共に明るく楽しい社会となることを期待しています。…………… (男性70歳代以上)
- 日本が好き。富士市が好きな外国人に対してまた地域で生活する外国人に対して住みやすい街にしたいと思う。地域の祭り等に対しても興味のある方たちが多いと思いますので、より日本を知ってもらうためにも普段からのコミュニケーションが大切だと思います。…………… (男性40歳代)
- 今、テレビなどで日本人ファーストなどの言葉を聞きますが「それってどういう事？」と考えてしまいます。お互いを理解するのって、なかなか（外国人の方）難しいですね。今、日本人でも理解しがたい人が多いですから。…………… (女性60歳代)
- 外国人を見ることが少ないし話して、話したりすることもないのであんまり参考にできず、すみません。… (男性70歳代以上)
- 特になし。…………… (男性40歳代)
- 私は外国語が話せないため、1対1で外国人と対応することは避けてしまいます。話せない人も外国の方々と交流できる機会があると考え方も変化していくと思います。なので若い人には外国語に慣れ、交流する機会がもっと増えてほしいと思います。…………… (女性40歳代)
- 様々な国の人が1つの市に集まってきてより素敵で暮らしやすい街になってくれればよいと思います。頑張ってください。…………… (女性20歳代)
- 自分が元々外国に興味がないので外国から来ることも行くことも何も考えていませんが、仕事をする上で外国の方の対応にしばしば困ることが多い（市の健診、検診を担当しています）。受診券を送るだけでなく、外国の方が見てわかる物をつくってほしい。相談窓口から外国の方の予約のTELが来ても、窓口の方が健診（市の）に対してわかっていないなど、困ることがあります。「わかりやすい日本語」という言葉が多いですが、その他にも外国の方に合った言葉をさし出してあげることも、市から送る書類なら、あってもよいと思います。また、生活の上でも、富士山の夢の大橋への外国人マナーが目にあまります。毎日通っていたときはストレスでした。それを思うと“受け入れる”前にその対策をとってから…が望ましいと思います。大変かと思いますが頑張ってください！…………… (女性40歳代)
- オーストラリアのように外国の方々が受け入れられやすい地区を整備し、地区単位の交流にすればよい。多文化を受け入れるには人、物、ともに限度がある。…………… (男性60歳代)
- 偏見で申し訳ないけど、中国人のマナーの悪さに何回も遭遇しており、その辺のマナーの教育が必要だと思います。(男性70歳代以上)
- 本人のやる気、勉強が大切だ。私は79才になるが、40年間以上NHKテレビ等勉強し、ヨーロッパなどへ訪問（一人のときもあった）を20回位した。今でも、毎日NHKテレビ等の英会話番組をチェックし、勉強しています。…………… (男性70歳代以上)
- 外国人に支援をするより、もっと支援をしてほしい日本人はたくさんいると思います。…………… (女性50歳代)
- 外国人を受け入れるにあたって、なぜ、日本人が自国に居るのに外国人ファーストになるのか？日本人が海外に行ったとき、同じように外国人は受け入れてくれているのか？現に親子が犯罪に巻き込まれたり…日本のルールを確実に教えないとダメだと思う。…………… (男性50歳代)
- あまり推進には気がりません。近くにも外国人はたくさんいますが、ごみ出しのルール、声はでかい、自転車の乗り方、嫌だなと思うことはあっても仲良くなりたいたとは全然思いません。…………… (女性70歳代以上)
- 未来を担う子供たちへの教育の充実。…………… (男性70歳代以上)
- 多文化共生のことより、教育環境や文化的環境などにももっと目を向けて、市民のために暮らしやすい市にしたい。(女性60歳代)
- 交流を深めるのはよいが、マナー、事件等が多いのが気になる。…………… (男性70歳代以上)
- 今後、多文化共生や国際化推進は益々必要になってくるだろうし、社会全体がそうなって行くのだろうと思いますが、まず、市民の生活がよりよくなるように市に働いてほしい。税金が高過ぎる。アンケートの内容とは違っていました。…………… (女性40歳代)
- 夢の大橋での写真撮影のマナーなど、まだまだ外国人との共存に課題はあると思うが、それは一部の人であり、会社で会う外国人は非常に好感が持てる人が多い。富士市のこれだけ多くの外国人がきている以上、その人たちにもわかりやすく、きちんとルールを守るような環境づくりをお願いしたいです。…………… (女性50歳代)
- 外国人が増加していくことは、避けられないことだと思います。日本人と外国人がスムーズに交流できる、環境づくりが必要だと思います。…………… (男性70歳代以上)
- 多文化共生は難しい。国際化は海外に興味のある子どもたちは、自分で語学など勉強するので、自然に任せればよい。多文化共生と言いながら、日本文化が壊されたり、日本人が被害を受けるような政策は考えなおしてもらいたい。外国人を入れ過ぎて、日本人が窮屈にならないように願いたい。…………… (女性60歳代)
- 私は高齢で古い考えの持ち主なので自分でもとても偏った見方をしていると思う。しかし、今の若い方には職場にもたくさん外国人がいらっしやうし街中でもないしよに行動する機会が多いから、きっともっとフランクに接したり遊んだりできると思うから、共生も推進も自ずと進んでいくと思うし、嫌でもなっていくから、殻にこもらず、こちらからも寄り添って行くことが必要だと思う。…………… (女性70歳代以上)
- 海外では、外国人（移民）を受け入れすぎて、困っている。スウェーデンでは、お金を払ってまで、母国に帰ってもらおうとしている。このような事実を理解し、多文化共生や国際化と言っておられるのか疑問です。日本の文化や風習が好きで来ている人は歓迎します（心が日本人の人は歓迎）。日本は日本人のための国です。多民族国家ではありません。…………… (女性70歳代以上)
- 文化の違いは不安を感じます。特に治安の悪化。多文化共生と言っても東南アジア系の人種には違和感を強く感じる。出稼ぎ労働者たちの内情を調査すべきではないのか？…………… (男性70歳代以上)
- 外国人も日本で生活するには邦人同等の収入は必要で、それが叶わないと犯罪に…故に外国人にも住みやすい環境づくりが必要では？…………… (男性60歳代)
- 技能実習生の方を多く拝見します。集団で歩いたり自転車で走行していたりしています。偏見ではありますが、少し距離をおきたい気持ちになります。実習生の方にも富士市はよい市だと思ってほしいです。このような方たちとも交流できる支援会があれば、お互いに過ごしやすい環境になるのではないかと思います。…………… (女性50歳代)
- どちらも歩みよる意識が持てるといいですね。…………… (女性50歳代)
- 私は年を取っているの、外国人に対して偏見を持っていると思う。若い人たちには積極的に交流してほしい。友人に外国にルーツを持っている人がいますが、とても素晴らしい人です。…………… (女性70歳代以上)
- 郷に入れば郷に従え。日本の法律を守らせるべき。たとえば、日本は火葬が義務づけられているはずである。文化的背景があるにせよ、火葬を厳守すべきである。文化だからだといって全てを受け入れるべきではない。日本は日本のやり方で行くべきである。それに同調できない人々には、日本を出て行って貰うべきである。強制送還も止むなし。…………… (男性70歳代以上)

- 日常生活をするためのルール（地域の決め事等）を知ってもらうための外国語表記のチラシを多くつくってほしい。（女性70歳代以上）
- 外国人を受け入れることに異論はないが、治安を始め、環境を整備（安心・安全）することにも先行して注力いただきたい。
.....（女性60歳代）
- 自分も外国人ですから、お互いに仲良く楽しい毎日を送るように考えてくださいネ。.....（女性70歳代以上）
- 外国人に対する偏見を持たないことが大切だと思う。いろいろな事情を含めて地域社会が理解し、対応すべきと考える。（女性60歳代）
- SNS等で富士市のよい所を宣伝して興味を持ってもらうこと。.....（女性70歳代以上）
- 外国人を受け入れることは、必要だと思うし、富士市も国際的な市になってほしいと思うが、市民に迷惑がかかる場合もあり、相互の理解が必要な上で、まず日本、富士市でのルールをしっかりと理解して在住してほしい。その上で、まず在住する前に環境への理解をしっかりといただく必要があると思うし、そのための手順も工夫してほしい。.....（男性60歳代）
- 多くの外国の方が、就労や観光のために、富士市に来てくれるのは、とてもよいことだと思いますが、習慣の違いや言葉の理解できないことで、お互いに嫌な感情を持つ事が起きないように日本の習慣や伝統を外国の方に理解してもらえるように、勉強会やインターネット等で情報を伝えることが大切だと思います。.....（女性50歳代）
- 共生推進は結構ですが、特に共産圏の人々が土地を購入することを禁じてほしい！.....（男性70歳代以上）
- まず、外国人が日本を理解し生活して、日本人と外国人を繋ぐ人を、多く育成してほしいです。今現在いる、外国人の方々の問題点が現状調査から、わかることが多いと思います。多文化共生、これからは必要だと思う気持ちはありますが、身近にいないので、不安が生まれます。.....（女性60歳代）
- 日本人の給料が上がらないので、外国人を雇うのは、ほどほどにしたほうがよい。外国人のために、税金を使うのはよいが、それよりも、インフラに、税金を使うべき。.....（男性40歳代）
- 外国人と接触する機会はほとんどないので、そんな機会があれば参加してみたい。.....（男性70歳代以上）
- 相手が日本人か否かを問わず、まずは相手を理解しようとする姿勢が大切だと思います。相手を理解しようとする姿勢を持つ人が増えれば、自ずと多文化共生が実現できる社会になると思います。日本人は日本語のみが母語で日本文化を持っている人が多いと思います。まずは、その状態が世界的にかなり特殊であるということに気づくことが大切かもしれません。.....（女性40歳代）
- マナーさえちゃんと守ってくれたら、大丈夫な気がします。.....（女性50歳代）
- 特別に外国人という、意識はなく、一緒に働いたり、行動したりすることがあったとき、人としてよいこと悪いことの区別など、あたり前の行動をこれからも行っていくと思っています。よい人、悪い人、日本人、外国人という、特別な考え方が区別をつくっていくように思います。.....（女性70歳代以上）
- 富士市自身が取り組むべき課題が多く、それをまず解決すべきである。藤駅前の整備、道路の安全確保など、まずやるべきである。よいことであっても予算が必要となる。.....（男性70歳代以上）
- 日本人が生活を安定できていないので、こんなことをしている暇はない。まずは日本国民の生活、仕事などが安定する、いや、よくなることを最重要とする。そして安定、今よりもよくなったのちに考えればよいと思う。.....（男性40歳代）
- 外国人が増えたことにより、富士駅周辺の夜間の治安が悪くなったと感じます。マンションの住人からはアーケードの上を夜間走りまわっている外国人が聞きました。まず、富士市が現在、どこに、どれだけの外国人が住んでいるのか把握してください。市役所の人が思っている以上に多いです。.....（男性50歳代）
- 外国の方が富士市にこれ、勉強や就労などは喜ばしいことです。が時々、悪いニュースを見ますと、少々、不案に感じることもあるのも事実です。どうか富士へ来られる方々は、皆様よい方々でありますように。76歳シニアのひとりごとです。（女性70歳代以上）
- 企業などにも、もっと外国人労働者を増やしてほしい。日本人だけでは人手不足。そこで生まれる交流が楽しみ。・・・（男性30歳代）
- 日本をリスペクトしている外国人なら大歓迎です。.....（男性30歳代）
- 人種、言語、地域環境等など…様々に異なる人々が生きるこの地球上が平和であるために必要なことだと思う。（女性70歳代以上）
- 外国人を雇用し英会話、英語スピーチコンテストを10年以上やりましたが、富士市の協力はありませんでした。少しは変わりましたか？（中、高校生）。多文化社会を考えているようですが、行政の考えはできていのでしょうか。これはどう思うかの設問のほうがよいです。
.....（男性70歳代以上）
- 鎖国すべきとまでは思わないが、外国人の受入はむやみに増やすべきではない。.....（男性50歳代）
- 市民全体がこの気持ちになればよいですね。しかし、このアンケートの質問自体が一部の人のみの話でしかないような気がしました。20代であればもっと意欲的になれたのかもしれない。.....（男性60歳代）
- 私自身80代です。外国の方とのカタコトでもお話しする事がありますが、今は静かな日々の日本そのものが愛しく思えます。
.....（女性70歳代以上）
- 私は反対です。他国を見れば犯罪や雇用、日本文化など失われ壊れていく。外国人に力を入れるなら、日本の若者の結婚することができ、外国人は旅行会社が責任をもってする情報だけ提供の発信する。.....（男性70歳代以上）
- 富士市を訪問される人を増やす？富士市に住んでくれる人を増やす？“多文化共生”とは、どの範囲を言うのか。・（男性70歳代以上）
- 日本人、外国人という文字が出てくると嫌になる。この島国には一緒に楽しく生活する場所があればそれでよいのに！
.....（男性70歳代以上）
- 上記について、教宣不足ではないですか。知識が不足してコメントできません。.....（男性70歳代以上）
- 多文化共生、国際化はどうしても進めていかなければならないことですか。入国した相手個人に合わせる必要はないと思います。まず、日本語が話せること、人間的にレベルが高い人の入国のすすめ。だれでも自由に日本に来て住める働ける、公的なサービスを受けられることができる。お人好しの国になっていると思いませんか。いきすぎてはいけませんね。現在の市民一人一人にとって、外国人との共生・交流するという気持ちでどこまであると思いますか。そんな余裕ありませんね。ここは日本ですね、外国人にとって暮らしやすい日本だけでなくともよいのでね。まず、市民ファーストですね。.....（男性70歳代以上）
- 私たちは日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくりをすべきだと思います。みなさま宜しく御願致します。
.....（女性70歳代以上）
- 外国人による事件が多い故、とても共生は難しい。.....（女性70歳代以上）
- 若い世代が中心になって進めてほしい。.....（女性60歳代）
- 外国人に対して（＋）面（－）面両方を深めていくこと。犯罪のないことを強く願います。.....（女性50歳代）
- 現在、親の生活介助などもあり、他県と往復する日々です。（移動の中で）本当に海外からの来訪者が多く見られるのが実感できます。富士市で何かお役に立てることは現在ないませんが、日々、生活の中で自分ができることを実践していきたいと思っています。
.....（女性60歳代）
- 今以上に市民に対する事業の広報のより充実。.....（男性70歳代以上）
- 現在、外国人が急に増えた富士市街地ではトラブルも多く、老人もあまり安心して住める所ではなくなりつつあると聞きます。外国人の転入を受け入れるにしても、よき隣人によき納税者になる意思のある人を優先的にできるようなしくみを市の条例等でできないか検討いただきたいです。.....（女性50歳代）
- 対策が必要になってきている。.....（女性70歳代以上）
- 外国人を無理に引き込まなくても、自然でよいと思う。永住者の人たちには、すべて日本人と同じ条件にしてほしい。
.....（女性70歳代以上）
- 外国人のトラブルがある地域を調べ慎重に行ってほしい（埼玉県川口市のクルド人問題やイスラム教の土葬、中国人による土地買収etc）。富士でも夢の大橋問題などがありましたので、多文化共生して乗っ取りというのも大袈裟ではないと思います。.....（男性40歳代）

- 日本の将来は外国人と共存し繁栄するしかない。そのためには、きちんとしたルールをつくり、まじめな外国人を採用することが大切です。…………… (男性70歳代以上)
- 外国人による土地の買い占め、マナー違反、日本の将来はどうなっていくのか、今だけではなく日本人も今以上に住みにくくなるような気がする。全ての外国人が悪い訳ではないが、遠い未来を考えるべき、優しさだけでは回けるできる問題ではない、難しい問題ではない。…………… (女性60歳代)
- 進めるのならルール、文化の違いの周知徹底をお願いしたい。…………… (男性30歳代)
- 外国人の就労者が多くなっていることで、治安が悪くならなければ、住んでもよいと思う。外国人の方が、頼りにする場所や、人(職場の上司など)も必要だと思うので、受け入れる側も教育や研修が必要だと思う。…………… (女性50歳代)
- 多文化共生、国際化推進を今まで知りませんでした。勉強になりました。…………… (男性70歳代以上)
- 外国人との交流が普段ないため、特に意見なし。…………… (男性70歳代以上)
- 実体験が少ないので、意見が出ない。…………… (女性70歳代以上)
- 外国人の方が来てくれることはかまいませんが、テレビで放映されている不動産を買って集団でそこを利用する等は、やめてほしい、怖い。…………… (女性60歳代)
- 労働のために受け入れるべきかもしれませんが、犯罪、ルール無視等、怖いことも増えているので、なかなか受け入れる気持ちにはなりません。…………… (女性60歳代)
- 外国人のドライバーの方には、任意の自動車保険に入してほしい。…………… (女性70歳代以上)
- まずは、市のお手並みや本気度を見たい！…………… (女性70歳代以上)
- 多種他企業で今よりも多くの外国人を使うようになると思うので、早目に対策を打つべきだと思う。ここ数年で多くの外国人を使うと思います。…………… (男性70歳代以上)
- 自分は介護にて、今は余裕がありませんが、お互い理解し安心して暮らせる環境づくりは、心がけたいと思います。…………… (女性60歳代)
- 人口の減少等で外国人が増加するのは人材不足等の影響かと思いますが、どんな人でもよいと言うのでは困ります。子どもが変な外国人に声をかけられにげて来たと言いました。外国人が生活保護で生活し、日本人が受けられなかったと知人に聞きました。まともな国際化をお願いします。…………… (女性70歳代以上)
- 多文化共生・国際化推進することにより市民・個人の生活はどのように変わり豊かになるのですか？建設的な意見でなくすみません。…………… (男性70歳代以上)
- 異なる文化は理解しつつ、日本に住んでいる以上は、ルールは守ってほしい。特に交通ルール(路駐、赤信号で進んでしまった(歩車分離の所))。路上で写真撮影など…。…………… (男性40歳代)
- 外国の方は、アパート等集合住宅に住まわれている方が多いと思うのですが、ごみの出し方等、市から配布される年間の分別表などが日本語だと理解できないと思われるので、細かい事ですが、英語やハングル表記のものを配布してほしいと思います。また、管理されている方も入居の際にしっかり説明しているかも疑問です。町内会の回覧板もまわってこないことが多いと思うので、町内単位でも外国の方と接触をとれるような方法を考えてほしいです。…………… (女性60歳代)
- 私は歳で海外など行かないが若い方たちは英語など覚えて海外へ行き日本の事業など展開していただきたい。…………… (女性60歳代)
- 外国人との共生は、仕方がないと思いますが、治安が悪くならないよう、節度を重んじる日本の文化を知ってもらう事が大切だと思います。世界の大谷選手の人柄、マナーのよさをアピールするなど…。…………… (女性60歳代)
- 姉妹都市を以前から提携していますが、どの程度結果がありますか？…………… (男性70歳代以上)
- ご意見とは、ちょっとはすれませんが…自分の経験を述べさせていただきたく思います。私は3回外国人と仕事をさせていただきました。まず1度目は高校を卒業してすぐ入った製紙会社です。インドネシアの技術者の人たちでした。紙ができるまでを勉強して帰られました(半年以上いる)。日本語はできて明るいい人たちが写真と取ったりしていました。63年前で外国人はめずらしい時代でした。次は大手の会社でつくっている物を全部韓国でつくると言うことで多数の方が来られ、覚えられました。会社では日本語と韓国語を、日頃使う言葉と仕事の言葉を刷った紙を渡され、なんとか通じ合いました。韓国の方が来る前朝礼で、色々とお話をされ決して朝鮮人という言葉はいいとはいけないと話されました(35年程前です)。次は労働者不足で、ブラジルの人たちが大勢来られました。祖父母が日本人と言う方が多数いらっしゃる皆様、日本語がだいぶわかりました。あるとき広報ふじに外国人に日本語を教えることが載っていましたので、皆様にお話しをしたところ行きたいと言うことで皆様を市役所に連れて行き、申し込みました。35年程前です。長い間いましたので皆様の気心がわかるようになり、ブラジルのおみやげいただいたり、あげたりしました。最後に思いますことは多文化共生、国際化推進と言う言葉はとてもすばらしいと思います。でもその裏では、内戦、国境行い、宗教的争い、人の国を勝手に取ろうとしたりその他なんともいえない気持ちになります。長い歴史から、独裁者や、国の上に立つ政治家でどうにもなってしまふ、悲しい時代ですね。早く平和の地球になってほしい。そして多文化共生、国際化推進に各国が心がむいてくださるとよいですね。私はだいぶ高齢者になり耳も遠くなり、ご協力ができなくなって来ました。申しわけございません。※私は広報ふじと新聞を見るのが楽しみです。新聞で先日色々な意見がありましたが、頑張ってください。遅くなりすいません。…………… (女性70歳代以上)
- せっかくの「富士山」という魅力的なものがあるのに残念も思っています。市内の、至る所に案内したくても交通手段もなく歯痒いです。カフェも少なく「共生」には程遠いのでは…？…………… (女性40歳代)
- 移住者と観光客誘致とは分けたほうがよいと思う。要は先方が何を望んでいるかによって対応は異なる。終活でこの土地に戻ってきたが、保守的で人間は暖かい人が多いのですが、外人が住むのは大変だと思います。結局同じ民族が固まってクルドのような問題を起こさないようにしてほしい。浜松市長が批判されているが、外国人労働者がいないと、国は成り立たない状況です。永住希望者には何年以内に日本語検定0級&ルール問題のクリアを必要とするかも。…………… (男性60歳代)
- あまり関心がない。…………… (男性60歳代)
- 今の時代、多文化、国際化は当たり前のように感じますが、もっと日本人の生活も考えてほしいです。定年を迎え、年金だけでは生活できず、80~90歳になっても仕事している人を見ると切なくなります。…………… (女性50歳代)
- 私も協力したいが、自分の生活も大変だが、お互い力を合わせて豊かなファミリーをつくりたい。…………… (男性50歳代)
- 外国人支援の充実も必要だろうが、支援するからには、外国人にも富士市のやろうとしていること、ルール等周知する必要がある。…………… (女性60歳代)
- 何より言葉、言語を知り、覚えなければ、こちらの伝えたいことも伝わらない。ジェスチャーでは伝えきれません。お国柄もあり、大声でしゃべる、屋外までしゃべる声が聴こえるなど、ご自身の国の「あたり前」が日本では「ダメ」ということも、最初に伝えてあげたい。子どもたちにも「お勉強」の英語よりも日常会話や発音を中心に教えてあげてほしい。文法だけでは伝わらないです。…………… (女性50歳代)
- 市は市民に積極的にPRすべきである。…………… (男性60歳代)
- 多文化共生、国際化推進、非常によいと思いますが、我々が思って実行するだけでなく、外国人の方たちも理解し、協調してもらえればよいのではと思います。…………… (男性60歳代)
- お互いを認め合い、戦争のない世界がくること。…………… (男性70歳代以上)
- 外国人受入れ、雇用は必要なこと、育成不可欠。…………… (男性70歳代以上)
- 私は年寄りでもできず、知らないことばかりですが、富士市は、素晴らしい、外国人にも、住みよい街だと思えるような市になってもらいたい。…………… (女性70歳代以上)
- これからの若い人たちは世界を見てきて世界のよい所を取り入れて世の中をよくしてもらいたい。…………… (女性70歳代以上)

- 人手不足を補うため、外国人労働者に頼るのは仕方がないがサポートが不十分だと優秀な人材は日本に来なくなってしまうと思います。市の役目また、町内会の協力は大切だと思います。……………（女性60歳代）
- テレビのニュース等を見て思うことは、観光でくる人たちのマナーで感じることは他人の家まわりに無断で入ってくるなどはもっと注意すべきだと思います。……………（男性70歳代以上）
- 日本語だけではなく多くの言語で説明書きを書く必要があるなと思いました。……………（女性50歳代）
- 外国人に対してあまりよい印象がありません。……………（男性40歳代）
- 老人のため自分自身はいろいろのことは望まないが若い者のために、素晴らしい富士市発展のためには考えてほしいだけです。……………（男性70歳代以上）
- しっかりルールを守る外国人を受け入れるなら賛成だが、やみくもに後先考えず外国人を受け入れて治安が悪化するリスクが減らせないと反対。……………（男性年齢無回答）
- 日本文化、ルールを守れない外国人は、来てほしくない。……………（女性60歳代）
- ゴミ出しなどでルールを理解していないと思われる事例がある。内容物があるまま捨てられていたり、ゴミ出しの日時が違うなど。外国人を雇う企業は仕事だけでなく、生活習慣まで、面倒をみる体制が必要。また、外国人に家を貸している大家さんは、地域でのゴミ出しのルールをしっかりと教えることが必要。今後は、外国人にたよらないと、日本が成り立たないこともありそう。外国人でもまじめな方は多くいると思います。日常生活の中で、外国人と、日本人が共存できる環境づくりが必要だと思います。・（男性70歳代以上）
- 何処かの政党が言っていたように、日本ファーストの方に振ったのがよいのでは？……………（男性70歳代以上）
- 小さいころから教育の違いがあり異文化の交流は余り望まない。……………（女性70歳代以上）
- 日本に居住する目的を明確にしてほしい。短期間での滞在や仕事を目的での滞在では交流が持てない。……………（男性70歳代以上）
- 互いの理解を高めて共生していくことは非常に大切だと思います。友人の家に行って、自分の家のルールを強制するようなことがないように、文化の違う地域で生活していくことを理解し、互いの違いを擦り合わせいけるようにしていただきたい。……………（男性30歳代）
- 若者には、多様な価値観・視点、ブレない自分を持ち、これからの変化に柔軟に対応できる能力が求められている。そのために行政ができることは何か、JICA等とも協力し、他の自治体ではまだ行えてない魅力的で効果的な施策実行を期待している。・（男性50歳代）
- 全ては相手次第。……………（男性40歳代）
- 本件が世間的に注目を集めていることは理解しているが、個人的には多文化共生よりも必要な施策がたくさんあると思う。市に力を入れてほしいのはここじゃない。外より内に目を向けた活動をお願いしたい。……………（男性30歳代）
- 外国人の方が来やすい市にすることは素晴らしいと思いますが、手厚い支援ばかりに税金を使いすぎるのも違うと思うのでしっかりと精査してほしい。……………（男性30歳代）
- やるのであれば、もっと前に出してやるべき。市民の中には全く知らない人も多い。情報が市民に伝わらない。特に若い人は興味を持ってくれないので、学校と共同で小中学生から浸透させないと。上部だけの行政の一部だけが頑張ってやってます感を出すためにやっている感じに取られてしまう。税金を使ってやる以上は「知ってもらう」ことから始めないと税金の無駄遣いになる。・（男性40歳代）
- この先の時代、絶対に外国籍の労働者が必要になる日が来ると思うので、今のうちから受け入れの体制や住民の理解を得る活動は急務であると思います。観光客にしても富士市に訪れて買物をしてくれば税金は得られるので、もっと充実した観光名所なりを考えても良いと思う。……………（男性30歳代）
- 外国人ルーツの子どもたちにルールや文化を教える。大人に教えても理解できないし守れないと思う。……………（男性60歳代）
- 多文化共生や国際化推進には、幼少期から若年層に、海外に出たり外国籍の方と触れ合う機会を持つなどの種まきが大切だと考える。体験活動を充実させ、心の垣根を低くすることで、将来に繋がると思う。地域での暮らし方で、トラブルがあったりすることもあるが、互いに理解しようとする気持ちを持ってコミュニケーションを取ることで、解決できることも多くあるはず。色々な国の色々な文化を知ることがとても楽しいことなので、ぜひ交流が活発になり、誰もが住みやすい富士市になったら良いと思う。……（女性50歳代）
- ホモサピエンス誕生以来、日本列島には様々は人種がやってきています。それが落ち着いてから概ね約2,000年位経っているでしょうが日本人の原型ができ上っていき、一民族一国家となりました。外国からの侵略も阻止していたのに、大東亜戦争以降は散々たる惨状になり、日本本来の文化、文明、日本人らしさが失われてしまいました。本来の日本の姿を取り戻すことが先決であり、多文化共生や国際化推進などもってのほかです。すべきことをせずしてそのようなことに人も物も金も使う必要は国家衰退に拍車をかけます。ぜひ、全面的に見直してほしい。……………（男性60歳代）
- 外国人よりも日本人への施策を考えてください。外国人のことを考える余裕は今の日本にあるのでしょうか。このアンケートにも、行政の労力、費用が使われているのではないのでしょうか。こう言った意見を述べると右翼だなんだという輩がおりますが、日本に生まれ日本で育ち、日の丸に誇りを持ち育ち、何がいけないのかが理解ができません。日本人ファーストという話がありますが、まさにその通りではないのでしょうか。別に外国人差別がしたいわけではないです。外国人が日本にきて日本の文化、風習に従えないのであれば、国へ還るのは当たり前ではないのでしょうか。それは日本人が外国に行った場合と同じことだと思います。多様性だなんだと変な方向に進んでいる日本の政治、経済ですが、ここは日本であり日本の文化は守らなければならないと思います。富士市に住む者として富士市は変な方向に進んでいかないとを願います。……………（男性30歳代）
- 差別のない暮らしをみんなが考えれるといいと思います。……………（女性20歳代）
- 外国人の受け入れによって、富士市としてどのようなメリットがあるのかを明確にしたい。……………（男性30歳代）
- アメリカ駐在のときは、当たり前のように差別もあり“差別される側”なんだと実感しました。日本にいる外国人の皆さんにも嫌な思いをさせたくないという気持ちが多いです。ただし郷に入っては郷に従えて、日本の文化や習慣も学んでほしいと思います。……………（女性50歳代）
- 「外国人は…」「韓国人は…」「中国人は…」あるいは「ロシアは…」「北朝鮮は…」といった「○○人は」「○○国は」という文脈で根拠のない差別的発言をする人がいます。それを耳にして、外国にルーツのある人や外国人の友人等がいる人はとても心を痛めます。そういう人に見つからないように声を潜めるようになります。また、外国人を受け入れるにあたり、外国人にばかり言語や文化を学ばせ、「日本を理解して日本人と同じにできればいい。できないなら日本に来るな（去れ）」（同化の強要と排除）という雰囲気を感じることもあります。これらはあまりにも悲しいことです。日本人であれ外国人であれ、一緒にオープンに堂々と生きていける社会の実現を願います。よろしく願います。……………（男性40歳代）
- かなり勉強不足で活動を理解していないので、もう少し興味を持っていこうと思います。……………（女性50歳代）
- いろんな文化に触れて、豊かに成長できたらいいと思います。……………（女性60歳代）
- 仕事が忙しくて、なかなか関わるのができません。身近な方々が人懐こい方々なので色々なことでお互い相談したりと、大勢の方々と関わることは余りありませんが、珍しい情報なども聞けるなど、今のところ良いことばかりです。偏見を持つ方もいますが、こちらから積極的に交流を持つようにしていける世の中になればと思います。……………（女性70歳代以上）
- 75歳を超え、自分で行動することができない、若い人に積極的に行動や活動を進めてほしいと思っています。（男性70歳代以上）
- 多くの外国人の方が富士山目的に富士市に訪れているのは良いことだと思います。でも…こんなことを書く人種差別だと言われそうですが中国人の方々のマナーの悪さとかとても嫌です。接客業をやっていたころには何度となく嫌な思いをしてきました。いろんな国の多くの人たちを呼ぶにはまだまだ行政として整備できていないと感じます。……………（女性50歳代）
- 市内で見かける外国人の方はみんな若い方なので、職場だけでなく同じ世代でおしゃべりしたり騒いだり楽しむ場所が必要な気がする。平日の夜でも週末でも集まれるような場所と機会を市で提供してあげられたら良いなと思います。日本語が分からないと申し込めない

- ような公共の場所など、特定の日時で解放してあげられると喜ばれそう。その中で新しいコミュニティが生まれれば日本での生活の知識も共有されるかも。…………… (女性50歳代)
- 多文化共生の弊害についてもしっかり考えたほうがいいと思う。日本のマナーや文化を壊さないでほしいと思う。(女性40歳代)
 - 訪れる外国人と市民の全てが双方に関心を抱くわけではないので市民交流などにそこまで重要性はないと思うが、意欲的な人々がアクセスしやすいサービスや団体があるのはいいと思う。活発な交流より市民間の無用な軋轢を生じない施策が現状では肝要であるので、トラブル解消のためのルール&マナー周知や相談窓口、講習などに力を入れてほしい。…………… (女性30歳代)
 - その前に現在住んでいる日本人、富士市民の支援、援助が必要だと思う。…………… (男性30歳代)
 - 日本のルールやマナー、習慣を理解した外国人のみ受け入れる体制(法律等)を整えてから受け入れてほしい。受け入れるからには管理監督する責任部署を行政側にしっかり整備してほしい。…………… (男性50歳代)
 - 公共や店内のトイレ、ごみ集積所などの案内の注意書きが日本語のみのところが多いので、中国、韓国、英語の表記が必要。役所などの案内板も外国人向けのものが必要だと思います。自分も含め、日本人からも外国人の方からもお互い積極的に挨拶をしていくことが共生の第一歩だと感じました。…………… (女性50歳代)
 - インバウンド観光の急増でのトラブルが富士市でも発生している。その中で、多文化共生、国際化推進を行うには、今以上に積極的にビクトグラム、多言語でのルール指導や、指導できる人材育成が必要。追)会社の仕事で香港に行ったことがある。タクシの運転手が英語で、香港のことを紹介してくれた。ホテルのドアマンは、インド人であった。そのとき、香港は、多文化共生を実現していたのでしょ。…………… (男性70歳代以上)
 - 小学生が身近に外国人と交流できるイベントや日常的にまちづくりセンターなどで言葉を教え合うことができればいいと思います。…………… (女性50歳代)
 - 相容れない部分があります。もっと日本に馴染めるよう周りが注意すべき。でも恨まれるのが怖い。…………… (女性60歳代)
 - 多様性は大切だと思います。外国人、障害者、高齢者…全ての人が快適に暮らせる社会に向けて事業を進めていただきたいです。日本人にもですが、権利や自由には、義務やルール、マナーもあると思います。どういった市政のために外国人を受け入れていくのか、そのためにどんなことを外国人に求めるのか、どんな外国人に支援が必要なのかもご検討いただければと思います。… (男性40歳代)
 - 問37には「国際会議や国際的なイベントの開催」という選択肢もありましたが、こういったことは静岡市や浜松市に任せて賛助する形でよいのでは。こういうイベントにマンパワーを割くよりは、外国人労働者の増加とそれに伴う子女の増加により、市民との間にすれ違いがおきて、治安が不安定になることへの予防を第一に考えてはと思います。来たばかりの外国人は、家財なども少なく、新たに購入すると出費がかさむと思うので、汎用性のある家具や中古の自転車、鍋・食器類、トイレトペーパー(製紙会社からB級品の寄付を募る)などを、譲ってあげられたらよいと思います。…………… (女性60歳代)
 - 外国人側から共生しようと歩み寄り意思を感じられない場合、このように無理に共生させようとするような支援は地域の住民の身の安全を守るためにも行わないほうがいいと思いました。…………… (女性10歳代)
 - メリットがあるのか、メリットがあるとすれば誰に対してなのか、が疑問。…………… (男性40歳代)
 - 日本に理解のある外国人を入れてください。観光はいいと思いますが、日本在住外国人で生活保護をもらっている人を見たことがあります。そのような方の取り組みはしっかり行っていますか?市でもしっかり富士市にいる外国人の人数把握できているのですか?外国人に対する取り組みをする前に、市民が安心して暮らせるようにまず子育て支援や就労支援などを充実できるように市民に何か必要なか聞いていくべきだと思います。私は子育て支援、特に共働きへの支援全く足りていないと思っています。働きにくい世の中だと思っています。どうかしてください。…………… (女性20歳代)
 - 町内に、外国人世帯があります。町内会費の集金、清掃日の不参加など問い合わせさえもコミュニケーションがとれず困ります。…………… (男性70歳代以上)
 - 富士市には企業も沢山あり、富士山もあり外国人に対するアピールポイントと多いのでそれを活かしてどんどん多様性を取り入れるべきだと思います。…………… (男性40歳代)
 - 基本的には他国で暮らす以上はその国の文化しきたりに合わせるの外国人ではないかと思うが、それに慣れるまでのなんらかの支援は必要と思う。海外で暮らす日本人はその国のルールに合わせて暮らしているように、日本で暮らす外国人にも可能な限りそれを望む。それができない人が多いので他文化共生に積極的に出来ない。…………… (男性70歳代以上)
 - 多文化共生や国際化を積極的に推進する必要はない。特に外国人観光客の増やす施策のために、貴重な市税を使わないでほしい。高齢者や障害者のために使ってほしい。また、本アンケートの選択肢が、多文化共生や国際化を積極的に推進することありきになっている(中立性に欠ける)。このようなアンケートの結果は、市民の意見・考えが正しく反映されたものにならない。このようなアンケートの結果で多文化共生や国際化を推進しないでほしい。…………… (男性50歳代)
 - 子どもが通っている幼稚園に外国人の子が何人かいる。子ども同士は仲良く遊んでいるようだが、親との交流はほとんどない。外国での子育てはただでさえ大変だと思うし、言葉がわからないと孤立しやすいのではないかと心配です。…………… (女性30歳代)
 - 転入してきたばかりですが、富士市は富士山という最大の観光資源を抱えた国際的にも注目される都市です。自然を愛する外国人観光客が、山梨ではなく、富士や富士宮に来たくなる環境整備と情報発信はまだまだ改善の余地があると思っています。日ごろ、もったいないと思うのは富士川の活用。富士川から富士山を眺めて動けるウォーキングやサイクルコースができれば、楽座から蓬莱橋までネイチャー観光ルートになるように思います。…………… (男性60歳代)
 - 外国人にはマナーを守ってほしい。…………… (女性60歳代)
 - 外国人によって日本が壊されていくのは避けたい。…………… (男性40歳代)
 - 外国人でも日本が好きで文化に触れたい人が旅行に来るのは構わないが、補助金目当てで移住するような外国人は来てほしくない。推進するなら基準を厳格化して、富士市の子どもたちや若者を最優先に残った予算でやってほしい。…………… (男性30歳代)
 - 移民を受け入れてさんざん失敗してきたヨーロッパから学ぶべき。富士市を今の富士市から変容させないでください。…………… (男性40歳代)
 - 外国人を受け入れるための国の法整備が必要だと思います。外国人の健康保険の適用等。…………… (男性50歳代)
 - 多文化共生は大切だがあくまで富士市民を大切にすることをお忘れないようにする。国際化推進などはデメリットよりメリットに目が行きがちなので、しっかりとメリット、デメリットを把握し理解を得ながら進めていくことが大切である。…………… (男性20歳代)
 - 外国籍の方は重要な労働力で、外国人観光客は観光地の経済を支える要素であることは理解しています。しかし、デメリットの方が大きくなってしまわぬように努めていただきたいです。外出先で外国人の方を見かけることが多くなってきました。過疎化の進んでいる地域では外国籍の方の存在は大きなものかもしれません。ですが、文化の異なる人種が同じ環境で生活を共にできるように環境を整えることよりも、富士市民が安心して暮らせる街づくりをしていただきたいです。…………… (男性20歳代)
 - 外国人を受け入れている事業所の責任を重要視ししっかり教育する。また以前、市内で外国人の殺人事件がありました。その辺も重要視していただき、安心して富士市に住めるようにしていただきたい。…………… (男性50歳代)
 - ゴミ出しや観光地でのルールなど、外国人のマナー問題に関しては概ね知らないことが大きな要因となっていると思う。そのためまずは外国人がわからないと思う事象を減らしてい(具体的に外国語による案内や看板など)、日本人と外国人双方が心地よく生活できる環境にしていけたらと思う。…………… (女性20歳代)
 - 多文化共生・国際化を進めたいのであれば、それによって生まれてしまう問題が必ずあることを併せて理解し、そしてどう対処するのかという点も含めて進めるべき。問題が起こらないよう努力する、では全く意味がない。それらが進んだせいで…と言われてしまっは元も子もないどころか差別がより進むと考えている。私は人間は差別する生き物だと思っている。だが、それを表面化させないよ

- うに環境を整えることはできるだろうと考える。問題が起きたときに誰にどこに相談すれば良いのか、などの周知がより必要になる。さらに大事なことは、それが明確に解決に繋がるという安心感がなければいけないということだろう。…………… (女性30歳代)
- 外国人の方への支援ももちろん大切ですが、困っている日本人が適切な支援を受けられなかったり外国人ファーストになったりしてしまうのは避けていただきたいと思います。外国人の方が一生懸命働いてらっしゃるのをよく見ます。その方たちが職場で肩身の狭い思いをしていたり、適切な評価を受けていなかったりしないよう、外国人の方を雇っている事業所へのフォローやそういった目にあっている外国人の方の相談窓口があれば良いと感じます。日本人でも、どのような相談窓口や制度があるのか知らないことがたくさんあります。外国人の方はより知らないことが多いかと思うので、もう少し周知が広がれば良いなと感じます。…………… (女性20歳代)
- まずは、住んでいる人が、しっかり働かないとならない。…………… (男性50歳代)
- 受け入れる？国籍は検討していただきたい。治安悪化の懸念があるため。…………… (男性50歳代)
- 日本人ファーストが重要だと思います。…………… (男性50歳代)
- 吉原中央駅で外国人観光客から富士山への行き方を質問された。とりえず富士宮駅まで行って誰かに聞いてと回答したが、富士市民は基本車で移動するので、おそらく他の人でも回答できないのではと感じた。富士山目当てで来る観光客が多いので、富士市民にも情報共有が必要だと思う。…………… (男性50歳代)
- 国際化にはハード面もソフト面もまだまだ改善の必要がある。外国人受入れは今後避けて通れない事象になるため、早期に各種課題に着手し今後よりよい富士市になってほしい。…………… (性別回答しない40歳代)
- 外国人を積極的に受け入れすぎて、トラブルが増えていくのは問題である。特に、全国の観光地で起きている、在住日本人の生活が脅かされるようなことがあるのは耐えられない。インパウンドがどうか言っても、それにより日本人への悪影響があるのは本末転倒である。行儀の良い外国人にしか観光に来てほしくないし、人材として受け入れる場合も、きちんとルールを守ってもらうような対策が必須。(女性50歳代)
- 日本人の人口を増やす政策が先！！…………… (男性40歳代)
- ①治安と社会秩序の悪化：外国人の増加は、文化や習慣、生活様式の違いから、地域社会に新たな摩擦やトラブルを生じさせる可能性があります。一部の外国人による犯罪や、ゴミ出しルールなどの生活習慣の違いが原因で、地域の治安や秩序が乱れるのではないかと不安があります。②経済的な負担と雇用問題：多文化共生を推進するための行政サービス(多言語対応窓口、日本語教育支援など)には、コストがかかります。これらの費用が税金で賄われることに對し、不満があります。また、低賃金で働く外国人労働者が増えることで、日本人労働者の雇用機会が失われたり、賃金が低下したりするのではないかと不安もあります。③社会インフラの不足と文化的な摩擦：外国人が特定の地域に集中すると、住宅、医療、教育といった社会インフラが不足し、既存の住民の生活に影響が出る可能性があります。また、互いの文化や価値観を尊重し合う「多文化共生」の理想とは裏腹に、実際には言語の壁や宗教的な慣習の違いから、相互理解が進まず、分断や対立が深まるのではないかと不安があります。以上の理由から多文化共生は難しいと考えます。しかし、人手不足等で外国人を受け入れないといけなことも理解しています。現在、隣の部屋に外国人が複数人住んでいます。たまに大きな音をたてたりしますが、大きな問題はありません。それが「たまたま」問題がない外国人なだけかも知れません。今後、外国人が増える場合にどんな人物かも分からないのはストレスと不安を感じます。多文化共生への不安は、多くの場合、見えない外国人への漠然とした恐れから生じます。この不安を解消するには、①外国人住民の実態データ公開：富士市に住む外国人の国籍別人数、年齢層、就労分野などのデータを市のウェブサイトや広報誌で定期的に公開する。どのような人々が、なぜ富士市に来て、どんな生活をしているのかを可視化する。②生活ルールの義務化：就労目的で富士市に転入する外国人に、日本の生活ルールやマナーに関するオリエンテーションへの参加を義務付ける。③試験の導入、日本語能力試験との連携：日本語能力試験(JLPT)のように、日本の文化やルールに関する試験を新設する。ビザ申請時に、一定レベルの合格を義務付ける。オンラインでの実施：遠隔地からでも受験できるように、オンラインで多言語対応のテストを実施する。地域に特化した内容：富士市特有のごみ出しルールや、地域の行事、防災情報など、その地域に特化した内容を盛り込むことで、より実践的な知識を問うことができます。合格後のフォローアップ：テスト合格後も、地域での交流会やオリエンテーションへの参加を促し、継続的なサポートを提供する。これにより、「どのような人々が、どのような知識を持って来日するのか」が可視化され、市民が抱く漠然とした不安を軽減する効果が期待できると考えます。…………… (男性40歳代)
- 以前の勤め先で何人かの外国人を採用しました。日本語学校に通いながらのアルバイトです。そんな中、日本語検定のことも知りましたが、日常的な生の日本語でないと感じました。このような頑張る外国人を応援したいです。ミャンマーから来た子は、私を日本のお母さんと慕ってくれて、今でも親交があります。金銭的支援は難しいですが、何ができることがあれば協力したいので、そういった機関があれば知りたいです。…………… (女性60歳代)
- 富士市では、コロナ禍以降の移住などにより人口は微増し、現在は約25万人で横ばい傾向であると存じます。しかし全国の他の市町村同様、出生率は低下しており、現役世代の社会保障負担の増加や、団塊世代・団塊ジュニア世代の高齢化が大きな課題となっています。若者は少数派となり、長年のデフレや収入格差の中で経済的困難に直面。世界的なインフレや為替変動も日本経済に影響を与え、今後ますます格差が拡大し、結婚や出産への意欲低下が懸念されます。地方創生と人口施策としまして人口増を見据えた子育て支援政策が最重要課題。明石市の事例に学び、子育て支援の拡充などまずは地域単位で変革を進めるべきと考えます。昨今話題の財源論ではありますが、市債を担保した財源化は可能でしょうか？(市もPBの黒字化は念頭に注視しているようで政令指定都市でない自由な市債発行による地方分権はできないとお聞きしたことがあります)市の独自性コアビタンスの構築において、投資としましてやはり教育とインフラに注力すべきと感じます。消費税も地方税・市税にも歳入があるかと存じますが税収や財源の構築も市の裁量によってある程度含みを持たせたスキームやシステム(藩制度による藩札などのスキーム)などが求められる出口戦略のモデルケースとなるはずで。常葉大学閉校の影響もありましたが駅北再開発事業により建設が進む大学ですが、大学誘致には従来の量的な手法だけでなく、都市規模・他市とのアライアンスが必要です。まちづくりと交通インフラ。新富士駅と富士駅の機能集約による「選択と集中」がまちづくりの鍵。駅周辺ごとの分散ではなく、富士市全体としてのシンボリックな都市開発が求められます。まずは内政を推進し魅力的なまちづくり発信からの外国人受け入れに注視していかないと本末転倒かと思ひます。まずは自国を立ててから相手を立てるナショナルイズムの構築は多文化共生・国際化推進の事業におかれましては必須なのではないでしょうか？…………… (男性40歳代)
- 外国人を支援する前に日本人を支援してほしい。非課税世帯とかでなく、大人も子どもも全員平等に。…………… (女性30歳代)
- 多文化に視点を置きすぎず、私たちの意識や気持ちの豊かさを持てるような環境づくりをまず行うほうが良いかと思います。受け入れる側が安定しない、多文化共生、国際化推進には結びつかないように感じます。…………… (女性40歳代)
- 今まで数名の外国人の方と交流することで、それぞれの国の実情の一端、文化を垣間見ることができました。自分が勝手にイメージしていたこととの違い、物事の捉え方の違いなどを知り驚きがあり、もっと知りたい、いろんな話を聞きたいと思いました。私は緊張が強く集団が苦手なのでアンケートにあるようなボランティア活動は参加できませんが、自分ができることを考えてやっていければと思います。富士市は現在も外国人の力を借りて成り立っていることが多いと思うので、今後も一緒に地域生活が送れるよう多文化共生を市が中心となり進めて行ってほしいと思います。…………… (女性50歳代)
- 差別意識や偏見を持たずに、自然体で接することができるような人材作りが大切と考えます。それには、やはり早期から多文化に触れる機会を多く持つことが必要かと思ひます。英語教育が小学校からになったように、学校での取り組みができれば変わっていくかも知れません。…………… (男性60歳代)
- 地域のルールを守れない外国人や違法滞在している外国人には厳正な対応をしてもらいたい。…………… (男性40歳代)
- 長く富士市に住んでいて、毎日のように外国の方を見かけるようになりました。最近では、スーツケースを持って市内を移動する方を目にすることも増えました。ふだん見かける方たちはほとんど怖くなく、礼儀正しくフレンドリーで、ごく自然に生活しているように見える人が多いです。私が今まで接してきた海外の方も、ほとんどが優しく礼儀正しい方ばかりだったのですが、一部のマナーが悪い人、集まっているだけで近づくのが怖いと感じる人たちも当然ながらいます。生きてきた環境も何もかも違うので、いろいろな差があ

るのは当然のことで、こちらが「怖い」と感じることも彼らにとっては普通のことで「なぜ怖い？」と覚ることもたくさんあると思います。それは日本人、外国人関係なくあることだとも思いますが。そういつたところがわかりあえて、お互い気持ちよく過ごすことができればいいなと思います。そのためには交流する、コミュニケーションを取ることが一番ですが、聞きにくい、わかりにくい、伝えにくいこともあるので、見ただけでわかるような標識のようなものがあればいいなと思います（ここは座るの禁止、撮影禁止、食事OKなど）。私の知り合のイギリス人の方は、初めて日本に住むとき、いきなり東京では過ごしにくいかもしれないので、沼津市を選んだそうです（仕事が見つかったのが沼津市だったというもある）。やはり富士山が見える場所は日本という感じがするのかなと思いました。今後、日本を訪れる、在住する外国人はもっと増えると思います。外国人の仕事や給与についてはほとんど知りません。日本人と同じようにふつうに昇進したりしているのかなど、知らないことがたくさんあります。自分から知ることが必要だなと思いました。アンケートの提出が非常に遅れてしまい申し訳ありませんでした。アンケートを読んでいて、富士市には国際化推進など知らないことがたくさんありびっくりしました。……………（女性40歳代）

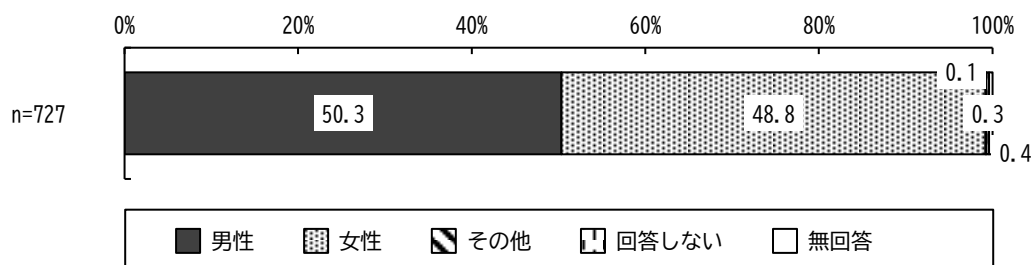
- ここ数年毎日外国方を見るようになりました。幼少期では考えられない光景が今の富士市にはあります。ですが友達にも外国の方がいる私を含めてまだまだ外国の方に抵抗のある方は多いと思います。差別というよりは知らない、どう接したら良いか？など不安から来る恐怖心のような気持ちかもしれません。観光客への対処も遅れている気がします。行政の対応よりも早いスピードで観光産業が進んでしまっている気がします。産業の街富士市のままでは衰退の一途だと思うので観光産業はしっかり次の収入源として確立していただきたいと思います。早め早めに観光地としての整備を進めて国際化への道のりに加えていただきたいです。これからもずっと住んでいたい富士市なので頑張ってほしいです。……………（女性40歳代）

<外国人市民意識調査>

1. 自身のことについて

(1) 性別

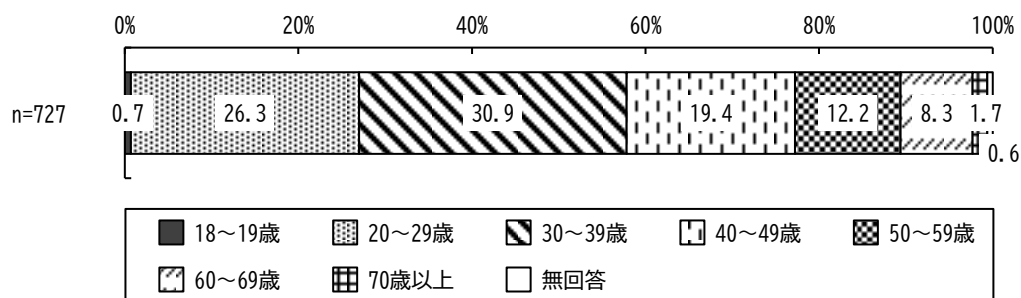
質問1 あなたは次のどちらですか（1つに○）



性別は「男性」が50.3%、「女性」が48.8%、「その他」が0.1%、「回答しない」が0.3%となっている。

(2) 年齢

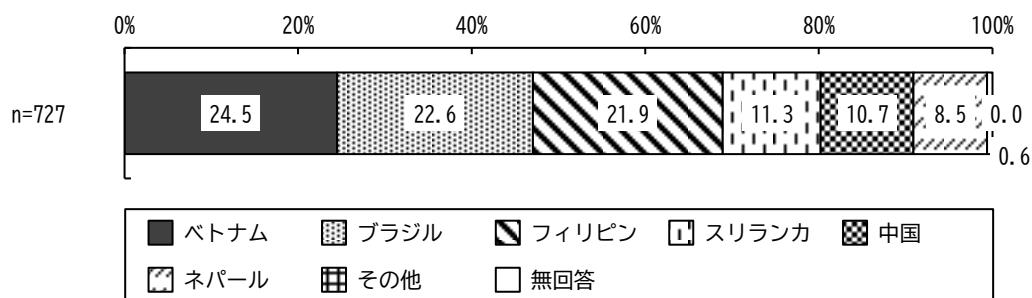
質問2 あなたの年齢は次のどちらですか（1つに○）



年齢は「30～39歳」が30.9%と最も高く、次いで「20～29歳」が26.3%、「40～49歳」が19.4%、「50～59歳」が12.2%などとなっている。

(3) 国籍

質問3 あなたの国籍（どの国の人か）は次のどちらですか（1つに○）

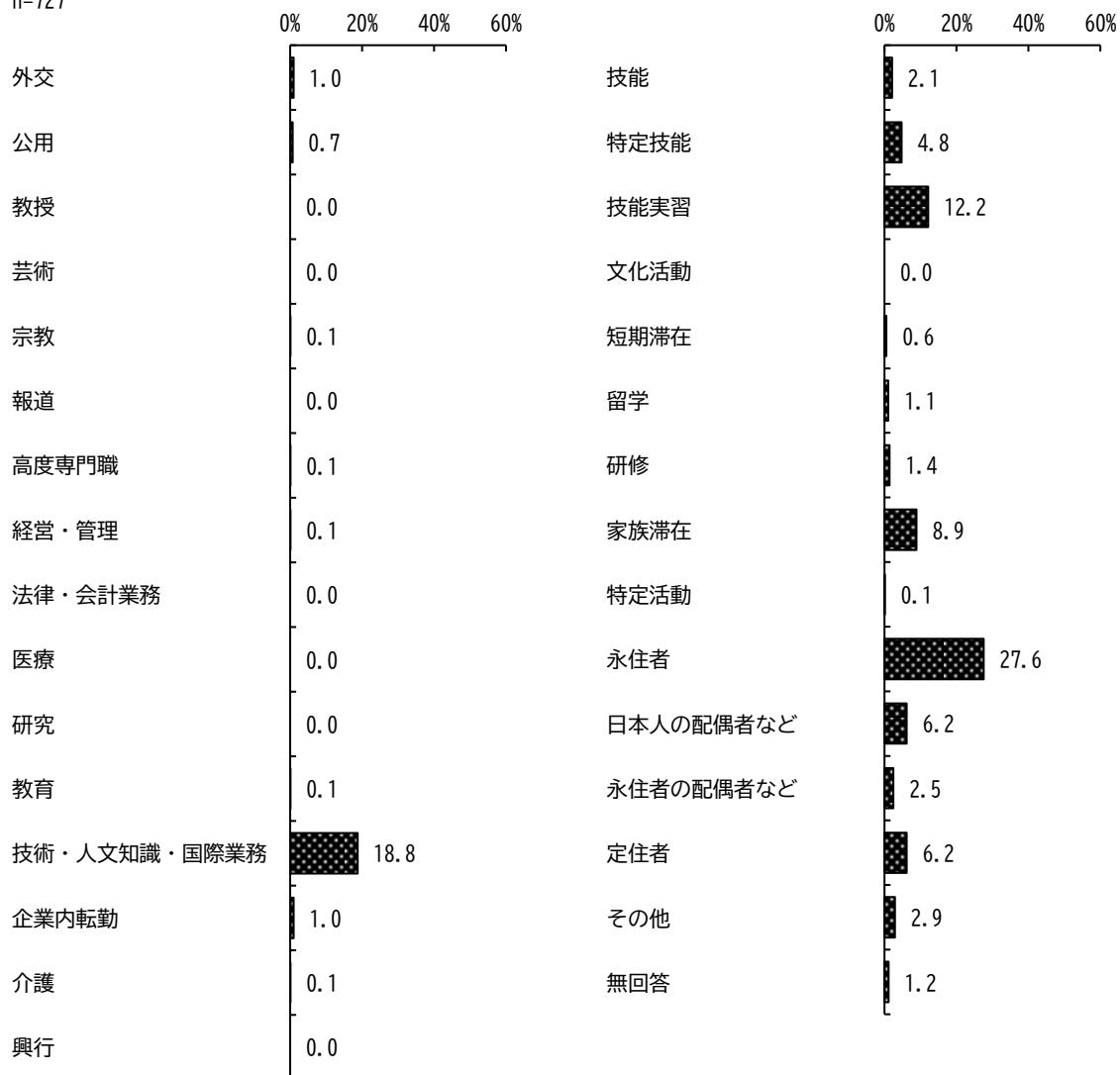


国籍は「ベトナム」が24.5%、「ブラジル」が22.6%、「フィリピン」が21.9%、「スリランカ」が11.3%、「中国」が10.7%、「ネパール」が8.5%、「その他」が0.0%となっている。

(4) 在留資格

質問4 いま在留資格（日本に住む資格）は次のどちらですか（1つに○）

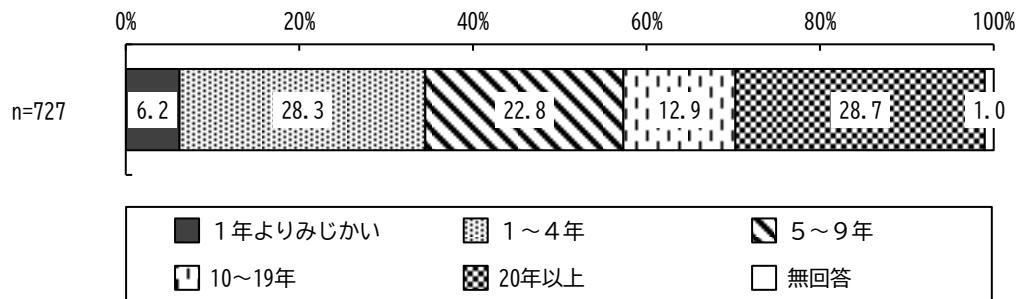
n=727



在留資格は「永住者」が27.6%、「技術・人文知識・国際業務」が18.8%、「技能実習」が12.2%などとなっている。

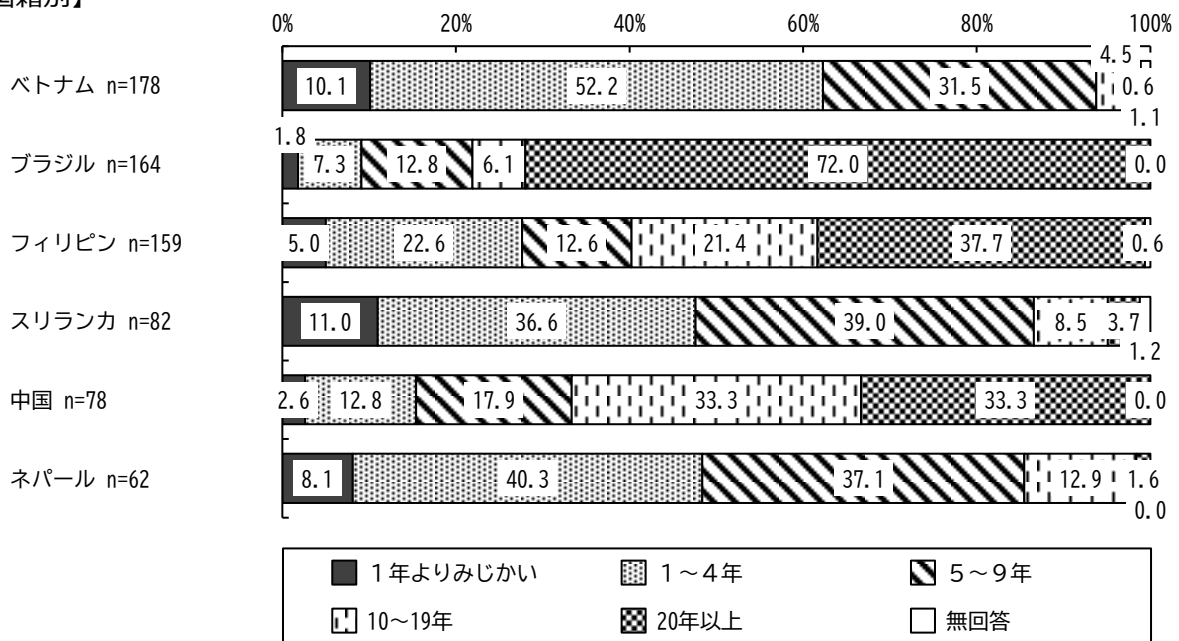
（５）日本での滞在年数

質問５ 日本での生活はすべて合わせてどのくらいですか（１つに○）



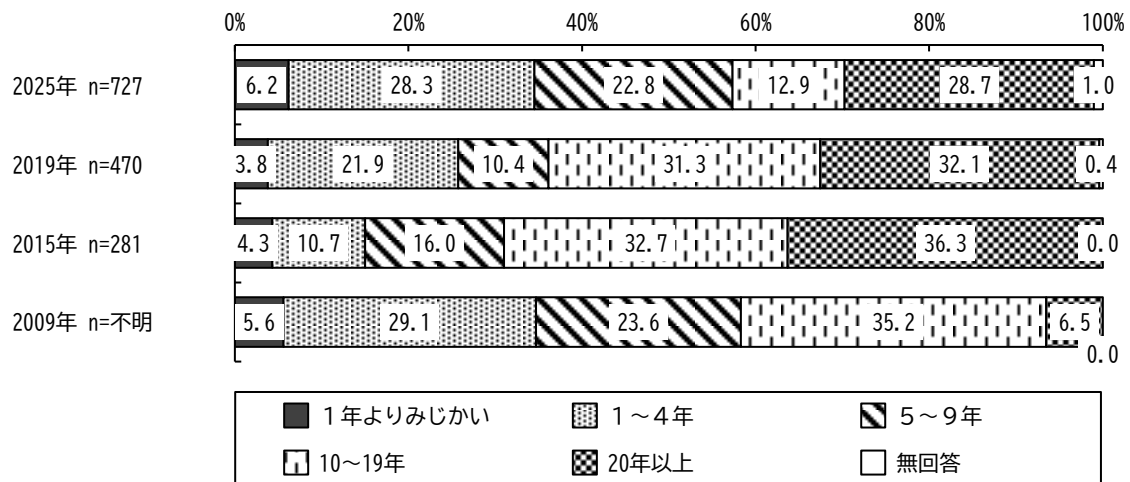
日本での滞在年数は「１年よりみじかい」が6.2%、「１～４年」が28.3%、「５～９年」が22.8%、「１０～１９年」が12.9%、「２０年以上」が28.7%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、ブラジルで「20年以上」が72.0%、ベトナムで「１～４年」が52.2%などとなっている。

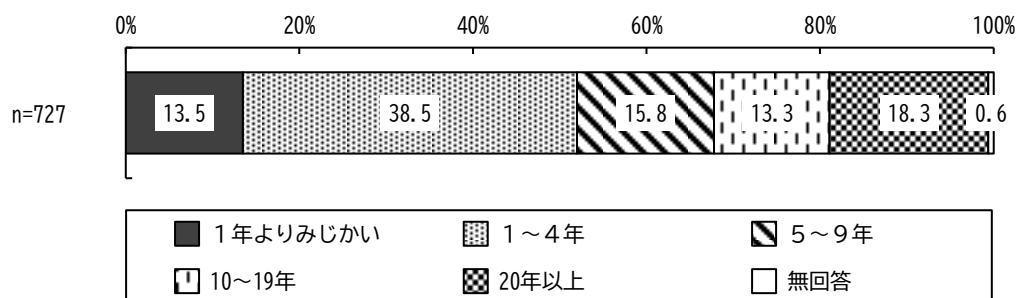
【経年比較】



経年比較では、「10～19年」が前回調査から18.4ポイント低く、「5～9年」が前回調査から12.4ポイント高くなっている。

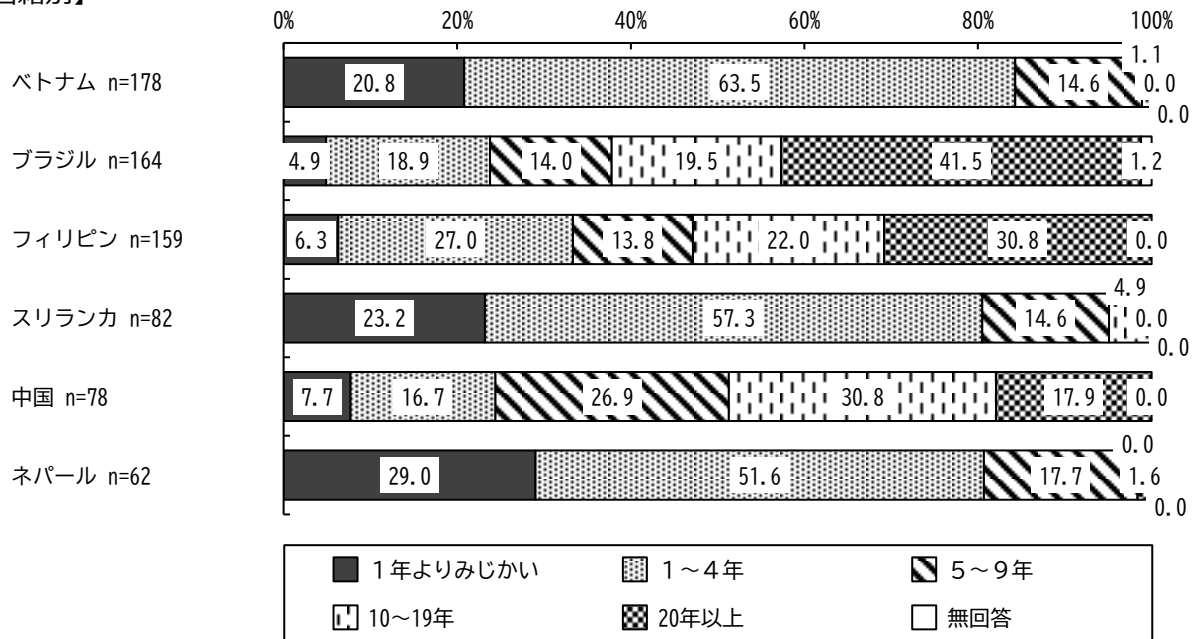
（６）富士市での滞在年数

質問 6 富士市での生活はすべて合わせてどのくらいですか（１つに○）



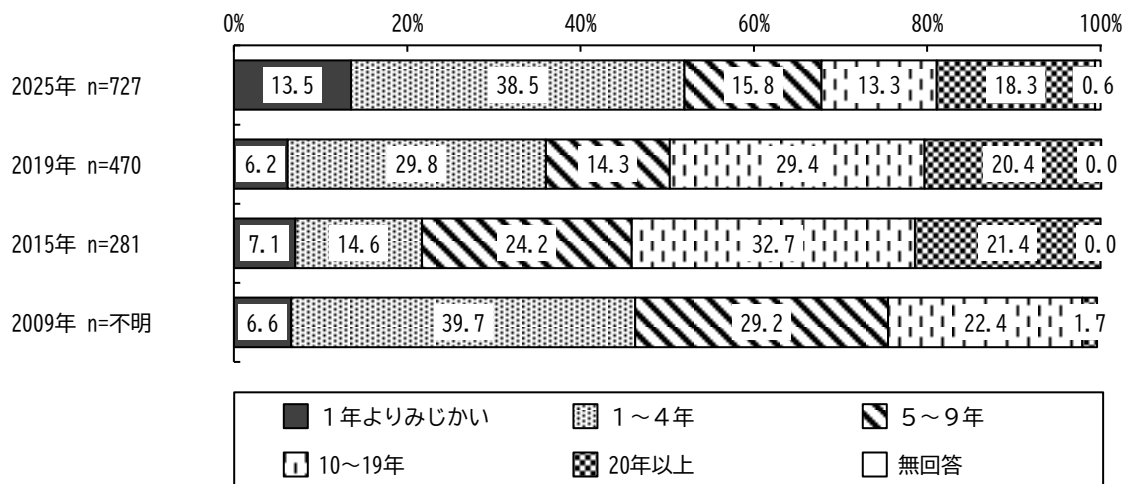
富士市での滞在年数は「1年よりみじかい」が13.5%、「1～4年」が38.5%、「5～9年」が15.8%、「10～19年」が13.3%、「20年以上」が18.3%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、ベトナムで「1～4年」が63.5%、スリランカで「1～4年」が57.3%などとなっている。

【経年比較】



※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、「10～19年」が前回調査から16.1ポイント低く、「1～4年」が前回調査から8.7ポイント高く、「1年よりみじかい」が前回調査から7.3ポイント高くなっている。

(7) 富士市に住むようになった理由

質問7 富士市に住むようになった理由はなんですか（1つに○）

															(%)
		良い仕事が見つかったから	結婚したため	通勤・通学に便利だから	家族・知人、友人がいたから	富士市が好きだから	家を建てたから	富士山がよく見えて綺麗だから	生まれた時から生活している	買い物など生活が便利だから	同じ国の人が多いから	家賃が安かったから	市役所に通訳がいるから	その他	無回答
全体 n=727		30.3	17.2	13.8	12.1	10.3	4.0	2.3	1.8	1.0	0.6	0.4	0.3	5.4	0.7
国籍別	ベトナム n=178	44.4	2.2	30.3	5.6	8.4	0.0	4.5	0.0	1.1	0.6	0.6	0.0	1.7	0.6
	ブラジル n=164	18.9	7.3	6.1	18.3	19.5	9.8	1.8	6.7	1.2	0.0	0.0	1.2	7.3	1.8
	フィリピン n=159	21.4	41.5	10.1	8.2	2.5	1.9	1.9	1.3	1.3	0.6	1.3	0.0	8.2	0.0
	スリランカ n=82	46.3	15.9	8.5	12.2	9.8	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	4.9	0.0
	中国 n=78	6.4	28.2	11.5	19.2	11.5	11.5	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	1.3
	ネパール n=62	50.0	11.3	6.5	14.5	11.3	0.0	1.6	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0

富士市に住むようになった理由は「良い仕事が見つかったから」が30.3%と最も高く、次いで「結婚したため」が17.2%、「通勤・通学に便利だから」が13.8%、「家族、知人、友人がいたから」が12.1%などとなっている。

国籍別にみると、ベトナム・スリランカ・ネパールは「良い仕事が見つかったから」、フィリピン・中国は「結婚したため」、ブラジルは「富士市が好きだから」が最も高くなっている。

【経年比較】

(%)														
	良い仕事が見つかったから	結婚したため	通勤・通学に便利だから	家族・知人、友人がいたから	富士市が好きだから	家を建てたから	富士山がよく見えて綺麗だから	生まれた時から生活している	買い物など生活が便利だから	同じ国の人が多いから	家賃が安かったから	市役所に通訳がいるから	その他	無回答
2025年 n=727	30.3	17.2	13.8	12.1	10.3	4.0	2.3	1.8	1.0	0.6	0.4	0.3	5.4	0.7
2019年 n=470	16.0	23.2	10.6	14.9	2.6	5.5		1.9	0.9	8.9	0.2	1.7	10.6	0.6
2015年 n=281	14.6	34.2	9.3	17.8	8.5	5.3		2.5	1.8		0.4		3.6	
2009年 n=不明	16.5	29.4	15.8	21.9	0.0	0.0		0.9	1.7		1.5		12.2	

※「良い仕事が見つかったから」は前回調査まで「条件のよい仕事が見つかったから」

※「買い物など生活が便利だから」は前回調査まで「買い物など日常生活に便利だから」

※「富士山がよく見えて綺麗だから」は今回調査から

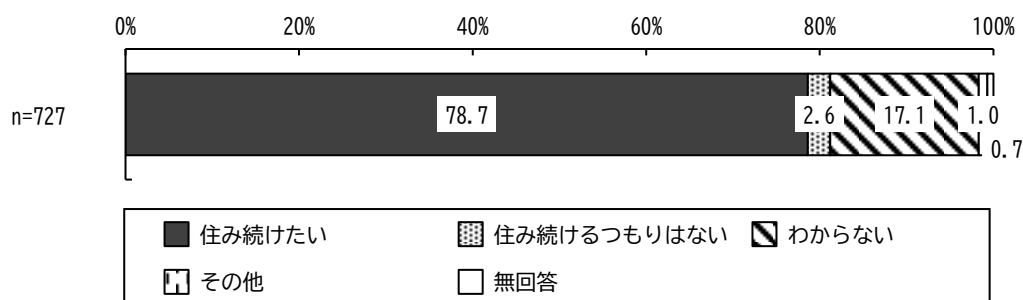
※「同じ国の人が多いから」は前回調査まで「同じ国の出身者が多いから」

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「良い仕事が見つかったから」が前回調査から14.3ポイント高くなっている。

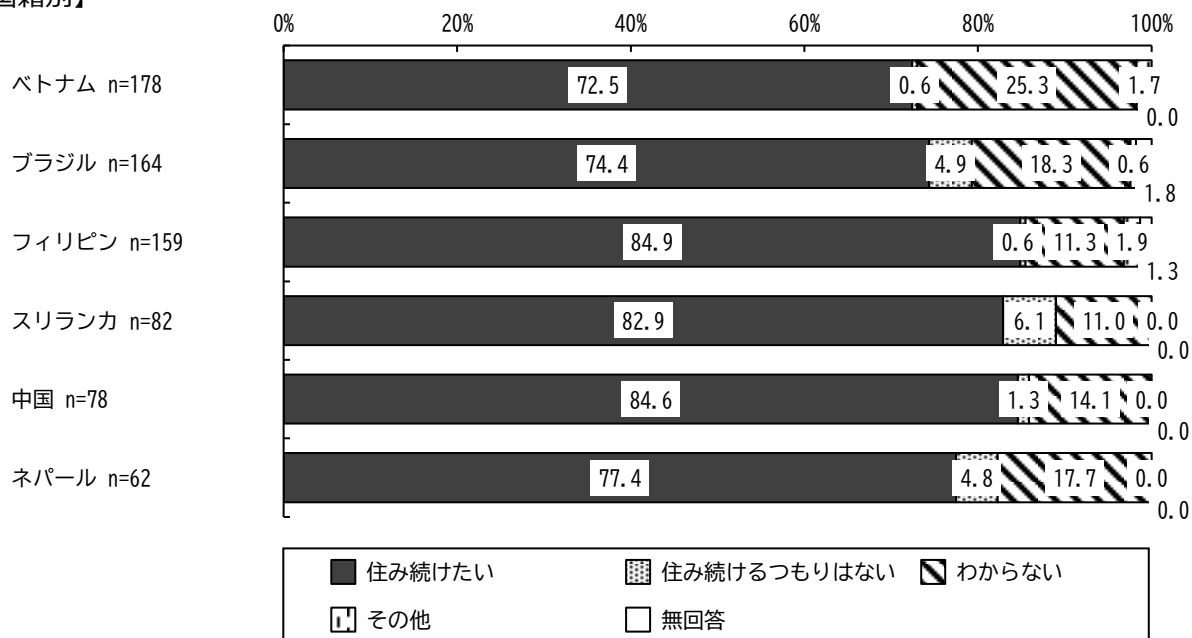
（８）富士市に住みたいと思うか

質問８ 富士市に住みたいと思いますか（１つに○）



富士市に住みたいと思うかについては「住みたい」が78.7%、「住むつもりはない」が2.6%、「わからない」が17.1%、「その他」が1.0%となっている。

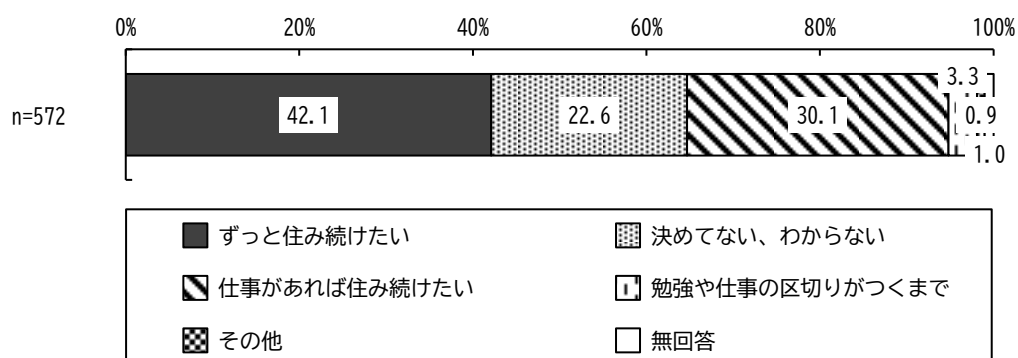
【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「住みたい」が最も高く、フィリピン・スリランカ・中国で80%以上となっている。

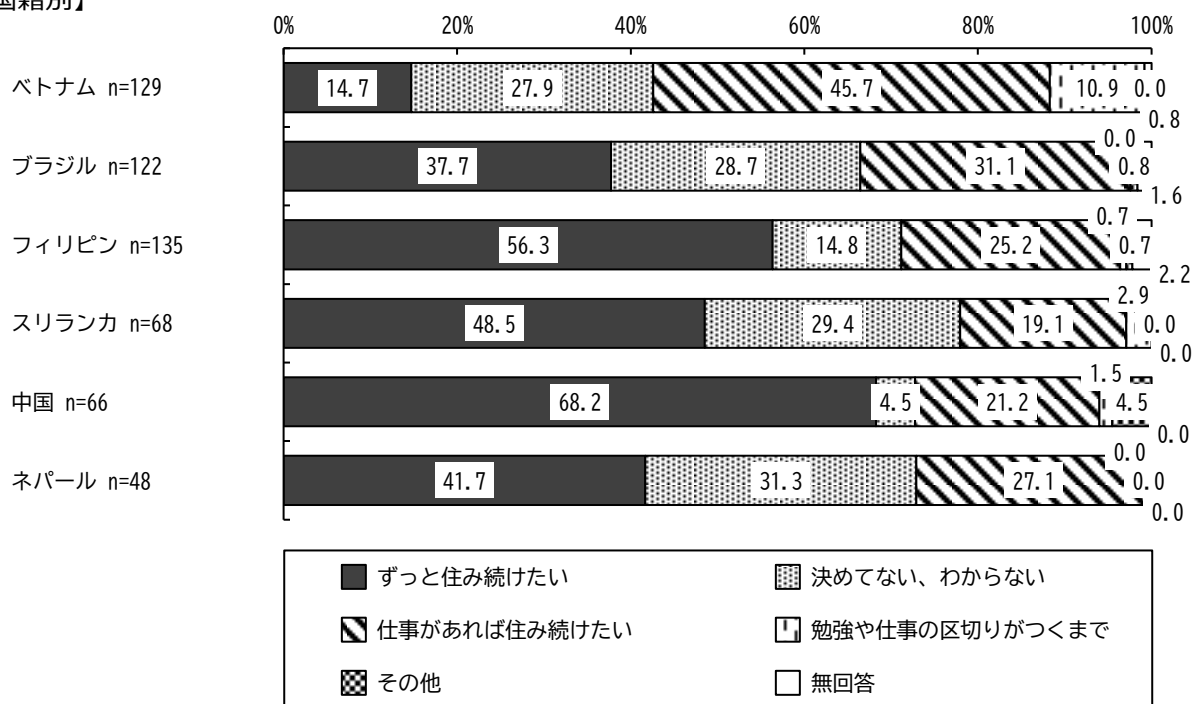
（９）富士市にどのくらい住みたいか

質問 8-2 （質問 8 で住みたいと答えた方）どのくらい住みたいです（１つに○）



富士市にどのくらい住みたいかについては「ずっと住みたい」が42.1%、「決めてない、わからない」が22.6%、「仕事があれば住みたい」が30.1%、「勉強や仕事の区切りがつくまで」が3.3%となっている。

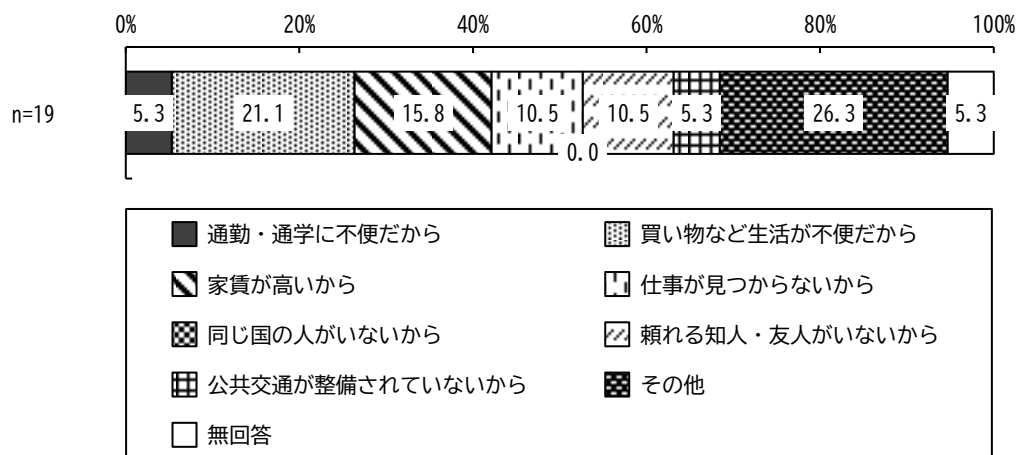
【国籍別】



国籍別にみると、ベトナムは「仕事があれば住みたい」、ブラジル・フィリピン・スリランカ・中国・ネパールは「ずっと住みたい」が最も高くなっている。

(10) 富士市に住み続けるつもりはない理由

質問 8 - 3 （質問 8 で住み続けるつもりはないと答えた方） どうしてですか （1 つに○）



富士市に住み続けるつもりはない理由は「買い物など生活が不便だから」が21.1%、「家賃が高いから」が15.8%などとなっている。

2. 日本語能力について

(1) 日常会話ができる言語

質問9 日常会話ができる言語は何語ですか（あてはまるものすべてに○）

		(%)									
		日本語	英語	ベトナム語	ポルトガル語	フィリピン語	シンハラ語	中国語	ネパール語	その他	無回答
全体 n=727		79.6	34.0	20.9	19.5	16.1	10.0	8.1	8.0	4.5	0.3
国籍別	ベトナム n=178	79.8	7.3	85.4	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.6	0.0
	ブラジル n=164	73.8	13.4	0.0	85.4	0.6	0.0	0.0	0.0	3.7	1.2
	フィリピン n=159	87.4	60.4	0.0	0.6	71.7	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0
	スリランカ n=82	72.0	74.4	0.0	0.0	0.0	89.0	0.0	0.0	6.1	0.0
	中国 n=78	85.9	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	73.1	0.0	0.0	0.0
	ネパール n=62	77.4	74.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.9	27.4	0.0

日常会話ができる言語は「日本語」が79.6%と最も高く、次いで「英語」が34.0%、「ベトナム語」が20.9%、「ポルトガル語」が19.5%などとなっている。

国籍別にみると、フィリピン・中国は「日本語」、その他国籍はそれぞれの母国語が最も高くなっている。

【経年比較】

		(%)									
		日本語	英語	ベトナム語	ポルトガル語	フィリピン語	シンハラ語	中国語	ネパール語	その他	無回答
2025年 n=727		79.6	34.0	20.9	19.5	16.1	10.0	8.1	8.0	4.5	0.3
2019年 n=470		79.4	31.7	11.5	26.0	23.8		12.3		1.5	0.4
2015年 n=281		80.8	26.0		28.1	25.3		20.6		0.7	

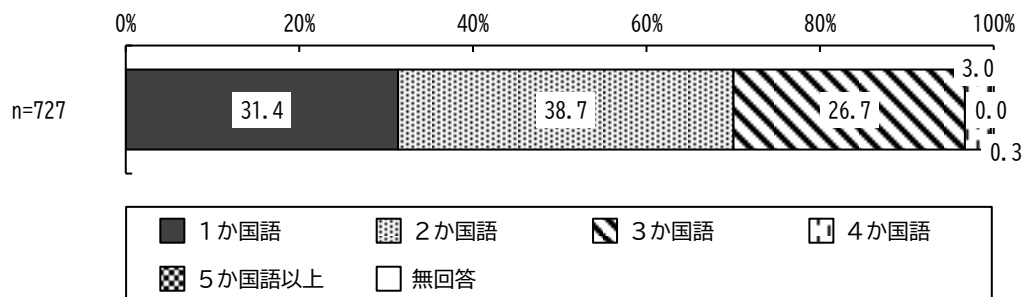
※「ネパール語」「シンハラ語」は今回調査から

※「ベトナム語」は前回調査から

※2015年の無回答：不明

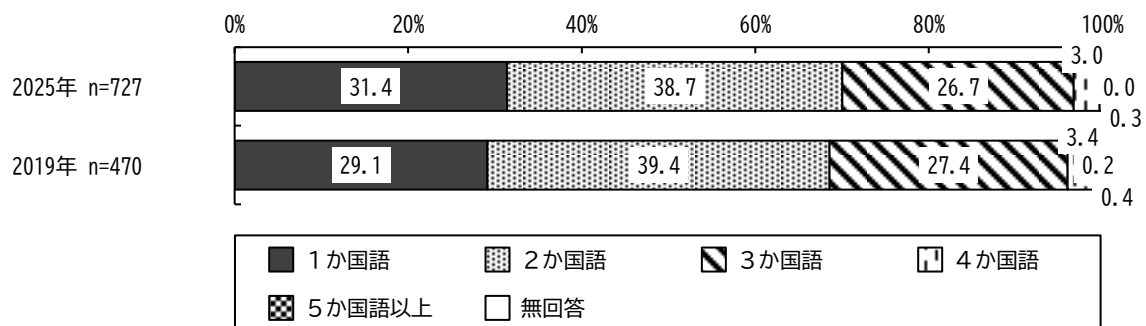
経年比較では、「ベトナム語」が前回調査から9.4ポイント高くなっている。

■ 日常会話が可能な言語の数



日常会話が可能な言語の数は「2 か国語」が38.7%と最も高く、次いで「1 か国語」が31.4%、「3 か国語」が26.7%などとなっている。

■ 日常会話が可能な言語の数 【経年比較】

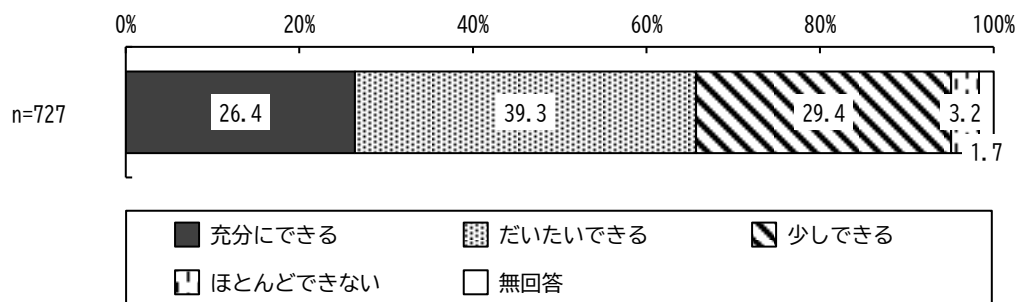


経年比較では、前回調査から大差はみられない。

(2) 日本語はどのくらいできるか

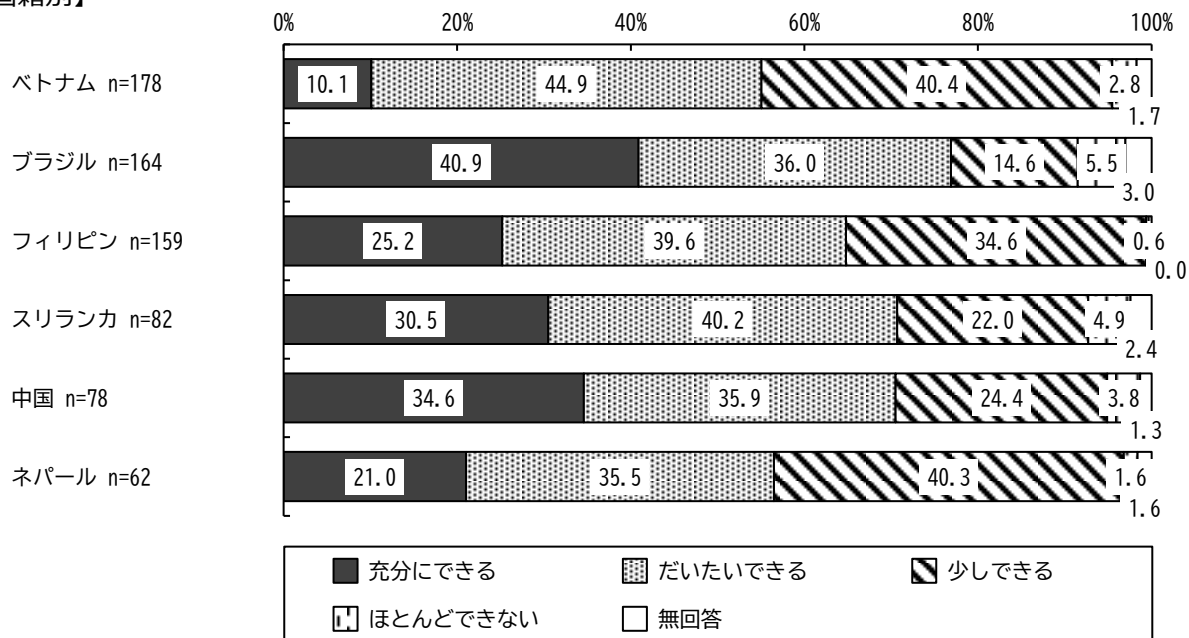
質問10 日本語はどのくらいできますか（それぞれ1つに○）

①聞く



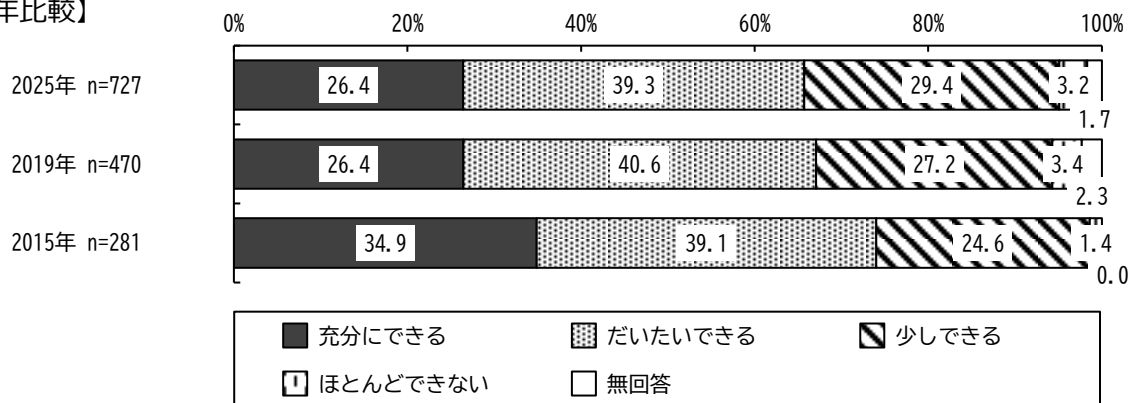
日本語の聞く能力は「十分にできる」が26.4%、「だいたいできる」が39.3%、「少しできる」が29.4%、「ほとんどできない」が3.2%となっている。

【国籍別】

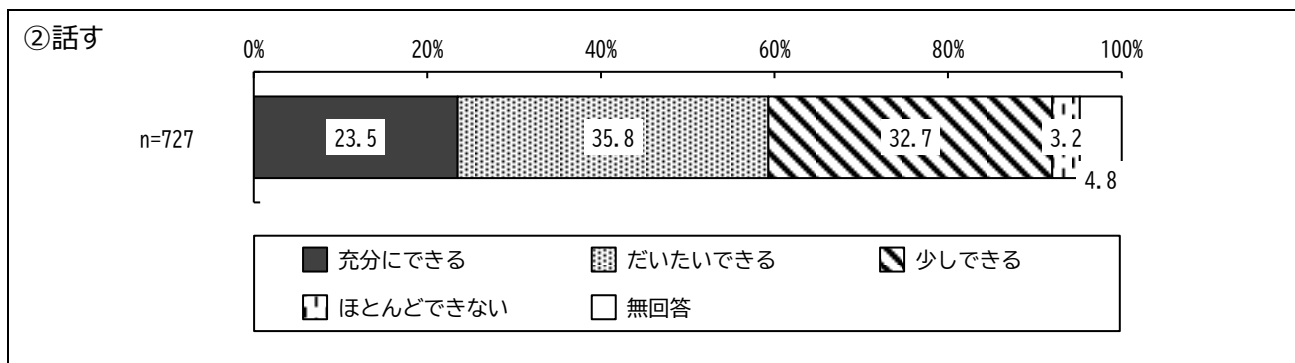


国籍別にみると、ブラジルは「十分にできる」、ベトナム・フィリピン・スリランカ・中国は「だいたいできる」、ネパールは「少しできる」が最も高くなっている。

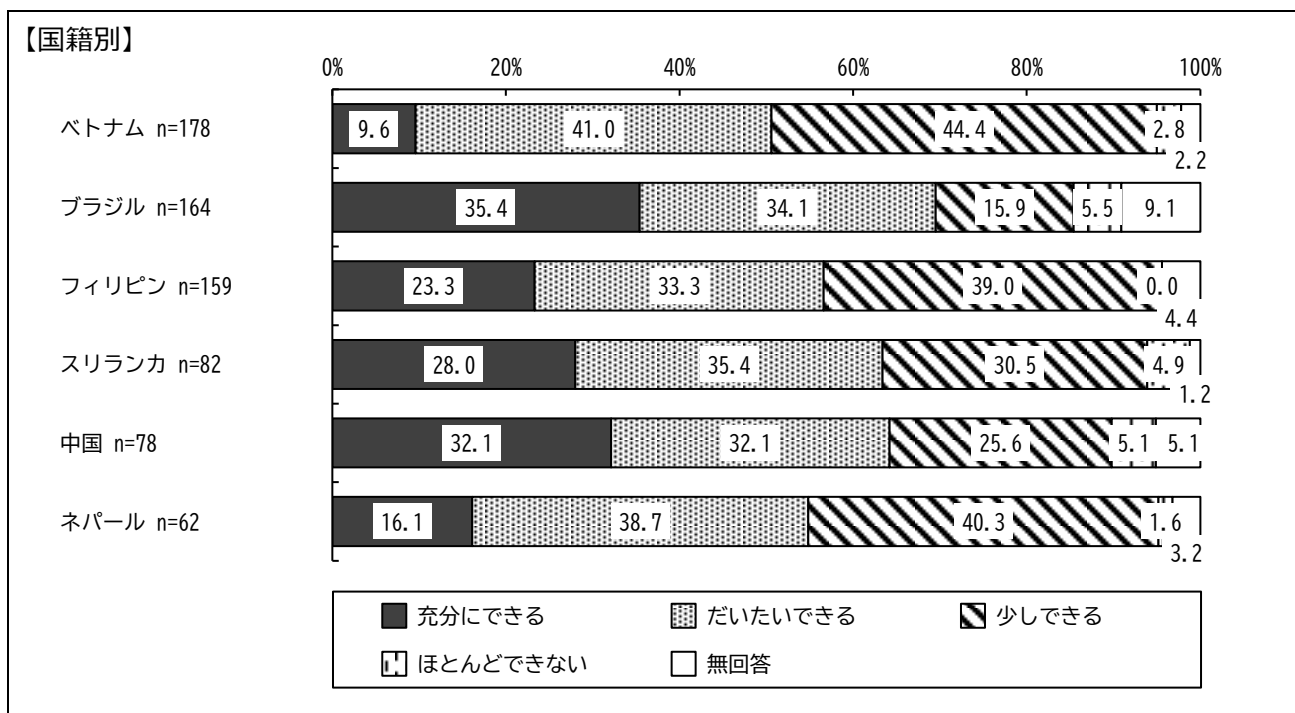
【経年比較】



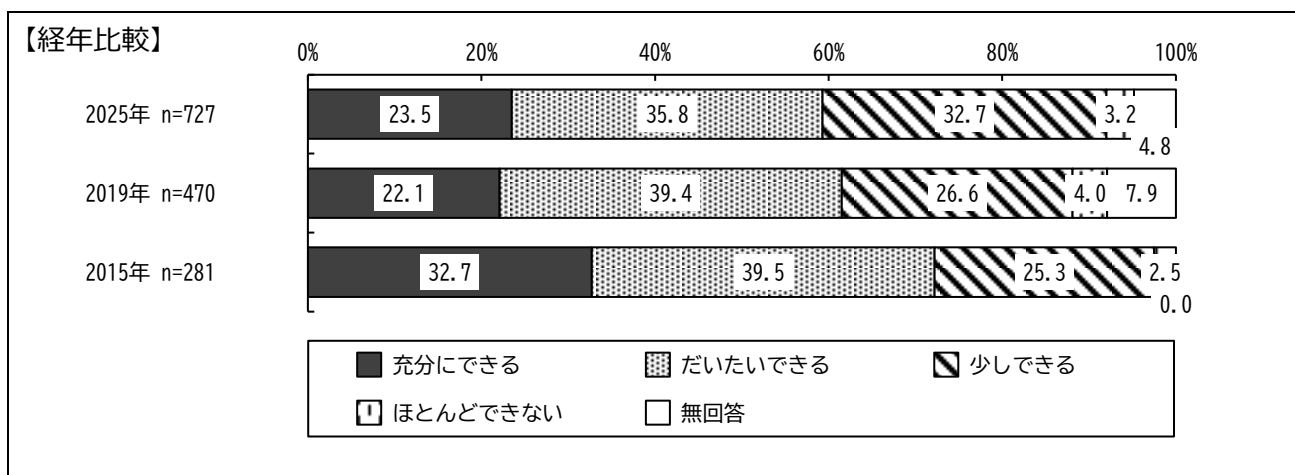
経年比較では、前回調査から大差はみられない。



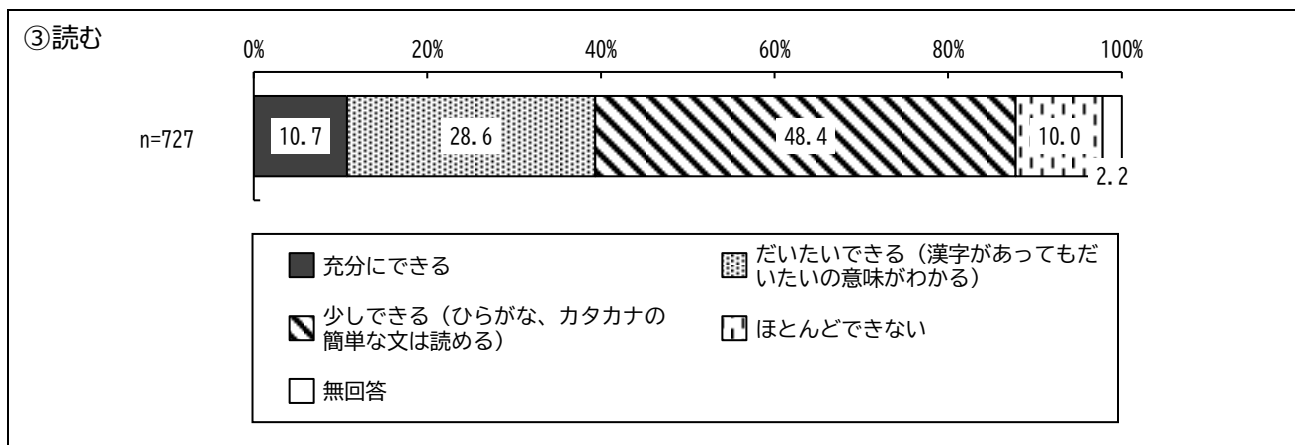
日本語の話す能力は「十分にできる」が23.5%、「だいたいできる」が35.8%、「少しできる」が32.7%、「ほとんどできない」が3.2%となっている。



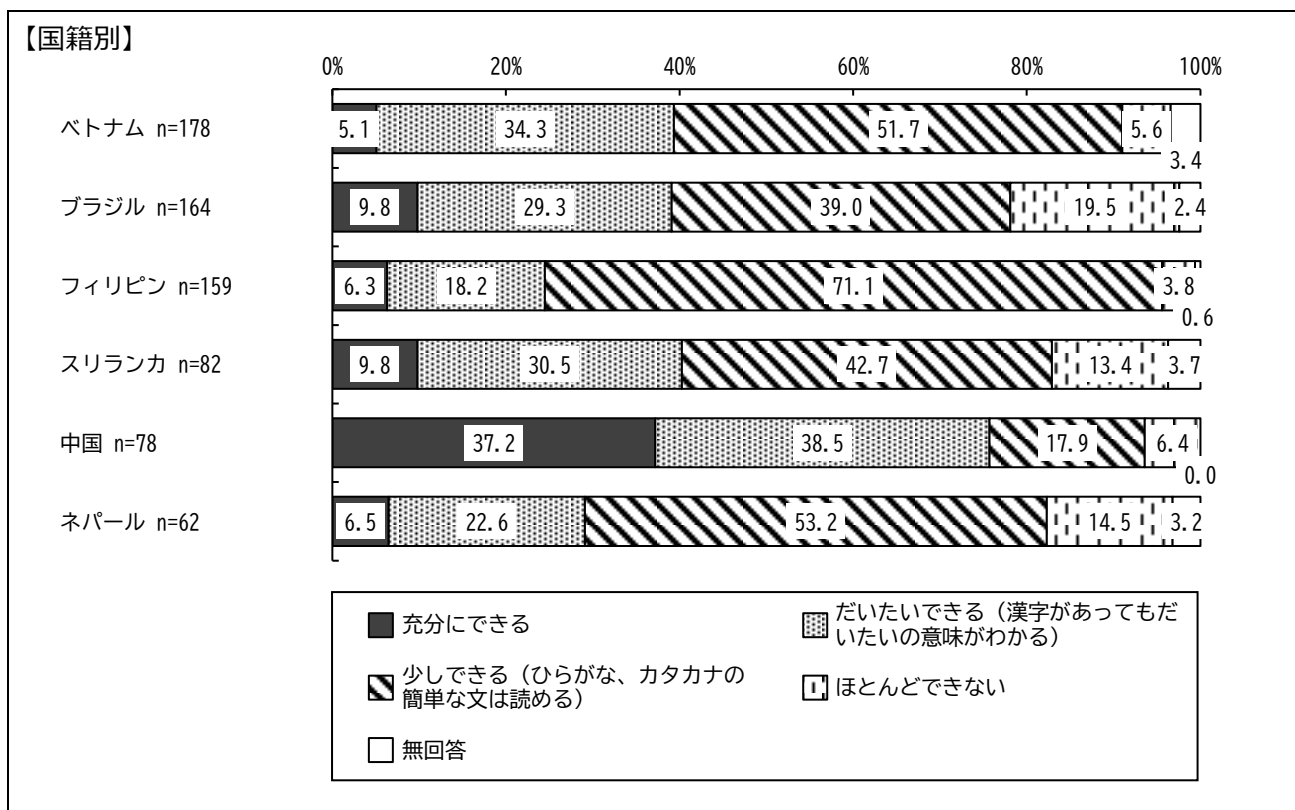
国籍別にみると、ブラジルは「十分にできる」、スリランカは「だいたいできる」、ベトナム・フィリピン・ネパールは「少しできる」が最も高くなっている。中国は「十分にできる」と「だいたいできる」が同じ割合となっている。



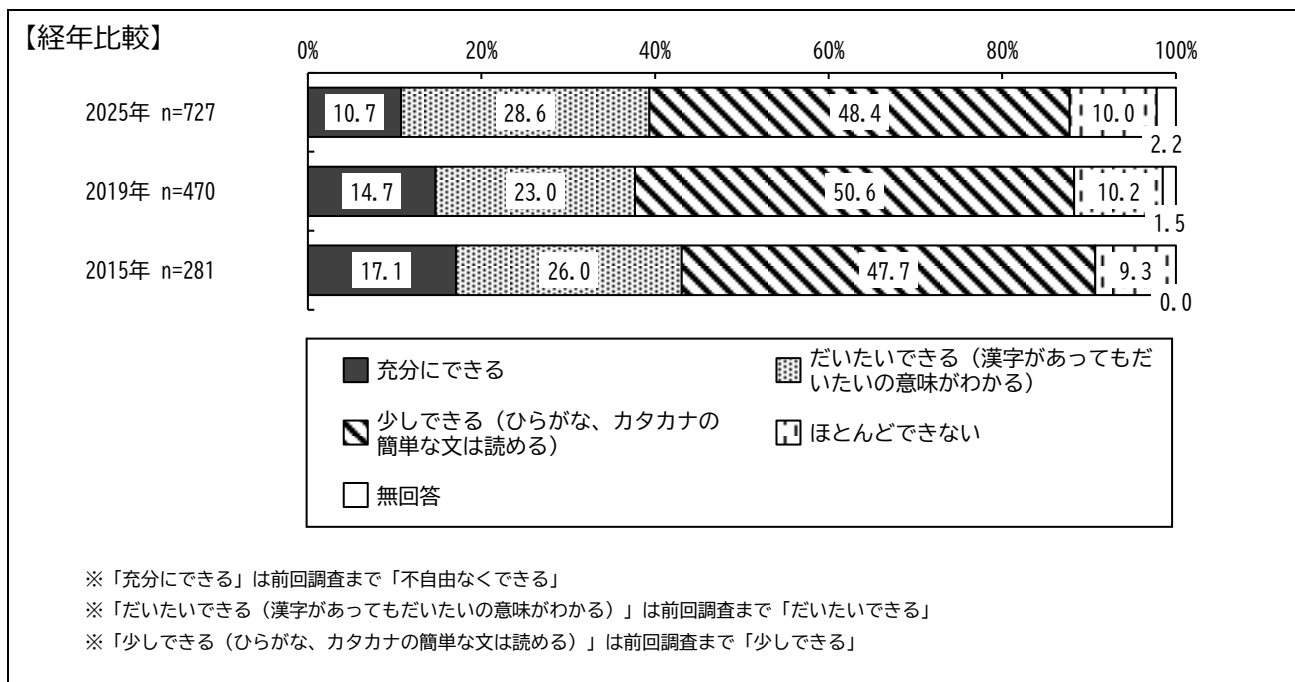
経年比較では、「少しできる」が前回調査から6.1ポイント高くなっている。



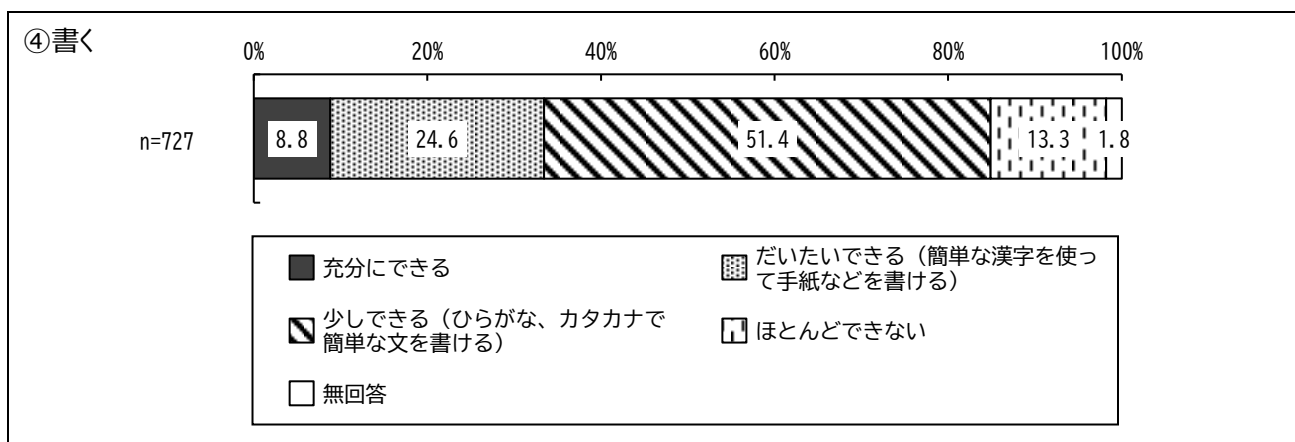
日本語の読む能力は「十分にできる」が10.7%、「だいたいできる (漢字があってもだいたいの意味がわかる)」が28.6%、「少しできる (ひらがな、カタカナの簡単な文は読める)」が48.4%、「ほとんどできない」が10.0%となっている。



国籍別にみると、中国は「十分にできる」、その他の国籍は「少しできる (ひらがな、カタカナの簡単な文は読める)」が最も高くなっている。

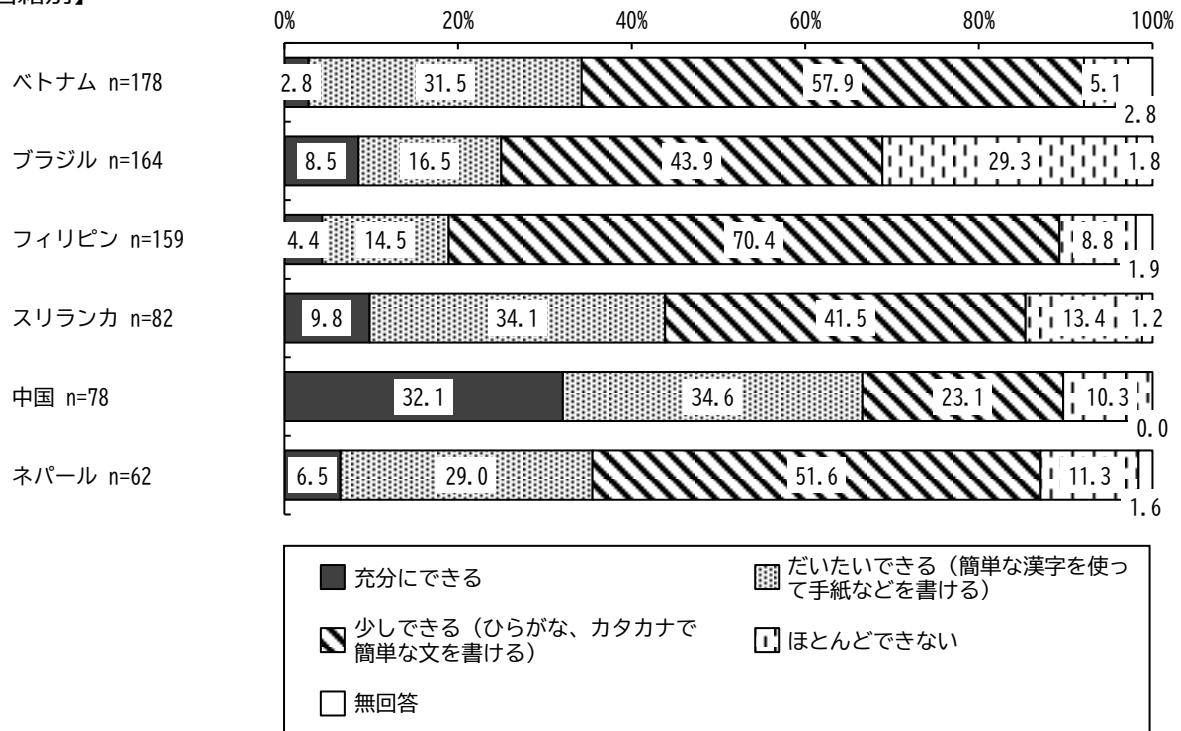


経年比較では、「だいたいできる (漢字があってもだいたいの意味がわかる)」が前回調査から5.6ポイント高くなっている。



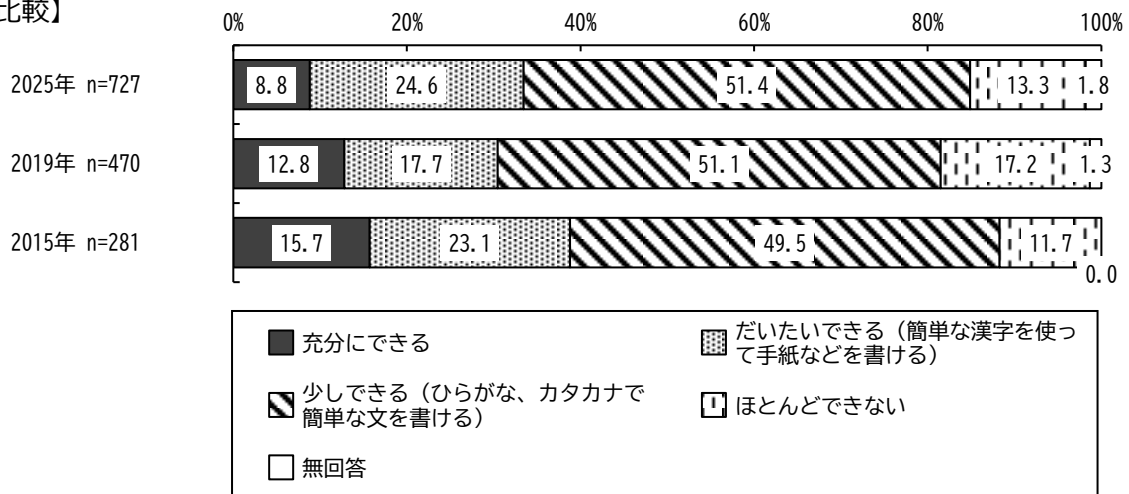
日本語の書く能力は「十分にできる」が8.8%、「だいたいできる (簡単な漢字を使って手紙などを書ける)」が24.6%、「少しできる (ひらがな、カタカナで簡単な文を書ける)」が51.4%、「ほとんどできない」が13.3%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、中国は「だいたいできる（簡単な漢字を使って手紙などを書ける）」、その他の国籍は「少しできる（ひらがな、カタカナで簡単な文を書ける）」が最も高くなっている。

【経年比較】



※「十分にできる」は前回調査まで「不自由なくできる」

※「だいたいできる（漢字があってもだいたいの意味がわかる）」は前回調査まで「だいたいできる」

※「少しできる（ひらがな、カタカナの簡単な文は読める）」は前回調査まで「少しできる」

経年比較では、「だいたいできる（簡単な漢字を使って手紙などを書ける）」が前回調査から6.9ポイント高くなっている。

(3) 日本語がわからなくて困ったこと

質問11 日本語がわからなくて困ったことがありますか（あてはまるものすべてに○）

		(%)											
		病院	役所の手続き	郵便局・銀行での手続き	仕事	仕事を探すとき	近所付き合い	学校の先生と話すとき	生活や買い物	電車やバスに乗るとき	その他	困ったことはない	無回答
全体 n=727		37.3	35.6	29.2	19.3	17.3	12.8	9.8	9.4	9.2	2.9	28.5	1.9
国籍別	ベトナム n=178	38.2	51.7	32.6	20.2	20.8	13.5	6.2	10.7	8.4	3.4	17.4	0.0
	ブラジル n=164	38.4	16.5	29.9	17.7	14.0	7.3	12.8	9.8	7.3	5.5	32.3	1.2
	フィリピン n=159	33.3	45.9	36.5	16.4	10.7	15.1	10.7	6.3	12.6	0.6	28.3	5.0
	スリランカ n=82	35.4	30.5	22.0	17.1	18.3	13.4	7.3	12.2	8.5	0.0	40.2	3.7
	中国 n=78	38.5	24.4	17.9	24.4	17.9	17.9	14.1	6.4	7.7	5.1	35.9	1.3
	ネパール n=62	43.5	33.9	21.0	25.8	32.3	12.9	8.1	12.9	11.3	1.6	24.2	0.0

日本語がわからなくて困ったことは「病院」が37.3%と最も高く、次いで「役所の手続き」が35.6%、「郵便局・銀行での手続き」が29.2%、「仕事」が19.3%などとなり、何らかの『困りごとがある』割合は69.6%となっている。一方、「困ったことはない」は28.5%となっている。

国籍別にみると、ベトナム・フィリピンは「役所の手続き」、ブラジル・スリランカ・中国・ネパールは「病院」が最も高くなっている。また、スリランカで「困ったことはない」が40.2%となっている。

【経年比較】

		(%)											
		病院	役所の手続き	郵便局・銀行での手続き	仕事	仕事を探すとき	近所付き合い	学校の先生と話すとき	生活や買い物	電車やバスに乗るとき	その他	困ったことはない	無回答
2025年 n=727		37.3	35.6	29.2	19.3	17.3	12.8	9.8	9.4	9.2	2.9	28.5	1.9
2019年 n=470		28.9	26.8	23.4	18.1	10.2	10.2	10.9	9.1	7.9	5.1	34.3	2.8

※「近所付き合い」「役所の手続き」「郵便局・銀行での手続き」「仕事」「病院」は前回調査まで選択肢の後ろに『で』あり（「近所付き合いで」など）

※「生活や買い物」は前回調査まで「日常生活や買い物で」

経年比較では、「役所の手続き」が前回調査から8.8ポイント高く、「病院」が前回調査から8.4ポイント高くなっている。

(4) 日本語をどのように学習したか

質問12 日本語をどのように学習しました（しています）か（あてはまるものすべてに○）

		(%)									
		自分ひとりで	職場	家族・友人から	母国の学校で	日本の学校で	テレビ・ラジオ講座・通信教育など	役所、ボランティアの日本語講座など	学習していない	その他	無回答
全体 n=727		57.4	31.1	21.6	21.6	19.3	12.0	10.3	5.4	3.2	0.6
国籍別	ベトナム n=178	71.3	33.1	12.9	30.9	11.2	15.2	3.9	1.1	1.1	0.6
	ブラジル n=164	48.2	23.8	17.7	10.4	12.8	9.8	14.6	15.9	6.7	1.2
	フィリピン n=159	70.4	40.9	34.6	23.9	1.9	6.9	13.2	1.3	3.8	0.6
	スリランカ n=82	47.6	24.4	14.6	24.4	48.8	15.9	13.4	2.4	2.4	0.0
	中国 n=78	44.9	24.4	25.6	14.1	29.5	11.5	11.5	6.4	2.6	0.0
	ネパール n=62	35.5	33.9	27.4	22.6	51.6	16.1	3.2	1.6	0.0	0.0

日本語をどのように学習したかについては「自分ひとりで」が57.4%と最も高く、次いで「職場」が31.1%、「家族・友人から」と「母国の学校で」が21.6%などとなり、日本語を『学習した（している）』割合は94.1%となっている。

国籍別にみると、ベトナム・ブラジル・フィリピン・中国は「自分ひとりで」、スリランカ・ネパールは「日本の学校で」が最も高くなっている。

【経年比較】

		(%)									
		自分ひとりで	職場	家族・友人から	母国の学校で	日本の学校で	テレビ・ラジオ講座・通信教育など	役所、ボランティアの日本語講座など	学習していない	その他	無回答
2025年 n=727		57.4	31.1	21.6	21.6	19.3	12.0	10.3	5.4	3.2	0.6
2019年 n=470		50.2	24.9	21.5	18.5	14.5	11.3	12.3	7.7	3.0	0.9
2015年 n=281		46.3		24.9	13.2	11.4	8.5	20.6	8.9	3.9	

※「役所、ボランティアの日本語講座など」「職場」は前回調査まで選択肢の後ろに『で』あり（「職場で」など）

※「生活や買い物」は前回調査まで「日常生活や買い物で」

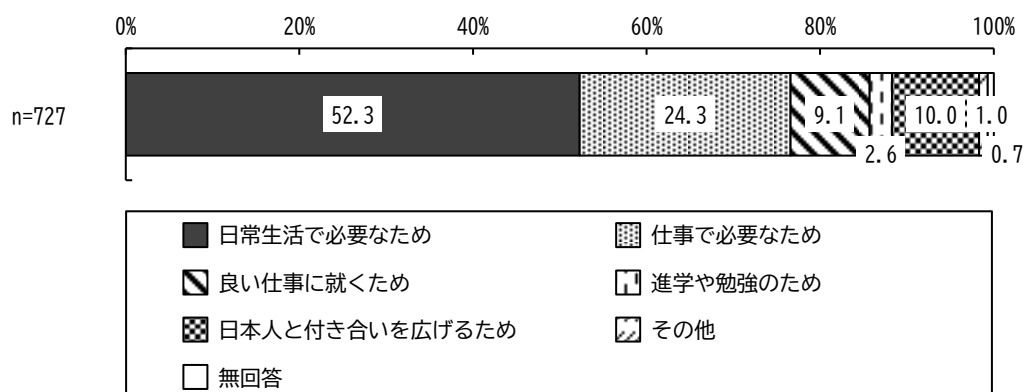
※「職場」は前々回調査から。

※2015年の無回答：不明

経年比較では、「自分ひとりで」が前回調査から7.2ポイント高くなっている。

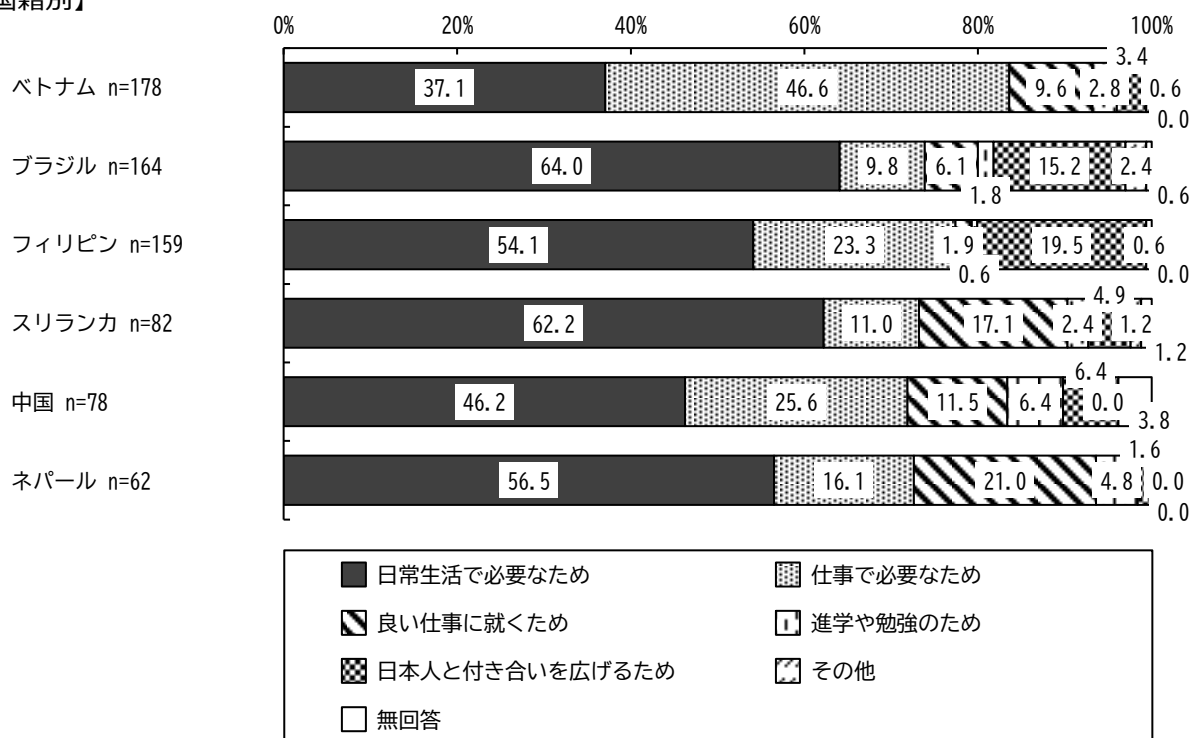
(5) 日本語を学ぶ主な目的

質問13 日本語を学ぶ主な目的は何ですか（1つに○）



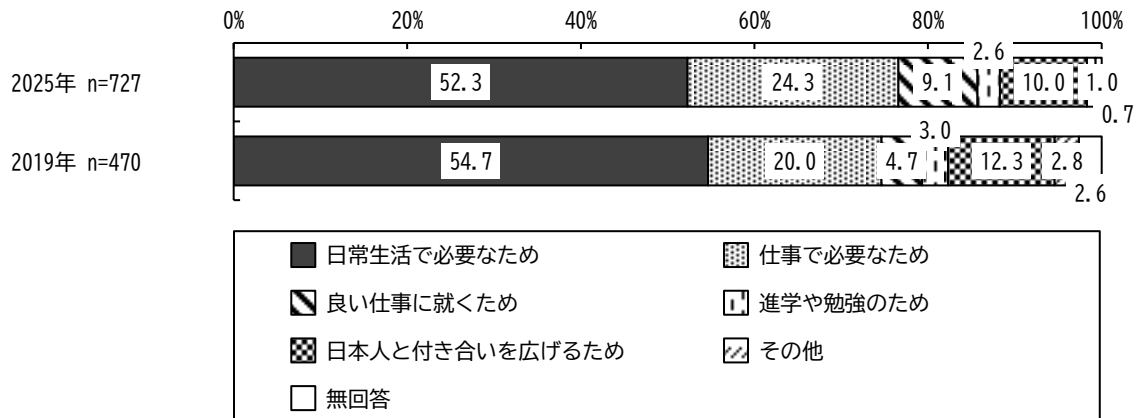
日本語を学ぶ主な目的は「日常生活に必要なため」が52.3%、「仕事に必要なため」が24.3%、「日本人と付き合いを広げるため」が10.0%、「良い仕事に就くため」が9.1%、「進学や勉強のため」が2.6%などとなっている。

【国籍別】



国籍別にみると、ベトナムは「仕事に必要なため」、その他の国籍は「日常生活に必要なため」が最も高くなっている。

【経年比較】

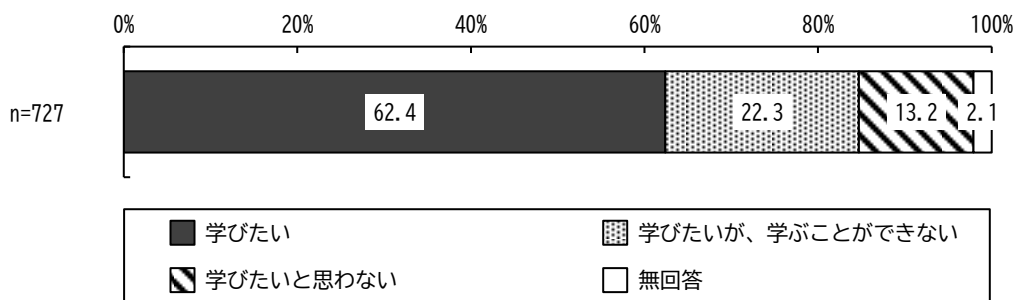


※「良い仕事に就くため」は前回調査まで「より良い仕事に就くため」

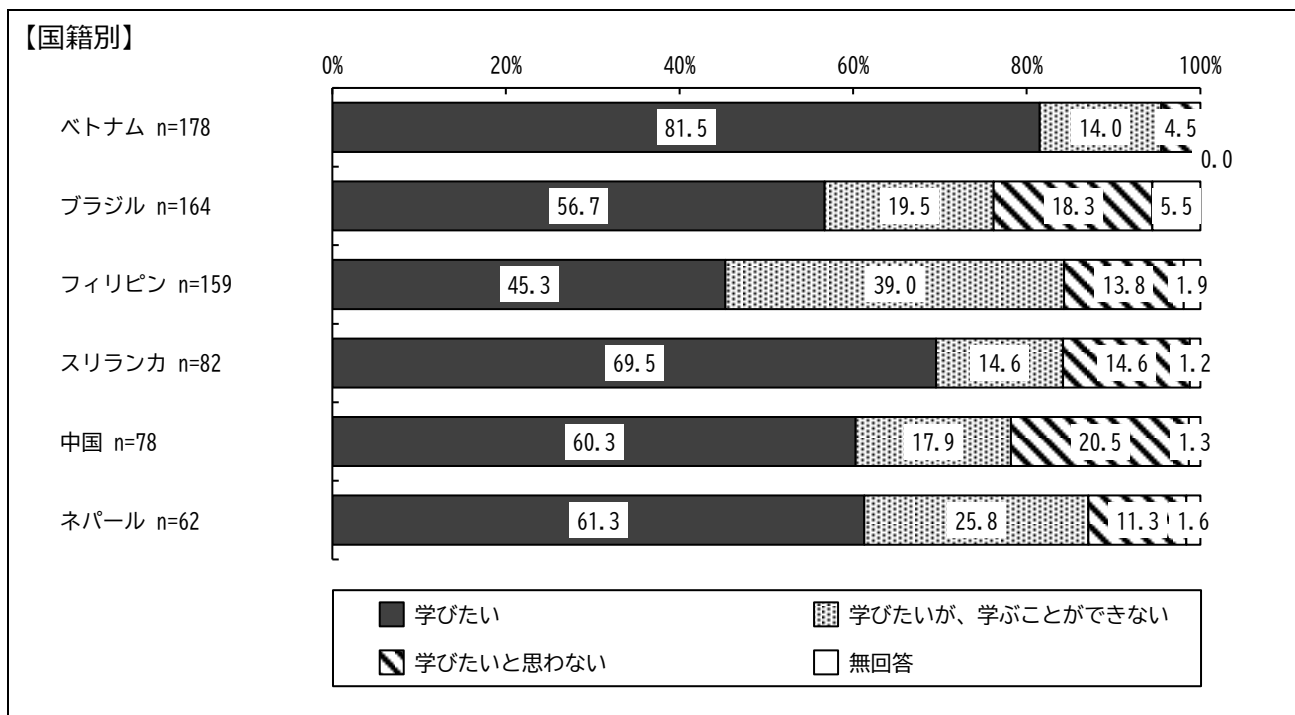
経年比較では、「良い仕事に就くため」が前回調査から4.4ポイント高く、「仕事に必要なため」が前回調査から4.3ポイント高くなっている。

（6）今後日本語を学びたいか

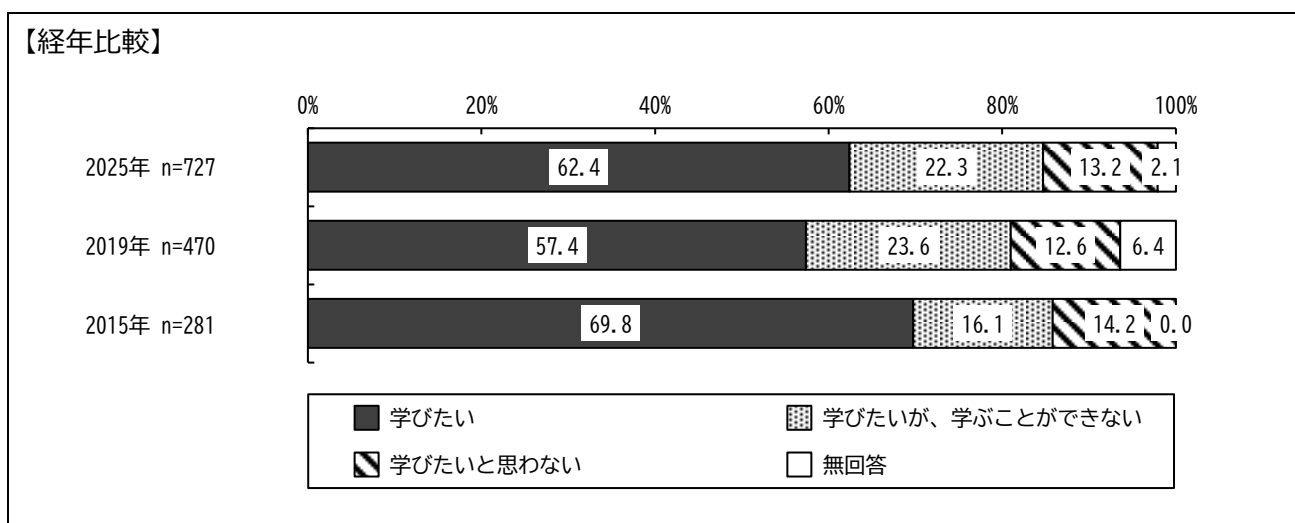
質問14 今後日本語を学びたいですか（1つに○）



今後日本語を学びたいかについては「学びたい」が62.4%、「学びたいが、学ぶことができない」が22.3%、「学びたいと思わない」が13.2%となっている。



国籍別にみると、全ての国籍で「学びたい」が最も高くなっている。また、フィリピンで「学びたいが、学ぶことができない」が39.0%となっている。



経年比較では、「学びたい」が前回調査から5.0ポイント高くなっている。

(7) 日本語を学んでいない理由

質問14-2 いま日本語を学んでいないのはなぜですか（あてはまるものすべてに○）

													(%)		
		間仕事 がない から	仕 事 や 子 育 て な ど で、 時	日 本 語 が で き る か ら	日 本 語 教 室 の 時 間 が 合 わ な い か ら	い ど う か 分 か ら な い か ら	こ と が で き な い か ら	日 本 語 教 室 が 遠 く て 行 く	お 金 が な い か ら	日 本 語 教 室 の こ と を 知 ら な い か ら	日 本 語 が で き な く て も 生 活 が で き る か ら	勉 強 し た く な い か ら	ラ ベ ル な ど が 合 わ な い か ら	日 本 語 教 室 の 教 え 方 や、 そ の 他	無 回 答
全体 n=258		<div><div></div></div> 37.6	<div><div></div></div> 31.4	<div><div></div></div> 17.4	<div><div></div></div> 11.6	<div><div></div></div> 6.6	<div><div></div></div> 5.8	<div><div></div></div> 5.8	<div><div></div></div> 5.4	<div><div></div></div> 3.5	<div><div></div></div> 3.1	<div><div></div></div> 5.0	<div><div></div></div> 2.7		
国 籍 別	ベトナム n=33	<div><div></div></div> 21.2	<div><div></div></div> 12.1	<div><div></div></div> 39.4	<div><div></div></div> 27.3	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 3.0	<div><div></div></div> 15.2	<div><div></div></div> 6.1	<div><div></div></div> 9.1	<div><div></div></div> 3.0	<div><div></div></div> 3.0	<div><div></div></div> 3.0		
	ブラジル n=62	<div><div></div></div> 27.4	<div><div></div></div> 33.9	<div><div></div></div> 21.0	<div><div></div></div> 9.7	<div><div></div></div> 8.1	<div><div></div></div> 3.2	<div><div></div></div> 3.2	<div><div></div></div> 4.8	<div><div></div></div> 3.2	<div><div></div></div> 4.8	<div><div></div></div> 6.5	<div><div></div></div> 3.2		
	フィリピン n=84	<div><div></div></div> 52.4	<div><div></div></div> 26.2	<div><div></div></div> 14.3	<div><div></div></div> 14.3	<div><div></div></div> 11.9	<div><div></div></div> 6.0	<div><div></div></div> 7.1	<div><div></div></div> 3.6	<div><div></div></div> 2.4	<div><div></div></div> 2.4	<div><div></div></div> 7.1	<div><div></div></div> 2.4		
	スリランカ n=24	<div><div></div></div> 37.5	<div><div></div></div> 45.8	<div><div></div></div> 8.3	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 20.8	<div><div></div></div> 4.2	<div><div></div></div> 4.2	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 8.3	<div><div></div></div> 4.2	<div><div></div></div> 0.0		
	中国 n=30	<div><div></div></div> 26.7	<div><div></div></div> 53.3	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 10.0	<div><div></div></div> 3.3	<div><div></div></div> 6.7	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 10.0	<div><div></div></div> 6.7	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 3.3	<div><div></div></div> 6.7		
	ネパール n=23	<div><div></div></div> 52.2	<div><div></div></div> 26.1	<div><div></div></div> 17.4	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 4.3	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 4.3	<div><div></div></div> 4.3	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 0.0		

日本語を学んでいない理由は「仕事や子育てなどで、時間がないから」が37.6%と最も高く、次いで「日本語ができるから」が31.4%、「日本語教室の時間が合わないから」が17.4%、「どうやって勉強したらいいのかわからないから」が11.6%などとなっている。

国籍別にみると、ベトナムは「日本語教室の時間が合わないから」、ブラジル・スリランカ・中国は「日本語ができるから」、フィリピン・ネパールは「仕事や子育てなどで、時間がないから」が最も高くなっている。

【今後の日本語学習意向別】

													(%)
		間仕事 がない から や育 てな どで、 時	日本 語が でき る から	日本 語教 室の 時間 が合 わ ない から	い ど う か 分 か ら な い か ら	こ と が で き な い か ら	お 金 が な い か ら	日 本 語 教 室 の こ と を 知 ら な い か ら	日 本 語 が で き な く て も 生 活 が で き る か ら	勉 強 し た く な い か ら	ラ ベ ル な ど が 合 わ な い か ら	日 本 語 教 室 の 教 え 方 や、 そ の 他	無 回 答
全体 n=258		37.6	31.4	17.4	11.6	6.6	5.8	5.8	5.4	3.5	3.1	5.0	2.7
今後の日本語の 学習意向別	学びたいが、学ぶことができない n=162	51.2	11.1	24.1	17.9	9.9	9.3	9.3	6.2	1.9	4.9	4.9	3.1
	学びたいと思わない n=96	14.6	65.6	6.3	1.0	1.0	0.0	0.0	4.2	6.3	0.0	5.2	2.1

今後の学習意向別にみると、「学びたいが、学ぶことができない」と回答した人は「仕事や子育てなどで、時間がないから」、「学びたいと思わない」と回答した人は「日本語ができるから」がそれぞれ最も高くなっている。

【経年比較】

													(%)
	仕事や子育てなど、時間がないから	日本語ができるから	日本語教室の時間が合わないから	どうやって勉強したらいいのか分からないから	日本語教室が遠くて行くことができないから	お金がないから	日本語教室のことを知らないから	日本語ができるから	勉強したくないから	日本語教室の教え方や、レベルなどが合わないから	その他	無回答	
2025年 n=258	37.6	31.4	17.4	11.6	6.6	5.8	5.8	5.4	3.5	3.1	5.0	2.7	
2019年 n=170	44.7	23.5	15.9	6.5	8.2	11.2	6.5	7.1	4.1	2.9	5.9	2.9	

経年比較では、「日本語ができるから」が前回調査から7.9ポイント高くなっている。

（８）日本語教室についての希望

質問14-3 （質問14で「学びたい」「学びたいが、学ぶことができない」と答えた方）日本語教室についてそれぞれお答えください（あてはまるものすべてに○）

①どの曜日が参加しやすいですか

	日 曜 日	土 曜 日	月 曜 日	火 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	水 曜 日	無 回 答
全体 n=616	51.1	36.7	14.0	12.0	10.2	10.2	9.9	16.6
国籍別								
ベトナム n=170	68.2	39.4	15.3	12.4	8.2	10.6	10.6	9.4
ブラジル n=125	38.4	39.2	12.8	9.6	9.6	11.2	10.4	21.6
フィリピン n=134	50.0	38.1	11.2	7.5	5.2	6.0	5.2	14.2
スリランカ n=69	44.9	30.4	11.6	14.5	15.9	11.6	7.2	23.2
中国 n=61	50.8	36.1	16.4	13.1	14.8	11.5	18.0	21.3
ネパール n=54	40.7	29.6	20.4	22.2	18.5	14.8	13.0	16.7

日本語教室についての希望で、参加しやすい曜日は「日曜日」が51.1%と最も高く、次いで「土曜日」が36.7%、「月曜日」が14.0%、「火曜日」が12.0%などとなっている。

国籍別にみると、ベトナム・フィリピン・スリランカ・中国・ネパールは「日曜日」、ブラジルは「土曜日」が最も高くなっている。

②どの時間が参加しやすいですか

		(%)			
		9 : 00 ~ 12 : 00	12 : 01 ~ 17 : 00	17 : 01 ~ 21 : 00	無回答
全体 n=616		34.1	33.1	26.9	17.0
国籍別	ベトナム n=170	29.4	44.1	30.0	10.6
	ブラジル n=125	37.6	28.8	16.8	23.2
	フィリピン n=134	32.8	27.6	29.9	15.7
	スリランカ n=69	43.5	27.5	23.2	21.7
	中国 n=61	29.5	31.1	39.3	18.0
	ネパール n=54	37.0	33.3	25.9	16.7

参加しやすい時間は「9：00～12：00」が34.1%と最も高く、次いで「17：00～21：00」が33.1%、「13：00～17：00」が26.9%となっている。

国籍別にみると、ブラジル・フィリピン・スリランカ・ネパールは「9：00～12：00」、中国は「13：00～17：00」が、「ベトナム」は「17：00～21：00」が最も高くなっている。

③教室がどの地区にあったら行きやすいですか

		(%)													
		吉原	富士駅北	富士駅南	富士川	富士南	今泉	伝法	大淵	天間	松野	富士北	鷹岡	田子浦	富士見台
全体 n=616		21.9	11.4	11.4	8.6	8.1	7.8	7.3	5.5	4.2	4.1	3.9	3.9	3.2	3.1
国籍別	ベトナム n=170	20.0	6.5	8.2	8.2	6.5	12.4	9.4	8.2	10.0	2.4	3.5	4.1	2.4	2.4
	ブラジル n=125	22.4	11.2	11.2	4.8	3.2	6.4	6.4	7.2	3.2	4.8	2.4	3.2	1.6	9.6
	フィリピン n=134	27.6	7.5	8.2	6.7	7.5	6.0	3.7	6.0	1.5	9.0	2.2	7.5	4.5	0.7
	スリランカ n=69	24.6	15.9	20.3	18.8	20.3	1.4	2.9	1.4	2.9	0.0	5.8	0.0	4.3	0.0
	中国 n=61	16.4	26.2	16.4	6.6	9.8	8.2	6.6	3.3	1.6	0.0	4.9	3.3	6.6	3.3
	ネパール n=54	14.8	14.8	13.0	13.0	9.3	9.3	18.5	0.0	0.0	3.7	9.3	1.9	1.9	0.0

		広見	青葉台	岩松	岩松北	須津	原田	丘	元吉原	神戸	吉永北	吉永	浮島	無回答
全体 n=616		3.1	2.3	1.8	1.6	1.6	1.5	1.1	0.6	0.5	0.3	0.2	0.0	15.4
国籍別	ベトナム n=170	4.7	1.2	0.6	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.2
	ブラジル n=125	5.6	4.0	3.2	4.0	2.4	2.4	0.8	2.4	1.6	0.8	0.0	0.0	20.0
	フィリピン n=134	0.0	0.7	1.5	0.0	2.2	1.5	2.2	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	12.7
	スリランカ n=69	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8
	中国 n=61	3.3	6.6	4.9	6.6	0.0	1.6	3.3	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	18.0
	ネパール n=54	3.7	3.7	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

教室がどの地区にあったら行きやすいかは「吉原」が21.9%と最も高く、次いで「富士駅北」と「富士駅南」が11.4%、「富士川」が8.6%などとなっている。

国籍別にみると、ベトナム・ブラジル・フィリピン・スリランカは「吉原」、中国は「富士駅北」、ネパールは「伝法」が最も高くなっている。

④どんなことを学びたいですか

		(%)										
		日常会話	仕事をするとき使える日本語	文法	漢字の読み書き	日本文化	発音やアクセント	交流や仲間づくり	日本語検定	ひらがなの読み書き	カタカナの読み書き	無回答
全体 n=616		61.4	43.5	37.3	36.7	26.8	26.1	23.5	22.6	15.4	15.3	10.4
国籍別	ベトナム n=170	72.4	58.2	38.2	27.6	32.4	31.2	30.0	30.0	5.9	5.9	7.1
	ブラジル n=125	52.8	28.8	30.4	41.6	27.2	21.6	20.0	20.8	18.4	20.0	14.4
	フィリピン n=134	56.0	44.0	45.5	49.3	20.9	26.1	22.4	25.4	20.1	20.1	10.4
	スリランカ n=69	68.1	44.9	39.1	43.5	31.9	31.9	26.1	17.4	23.2	20.3	8.7
	中国 n=61	59.0	36.1	31.1	23.0	19.7	23.0	21.3	13.1	13.1	11.5	11.5
	ネパール n=54	55.6	37.0	37.0	29.6	25.9	18.5	14.8	14.8	20.4	20.4	11.1

どんなことを学びたいかは「日常会話」が61.4%と最も高く、次いで「仕事をするとき使える日本語」が43.5%、「文法」が37.3%、「漢字の読み書き」が36.7%などとなっている。

国籍別にみると、全ての国籍で「日常会話」が最も高くなっている。

3. 生活全般について

(1) 生活している中で悩みはあるか

質問15 生活している中で悩みはありますか（あてはまるものすべてに○）

																	(%)
		生活費が高い	収入が少ない	日本語が不自由	災害（地震や津波など）の心配	年齢が高くなったときの心配	医療費が高い	友達が少ない	生活習慣・文化の違い	仕事がない	生活情報が少ない	相談窓口がない	家庭内暴力（DV）を受けている	その他	特にない	無回答	
全体 n=727		67.4	37.6	23.4	22.4	19.8	14.2	9.6	8.4	7.8	6.6	2.6	0.4	1.4	10.9	0.8	
国籍別	ベトナム n=178	68.0	48.3	37.6	29.8	5.1	10.1	11.2	15.7	2.8	7.3	1.7	0.0	1.1	7.9	0.0	
	ブラジル n=164	63.4	26.8	20.1	26.8	42.7	21.3	9.8	4.9	14.0	4.3	1.8	1.2	3.0	12.2	1.2	
	フィリピン n=159	76.1	37.1	11.3	21.4	24.5	10.7	4.4	5.7	5.7	7.5	1.3	0.0	1.9	6.3	1.3	
	スリランカ n=82	72.0	35.4	19.5	18.3	6.1	18.3	7.3	3.7	8.5	4.9	3.7	1.2	0.0	13.4	2.4	
	中国 n=78	52.6	34.6	29.5	14.1	20.5	11.5	19.2	12.8	10.3	9.0	7.7	0.0	0.0	17.9	0.0	
	ネパール n=62	69.4	43.5	21.0	6.5	6.5	12.9	9.7	3.2	8.1	8.1	3.2	0.0	0.0	16.1	0.0	

生活している中で悩みはあるかについては「生活費が高い」が67.4%と最も高く、次いで「収入が少ない」が37.6%、「日本語が不自由」が23.4%、「災害（地震や津波など）の心配」が22.4%などとなり、『悩みごとあり』の割合は88.3%となっている。

国籍別にみると、全ての国籍で「生活費が高い」が最も高くなっている。

【経年比較】

(%)															
	生活費が高い	収入が少ない	日本語が不自由	災害（地震や津波など）の心配	年齢が高くなったときの心配	医療費が高い	友達が少ない	生活習慣・文化の違い	仕事がない	生活情報が少ない	相談窓口がない	家庭内暴力（DV）を受けている	その他	特にない	無回答
2025年 n=727	67.4	37.6	23.4	22.4	19.8	14.2	9.6	8.4	7.8	6.6	2.6	0.4	1.4	10.9	0.8
2019年 n=470	51.3	28.3	19.8	14.0	27.9	10.6	10.9	11.5	5.3	8.5	4.7	0.0	4.0	13.6	2.1
2015年 n=281	45.6	34.2	17.8	16.7		12.5	12.5	12.8	9.3	12.1	7.8	1.4	2.8	19.9	

※「災害（地震や津波など）の心配」は前回調査まで「災害への不安」

※「年齢が高くなったときの心配」は前回調査まで「老後への不安」

※「年齢が高くなったときの心配」は前回調査から

※2015年の無回答：不明

経年比較では、「生活費が高い」が前回調査から16.1ポイント高くなっている。

(2) 生活の情報源

質問16 生活の情報は何でもらっていますか（あてはまるものすべてに○）

		(%)																	
		インターネット・SNS（携帯）	日本人の知り合い	自分の会社・学校	インターネット・SNS（PC）	テレビ・ラジオ（日本語）	家族・親族	日本人以外の知り合い	同じ国の人のグループ	テレビ・ラジオ（日本語以外）	新聞・雑誌・本（日本語以外）	近所や地域の人々（日本人）	新聞・雑誌・本（日本語）	近所や地域の回覧板、掲示板	近所や地域の人々（日本人以外）	市の窓口・広報誌・ホームページ	ボランティア組織	その他	無回答
全体 n=727		61.1	31.2	30.8	29.7	26.1	24.3	18.8	14.7	11.6	9.5	8.9	8.7	8.3	7.0	6.9	1.9	1.1	1.1
国籍別	ベトナム n=178	68.5	29.2	39.9	21.9	14.6	13.5	17.4	7.3	10.1	12.9	6.7	14.0	3.9	6.7	3.4	1.7	1.1	0.6
	ブラジル n=164	64.0	23.8	25.0	39.6	41.5	27.4	18.9	15.9	17.1	18.3	11.6	7.9	12.2	3.0	7.9	2.4	1.2	0.6
	フィリピン n=159	54.1	43.4	34.0	14.5	25.8	35.2	34.0	10.7	10.1	2.5	6.3	1.9	6.3	6.3	3.8	2.5	0.6	1.9
	スリランカ n=82	57.3	30.5	25.6	41.5	22.0	8.5	4.9	22.0	9.8	2.4	8.5	4.9	6.1	14.6	6.1	1.2	1.2	1.2
	中国 n=78	61.5	43.6	28.2	37.2	33.3	39.7	16.7	12.8	5.1	5.1	17.9	17.9	19.2	5.1	21.8	2.6	1.3	0.0
	ネパール n=62	54.8	11.3	24.2	40.3	14.5	21.0	6.5	35.5	12.9	6.5	4.8	6.5	3.2	9.7	4.8	0.0	1.6	3.2

生活の情報源は「インターネット・SNS（携帯）」が61.1%と最も高く、次いで「日本人の知り合い」が31.2%、「自分の会社・学校」が30.8%、「インターネット・SNS（PC）」が29.7%などとなっている。
国籍別にみると、全ての国籍で「インターネット・SNS（携帯）」が最も高くなっている。

【経年比較】

(%)																			
	インターネット・SNS（携帯）	日本人の知り合い	自分の会社・学校	インターネット・SNS（PC）	テレビ・ラジオ（日本語）	家族・親族	日本人以外の知り合い	同じ国の人のグループ	テレビ・ラジオ（日本語以外）	新聞・雑誌・本（日本語以外）	近所や地域の人々（日本人）	新聞・雑誌・本（日本語）	近所や地域の回覧板、掲示板	近所や地域の人々（日本人以外）	市の窓口・広報誌・ホームページ	ボランティア組織	その他	無回答	
2025年 n=727	61.1	31.2	30.8	29.7	26.1	24.3	18.8	14.7	11.6	9.5	8.9	8.7	8.3	7.0	6.9	1.9	1.1	1.1	
2019年 n=470	48.7	39.6	25.7	37.7	42.8	28.3	30.9	3.8	9.6	10.0	14.5	16.2	8.1	7.2	5.7	1.3	2.3	1.1	
2015年 n=281	31.7	43.8	29.5	37.7	10.7	30.2	25.3	6.8	18.5	12.8	21.0	21.0	11.7	12.1	11.4	4.3	1.8		
2009年 n=不明	7.0	38.6	26.4	39.9	51.9	32.1	28.3	2.9	16.4	17.5	15.6	19.8	8.2	10.2	3.7	2.3	4.2		

※「自分の会社・学校」は前回調査まで「自分の職場・団体・学校」
 ※「同じ国の人のグループ」は前回調査まで「民間団体・同国人の組織」
 ※「近所や地域の回覧板、掲示板」は前回調査まで「自治会の回覧板、掲示板」
 ※「インターネット・SNS」は前回調査まで「インターネット」
 ※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「テレビ・ラジオ（日本語）」が前回調査から16.7ポイント低くなっている。

(3) よく使うインターネットのサービス

質問17 よく使うインターネットのサービスは何ですか（あてはまるものすべてに○）

		(%)											
		f a c e b o o k	L I N E	E m a i l	I n s t a g r a m	W h a t s A p p	S M S	W e C h a t	V i b e r	X	K a k a o T a l k	そ の 他	無 回 答
全体 n=727		77.0	53.0	33.7	32.3	28.3	13.6	10.6	5.0	4.0	0.7	4.7	1.5
国籍別	ベトナム n=178	96.6	45.5	42.1	23.6	2.2	6.2	2.2	0.6	2.2	0.0	3.9	0.6
	ブラジル n=164	57.3	50.0	25.0	50.0	72.0	15.2	0.6	0.6	7.9	1.2	7.9	1.8
	フィリピン n=159	94.3	49.1	27.0	23.9	3.8	13.2	0.6	3.8	3.1	0.6	3.8	1.3
	スリランカ n=82	86.6	59.8	46.3	39.0	80.5	22.0	2.4	11.0	1.2	0.0	3.7	1.2
	中国 n=78	16.7	65.4	29.5	17.9	0.0	12.8	87.2	0.0	7.7	2.6	1.3	5.1
	ネパール n=62	90.3	67.7	37.1	41.9	19.4	19.4	1.6	29.0	0.0	0.0	4.8	0.0

よく使うインターネットのサービスは「facebook」が77.0%と最も高く、次いで「LINE」が53.0%、「Email」が33.7%、「Instagram」が32.3%などとなっている。

国籍別にみると、ベトナム・フィリピン・スリランカ・ネパールは「facebook」、ブラジルは「WhatsApp」、中国は「WeChat」が最も高くなっている。

【経年比較】

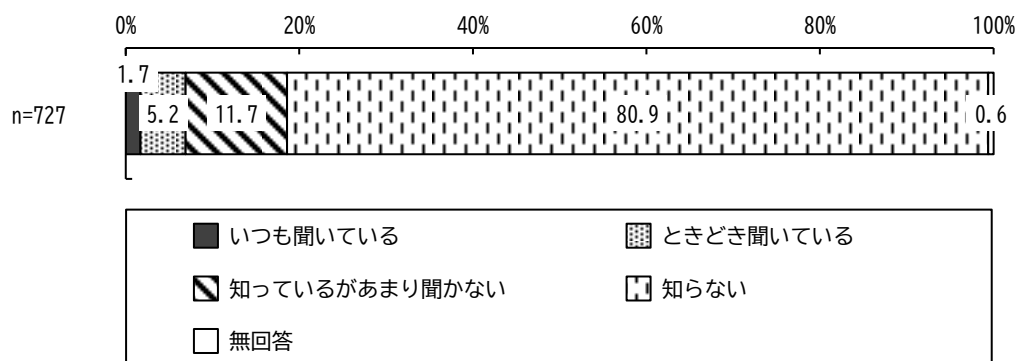
		(%)											
		f a c e b o o k	L I N E	E m a i l	I n s t a g r a m	W h a t s A p p	S M S	W e C h a t	V i b e r	X	K a k a o T a l k	そ の 他	無 回 答
2025年 n=727		77.0	53.0	33.7	32.3	28.3	13.6	10.6	5.0	4.0	0.7	4.7	1.5
2019年 n=304		69.7	55.6	30.9	17.8	20.4	15.1	10.5	5.3	4.9	7.6	5.6	1.6

※「X」は前回調査まで「twitter」

経年比較では、「Instagram」が前回調査から14.5ポイント高くなっている。

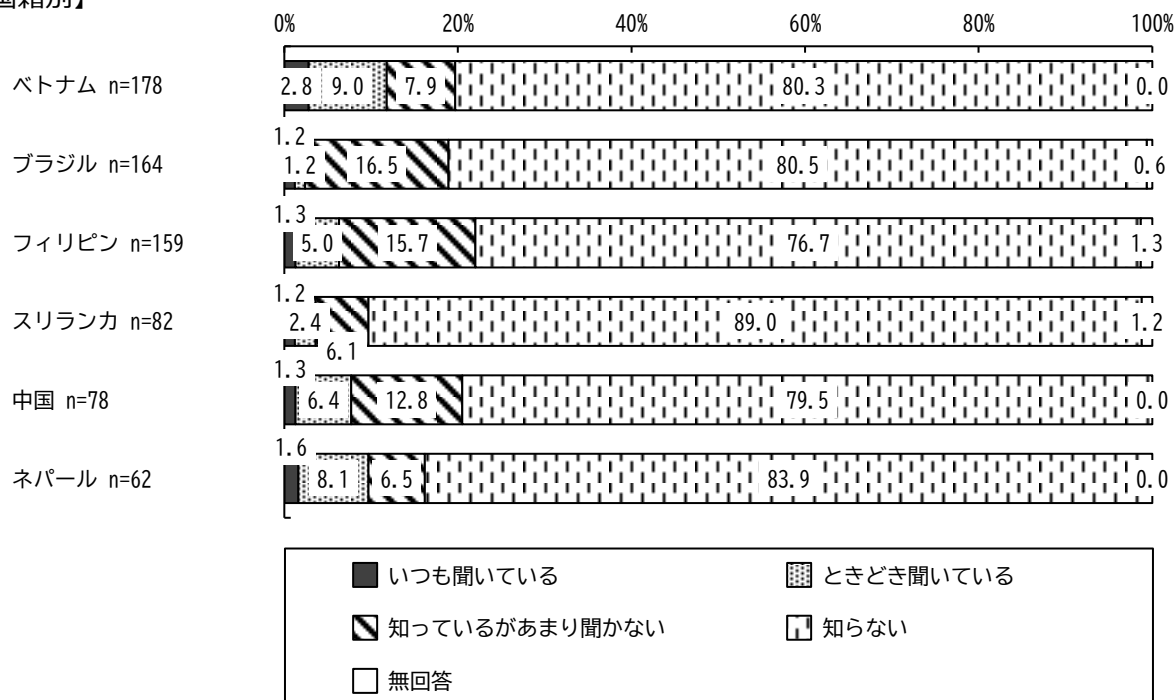
(4) 富士コミュニティFM放送が多言語で提供している放送番組を知っているか

質問18 富士コミュニティFM放送（Radio-f）が毎月第2・4土曜日に多言語で提供している放送番組（Happiness）を知っていますか（1つに○）



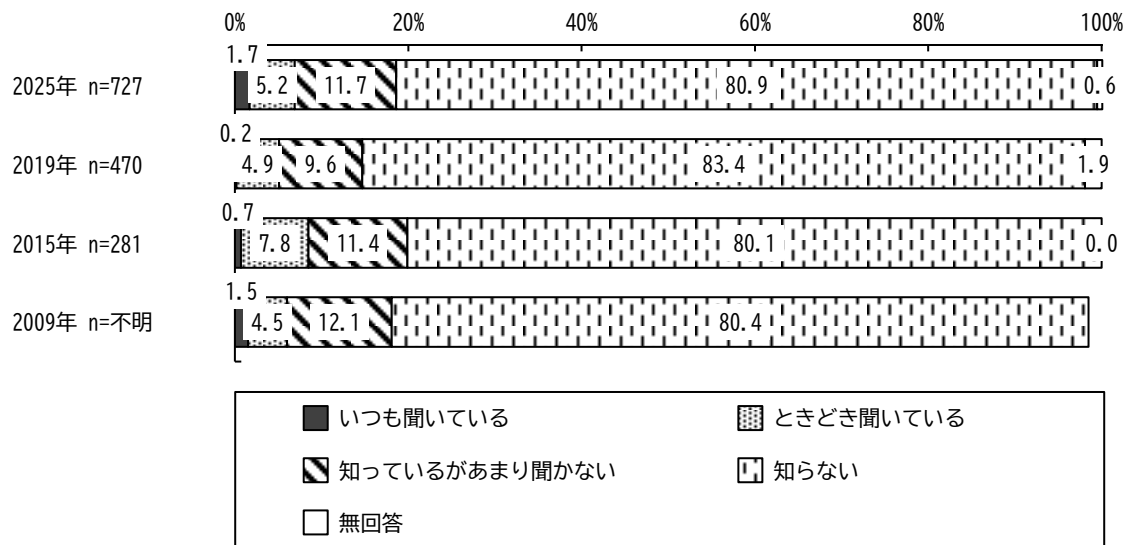
富士コミュニティFM放送が多言語で提供している放送番組を知っているかについては「いつも聞いている」が1.7%、「ときどき聞いている」が5.2%、「知っているがあまり聞かない」が11.7%、「知らない」が80.9%となっている。「いつも聞いている」と「ときどき聞いている」と「知っているがあまり聞かない」を合わせた『知っている』割合は18.6%、「いつも聞いている」と「ときどき聞いている」を合わせた『聞いている』割合は6.9%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、「知らない」はベトナム・ブラジル・スリランカ・ネパールで8割以上、フィリピン・中国で7割以上となっている。

【経年比較】



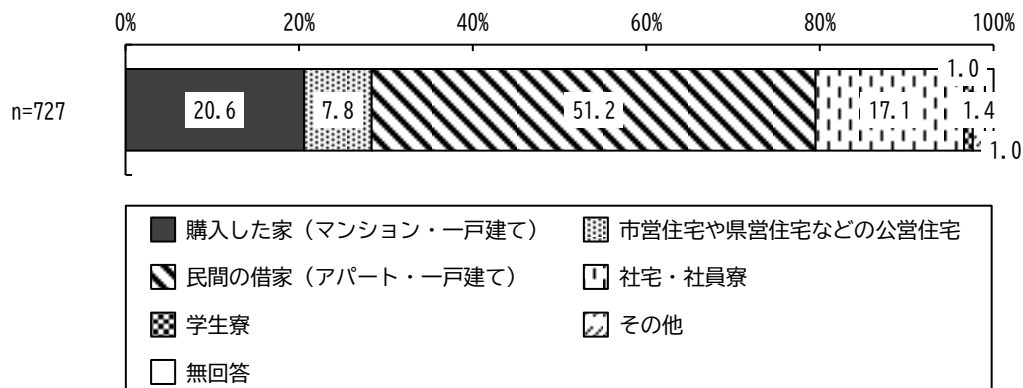
※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、前回調査から大差はみられない。

4. 住宅について

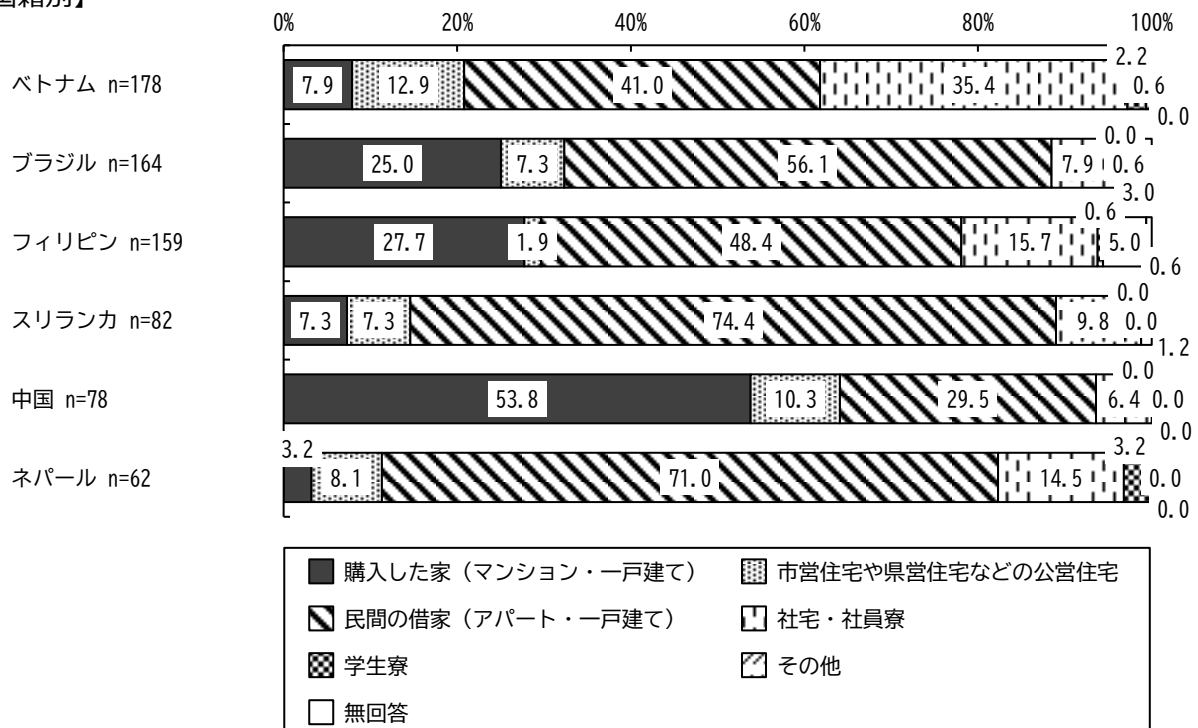
(1) 住んでいる家の状況

質問19 いま住んでいる家の状況を教えてください（1つに○）



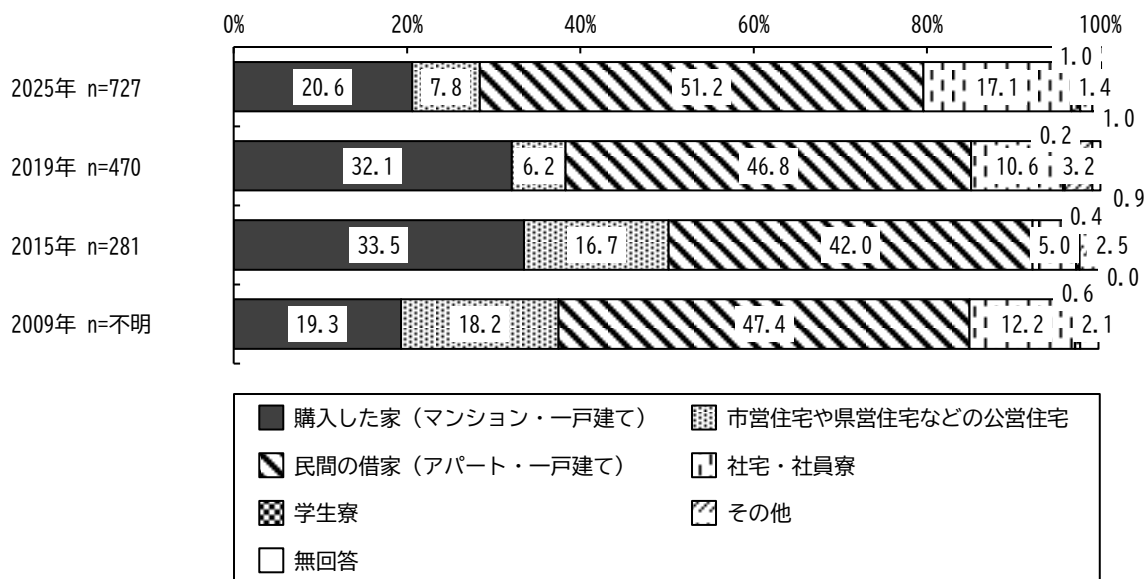
住んでいる家の状況は「購入した家（マンション・一戸建て）」が20.6%、「市営住宅や県営住宅などの公営住宅」が7.8%、「民間の借家（アパート・一戸建て）」が51.2%、「社宅・社員寮」が17.1%、「学生寮」が1.0%、「その他」が1.4%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、ベトナム・ブラジル・フィリピン・スリランカ・ネパールは「民間の借家（アパート・一戸建て）」、中国は「購入した家（マンション・一戸建て）」が最も高くなっている。

【経年比較】



※「購入した家 (マンション・一戸建て)」は前回調査まで「持ち家 (マンション・一戸建て)」

※「市営住宅や県営住宅などの公営住宅」は前回調査まで「市や県などの公営住宅」

※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、「購入した家 (マンション・一戸建て)」が前回調査から11.5ポイント低くなっている。

(2) 誰と住んでいるか

質問20 いま誰と住んでいますか (あてはまるものすべてに○)

										(%)
		夫・妻・ パートナー	子ども	あなた一人	その他（友 人、恋人）	親	兄弟姉妹	その他親族	無回答	
全体 n=727		<div><div></div></div> 53.6	<div><div></div></div> 33.7	<div><div></div></div> 18.0	<div><div></div></div> 18.0	<div><div></div></div> 4.4	<div><div></div></div> 3.2	<div><div></div></div> 2.8	<div><div></div></div> 1.4	
国籍別	ベトナム n=178	<div><div></div></div> 27.0	<div><div></div></div> 14.6	<div><div></div></div> 27.0	<div><div></div></div> 41.6	<div><div></div></div> 1.7	<div><div></div></div> 2.2	<div><div></div></div> 3.4	<div><div></div></div> 0.6	
	ブラジル n=164	<div><div></div></div> 55.5	<div><div></div></div> 36.6	<div><div></div></div> 20.1	<div><div></div></div> 2.4	<div><div></div></div> 11.6	<div><div></div></div> 7.9	<div><div></div></div> 4.9	<div><div></div></div> 3.7	
	フィリピン n=159	<div><div></div></div> 52.2	<div><div></div></div> 40.9	<div><div></div></div> 11.9	<div><div></div></div> 25.2	<div><div></div></div> 4.4	<div><div></div></div> 0.6	<div><div></div></div> 2.5	<div><div></div></div> 1.3	
	スリランカ n=82	<div><div></div></div> 72.0	<div><div></div></div> 30.5	<div><div></div></div> 15.9	<div><div></div></div> 6.1	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 1.2	<div><div></div></div> 1.2	<div><div></div></div> 1.2	
	中国 n=78	<div><div></div></div> 82.1	<div><div></div></div> 56.4	<div><div></div></div> 11.5	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 3.8	<div><div></div></div> 1.3	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 0.0	
	ネパール n=62	<div><div></div></div> 69.4	<div><div></div></div> 37.1	<div><div></div></div> 14.5	<div><div></div></div> 9.7	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 4.8	<div><div></div></div> 1.6	<div><div></div></div> 0.0	

誰と住んでいるかは「夫・妻・パートナー」が53.6%と最も高く、次いで「子ども」が33.7%、「あなた一人」と「その他 (友人、恋人)」が18.0%などとなっている。

国籍別にみると、ブラジル・フィリピン・スリランカ・中国・ネパールは「夫・妻・パートナー」、ベトナムは「その他 (友人、恋人)」が最も高くなっている。

【経年比較】

	夫・妻・パートナー	子ども	あなた一人	その他（友人、恋人）	親	兄弟姉妹	その他親族	無回答
2025年 n=727	53.6	33.7	18.0	18.0	4.4	3.2	2.8	1.4
2019年 n=470	54.7	37.2	14.3	17.9	6.8	3.6	4.0	2.1
2015年 n=281	69.0	47.3	14.9	4.6	8.5	2.8	5.0	

※「あなた一人」は前回調査まで「単身」

※「夫・妻・パートナー」は前回調査まで「配偶者」

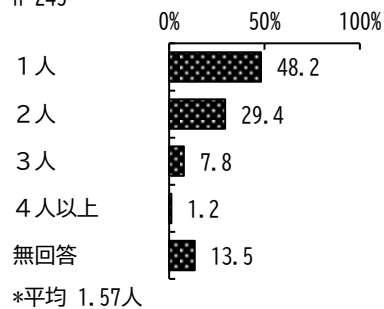
※2015年の無回答：不明

経年比較では、前回調査から大差はみられない。

【同居している人数】

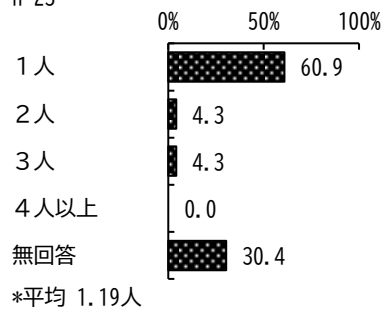
■ 同居の子ども的人数

n=245



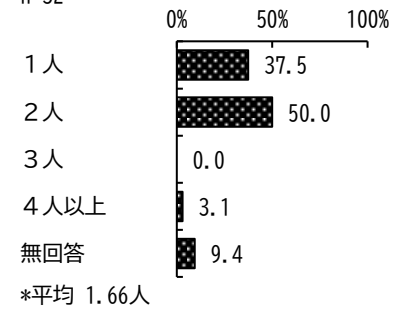
■ 同居の兄弟姉妹の人数

n=23



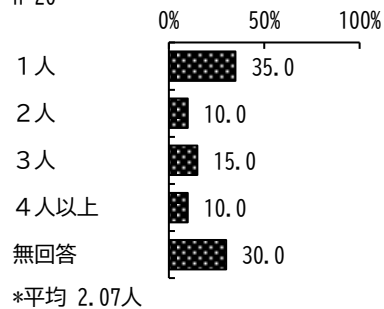
■ 同居の親の人数

n=32



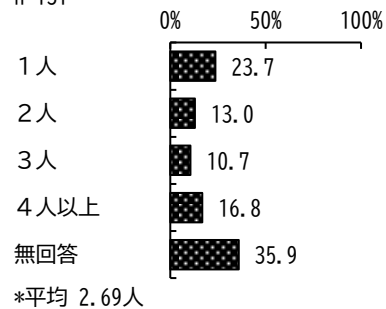
■ 同居の親族の人数

n=20



■ 同居の友人、恋人の人数

n=131



同居している人数は、子ども・兄弟姉妹・親族・友人、恋人は「1人」、親は「2人」が最も高くなっている。

(3) 家について困っていること

質問21 家について困っていることがありますか（あてはまるものすべてに○）

													(%)
		家賃が高い	狭い・汚い・古い	敷金・礼金という習慣がある	住宅の探し方や手続きが日本語でよくわからない	外国人という理由で入居を断られる	保証人が見つからない	相談するところがない	隣近所の人々が親切ではない	不便な場所にある	その他	特にない	無回答
全体 n=727		22.6	8.9	6.1	5.0	5.0	4.0	3.9	2.9	2.6	3.2	59.1	3.4
国籍別	ベトナム n=178	21.3	10.1	5.1	5.6	3.9	3.9	3.4	3.4	3.9	4.5	60.7	0.0
	ブラジル n=164	18.3	5.5	9.1	6.1	9.1	5.5	5.5	2.4	1.8	1.8	67.1	4.9
	フィリピン n=159	20.1	11.3	3.1	1.3	1.3	1.9	3.1	1.9	1.3	2.5	56.6	8.2
	スリランカ n=82	29.3	8.5	6.1	8.5	6.1	7.3	4.9	2.4	1.2	2.4	58.5	1.2
	中国 n=78	15.4	9.0	2.6	3.8	6.4	1.3	3.8	3.8	3.8	5.1	59.0	3.8
	ネパール n=62	45.2	9.7	12.9	6.5	3.2	4.8	1.6	4.8	4.8	3.2	38.7	0.0

家について困っていることは「家賃が高い」が22.6%と最も高く、次いで「狭い・汚い・古い」が8.9%、「敷金・礼金という習慣がある」が6.1%、「住宅の探し方や手続きが日本語でよくわからない」が5.0%などとなっている。一方、「特にない」は59.1%となっている。

国籍別にみると、全ての国籍で「家賃が高い」が最も高くなっている。また、ベトナム・ブラジル・フィリピン・スリランカ・中国では「特にない」が5割以上となっている。

【経年比較】

(%)												
	家賃が高い	狭い・汚い・古い	敷金・礼金という習慣がある	住宅の探し方や手続きが日本語でよくわからない	外国人という理由で入居を断られる	保証人が見つからない	相談するところがない	隣近所の人々が親切ではない	不便な場所にある	その他	特にない	無回答
2025年 n=727	22.6	8.9	6.1	5.0	5.0	4.0	3.9	2.9	2.6	3.2	59.1	3.4
2019年 n=470	24.7	8.5	6.2	5.3	3.4	3.8	3.0	1.3	1.5	3.0	54.3	4.9
2015年 n=281	24.9	12.8	12.8	7.1	7.1	10.0	7.5	3.2	2.5	4.3	45.2	

※「隣近所の人々が親切ではない」は前回調査まで「隣近所の人々が不親切」

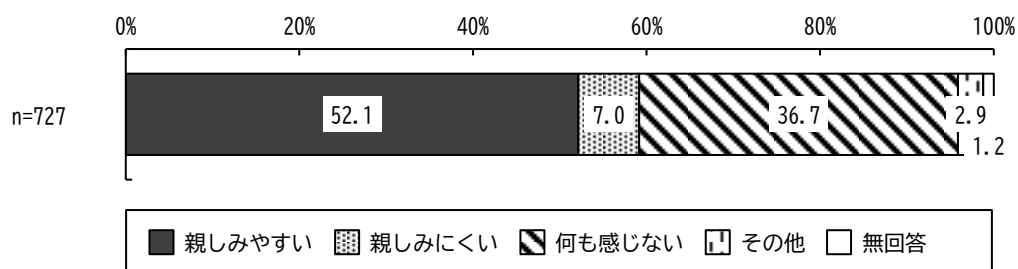
※2015年の無回答：不明

経年比較では、前回調査から困りごとで大差はみられず、「特にない」が4.8ポイント高くなっている。

5. 地域コミュニティとの関わりについて

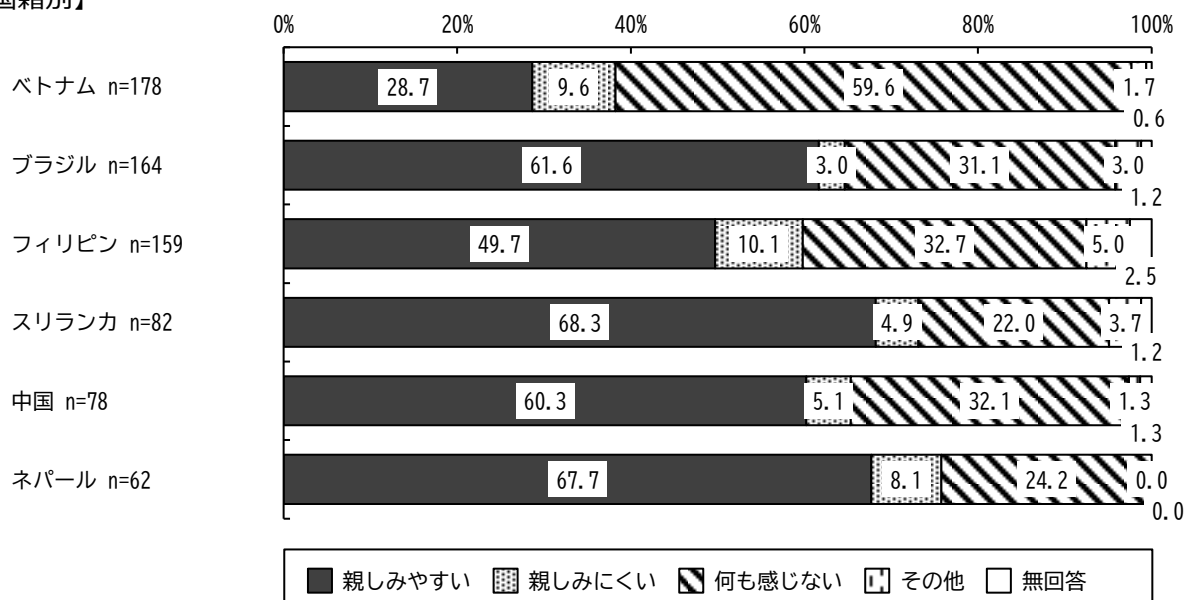
(1) まわりに住んでいる日本人についてどのように感じるか

質問22 あなたのまわりに住んでいる日本人についてどのように感じますか（1つに○）



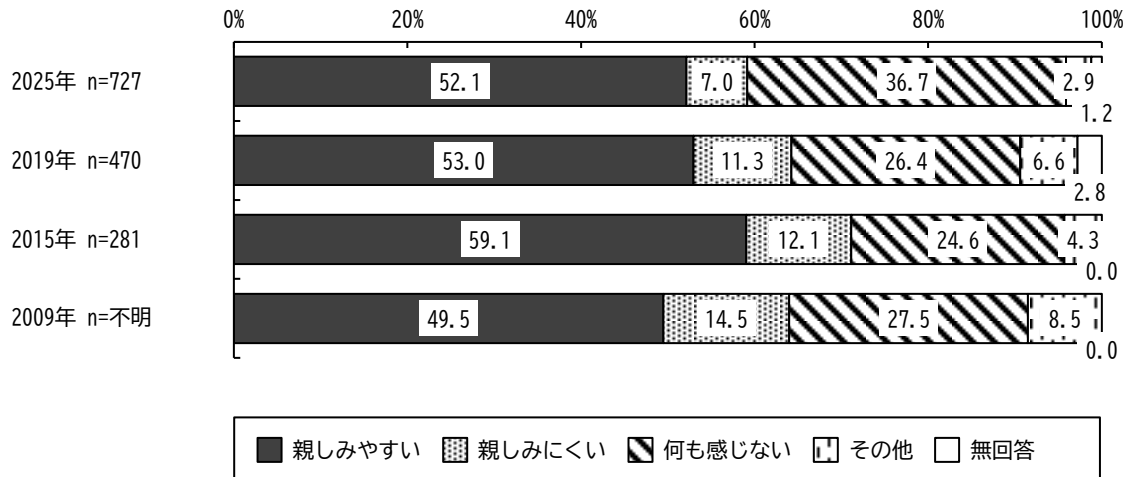
まわりに住んでいる日本人についてどのように感じるかについては「親しみやすい」が52.1%、「親しみにくい」が7.0%、「何も感じない」が36.7%、「その他」が2.9%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、ブラジル・フィリピン・スリランカ・中国・ネパールは「親しみやすい」、ベトナムは「何も感じない」が最も高くなっている。

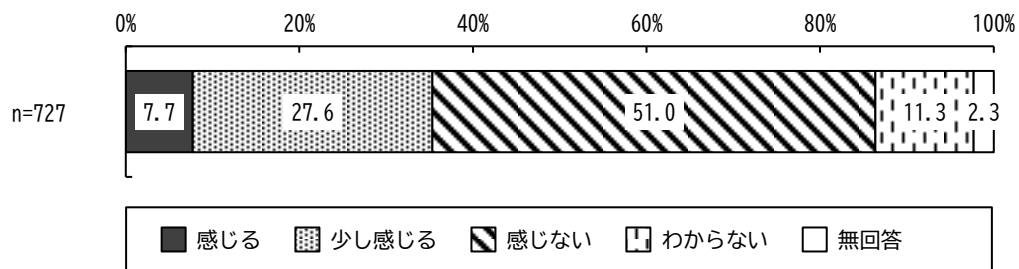
【経年比較】



経年比較では、「何も感じない」が前回調査から10.3ポイント高くなっている。

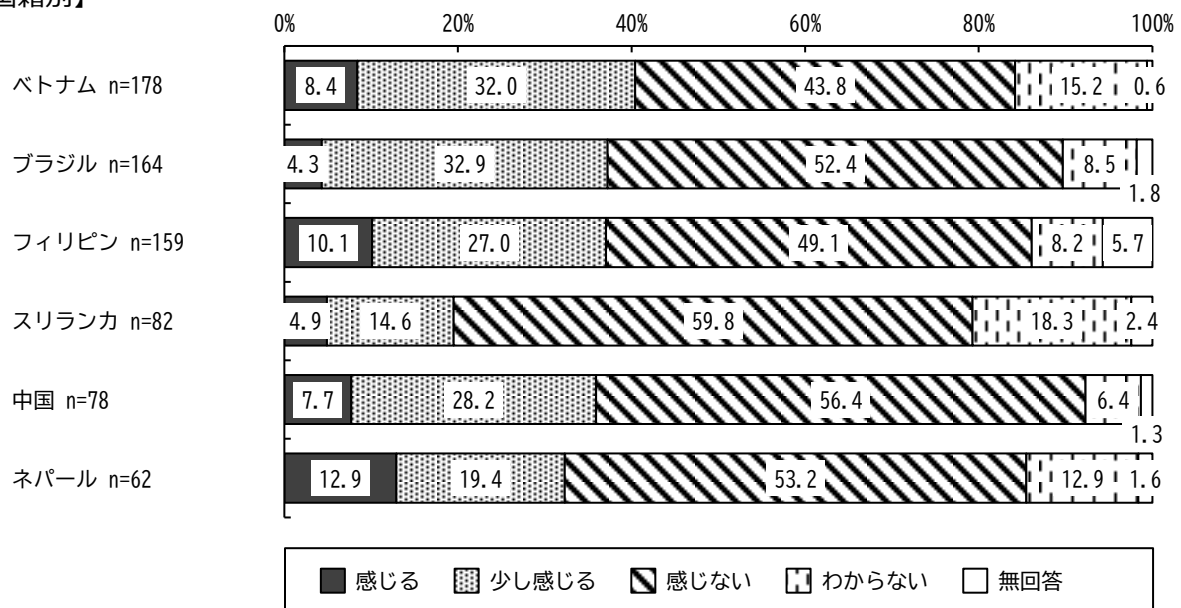
(2) 日本人に差別をされていると感じるか

質問23 日本人に差別をされていると感じますか(1つに○)



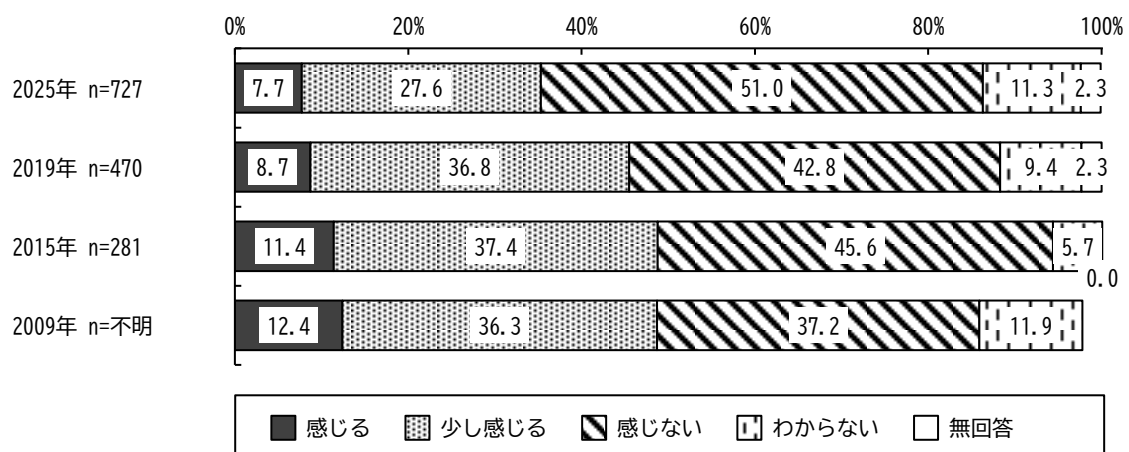
日本人に差別をされていると感じるかについては「感じる」が7.7%、「少し感じる」が27.6%、「感じない」が51.0%、「わからない」が11.3%となっている。「感じる」と「少し感じる」を合わせた『差別を感じる』割合は35.3%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「感じない」が最も高くなっている。

【経年比較】



※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、「少し感じる」が前回調査から9.2ポイント低く、「感じない」が前回調査から8.2ポイント高くなっている。

(3) 差別を感じるとき

質問23-2 (質問23で「感じる」「少し感じる」と答えた方) どのようなときに差別を感じますか (あてはまるものすべてに○)

		(%)						
		職場で	スーパーなどの 途中での買い	地域の行事で	趣味の活動で	学校など子どもに 関する場で	その他	無回答
全体 n=257		59.1	39.3	15.2	14.8	8.9	6.6	2.3
国籍別	ベトナム n=72	61.1	45.8	12.5	9.7	1.4	8.3	1.4
	ブラジル n=61	45.9	42.6	14.8	18.0	11.5	9.8	3.3
	フィリピン n=59	69.5	33.9	11.9	8.5	10.2	0.0	3.4
	スリランカ n=16	56.3	37.5	12.5	25.0	12.5	6.3	6.3
	中国 n=28	57.1	10.7	21.4	17.9	21.4	10.7	0.0
	ネパール n=20	70.0	60.0	25.0	30.0	5.0	5.0	0.0

差別を感じるときは「職場で」が59.1%と最も高く、次いで「スーパーでの買い物などの途中で」が39.3%、「地域の行事で」が15.2%、「趣味の活動で」が14.8%などとなっている。

国籍別にみると、全ての国籍で「職場で」が最も高くなっている。

【経年比較】

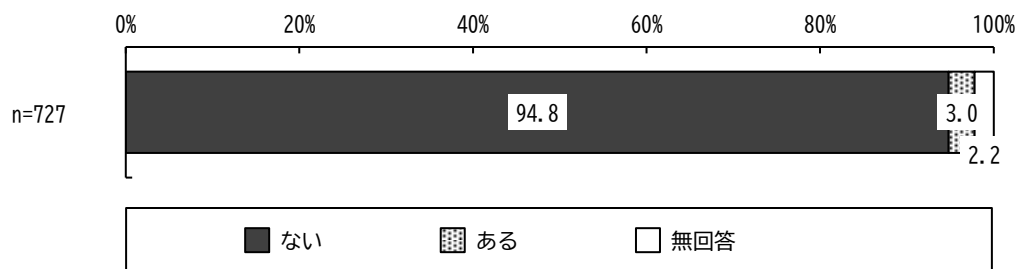
		(%)						
		職場で	スーパーなどの 途中での買い物など	地域の行事で	趣味の活動で	学校など子どもに 関する場で	その他	無回答
2025年 n=257		59.1	39.3	15.2	14.8	8.9	6.6	2.3
2019年 n=214		59.8	16.4	17.8	6.1	18.2	15.0	2.3
2015年 n=137		55.5	16.1	25.5	8.8	20.4	8.0	

※2015年の無回答：不明

経年比較では、「スーパーでの買い物などの途中で」が前回調査から22.9ポイント高くなっている。

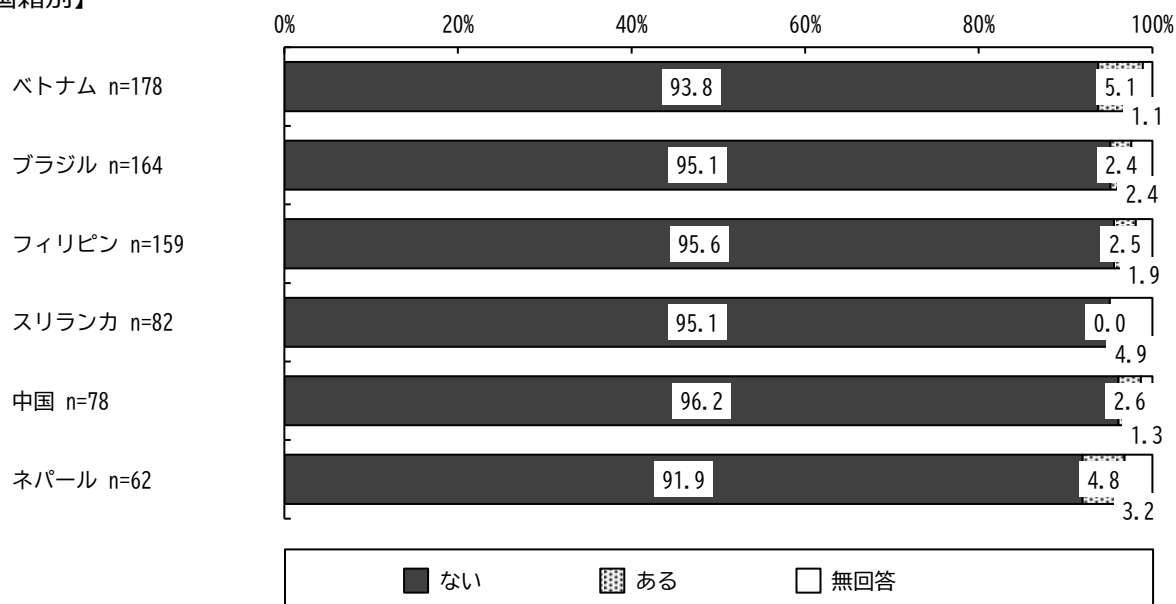
(4) まわりに住んでいる日本人と生活のトラブルがあるか

質問24 あなたのまわりに住んでいる日本人と生活のトラブルがありますか（1つに○）



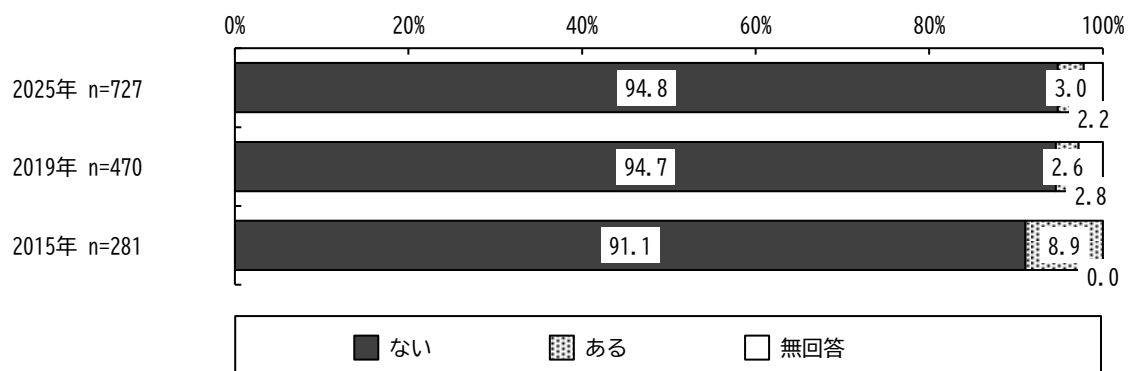
まわりに住んでいる日本人と生活のトラブルがあるかについては「ない」が94.8%、「ある」が3.0%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「ない」が9割以上になっている。

【経年比較】



経年比較では、前回調査から大差はみられない。

(5) まわりの日本人との間あったトラブルの内容

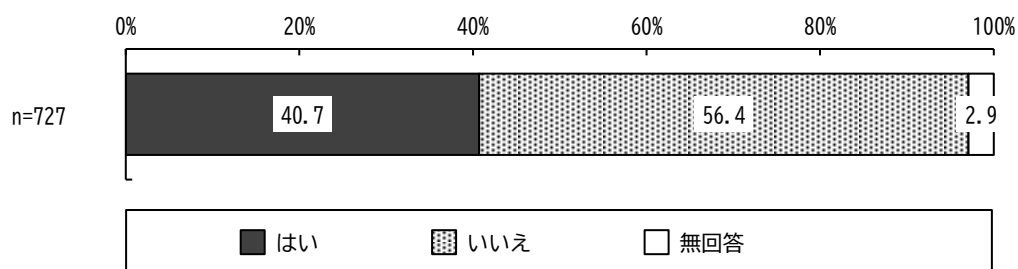
質問24- 2 質問24で「ある」と答えた方に聞きます

まわりの日本人との間でどのようなトラブルがあったか記入してください。

- 仕事で差別。
- 他国（韓国人）との差別。同国人（中国、漢人）との差別。
- 隣人は、うるさいです。
- 厳しい。
- 2、3年前の大晦日、息子が庭で花火をやっていたら「うるさい、やめなさい」と正対面の家の男は怖い顔で言ってきました。逆に自分は毎週2、3日家の前で車の整備等やって、すごくうるさい。
- 隣人は煩く、気難しい人です。
- 扱いにくい隣人、差別的な会社。
- 時々喧嘩する。
- 外国人差別。
- うるさすぎる。
- 隣の住人はうるさくて、よくバルコニーに出て意味のない話をします。
- 接触が少ない。
- 私たちは5年以上前に建てられた建物の2階に住んでいました。最近、1階にカラオケ店がオープンし、毎晩耐え難い騒音と騒ぎを引き起こしました。警察に苦情を申し立てましたが、助けは得られず、私たちは部屋から強制的に出て行かされました。
- 彼らは外国人市民としての感情や人々の感情を大切にしません。
- 隣人との関係が悪く、家族間で喧嘩をしたり、とても騒がしいです。
- 挨拶をしてくれない隣人もいる。話すのではなく、挨拶する。
- あるとき、ある人の車を通すために駐車スペースに入った途端、その人は「自分の駐車スペースに入れない」と罵倒してきました。私は駐車スペースに車を停めてもおらず、ただ入って出て行っただけなのに。
- 私は外国人だから、彼らは私を見下すのです。
- 騒音は禁止です。

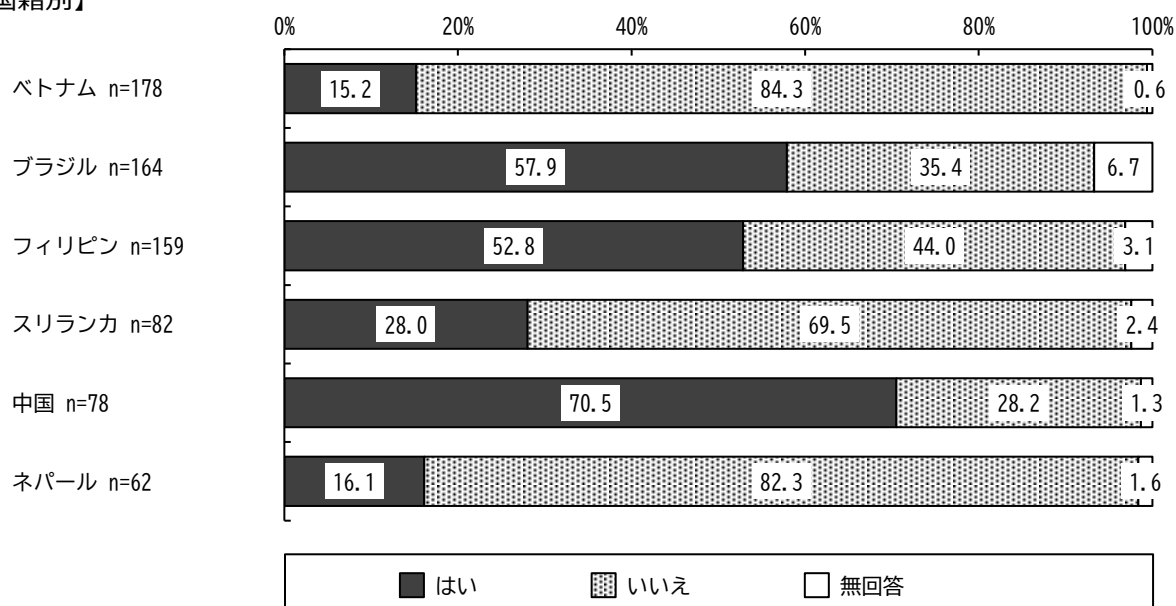
（６）自治会や町内会・区が地域にあることを知っているか

質問25 自治会や町内会・区があなたの地域にあることを知っていますか（１つに○）



自治会や町内会・区が地域にあることを知っているかについては「はい」が40.7%、「いいえ」が56.4%となっている。

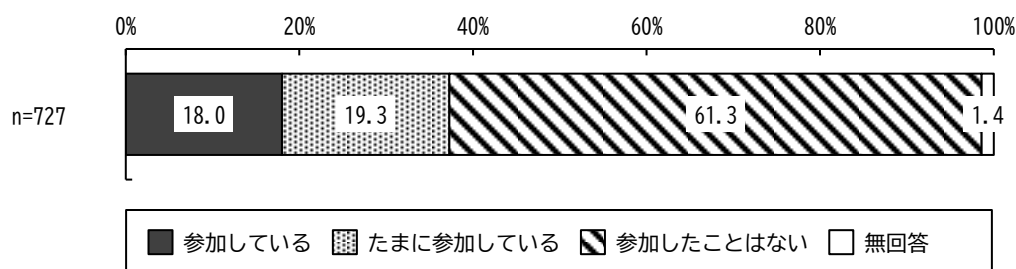
【国籍別】



国籍別にみると、ブラジル・フィリピン・中国は「はい」、ベトナム・スリランカ・ネパールは「いいえ」が高くなっている。

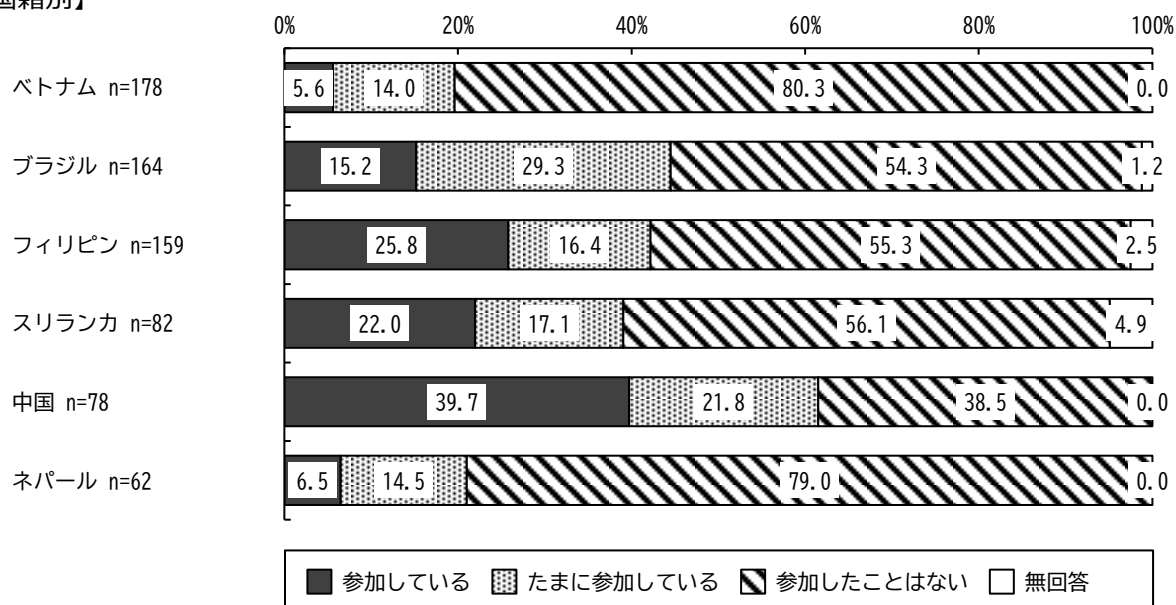
（７）自治会や町内会・区の行事に参加したことがあるか

質問26 自治会や町内会・区の行事（防災訓練や、清掃活動など）に参加したことがありますか（１つに○）



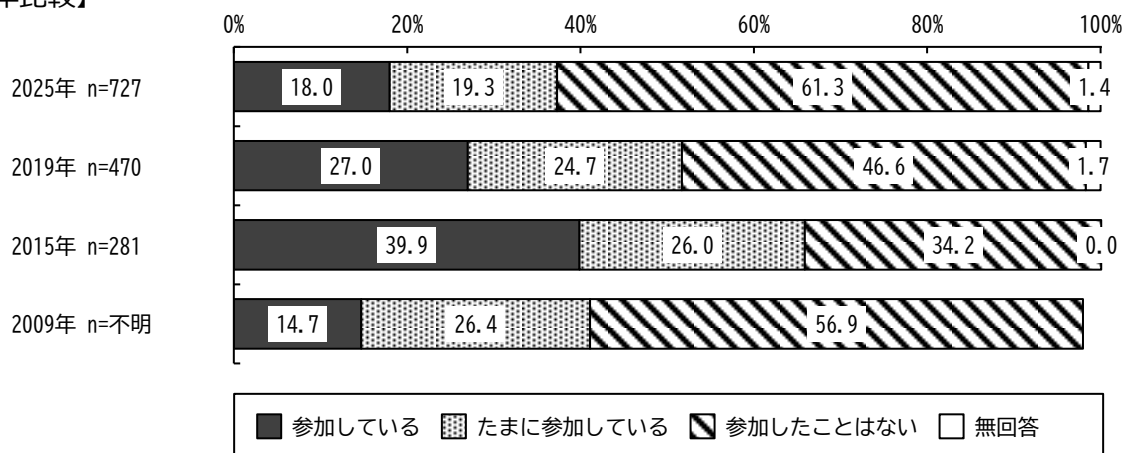
自治会や町内会・区の行事に参加したことがあるかについては「参加している」が18.0%、「たまに参加している」が19.3%、「参加したことはない」が61.3%となっている。「参加している」と「たまに参加している」を合わせた『参加している』割合は37.3%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、中国は「参加している」、ベトナム・ブラジル・フィリピン・スリランカ・ネパールは「参加したことはない」が最も高くなり、ベトナム・ネパールは「参加したことがない」が8割前後となっている。

【経年比較】



※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、「参加したことはない」が前回調査から14.7ポイント高くなっている。

（８）自治会や町内会・区の行事に参加しない理由

質問26-2 （質問26で「参加したことはない」と答えた方）参加しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

		(%)								
		たがめ行 日へ事 本チの 語ラ情 のシ報 みやが で回な 覧か め板つ めな いどた	仕 事 の た め	な 一 緒 に 参 加 す る 仲 間 が い	い ブ ラ イ バ ー ト を 優 先 し た	た 地 域 に と け 込 め て い な い	参 加 す る 必 要 が な い と 思 っ て い た	か 行 事 の 内 容 に 興 味 が な	そ の 他	無 回 答
全体 n=446		53.6	36.8	18.2	10.8	8.3	7.4	4.5	7.0	0.9
国籍別	ベトナム n=143	67.8	32.9	20.3	7.0	1.4	7.7	4.2	4.9	0.0
	ブラジル n=89	32.6	51.7	13.5	14.6	15.7	10.1	6.7	9.0	2.2
	フィリピン n=88	55.7	39.8	15.9	14.8	4.5	8.0	1.1	6.8	2.3
	スリランカ n=46	58.7	15.2	17.4	8.7	17.4	2.2	2.2	10.9	0.0
	中国 n=30	43.3	36.7	26.7	13.3	3.3	0.0	10.0	6.7	0.0
	ネパール n=49	46.9	34.7	20.4	8.2	16.3	10.2	6.1	6.1	0.0

自治会や町内会・区の行事に参加しない理由は「行事の情報がなかったため（チラシや回覧板などが日本語のみで読めないため）」が53.6%と最も高く、次いで「仕事のため」が36.8%、「一緒に参加する仲間がいない」が18.2%、「プライベートを優先したいため」が10.8%などとなっている。

国籍別にみると、ベトナム・フィリピン・スリランカ・中国・ネパールは「行事の情報がなかったため（チラシや回覧板などが日本語のみで読めないため）」、ブラジルは「仕事のため」が最も高くなっている。

【経年比較】

	たがめ行事の め日チの情 本語ラシ報 のみやが で回覧な め板かつ ないた	仕 事 の た め	な い 一 緒 に 参 加 す る 仲 間 が い	い ブ ラ イ ベ ー ト を 優 先 し た	た 地 域 に と け 込 め て い な い	思 参 加 す る 必 要 が な い と	か 行 事 の 内 容 に 興 味 が な	そ の 他	無 回 答
2025年 n=446	53.6	36.8	18.2	10.8	8.3	7.4	4.5	7.0	0.9
2019年 n=470	47.9	47.0	13.2	14.2	11.4	10.0	6.4	7.3	1.8
2015年 n=281	49.0	42.7	14.6	6.3	13.5	7.3	5.2	8.3	
2009年 n=不明	53.2	0.0	0.0	0.0	8.1	9.2	9.7	19.7	

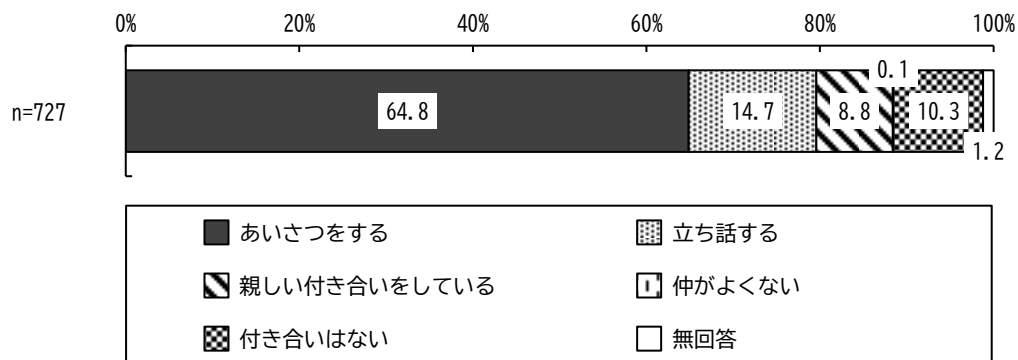
※「地域にとけ込めていないため」は前回調査まで「地域にとけ込んでいないため」

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「仕事のため」が前回調査から10.2ポイント低く、「行事の情報がなかったため（チラシや回覧板などが日本語のみで読めないため）」が前回調査から5.7ポイント高くなっている。

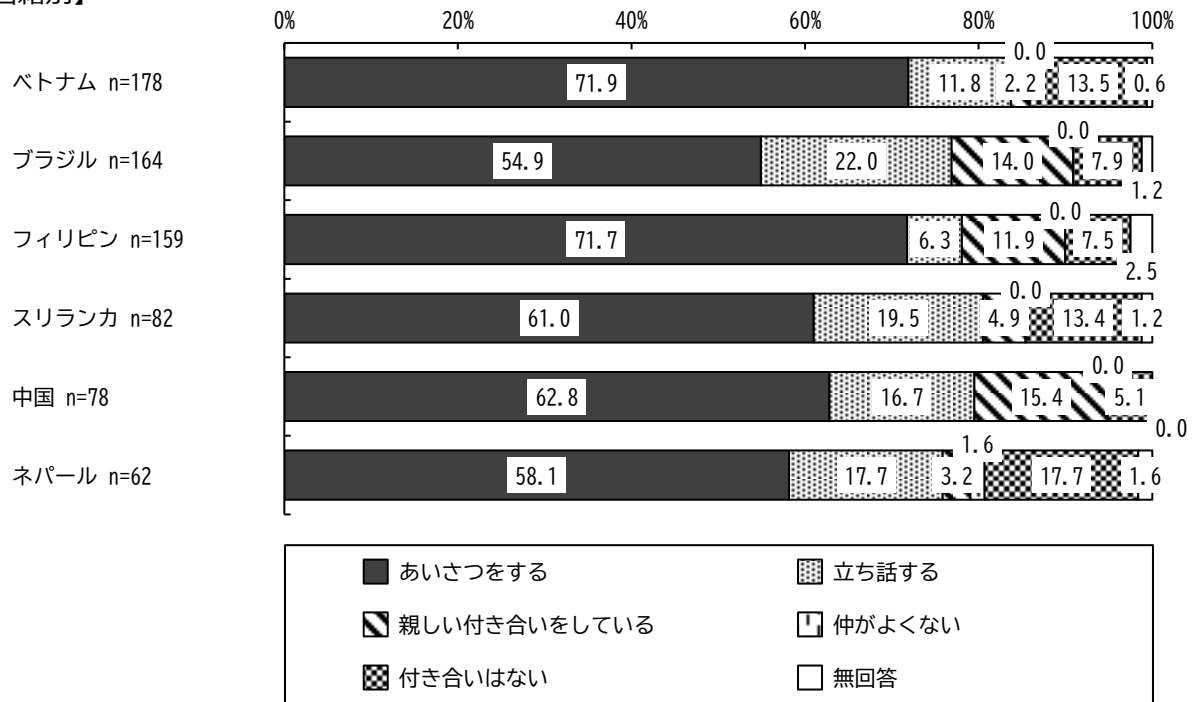
（９）まわりに住んでいる日本人との付き合い

質問27 あなたのまわりに住んでいる日本人との付き合いを教えてください（1つに○）



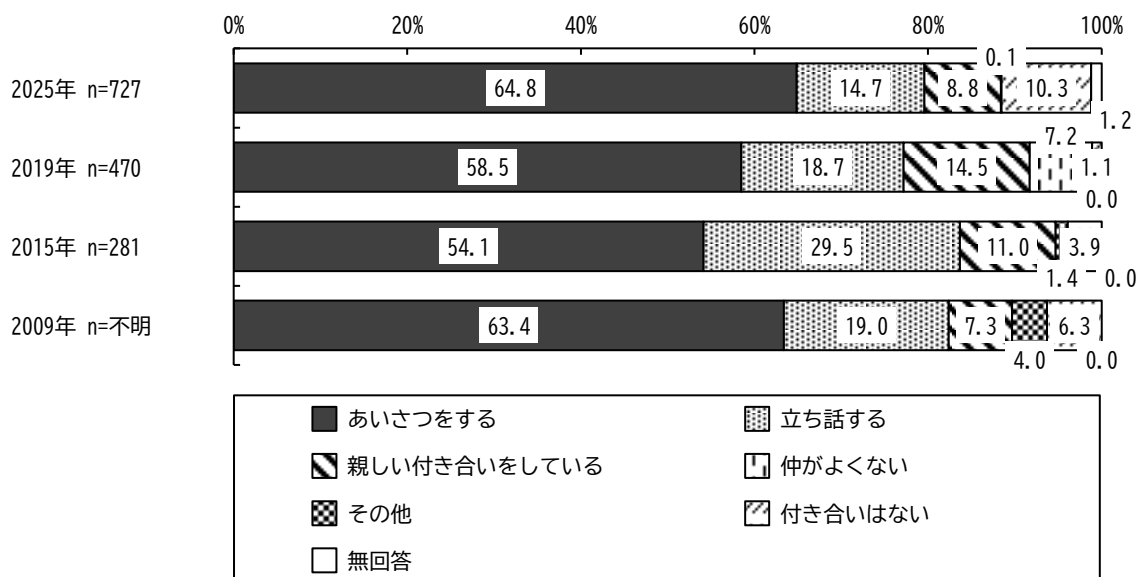
まわりに住んでいる日本人との付き合いは「あいさつをする」が64.8%、「立ち話する」が14.7%、「親しい付き合いをしている」が8.8%、「仲がよくない」が0.1%、「付き合いはない」が10.3%となっている。「あいさつをする」と「立ち話する」と「親しい付き合いをしている」を合わせた『付き合いがある』割合は88.3%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「あいさつをする」が最も高くなっている。

【経年比較】



※「仲がよい」は前回調査から、「その他」は前々回調査まで

経年比較では、「仲がよい」が前回調査から7.1ポイント低く、「付き合いはない」が前回調査から9.2ポイント高くなっている。

(10) まわりに住んでいる日本人と付き合っていく中で、希望すること

質問28 あなたのまわりに住んでいる日本人と付き合っていく中で、希望することは何ですか（あてはまるものすべてに○）

		(%)									
		教 え て ほ し い	互 い に 交 流 を し た い	日 本 語 を 教 え て ま ら い た い	母 国 の 文 化 ・ 習 慣 を 知 っ て ほ し い	ポ ラ ン テ ィ ア ・ サ ー ク ル 活 動 に 参 加 し た い	地 域 の 行 事 な ど に 参 加 し た い （ も っ と 声 を 掛 け て ほ し い ）	母 国 語 を 教 え た い	そ の 他	交 流 し た く な い	無 回 答
全体 n=727		44.0	32.6	27.0	20.9	14.4	14.0	6.9	4.5	12.1	3.9
国籍別	ベトナム n=178	49.4	44.9	44.9	26.4	16.3	16.3	9.6	3.9	10.1	0.0
	ブラジル n=164	34.1	9.1	15.9	22.0	12.2	16.5	6.7	9.8	19.5	4.9
	フィリピン n=159	37.1	40.9	15.7	19.5	11.9	10.7	2.5	1.3	11.9	6.9
	スリランカ n=82	62.2	22.0	24.4	14.6	14.6	14.6	2.4	3.7	8.5	3.7
	中国 n=78	43.6	48.7	24.4	15.4	11.5	10.3	9.0	3.8	9.0	6.4
	ネパール n=62	51.6	30.6	41.9	22.6	25.8	14.5	14.5	1.6	6.5	1.6

まわりに住んでいる日本人と付き合っていく中で、希望することは「日本の習慣などをもっと教えてほしい」が44.0%と最も高く、次いで「互いに交流をしたい」が32.6%、「日本語を教えてもらいたい」が27.0%、「母国の文化・習慣を知ってほしい」が20.9%などとなり、何らかの『交流希望がある』割合は84.0%となっている。一方、「交流したくない」は12.1%となっている。

国籍別にみると、ベトナム・ブラジル・スリランカ・ネパールは「日本の習慣などをもっと教えてほしい」、フィリピン・中国は「互いに交流をしたい」が最も高くなっている。

【経年比較】

		(%)									
		教 え て ほ し い	互 い に 交 流 を し た い	日 本 語 を 教 え て ま ら い た い	母 国 の 文 化 ・ 習 慣 を 知 っ て ほ し い	ポ ラ ン テ ィ ア ・ サ ー ク ル 活 動 に 参 加 し た い	地 域 の 行 事 な ど に 参 加 し た い （ も っ と 声 を 掛 け て ほ し い ）	母 国 語 を 教 え た い	そ の 他	交 流 し た く な い	無 回 答
2025年 n=727		44.0	32.6	27.0	20.9	14.4	14.0	6.9	4.5	12.1	3.9
2019年 n=470		41.9	36.4	27.7	28.7	16.2	18.3	9.8	10.6	6.4	8.7
2015年 n=281		34.5	35.2	24.2	26.7	17.4	16.0	5.7	5.0	6.4	
2009年 n=不明		40.6	37.6	35.4	30.6	15.9	19.0	9.3	14.9	3.2	

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「母国の文化・習慣を知ってほしい」が前回調査から7.8ポイント低く、「交流したくない」が前回調査から5.7ポイント高くなっている。

6. 医療・保険について

(1) 病院などで困ること

質問29 病院などで困ることについて教えてください（あてはまるものすべてに○）

											(%)
		言葉の問題で伝えることができない	症状に合う病院がどこにあるかわからない	案内板・書類・薬の表示が日本語でわからない	待ち時間が長い	医療費が高い	病院で診療をしてもらえないことがある	その他	特に困っていない	無回答	
全体 n=727		<div><div></div></div> 34.8	<div><div></div></div> 26.3	<div><div></div></div> 18.3	<div><div></div></div> 17.2	<div><div></div></div> 15.1	<div><div></div></div> 3.0	<div><div></div></div> 1.9	<div><div></div></div> 38.9	<div><div></div></div> 1.4	
国籍別	ベトナム n=178	<div><div></div></div> 39.3	<div><div></div></div> 33.1	<div><div></div></div> 20.2	<div><div></div></div> 13.5	<div><div></div></div> 11.8	<div><div></div></div> 0.6	<div><div></div></div> 2.2	<div><div></div></div> 34.8	<div><div></div></div> 0.0	
	ブラジル n=164	<div><div></div></div> 25.6	<div><div></div></div> 16.5	<div><div></div></div> 19.5	<div><div></div></div> 11.6	<div><div></div></div> 16.5	<div><div></div></div> 6.1	<div><div></div></div> 3.7	<div><div></div></div> 49.4	<div><div></div></div> 1.2	
	フィリピン n=159	<div><div></div></div> 37.1	<div><div></div></div> 29.6	<div><div></div></div> 23.3	<div><div></div></div> 18.9	<div><div></div></div> 11.9	<div><div></div></div> 3.1	<div><div></div></div> 0.6	<div><div></div></div> 34.6	<div><div></div></div> 3.1	
	スリランカ n=82	<div><div></div></div> 30.5	<div><div></div></div> 26.8	<div><div></div></div> 19.5	<div><div></div></div> 13.4	<div><div></div></div> 28.0	<div><div></div></div> 6.1	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 46.3	<div><div></div></div> 1.2	
	中国 n=78	<div><div></div></div> 35.9	<div><div></div></div> 21.8	<div><div></div></div> 3.8	<div><div></div></div> 39.7	<div><div></div></div> 14.1	<div><div></div></div> 1.3	<div><div></div></div> 1.3	<div><div></div></div> 33.3	<div><div></div></div> 1.3	
	ネパール n=62	<div><div></div></div> 45.2	<div><div></div></div> 30.6	<div><div></div></div> 11.3	<div><div></div></div> 12.9	<div><div></div></div> 12.9	<div><div></div></div> 0.0	<div><div></div></div> 3.2	<div><div></div></div> 30.6	<div><div></div></div> 1.6	

病院などで困ることは「言葉の問題で伝えたいことを伝えることができない」が34.8%と最も高く、次いで「症状に合う病院がどこにあるかわからない」が26.3%、「案内板・書類・薬の表示が日本語でわからない」が18.3%、「待ち時間が長い」が17.2%などとなり、病院などで何らかの『困りごとがある』割合は59.7%となっている。一方、「特に困っていない」は38.9%となっている。

国籍別にみると、ベトナム・ブラジル・フィリピン・スリランカ・ネパールは「言葉の問題で伝えたいことを伝えることができない」、中国は「待ち時間が長い」が最も高くなっている。

【経年比較】

(%)										
	言葉の問題で伝えたいことを伝えることができない	症状に合う病院がどこにあるかわからない	案内板・書類・薬の表示が日本語でわからない	待ち時間が長い	医療費が高い	病院で診療をしてもらえないことがある	その他	特に困っていない	無回答	
2025年 n=727	<div><div></div></div> 34.8	<div><div></div></div> 26.3	<div><div></div></div> 18.3	<div><div></div></div> 17.2	<div><div></div></div> 15.1	<div><div></div></div> 3.0	<div><div></div></div> 1.9	<div><div></div></div> 38.9	<div><div></div></div> 1.4	
2019年 n=470	<div><div></div></div> 27.0	<div><div></div></div> 21.1	<div><div></div></div> 20.4	<div><div></div></div> 20.6	<div><div></div></div> 14.0	<div><div></div></div> 1.3	<div><div></div></div> 1.3	<div><div></div></div> 41.9	<div><div></div></div> 3.2	
2015年 n=281	<div><div></div></div> 24.9	<div><div></div></div> 24.6	<div><div></div></div> 25.3	<div><div></div></div> 27.4	<div><div></div></div> 19.6	<div><div></div></div> 1.8	<div><div></div></div> 2.1	<div><div></div></div> 32.4		
2009年 n=不明	<div><div></div></div> 30.9	<div><div></div></div> 17.9	<div><div></div></div> 30.6	<div><div></div></div> 32.0	<div><div></div></div> 26.7	<div><div></div></div> 4.2	<div><div></div></div> 5.3	<div><div></div></div> 26.0		

※「言葉の問題で伝えたいことを伝えることができない」は前回調査まで「言葉の問題で意思疎通が図りにくい」

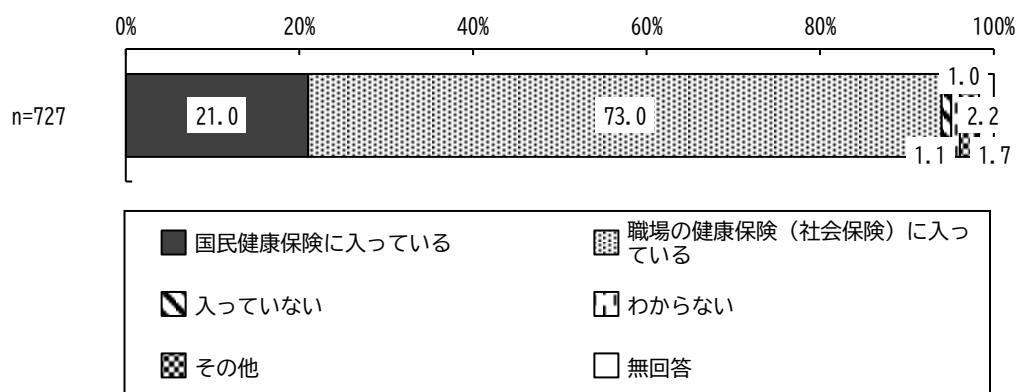
※「病院で診療をしてもらえないことがある」は前回調査まで「病院で診療を拒否されることがある」

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「言葉の問題で伝えたいことを伝えることができない」が前回調査から7.8ポイント高くなっている。

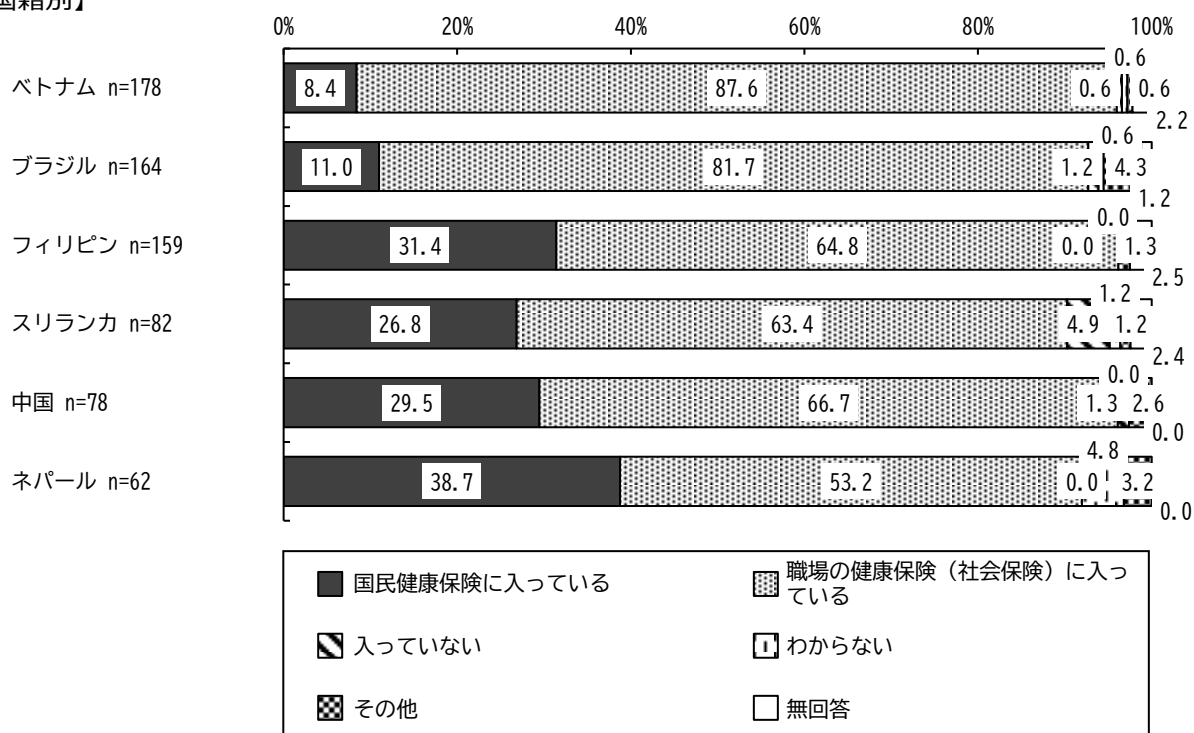
（２）健康保険（病院で使うための医療保険）に入っているか

質問30 健康保険（病院で使うための医療保険）に入っていますか（１つに○）



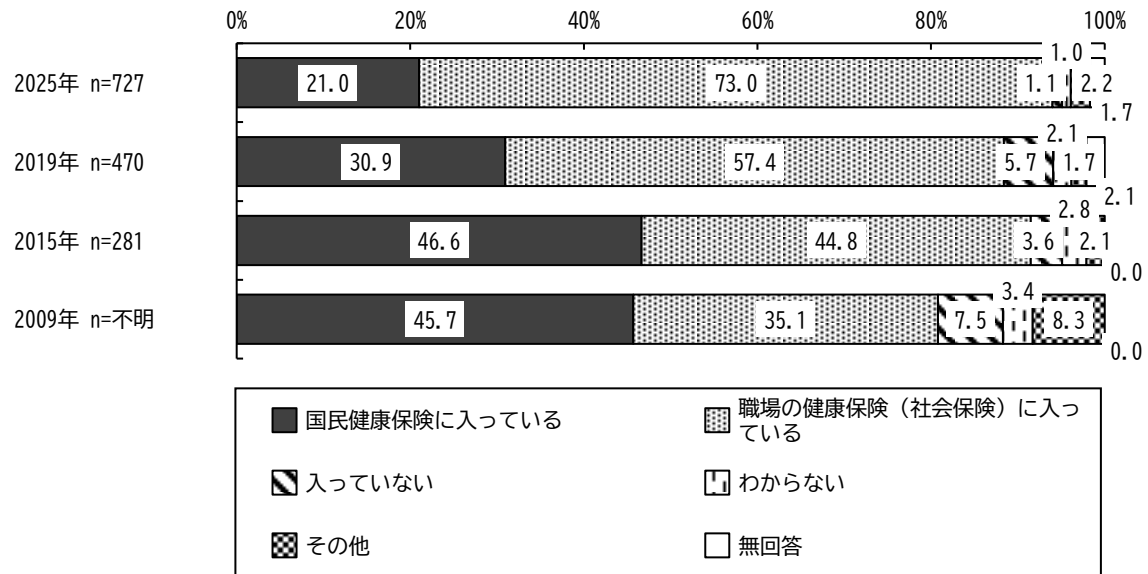
健康保険（病院で使うための医療保険）に入っているかについては「国民健康保険に入っている」が21.0%、「職場の健康保険（社会保険）に入っている」が73.0%、「入っていない」が1.1%、「わからない」が1.0%、「その他」が2.2%となり、健康保険に『加入している』割合は94.0%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「職場の健康保険（社会保険）に入っている」が最も高くなっているが、ベトナム・ブラジルは8割以上、フィリピン・スリランカ・中国は6割以上、ネパールは5割以上となっている。

【経年比較】



経年比較では、「職場の健康保険（社会保険）に入っている」が前回調査から15.6ポイント高くなっている。

7. 子育て・教育について

(1) 日本での子育てで困ったこと

★同居の子ども（18歳未満）がいる方に聞きます

質問31 日本での子育てで困った（ている）ことを教えてください（あてはまるものすべてに○）

												(%)
		養育費が高い	子育てで心配なことを相談する人や場所がない	仕事中に子どもを預けるところがない	母国語の通じる小児科がない	子育て中の親の交流機会がない	保育所・幼稚園・学校の手続きの情報がわからない	予防接種や健康診断・検診の情報がわからない	育児ノイローゼになった（なっている）	その他	特にない	無回答
全体 n=727		9.2	5.8	5.2	4.4	3.3	2.9	1.8	0.7	5.2	31.5	44.8
国籍別	ベトナム n=178	5.1	6.2	2.8	3.9	2.8	0.6	1.1	0.0	6.7	33.1	46.1
	ブラジル n=164	6.7	2.4	2.4	4.3	2.4	0.6	2.4	1.8	4.9	31.1	50.6
	フィリピン n=159	15.7	4.4	9.4	3.8	1.9	1.9	1.9	0.6	6.9	33.3	36.5
	スリランカ n=82	8.5	4.9	4.9	4.9	2.4	4.9	2.4	0.0	4.9	22.0	59.8
	中国 n=78	12.8	14.1	5.1	7.7	7.7	6.4	1.3	0.0	2.6	32.1	34.6
	ネパール n=62	8.1	8.1	9.7	3.2	6.5	11.3	1.6	1.6	1.6	35.5	38.7

日本での子育てで困ったことは「養育費が高い」が9.2%と最も高く、次いで「子育てで心配なことを相談する人や場所がない」が5.8%、「仕事中に子どもを預けるところがない」が5.2%、「母国語の通じる小児科がない」が4.4%などとなり、子育てで何らかの『困りごとがある』割合は23.7%となっている。一方、「特にない」は31.5%となっている。

国籍別にみると、ブラジル・フィリピン・スリランカは「養育費が高い」、ベトナム・中国は「子育てで心配なことを相談する人や場所がない」、ネパールは「保育所・幼稚園・学校の手続きの情報がわからない」が最も高くなっている。

【経年比較】

	養育費が高い	子育てで心配なことを相談する人や場所がない	仕事に子どもを預けるところがない	母国語の通じる小児科がない	子育て中の親の交流機会がない	保育所・幼稚園・学校の手続きの情報がわからない	予防接種や健康診断・検診の情報がわからない	育児ノイローゼになった（なつていない）	その他	特にない	無回答
2025年 n=727	9.2	5.8	5.2	4.4	3.3	2.9	1.8	0.7	5.2	31.5	44.8
2019年 n=470	13.0	5.3	2.3	5.3	5.5	3.0	1.7	0.6	3.6	18.3	57.4
2015年 n=281	15.7	8.9	7.1	5.0	5.3	4.3	2.1	2.5	4.3	19.6	
2019年 n=不明	0.0	6.2	7.4	6.8	4.9	4.3	3.1	1.1	3.1	78.3	

※「子育てで心配なことを相談する人や場所がない」は前回調査まで「子育てで不安なことを相談する人や場所がない」

※「子育て中の親の交流機会がない」は前回調査まで「子育て中の親同士の交流機会がない」

※「仕事に子どもを預けるところがない」は前回調査まで「仕事に子どもを預けられるところがない」

経年比較では、「特にない」が前回調査から13.2ポイント高くなっている。

(2) 子どもの教育について困ったこと

質問32 子どもの教育について困った（ている）ことを教えてください（あてはまるものすべてに○）

																		(%)
		配卒業後の進学・就職が心配	日本の教育制度がわからない	子どもの話す日本語がわからない	子どもに母国語・母国の文化を教えられない	学費が高い（通わせ続けられるか心配）	学校からの連絡内容がわからない	子どもが日本語や授業を理解できない	帰国後の母国での教育への適応が心配	子どもの成績がわからない	子どもに友達ができない・いじめられる	学校行事に参加しにくい	学校に規則が多い	学費が高くて学校に通わせられない	子どもが学校に通わない（不登校）	その他	特にな	無回答
全体 n=727		7.2	4.0	3.4	3.3	3.3	2.8	2.5	2.5	2.3	1.9	1.7	1.5	1.1	0.6	4.7	33.3	43.3
国籍別	ベトナム n=178	3.9	3.9	1.7	1.1	1.1	2.2	1.7	3.4	0.0	0.6	1.7	1.1	0.6	0.6	7.3	34.3	46.6
	ブラジル n=164	3.7	1.8	3.7	2.4	4.3	6.7	1.8	2.4	2.4	3.0	3.7	2.4	3.0	1.2	4.3	33.5	46.3
	フィリピン n=159	10.7	2.5	2.5	1.3	4.4	2.5	2.5	1.3	2.5	2.5	0.6	0.0	0.0	0.6	5.0	33.3	40.3
	スリランカ n=82	6.1	3.7	0.0	1.2	3.7	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	3.7	29.3	57.3
	中国 n=78	17.9	10.3	11.5	15.4	6.4	0.0	6.4	3.8	7.7	5.1	1.3	5.1	1.3	0.0	1.3	29.5	24.4
	ネパール n=62	4.8	6.5	4.8	4.8	0.0	1.6	4.8	3.2	3.2	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	3.2	38.7	38.7

子どもの教育について困ったことは「卒業後の進学・就職が心配」が7.2%と最も高く、次いで「日本の教育制度がわからない」が4.0%、「子どもの話す日本語がわからない」が3.4%などとなり、子どもの教育について何らかの『困りごとがある』割合は23.4%となっている。

国籍別にみると、ベトナムは「卒業後の進学・就職が心配」と「日本の教育制度がわからない」、フィリピン・スリランカ・中国は「卒業後の進学・就職が心配」、ブラジルは「学校からの連絡内容がわからない」、ネパールは「日本の教育制度がわからない」が最も高くなっている。

【経年比較】

																		(%)
	配卒業後の進学・就職が心配	日本の教育制度がわからない	子どもの話す日本語がわからない	子どもに母国語・母国の文化を教えられない	学費が高い（通わせ続けられるか心配）	学校からの連絡内容がわからない	子どもが日本語や授業を理解できない	帰国後の母国での教育への適応が心配	子どもの成績がわからない	子どもに友達ができない・いじめられる	学校行事に参加しにくい	学校に規則が多い	学費が高くて学校に通わせられない	子どもが学校に通わない（不登校）	その他	特にな	無回答	
2025年 n=727	7.2	4.0	3.4	3.3	3.3	2.8	2.5	2.5	2.3	1.9	1.7	1.5	1.1	0.6	4.7	33.3	43.3	
2019年 n=470	7.9	4.3	2.1	6.6	5.3	5.1	2.1	3.0	2.3	2.1	3.6	2.6	0.6	0.4	3.8	18.3	55.7	
2015年 n=281	10.7	6.8	6.4	8.5	10.3	10.0	0.7	4.6	7.5	2.8	4.3	4.3	1.8	0.4	2.1	21.4		
2009年 n=不明	9.4	0.0	4.9	6.0	9.4	9.9	2.3	9.7	4.8	3.7	2.9	2.8	0.0	1.2	2.6	72.0		

※「学費が高くて学校に通わせられない」は前回調査まで「学費が高い（通わせ続けられるか不安）」

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「特にな」が前回調査から15.0ポイント高くなっている。

8. 仕事について

(1) 今の仕事の業種

質問33 今どんな業種の仕事についていますか（1つに○）

															(%)
		製造業（その他）	製造業（製紙関連）	飲食業	製造業（自動車関連）	建設業	卸売・小売業	運輸・通信業	介護・福祉	農林漁業	医療	金融・保険業	その他	仕事についていない	無回答
全体 n=727		22.0	21.0	11.3	8.8	6.6	2.6	2.5	2.3	0.8	0.4	0.0	8.9	11.4	1.2
国籍別	ベトナム n=178	20.8	24.7	12.9	10.7	16.3	0.6	2.2	1.7	0.6	0.6	0.0	6.7	2.2	0.0
	ブラジル n=164	19.5	28.7	0.6	12.2	1.8	2.4	3.7	3.0	0.0	0.0	0.0	10.4	16.5	1.2
	フィリピン n=159	29.6	11.3	18.2	5.7	6.3	0.6	0.6	5.0	0.6	0.6	0.0	9.4	10.1	1.9
	スリランカ n=82	17.1	41.5	7.3	2.4	1.2	2.4	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	13.4	11.0	1.2
	中国 n=78	11.5	1.3	11.5	11.5	3.8	14.1	3.8	0.0	5.1	1.3	0.0	10.3	24.4	1.3
	ネパール n=62	32.3	14.5	19.4	8.1	3.2	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	11.3	3.2

今の仕事の業種は「製造業（その他）」が22.0%と最も高く、次いで「製造業（製紙関連）」が21.0%、「飲食業」が11.3%、「製造業（自動車関連）」が8.8%などとなり、『就業している』割合は87.2%となっている。また、「仕事についていない」は11.4%となっている。

国籍別にみると、ベトナム・ブラジル・スリランカは「製造業（製紙関連）」、フィリピン・ネパールは「製造業（その他）」、中国は「仕事についていない」が最も高くなっている。

【経年比較】

(%)														
	製造業（その他）	製造業（製紙関連）	飲食業	製造業（自動車関連）	建設業	卸売・小売業	運輸・通信業	介護・福祉	農林漁業	医療	金融・保険業	その他	仕事についていない	無回答
2025年 n=727	<div><div></div><div>22.0</div></div>	<div><div></div><div>21.0</div></div>	<div><div></div><div>11.3</div></div>	<div><div></div><div>8.8</div></div>	<div><div></div><div>6.6</div></div>	<div><div></div><div>2.6</div></div>	<div><div></div><div>2.5</div></div>	<div><div></div><div>2.3</div></div>	<div><div></div><div>0.8</div></div>	<div><div></div><div>0.4</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>8.9</div></div>	<div><div></div><div>11.4</div></div>	<div><div></div><div>1.2</div></div>
2019年 n=470	<div><div></div><div>26.4</div></div>	<div><div></div><div>14.7</div></div>	<div><div></div><div>8.1</div></div>	<div><div></div><div>11.7</div></div>	<div><div></div><div>3.2</div></div>	<div><div></div><div>3.2</div></div>	<div><div></div><div>1.1</div></div>	<div><div></div><div>0.9</div></div>	<div><div></div><div>0.6</div></div>	<div><div></div><div>0.4</div></div>	<div><div></div><div>0.2</div></div>	<div><div></div><div>12.8</div></div>	<div><div></div><div>13.8</div></div>	<div><div></div><div>3.0</div></div>
2015年 n=281	<div><div></div><div>21.7</div></div>	<div><div></div><div>10.3</div></div>	<div><div></div></div>	<div><div></div><div>10.3</div></div>	<div><div></div><div>1.1</div></div>	<div><div></div><div>3.6</div></div>	<div><div></div><div>1.4</div></div>	<div><div></div></div>	<div><div></div><div>0.7</div></div>	<div><div></div><div>0.7</div></div>	<div><div></div><div>0.4</div></div>	<div><div></div><div>12.8</div></div>	<div><div></div><div>22.8</div></div>	<div><div></div></div>
2009年 n=不明	<div><div></div><div>19.0</div></div>	<div><div></div><div>12.8</div></div>	<div><div></div></div>	<div><div></div><div>11.9</div></div>	<div><div></div><div>1.1</div></div>	<div><div></div><div>1.7</div></div>	<div><div></div><div>0.5</div></div>	<div><div></div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>0.2</div></div>	<div><div></div><div>0.2</div></div>	<div><div></div><div>12.5</div></div>	<div><div></div><div>30.9</div></div>	<div><div></div></div>

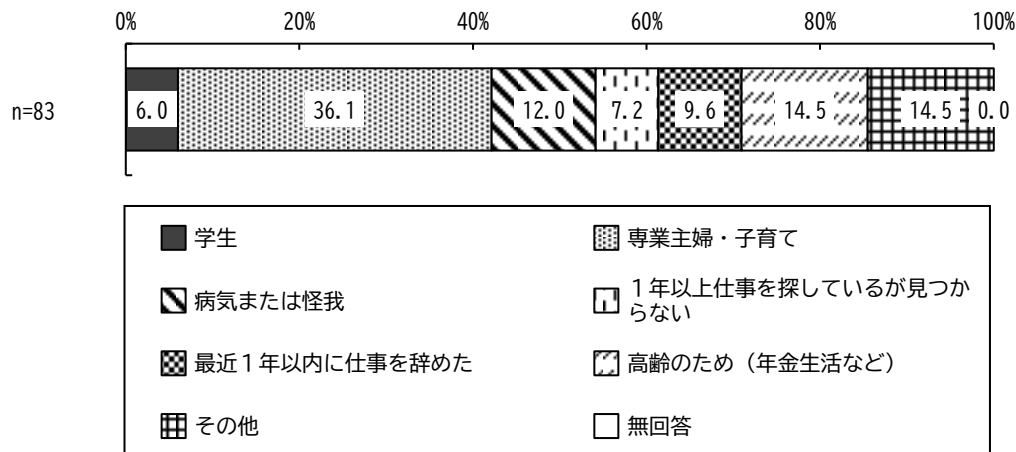
※「介護・福祉」、「飲食業」は前回調査から

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「製造業（製紙関連）」が前回調査から6.3ポイント高くなっている。

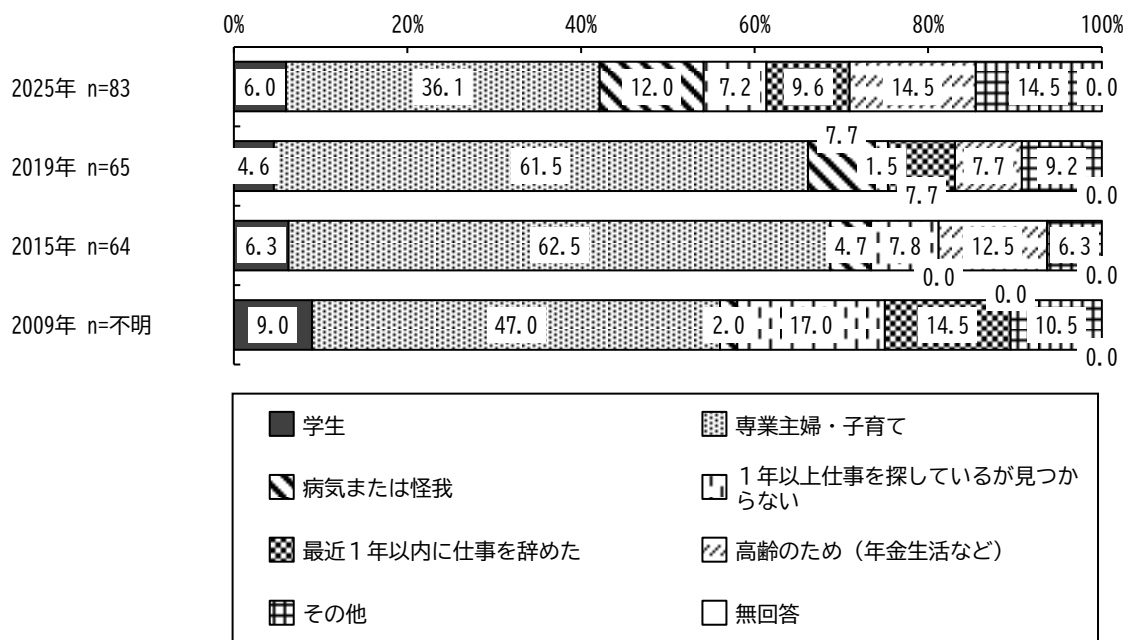
(2) 仕事をしていない理由

質問33-2 (質問33で「仕事についていない」と答えた方) 仕事をしていない理由は何ですか(1つに○)



仕事をしていない理由は「専業主婦・子育て」が36.1%と最も高く、次いで「高齢のため(年金生活など)」が14.5%、「病気または怪我」が12.0%、「最近1年以内に仕事を辞めた」が9.6%などとなっている。

【経年比較】



※「最近1年以内に仕事を辞めた」は前回調査まで「最近1年以内に仕事を失った」

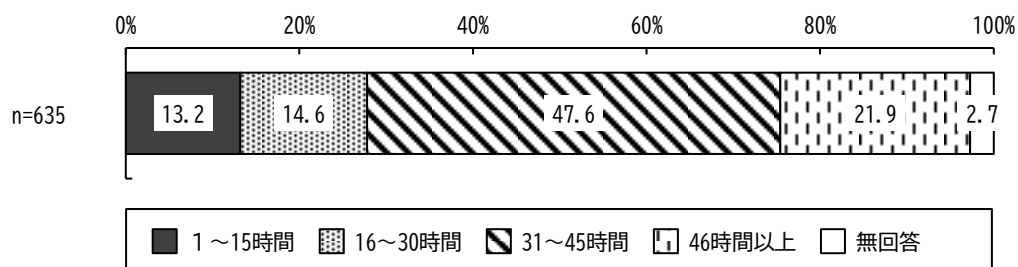
※「高齢のため(年金生活など)」は前回調査まで「高齢のため(退職後の年金生活を含む)」

経年比較では、「専業主婦・子育て」が前回調査から25.4ポイント低くなっている。

(3) 週何時間、仕事をしているか

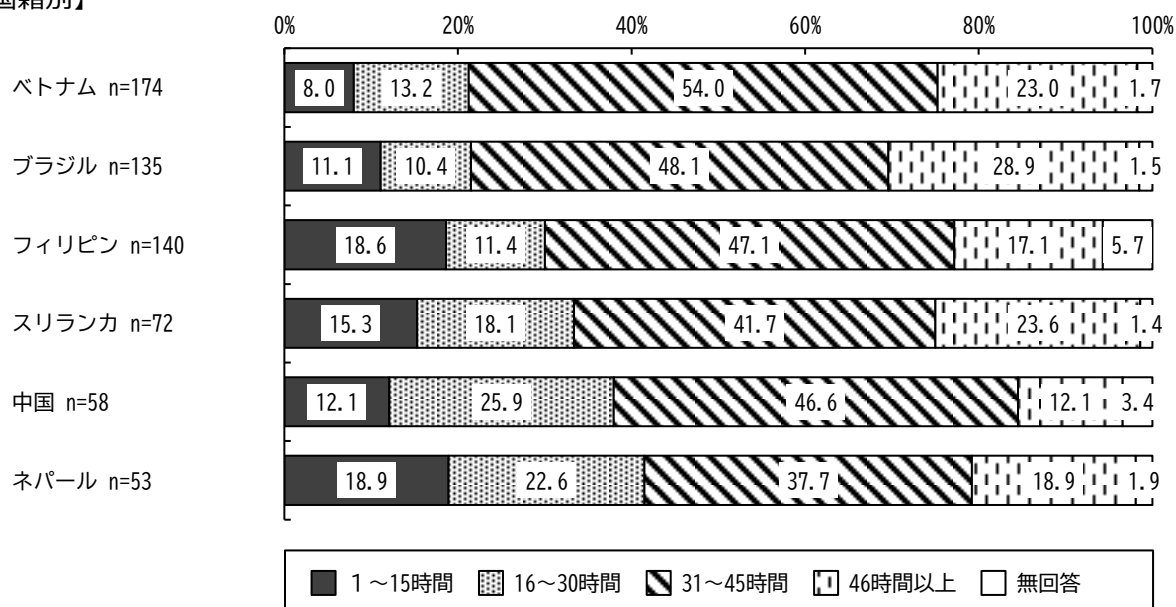
質問33-3 仕事についている人に聞きます。

週何時間、仕事をしていますか。2つ以上の仕事についている場合は、合計してお答えください（1つに○）



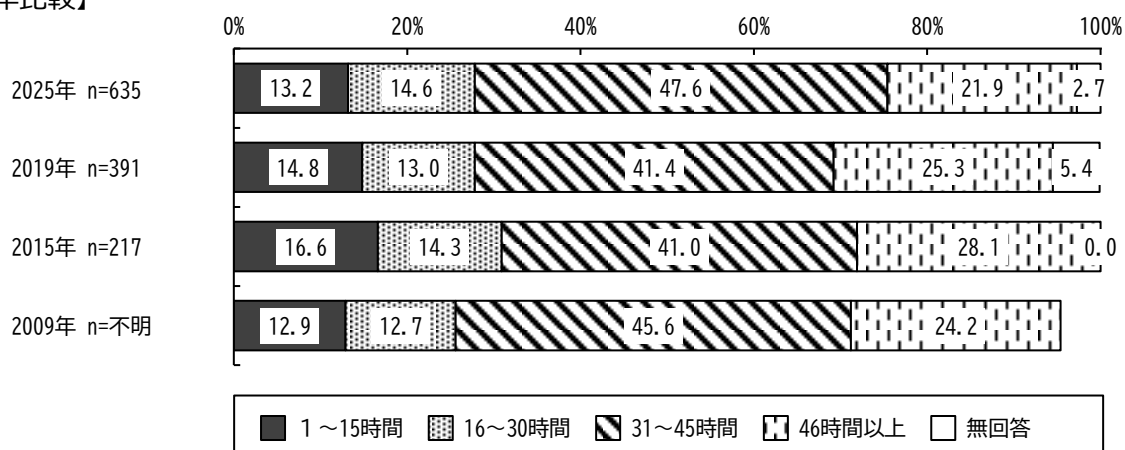
週の就労時間は「31~45時間」が47.6%と最も高く、以下「46時間以上」が21.9%、「16~30時間」が14.6%、「1~15時間」が13.2%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「31~45時間」が最も高くなっている。

【経年比較】

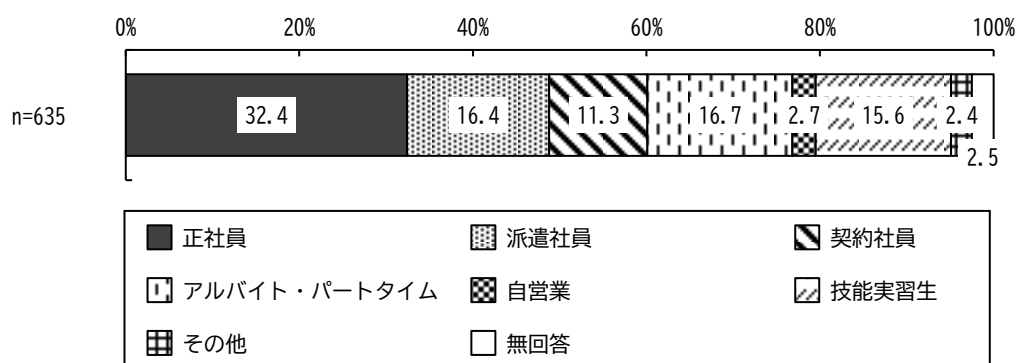


※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、「31~45時間」が前回調査から6.2ポイント高くなっている。

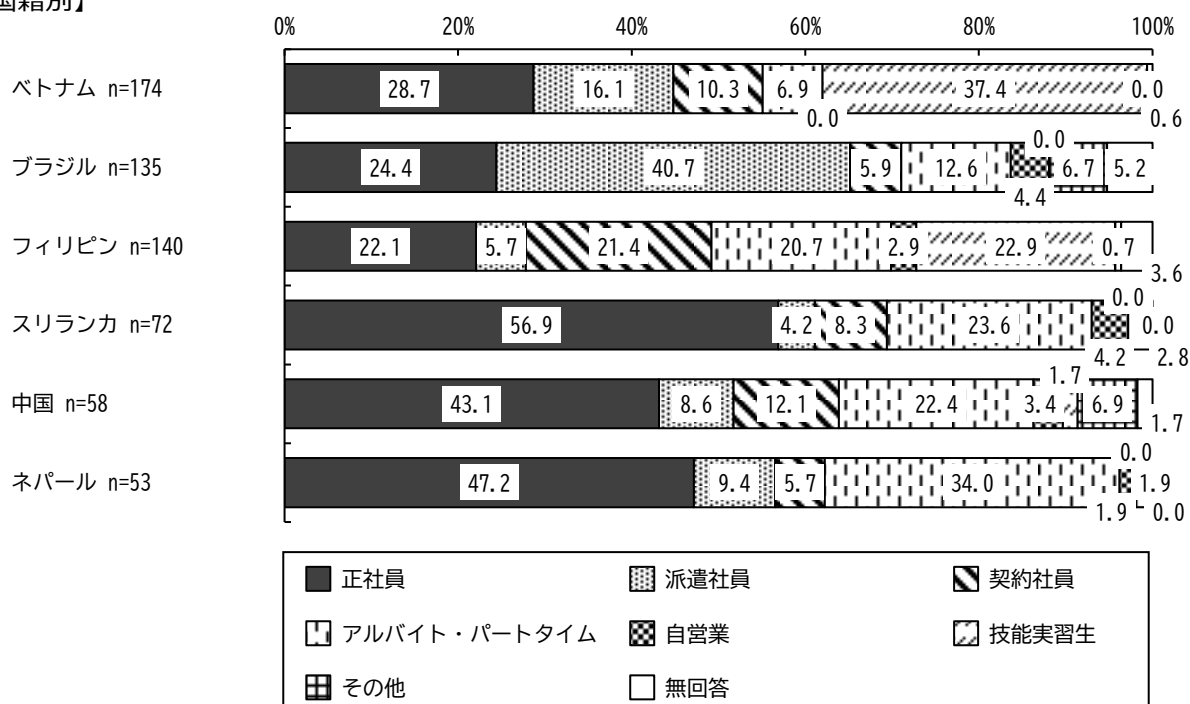
(4) どのような雇用形態（雇用契約）か

質問33-4 どのような雇用形態（雇用契約）ですか（1つに○）



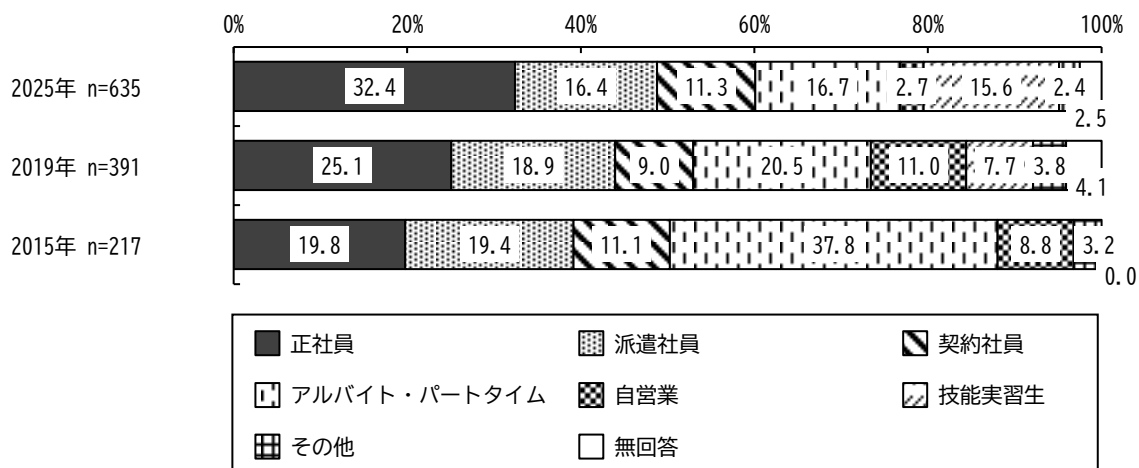
雇用形態（雇用契約）は「正社員」が32.4%、「派遣社員」が16.4%、「契約社員」が11.3%、「アルバイト・パートタイム」が16.7%、「自営業」が2.7%、「技能実習生」が15.6%、「その他」が2.4%となっている。「派遣社員」と「契約社員」と「アルバイト・パートタイム」を合わせた『非正規雇用』の割合は44.4%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、スリランカ・中国・ネパールは「正社員」、ブラジルは「派遣社員」、ベトナム・フィリピンは「技能実習生」が最も高くなっている。

【経年比較】



※「正社員」は前回調査まで「正規社員」

※「技能実習生」は前回調査から

経年比較では、「自営業」が前回調査から8.3ポイント低く、「正社員」が前回調査から7.3ポイント高くなっている。

(5) 仕事で満足していないこと

質問34 仕事で満足していないことを教えてください（あてはまるものすべてに○）

		賃金が安い	賃金や昇進で日本人と差がある	正社員になれない	日本語が難しくてわからない	募集や採用が少ない	解雇されないか不安	人間関係がうまくいかな	労働時間が長い、休みがとれない	職場のトラブルについて相談できない	雇用契約と実際が違う	社会保険・労働保険に入れない	その他	特にな	無回答
		(%)													
全体 n=727		27.4	11.0	9.4	9.2	5.9	5.0	4.4	3.6	3.2	2.1	0.7	2.8	44.3	8.0
国籍別	ベトナム n=178	24.2	8.4	5.6	10.7	2.8	2.2	3.4	3.4	2.2	1.7	0.0	3.9	56.7	1.1
	ブラジル n=164	31.1	14.6	12.8	5.5	6.7	14.0	7.3	4.3	5.5	3.0	1.8	2.4	39.6	9.8
	フィリピン n=159	34.6	10.7	10.1	10.7	4.4	3.1	6.3	2.5	1.9	1.9	0.0	2.5	37.1	10.1
	スリランカ n=82	20.7	11.0	9.8	3.7	8.5	2.4	0.0	4.9	2.4	2.4	0.0	3.7	46.3	9.8
	中国 n=78	16.7	12.8	7.7	14.1	6.4	2.6	2.6	2.6	3.8	0.0	1.3	1.3	38.5	12.8
	ネパール n=62	32.3	8.1	11.3	12.9	12.9	0.0	3.2	4.8	3.2	3.2	1.6	1.6	41.9	8.1

仕事で満足していないことは「賃金が安い」が27.4%と最も高く、次いで「賃金や昇進で日本人と差がある」が11.0%、「正社員になれない」が9.4%、「日本語が難しくてわからない」が9.2%などとなり、仕事で何らかの『不満がある』割合は47.7%となっている。一方、「特にな」は44.3%となっている。国籍別にみると、全ての国籍で「賃金が安い」が最も高くなっている。

【経年比較】

	賃金が安い	賃金や昇進で日本人と差がある	正社員になれない	日本語が難しくてわからない	募集や採用が少ない	解雇されないか不安	人間関係がうまくいかな	労働時間が長い、休みがとれない	職場のトラブルについて相談できない	雇用契約と実際が違う	社会保険・労働保険に入れない	その他	特にな	無回答
2025年 n=727	27.4	11.0	9.4	9.2	5.9	5.0	4.4	3.6	3.2	2.1	0.7	2.8	44.3	8.0
2019年 n=470	28.7	14.9	10.6	12.1	4.3	7.0	7.0	4.3	7.0	3.8	1.7	4.5	31.1	15.7
2015年 n=281	33.1	17.4	13.5		8.2	9.3	2.8	7.1	9.3	6.0	6.0	1.4	28.8	
2009年 n=不明	26.3	21.8	18.5		17.2	15.5	8.0	6.3	8.5	7.1	9.0	3.9	41.6	

※「雇用契約と実際が違う」は前回調査まで「雇用契約と実際が異なる」

※「労働時間が長い、休みがとれない」は前回調査まで「労働時間が長い、休暇がとれない」

※「解雇されないか不安」は前回調査まで「解雇されるか不安」

※「社会保険・労働保険に入れない」は前回調査まで「社会保険・労働保険に未加入」

※「職場のトラブルについて相談できない」は前回調査まで「職場のトラブルについて相談する場がない」

※「日本語が難しくてわからない」は前回調査から、前回調査まで「日本語が難しい」

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「特にな」が前回調査から13.2ポイント高くなっている。

9. 防災について

(1) 災害（地震、台風、強い雨など）が発生したときについて

質問35 災害（地震、台風、強い雨など）が発生したときについて教えてください（あてはまるものすべてに○）

		(%)										
		避難場所に行く	テレビやラジオから情報を集める（日本語、母国語のSNSなど）	家族・知人に相談する	地域の日本人に相談する	市役所に相談する	大使館・領事館に相談する	教会に行く	その他	ない／いたらいいかわから	考えたことがない	無回答
全体 n=727		61.9	44.2	27.2	23.4	18.4	11.1	3.0	1.1	5.2	4.4	1.4
国籍別	ベトナム n=178	67.4	38.8	16.3	24.7	10.7	12.4	1.1	1.1	6.7	5.1	0.0
	ブラジル n=164	65.9	53.0	36.6	34.8	32.3	16.5	4.9	0.6	0.6	3.0	1.2
	フィリピン n=159	65.4	42.8	27.7	16.4	18.9	8.8	7.5	1.9	5.0	3.1	2.5
	スリランカ n=82	48.8	48.8	17.1	22.0	12.2	0.0	0.0	2.4	3.7	2.4	2.4
	中国 n=78	69.2	34.6	42.3	20.5	12.8	19.2	0.0	0.0	6.4	7.7	0.0
	ネパール n=62	32.3	43.5	29.0	14.5	16.1	3.2	0.0	0.0	14.5	8.1	3.2

災害（地震、台風、強い雨など）が発生したときについては「避難場所に行く」が61.9%と最も高く、次いで「テレビやラジオから情報を集める（日本語、母国語のSNSなど）」が44.2%、「家族・知人に相談する」が27.2%、「地域の日本人に相談する」が23.4%などとなり、災害が発生時の『対応策を考えている』割合は89.8%となっている。

国籍別にみると、ベトナム・ブラジル・フィリピン・スリランカ・中国は「避難場所に行く」、ネパールは「テレビやラジオから情報を集める（日本語、母国語のSNSなど）」が最も高くなっている。

【経年比較】

		(%)										
		避難場所に行く	テレビやラジオから情報を集める（日本語、母国語のSNSなど）	家族・知人に相談する	地域の日本人に相談する	市役所に相談する	大使館・領事館に相談する	教会に行く	その他	ない／いたらいいかわから	考えたことがない	無回答
2025年 n=727		61.9	44.2	27.2	23.4	18.4	11.1	3.0	1.1	5.2	4.4	1.4
2019年 n=470		60.0	49.1	33.0	28.5	19.8	13.0	6.8	4.9	4.0	3.2	1.5
2015年 n=281		18.1	47.3	39.5	28.1	25.6	32.0	1.8	0.0	16.4	7.1	
2019年 n=不明		27.2	39.3	33.5	28.4	21.9	0.0	0.0	4.7	21.3	12.8	

※「テレビやラジオから情報を集める（日本語、母国語のSNSなど）」は前回調査まで「テレビやラジオから情報を収集する（日本語、母国語のSNS等含む）」

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「家族・知人に相談する」が前回調査から5.8ポイント低くなっている。

(2) 災害（地震、台風、強い雨など）の準備でしていること

質問36 災害（地震、台風、強い雨など）の準備でしていることはありますか（あてはまるものすべてに○）

		(%)										
		避難場所を確認している	非常食や水を用意している	身元確認のためのIDを持ち歩いている	救急車・消防車の呼び方を確認している	家族と安否確認の方法を決めている	AEDの使い方を学んでいるなど、応急手当	家具を固定している	富士市の地域防災訓練に参加している	何もしていない	その他	無回答
全体 n=727		58.7	51.4	44.3	27.4	23.8	17.7	17.1	13.5	13.1	0.7	1.7
国籍別	ベトナム n=178	55.6	62.4	39.3	24.2	12.4	14.0	20.2	9.0	10.7	0.6	0.0
	ブラジル n=164	50.0	42.1	50.6	19.5	20.1	14.6	11.0	12.8	17.1	1.2	2.4
	フィリピン n=159	75.5	60.4	49.7	42.1	36.5	33.3	24.5	21.4	6.3	0.6	2.5
	スリランカ n=82	59.8	50.0	43.9	19.5	30.5	17.1	13.4	9.8	9.8	0.0	1.2
	中国 n=78	61.5	52.6	44.9	29.5	28.2	9.0	19.2	23.1	16.7	0.0	0.0
	ネパール n=62	40.3	22.6	27.4	25.8	19.4	8.1	6.5	1.6	27.4	1.6	4.8

災害（地震、台風、強い雨など）の準備でしていることは「避難場所を確認している」が58.7%と最も高く、次いで「非常食や水を用意している」が51.4%、「身元確認のためのIDを持ち歩いている」が44.3%、「救急車・消防車の呼び方を確認している」が27.4%などとなり、災害への備えとして何らかの『準備をしている』割合は85.3%となっている。

国籍別にみると、ベトナムは「非常食や水を用意している」、ブラジルは「身元確認のためのIDを持ち歩いている」、フィリピン・スリランカ・中国・ネパールは「避難場所を確認している」が最も高くなっている。

【経年比較】

	避難場所を確認している	非常食や水を用意している	身元確認のためのIDを持ち歩いている	救急車・消防車の呼び方を確認している	家族と安否確認の方法を決めている	AEDの使い方を学んでいるなど、応急手当	家具を固定している	富士市の地域防災訓練に参加している	何もしていない	その他	無回答
2025年 n=727	58.7	51.4	44.3	27.4	23.8	17.7	17.1	13.5	13.1	0.7	1.7
2019年 n=470	55.1	48.9	45.3	28.5	24.9	18.1	21.7	19.4	14.0	3.8	1.5
2015年 n=281	55.9	32.0	31.0	31.3	33.5	12.8	17.4	46.3	21.0	3.6	

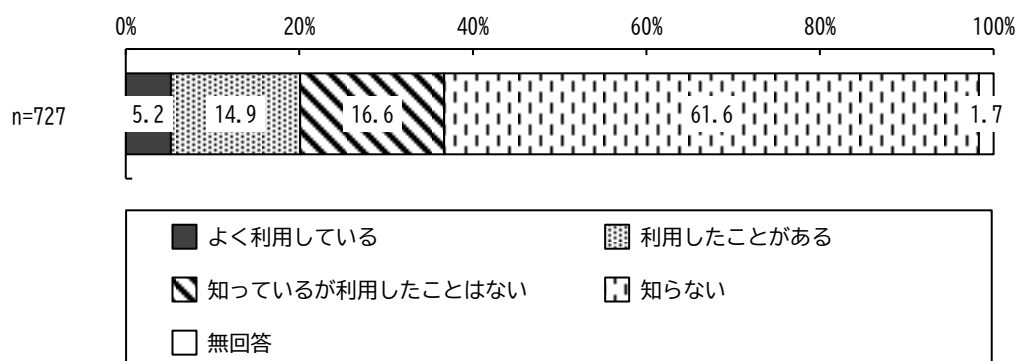
※2015年の無回答：不明

経年比較では、「富士市の地域防災訓練に参加している」が前回調査から5.9ポイント低くなっている。

10. 行政サービスについて

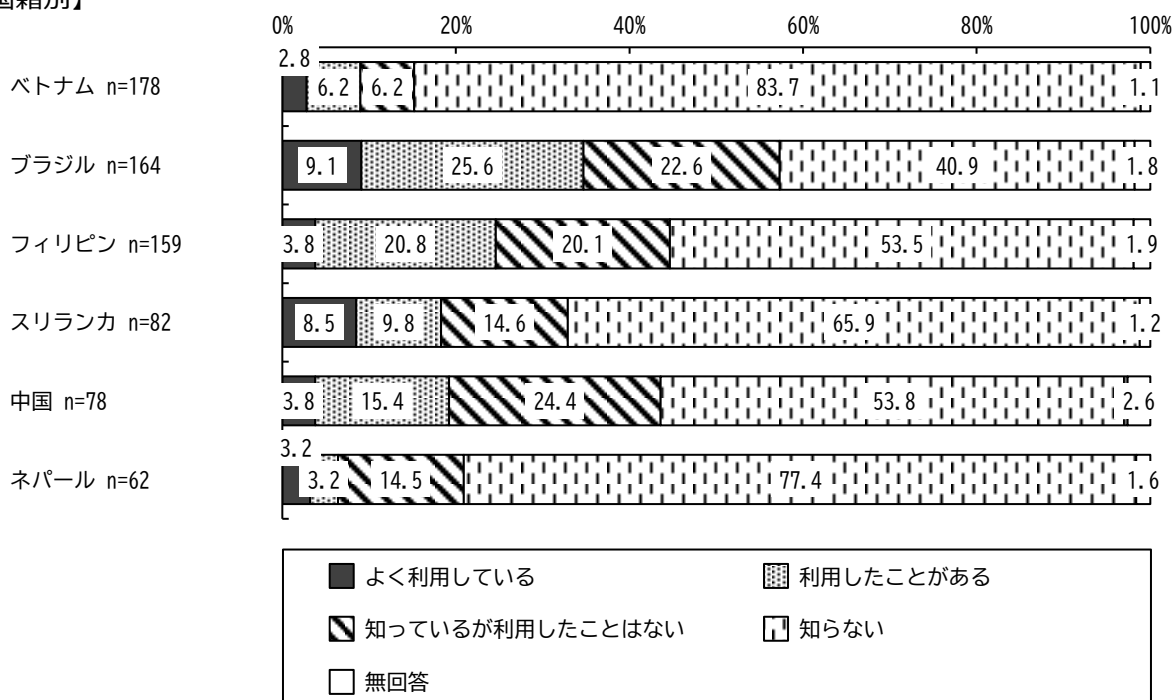
(1) 富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ（FILS）を知っているか

質問37 富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ（FILS）を知っていますか（1つに○）



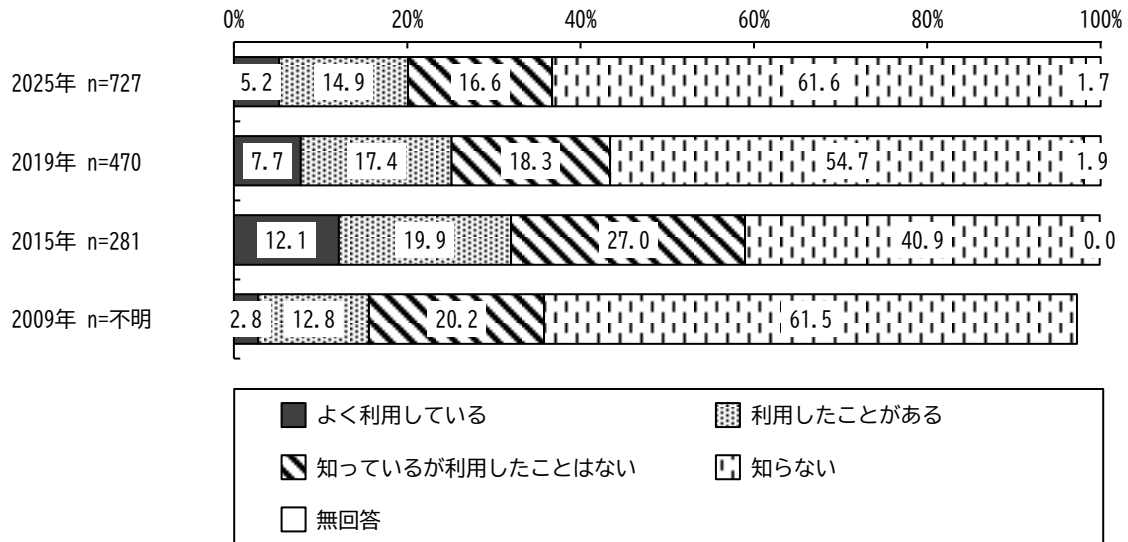
富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ（FILS）を知っているかについては「よく利用している」が5.2%、「利用したことがある」が14.9%、「知っているが利用したことはない」が16.6%、「知らない」が61.6%となっている。「よく利用している」と「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた『知っている』割合は36.7%、「よく利用している」と「利用したことがある」を合わせた『利用した』割合は20.1%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「知らない」が最も高くなり、ベトナムでは83.7%、ネパールでは77.4%となっている。

【経年比較】

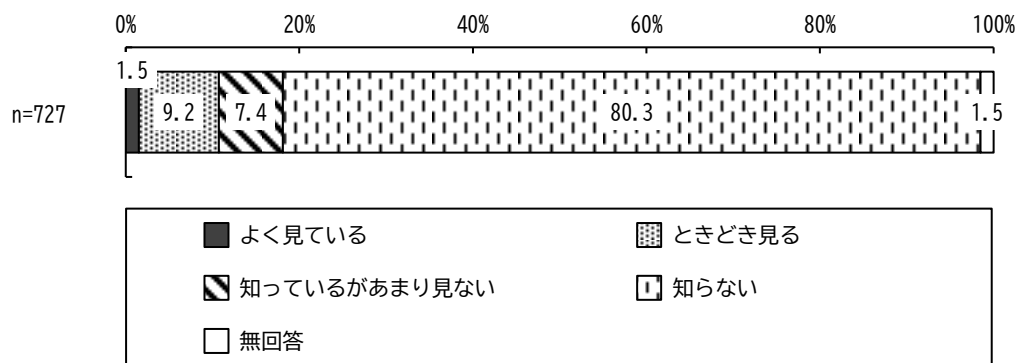


※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、「知らない」が前回調査から6.9ポイント高くなっている。

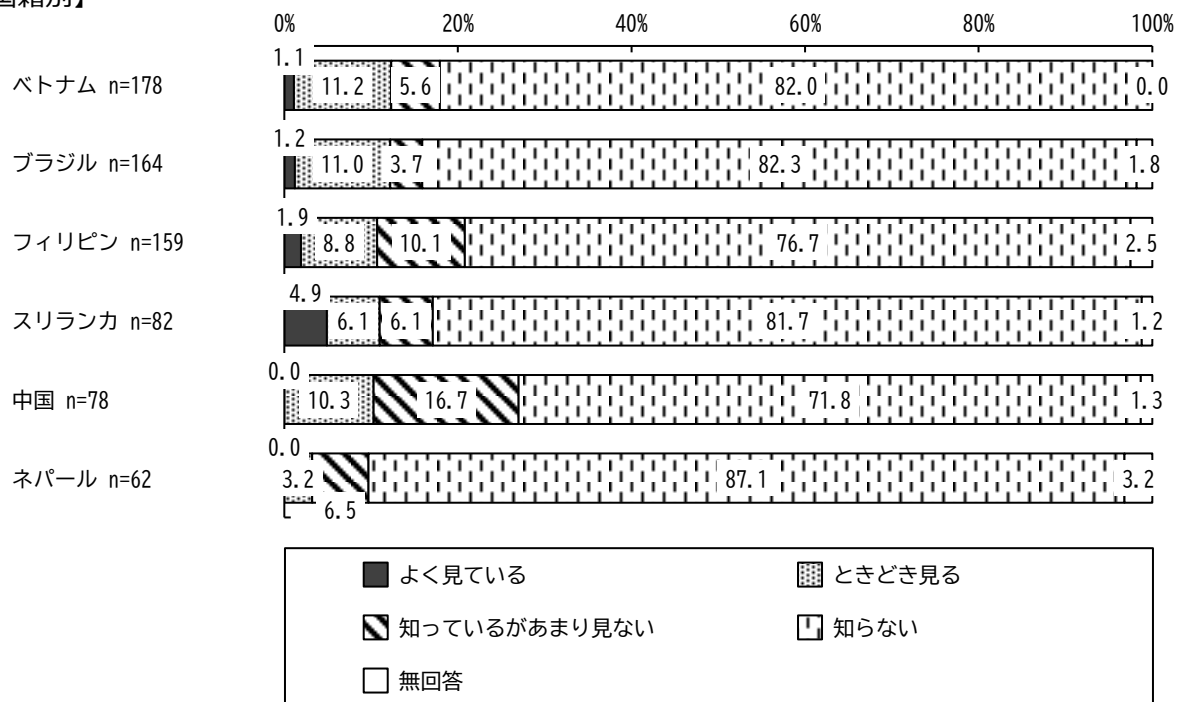
(2) 富士市国際交流ラウンジ (FILS) のFacebookを見たことはあるか

質問38 富士市国際交流ラウンジ (FILS) のFacebookを見たことはありますか (1つに○)



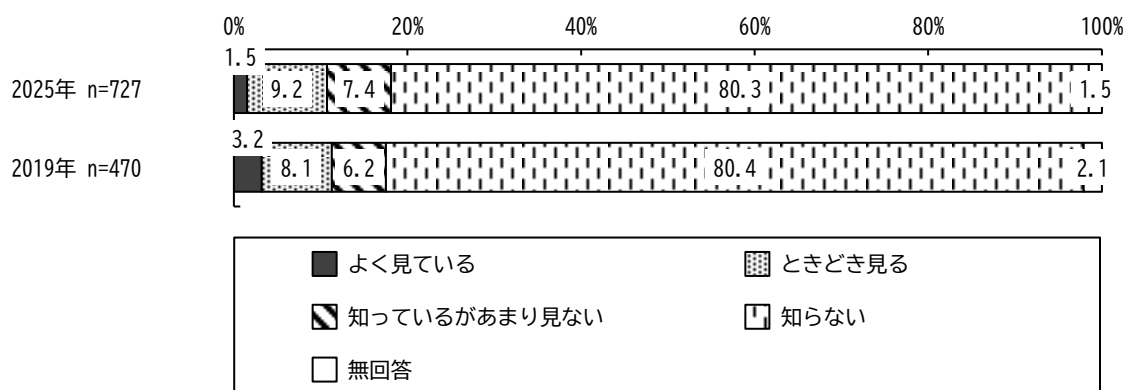
富士市国際交流ラウンジ (FILS) のFacebookを見たことはあるかについては「よく見ている」が1.5%、「ときどき見る」が9.2%、「知っているがあまり見ない」が7.4%、「知らない」が80.3%となっている。「よく見ている」と「ときどき見る」と「知っているがあまり見ない」を合わせた『知っている』割合は18.1%、「よく見ている」と「ときどき見る」を合わせた『見る』割合は10.7%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「知らない」が最も高くなっている。

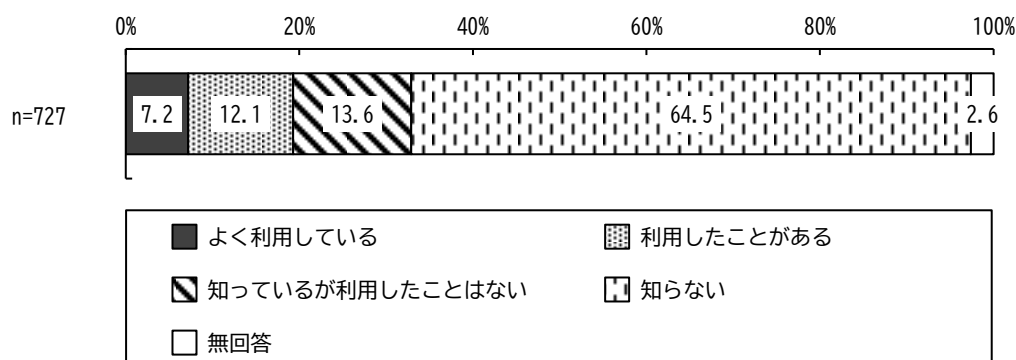
【経年比較】



経年比較では、前回調査から大差はみられない。

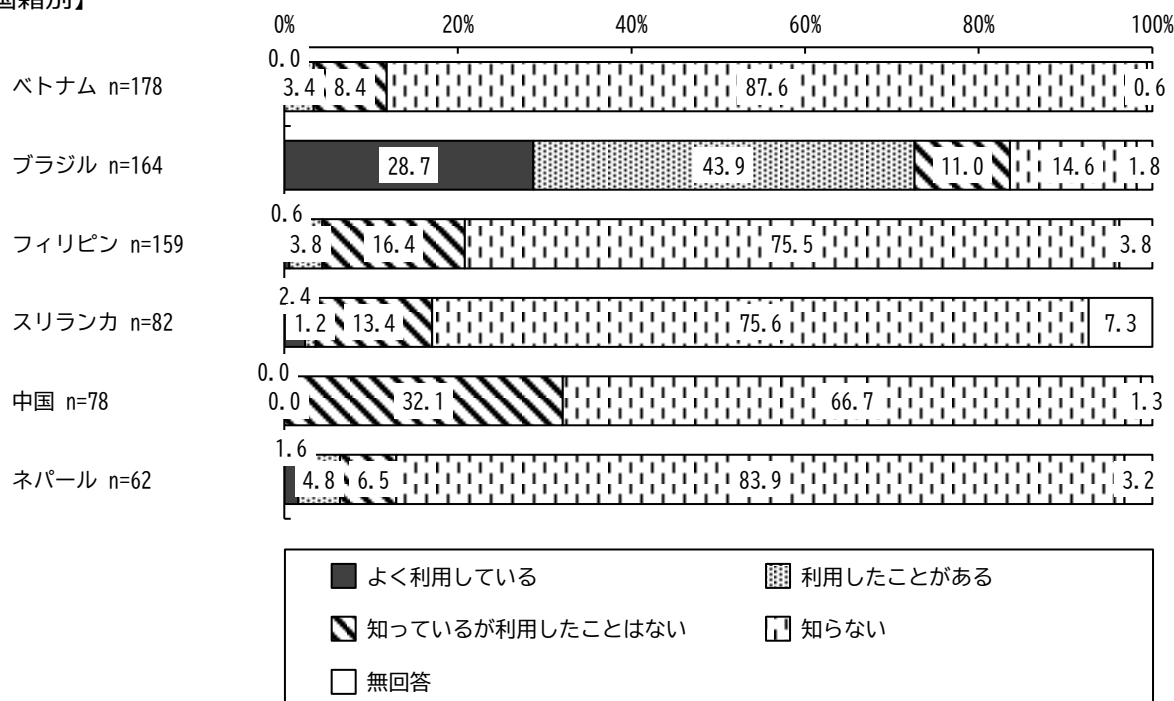
(3) 富士市役所内にある外国人相談窓口を知っているか

質問39 富士市役所内にある外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）を知っていますか（1つに○）



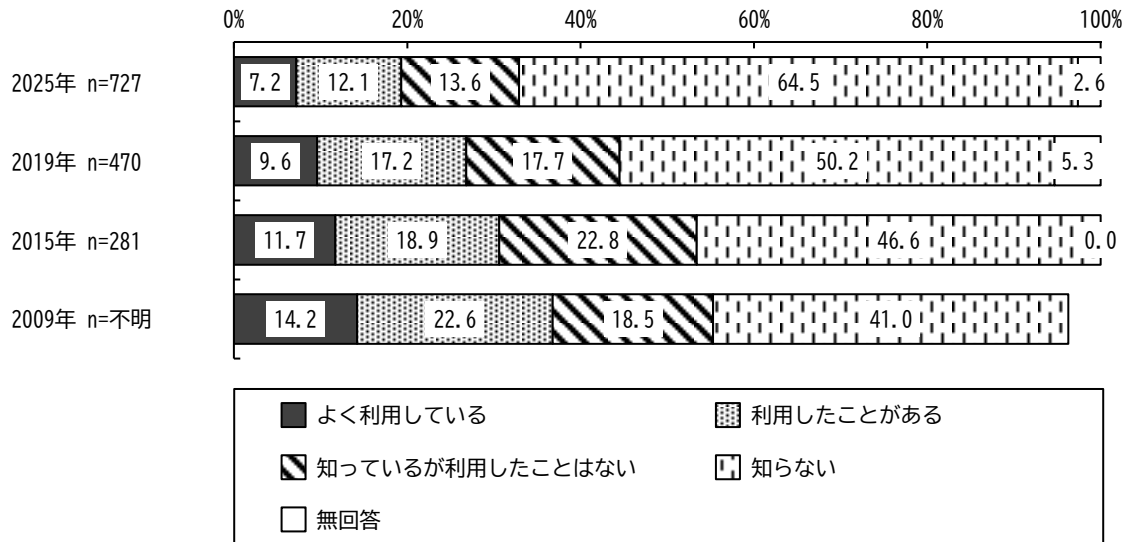
富士市役所内にある外国人相談窓口を知っているかについては「よく利用している」が7.2%、「利用したことがある」が12.1%、「知っているが利用したことはない」が13.6%、「知らない」が64.5%となっている。「よく利用している」と「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた『知っている』割合は32.9%、「よく利用している」と「利用したことがある」を合わせた『利用した』割合は19.3%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、ブラジルは「利用したことがある」、その他の国籍は「知らない」が最も高くなっている。

【経年比較】

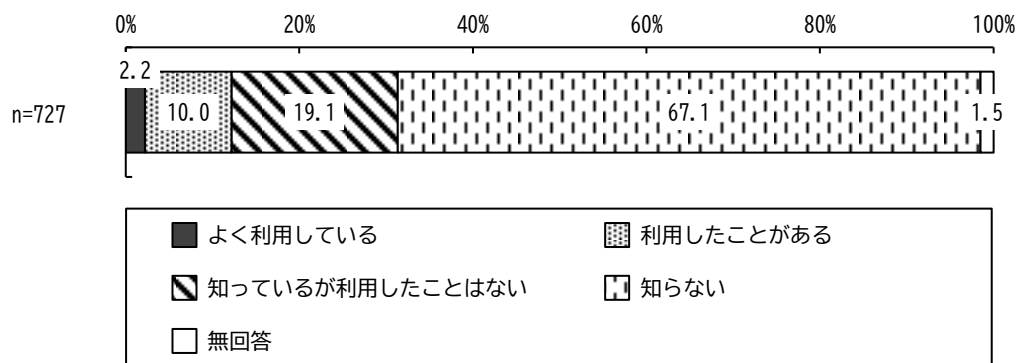


※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、「知らない」が前回調査から14.3ポイント高くなっている。

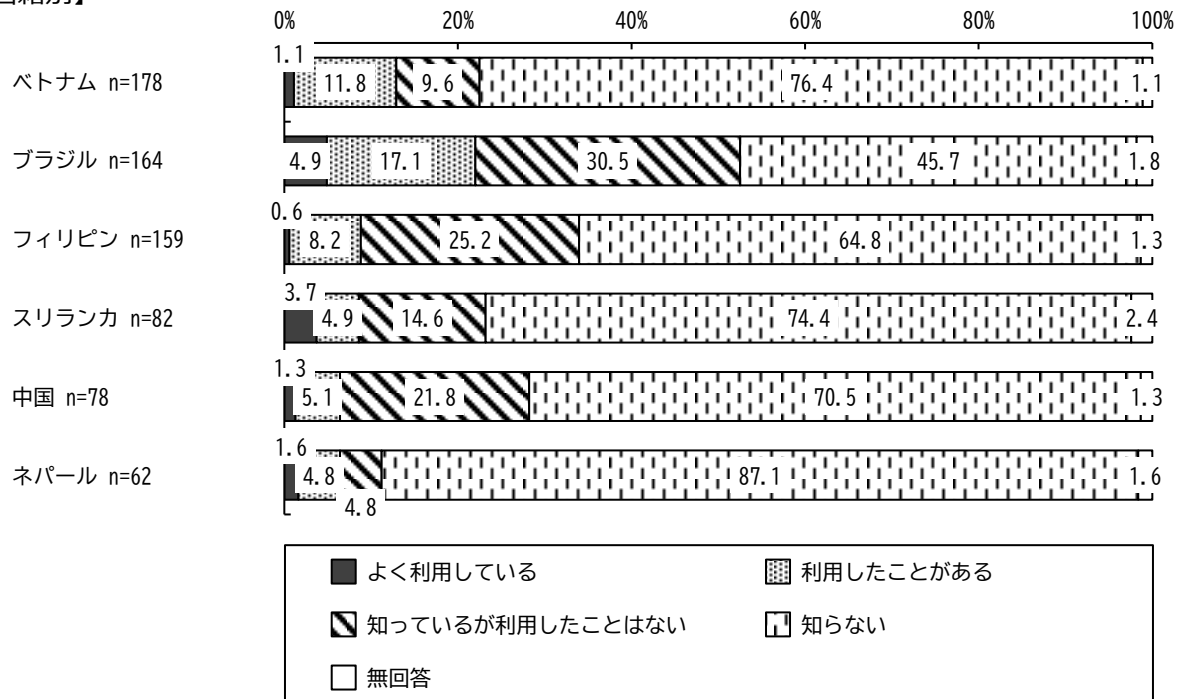
（４）富士市ウェブサイトの多言語版を知っているか

質問40 富士市ウェブサイトの多言語版を知っていますか（1つに○）



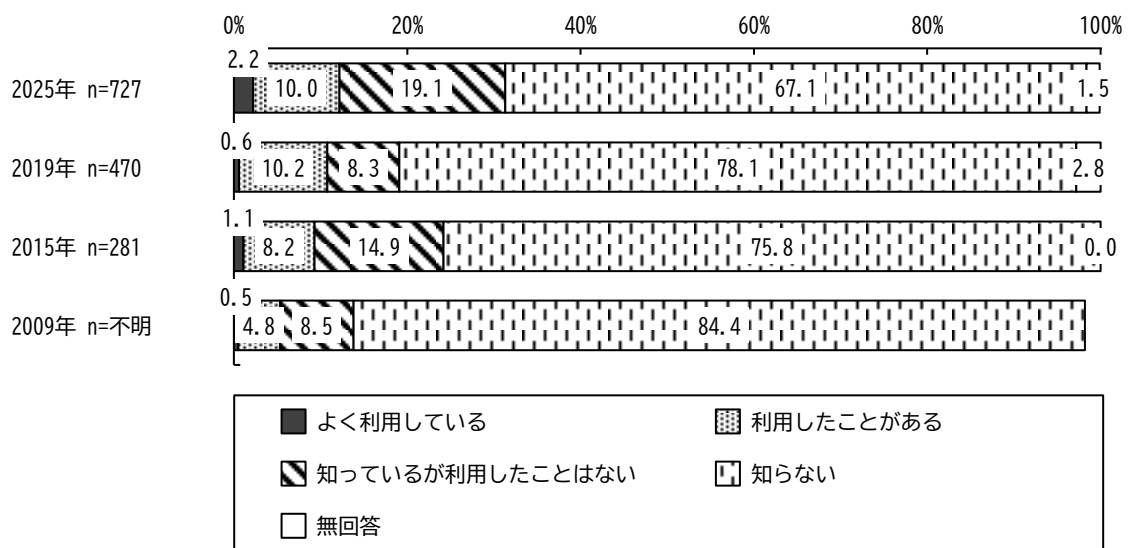
富士市ウェブサイトの多言語版を知っているかについては「よく利用している」が2.2%、「利用したことがある」が10.0%、「知っているが利用したことはない」が19.1%、「知らない」が67.1%となっている。「よく利用している」と「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた『知っている』割合は31.3%、「よく利用している」と「利用したことがある」を合わせた『利用した』割合は12.2%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「知らない」が最も高くなっている。

【経年比較】



※「よく利用している」は前回調査まで「よく見ている」

※「利用したことがある」は前回調査まで「ときどき見る」

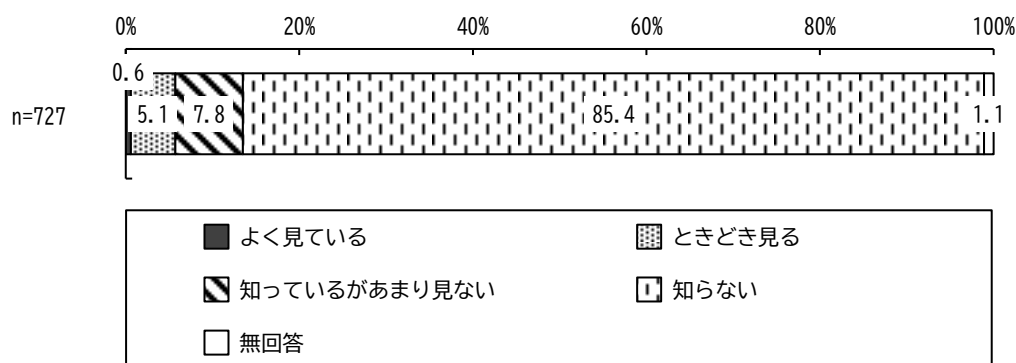
※「知っているが利用したことはない」は前回調査まで「知っているがあまり見ない」

※2009年の無回答：他の選択肢の合計から0.0%と判断できないため表示なし

経年比較では、「知らない」が前回調査から11.0ポイント低く、「知っているが利用したことはない」が前回調査から10.8ポイント高くなっている。

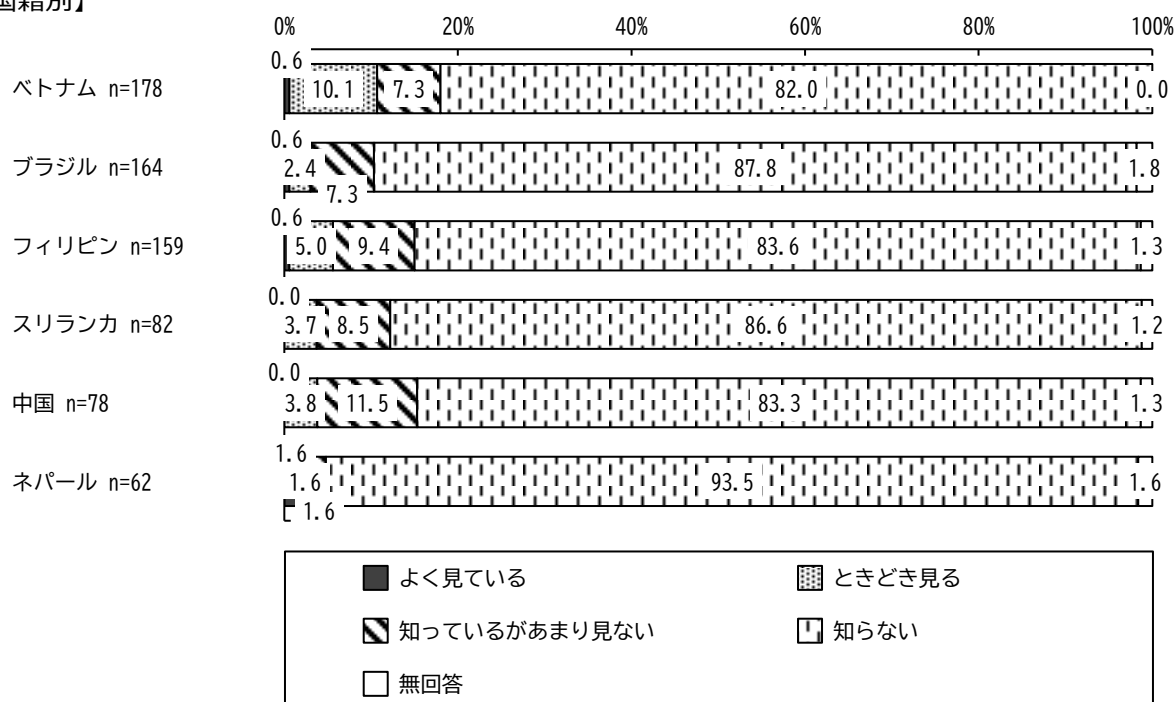
（５）NSF FUJI（外国人市民のための通知支援サイト）を知っているか

質問41 NSF FUJI（外国人市民のための通知支援サイト）を知っていますか（１つに○）



NSF FUJI（外国人市民のための通知支援サイト）を知っているかについては「よく見ている」が0.6%、「ときどき見る」が5.1%、「知っているがあまり見ない」が7.8%、「知らない」が85.4%となっている。「よく見ている」と「ときどき見る」と「知っているがあまり見ない」を合わせた『知っている』割合は13.5%、「よく見ている」と「ときどき見る」を合わせた『見る』割合は5.7%となっている。

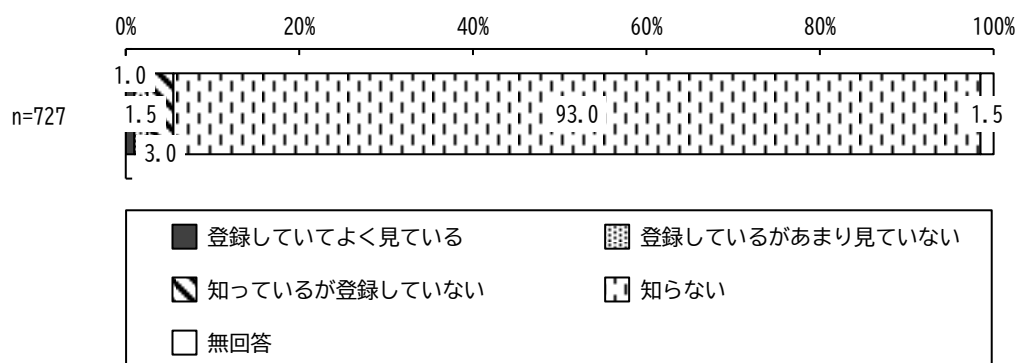
【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「知らない」が最も高くなっている。

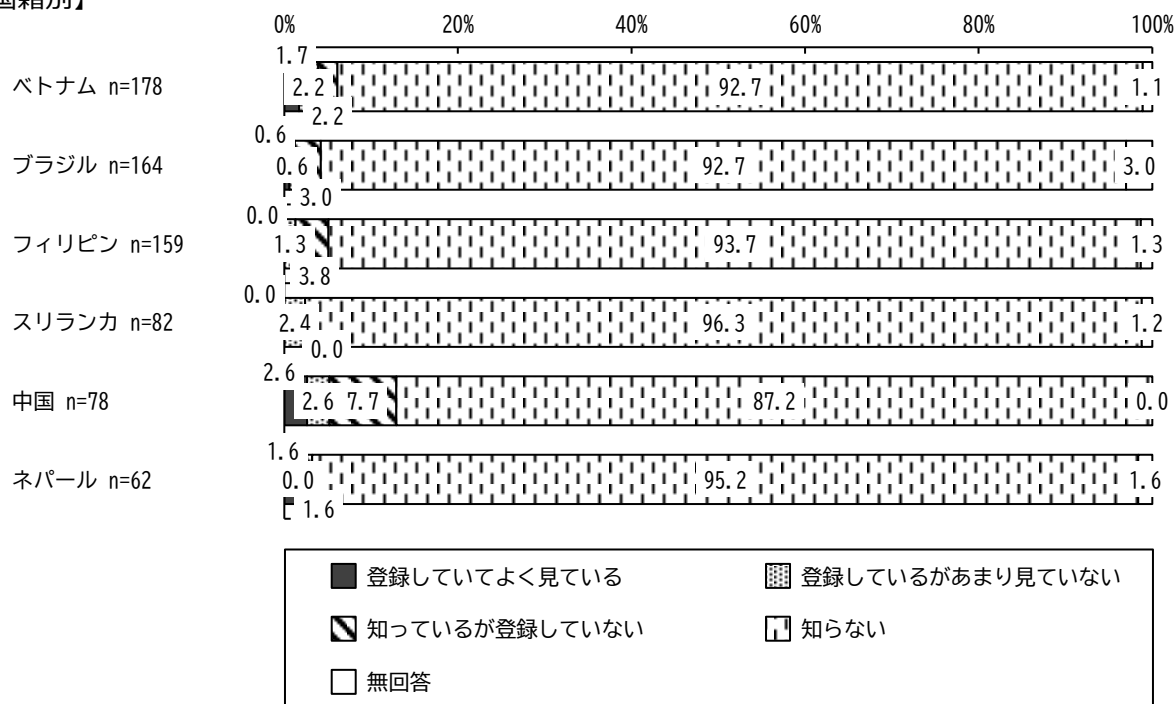
(6) 富士市のメールサービス「まる・かる・めーる」を知っているか

質問42 富士市のメールサービス「まる・かる・めーる」(外国人市民のためのメールサービス)を知っていますか(1つに○)



富士市のメールサービス「まる・かる・めーる」を知っているかについては「登録していてよく知っている」が1.0%、「登録しているがあまり見ていない」が1.5%、「知っているが登録していない」が3.0%、「知らない」が93.0%となっている。「登録していてよく知っている」と「登録しているがあまり見ていない」と「知っているが登録していない」を合わせた『知っている』割合は5.5%、「登録していてよく知っている」と「登録しているがあまり見ていない」を合わせた『登録している』割合は2.5%となっている。

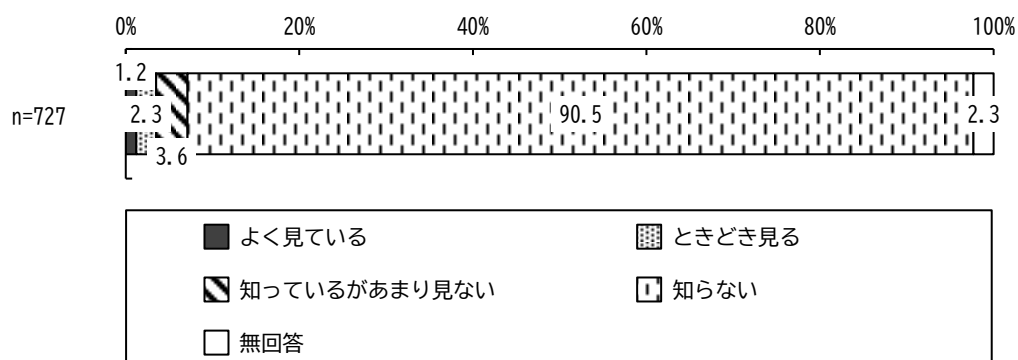
【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「知らない」が最も高くなっている。

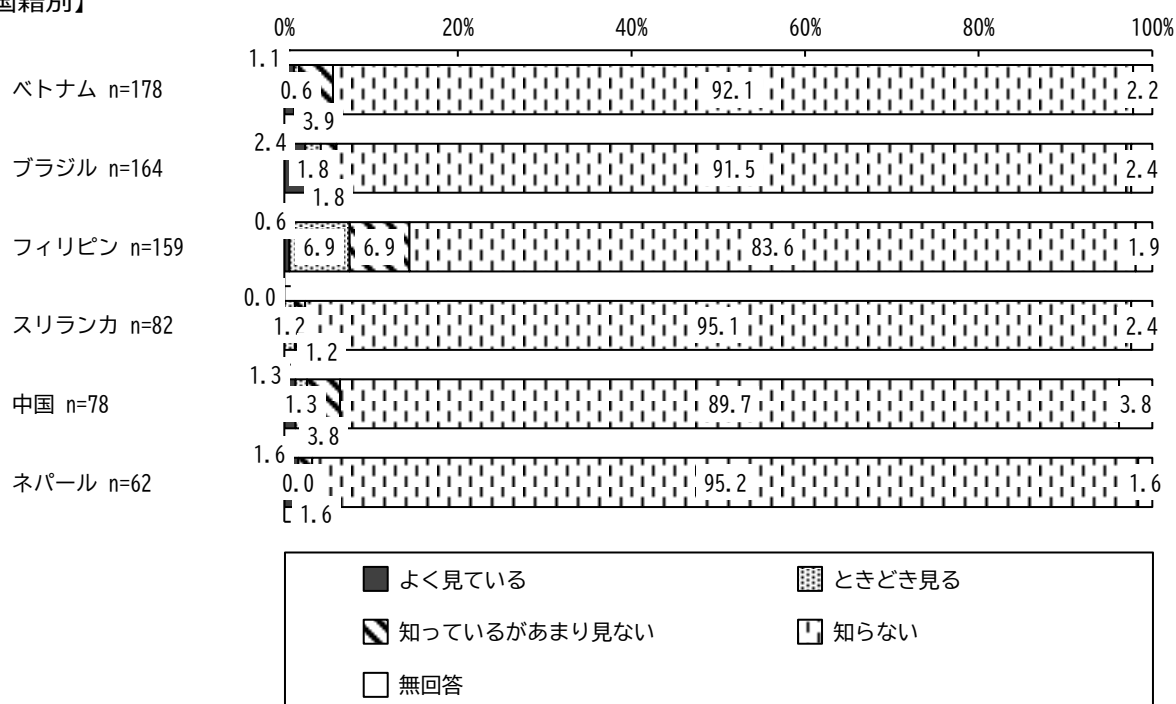
(7) 富士市に暮らす外国人に役立つ生活情報を集めた「INFO BOX F」を知っているか

質問43 富士市に暮らす外国人に役立つ生活情報を集めた「INFO BOX F」を知っていますか（1つに○）



富士市に暮らす外国人に役立つ生活情報を集めた「INFO BOX F」を知っているかについては「よく知っている」が1.2%、「ときどき見る」が2.3%、「知っているがあまり見ない」が3.6%、「知らない」が90.5%となっている。「よく知っている」と「ときどき見る」と「知っているがあまり見ない」を合わせた『知っている』割合は7.1%、「よく知っている」と「ときどき見る」を合わせた『見る』割合は3.5%となっている。

【国籍別】



国籍別にみると、全ての国籍で「知らない」が最も高くなっている。

(8) 知りたい市の情報

質問44 あなたが知りたい市の情報は何か（あてはまるものすべてに○）

		災害時の避難所など緊急時対応	日本語講座の開催情報	病院の情報	健康診断などの情報	地域公共施設の使い方	税金などの仕組み、支払方法	イベントや観光の情報	ゴミの出し方などの生活ルール	富士市の歴史、文化	学校教育の情報	出産や育児の情報	その他	特にない	無回答
		(%)													
全体 n=727		45.8	31.1	29.4	29.3	26.5	25.9	25.9	25.7	22.6	18.7	16.4	1.7	18.2	1.9
国籍別	ベトナム n=178	60.7	39.3	29.2	30.3	29.8	35.4	27.5	33.1	28.7	20.8	19.7	1.1	10.7	0.6
	ブラジル n=164	40.2	23.8	21.3	18.9	25.0	16.5	28.7	15.2	22.6	10.4	5.5	3.0	28.7	1.2
	フィリピン n=159	40.9	27.0	30.2	39.6	17.0	23.9	26.4	28.9	20.1	15.7	7.5	1.9	18.2	4.4
	スリランカ n=82	47.6	41.5	48.8	30.5	30.5	29.3	23.2	28.0	22.0	28.0	42.7	1.2	17.1	1.2
	中国 n=78	38.5	24.4	20.5	30.8	28.2	24.4	26.9	25.6	21.8	24.4	12.8	0.0	23.1	0.0
	ネパール n=62	38.7	33.9	35.5	24.2	40.3	27.4	14.5	21.0	12.9	22.6	29.0	1.6	6.5	4.8

知りたい市の情報は「災害時の避難所など緊急時対応」が45.8%と最も高く、次いで「日本語講座の開催情報」が31.1%、「病院の情報」が29.4%、「健康診断などの情報」が29.3%などとなり、『知りたい情報がある』割合は79.9%となっている。一方、「特にない」は18.2%となっている。

国籍別にみると、ベトナム・ブラジル・フィリピン・中国は「災害時の避難所など緊急時対応」、スリランカは「病院の情報」、ネパールは「地域公共施設の使い方」が最も高くなっている。

【経年比較】

		災害時の避難所など緊急時対応	日本語講座の開催情報	病院の情報	健康診断などの情報	地域公共施設の使い方	税金などの仕組み、支払方法	イベントや観光の情報	ゴミの出し方などの生活ルール	富士市の歴史、文化	学校教育の情報	出産や育児の情報	その他	特にない	無回答
		(%)													
2025年 n=727		45.8	31.1	29.4	29.3	26.5	25.9	25.9	25.7	22.6	18.7	16.4	1.7	18.2	1.9
2019年 n=470		38.7	29.6	24.0	24.0	21.7	28.1	23.6	20.0	22.1	18.3	8.7	4.3	18.9	4.0
2015年 n=281		39.5	27.4	32.4	32.0	26.3	37.7	23.8	17.8	21.7	27.4	12.8	2.8	14.2	
2009年 n=不明		38.6	29.7	24.1	29.5	30.1	33.7	24.6	25.8	17.8	22.7	12.4	2.0	15.9	

※「地域公共施設の使い方」は前回調査まで「地域公共施設の利用方法」

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「出産や育児の情報」が前回調査から7.7ポイント高く、「災害時の避難所など緊急時対応」が前回調査から7.1ポイント高くなっている。

(9) 充実してほしい行政サービス

質問45 今後、充実してほしい行政サービスについて教えてください（あてはまるものすべてに○）

		(%)															
		多言語による生活関連情報提供や生活相談	日本語教室の開催	案内板などの多言語表示	外国人の境遇や権利についての理解	外国語で対応できる職員	仕事の紹介や相談	事故や災害などの緊急時の対応	入居がしやすい公営住宅の整備	外国人市民からの意見を聞く機会	子どもの教育への配慮	ルビ（ふりがな）の表記	日本人市民との国際交流事業	図書館の外国語資料の充実	その他	特にない	無回答
全体 n=727		37.7	32.2	31.8	28.7	28.2	25.4	24.2	23.2	20.8	17.7	16.8	13.1	11.6	1.2	18.0	1.8
国籍別	ベトナム n=178	44.4	38.8	35.4	29.2	28.7	25.3	27.5	25.3	20.8	10.7	14.6	12.4	6.2	1.1	14.6	1.1
	ブラジル n=164	30.5	15.9	42.7	27.4	23.8	22.6	19.5	26.2	17.7	11.6	31.7	10.4	16.5	1.2	25.0	3.0
	フィリピン n=159	47.2	31.4	28.3	42.1	31.4	20.1	27.0	20.1	15.7	21.4	7.5	10.7	11.9	2.5	13.2	1.9
	スリランカ n=82	29.3	48.8	26.8	20.7	25.6	42.7	29.3	19.5	30.5	26.8	9.8	15.9	14.6	0.0	20.7	1.2
	中国 n=78	32.1	28.2	11.5	14.1	25.6	23.1	14.1	21.8	19.2	26.9	15.4	11.5	10.3	1.3	25.6	1.3
	ネパール n=62	33.9	40.3	30.6	24.2	33.9	27.4	24.2	21.0	30.6	21.0	16.1	25.8	9.7	0.0	9.7	1.6

充実してほしい行政サービスは「多言語による生活関連情報提供や生活相談」が37.7%と最も高く、次いで「日本語教室の開催」が32.2%、「案内板などの多言語表示」が31.8%などとなり、『充実してほしい行政サービスがある』割合は80.2%となっている。

国籍別にみると、ベトナム・フィリピン・中国は「多言語による生活関連情報提供や生活相談」、スリランカ・ネパールは「日本語教室の開催」、ブラジルは「案内板などの多言語表示」が最も高くなっている。

【経年比較】

																	(%)
	報道提供や生活相談	多言語による生活関連情報提供	日本語教室の開催	案内板などの多言語表示	外国人の境遇や権利についての理解	外国語で対応できる職員	仕事の紹介や相談	事故や災害などの緊急時の対応	入居がしやすい公営住宅の整備	外国人市民からの意見を聞く機会	子どもの教育への配慮	ルビ（ふりがな）の表記	日本人市民との国際交流事業	図書館の外国語資料の充実	その他	特にない	無回答
2025年 n=727	37.7	32.2	31.8	28.7	28.2	25.4	24.2	23.2	20.8	17.7	16.8	13.1	11.6	1.2	18.0	1.8	
2019年 n=470	40.6	28.3	35.5	31.3	29.8	24.7	27.7	23.2	24.3	15.3	30.4	16.6	16.6	3.6	15.1	3.2	
2015年 n=281	38.1	28.5	32.7	3.2	21.0	29.2	30.2	22.8	31.3	31.0	33.5	22.4	27.4	9.3	16.7		
2009年 n=不明	38.2	35.1	34.6	38.2	27.0	36.9	26.3	33.7	29.1	21.6	28.7	17.5	22.3	2.5	12.5		

※「ルビ（ふりがな）の表記」は前回調査まで「印刷物へのルビ（ふりがな）の表記」

※「外国人語で対応できる職員」は前回調査まで「外国人語で対応できる職員の窓口配置」

※「事故や災害などの緊急時の対応」は前回調査まで「事故や災害などの緊急時の対応の充実」

※「入居がしやすい公営住宅の整備」は前回調査まで「入居が容易な公営住宅の整備」

※「子どもの教育への配慮」は前回調査まで「子どもの教育における特別な配慮」

※2015年、2009年の無回答：不明

経年比較では、「ルビ（ふりがな）の表記」が前回調査から13.6ポイント低くなっている。

(10) 富士市に住んでいてどんなことに満足しているか

質問46 富士市に住んでいてどんなことに満足していますか（あてはまるものすべてに○）

		(%)															
		安全なこと	自然が豊かなこと	働く場所があること	人があたたかいこと	交通の便がよいこと	同じ国の人がいること	知り合いがいること	病院などの公共施設が整っていること	公園やプールなどの公共施設があること	商業施設があること	日本人住民への支援があること	日本語教室や相談窓口などの外	子育てがしやすいこと	その他	特にない	無回答
全体 n=727		50.3	49.2	44.7	38.1	35.6	32.2	28.9	28.3	27.4	25.0	20.8	14.0	1.9	7.3	1.1	
国籍別	ベトナム n=178	46.1	46.1	62.4	33.1	48.3	27.0	16.9	26.4	23.0	32.6	13.5	6.7	0.6	6.7	0.6	
	ブラジル n=164	61.6	53.0	51.8	47.6	23.2	29.9	42.1	40.9	39.0	39.0	36.6	23.8	1.8	11.6	1.2	
	フィリピン n=159	51.6	49.1	32.1	26.4	39.0	43.4	40.9	25.2	22.0	17.0	24.5	11.9	5.0	5.0	1.9	
	スリランカ n=82	42.7	43.9	36.6	40.2	23.2	31.7	17.1	20.7	26.8	14.6	17.1	12.2	0.0	8.5	1.2	
	中国 n=78	46.2	65.4	34.6	44.9	44.9	28.2	33.3	29.5	35.9	20.5	6.4	20.5	1.3	5.1	0.0	
	ネパール n=62	43.5	33.9	32.3	46.8	27.4	27.4	4.8	16.1	12.9	6.5	12.9	9.7	1.6	4.8	1.6	

富士市に住んでいてどんなことに満足しているかについては「安全なこと」が50.3%と最も高く、次いで「自然が豊かなこと」が49.2%、「働く場所があること」が44.7%、「人があたたかいこと」が38.1%などとなり、『満足していることがある』割合は91.6%となっている。

国籍別にみると、ベトナムは「働く場所があること」、ブラジル・フィリピンは「安全なこと」、スリランカ・中国は「自然が豊かなこと」、ネパールは「人があたたかいこと」が最も高くなっている。

【経年比較】

(%)																
	安全なこと	自然が豊かなこと	働く場所があること	人があたたかいこと	交通の便がよいこと	同じ国の人がいること	知り合いがいること	病院などの公共施設が整っていること	公園やプールなどの公共施設があること	商業施設があること	日本語教室や相談窓口などの外国人住民への支援があること	子育てがしやすいこと	その他	特にない	無回答	
2025年 n=727	50.3	49.2	44.7	38.1	35.6	32.2	28.9	28.3	27.4	25.0	20.8	14.0	1.9	7.3	1.1	
2019年 n=470	58.1	49.4	44.7	46.4	31.9	31.9	27.0	32.6	29.6	22.1	21.9	14.9	2.8	5.3	1.7	

※「商業施設があること」は前回調査まで「商業施設が整っていること」

※「公園やプールなどの公共施設があること」は前回調査まで「公園やプール等の公共施設が整っていること」

※「事故や災害などの緊急時の対応」は前回調査まで「事故や災害などの緊急時の対応の充実」

※「安全なこと」は前回調査まで「治安がよく安全なこと」

※「同じ国の人がいること」は前回調査まで「同じ国の出身の人がいること」

経年比較では、「人があたたかいこと」が前回調査から8.3ポイント低くなっている。

(11) 自由意見

質問47 自由意見

【国籍：ベトナム】

- 起業に関するサポートの相談をしていただける場所があれば、ぜひ利用したいと考えております。
- 私の友達も日本語を勉強したいです。彼らを勉強に連れて行きたいです。ありがとうございました。
- 日本語教室の開催。私も日本語を勉強したい。
- 私の仕事は給料が低いので、政府の支援がほしいです。ありがとうございました。
- 今後とも富士市、そして日本全体の発展に貢献できるように努めてまいりたいと思います。よろしくお願いします。
- 税金を下げてください、貰える給料が少ないです。
- 特に意見がない。
- 今まで自分の生活費は支払いできているが、毎月家族にお金を送っているため。外国人として私たちは税金が下がって、ありがたいです。それ以外今住んでいる富士市は満足しています。
- スーパーの従業員の態度が良くない。
- ありがとう富士市。
- 富士市の地域で実習生の給料を上げる希望。
- 私は技能実習生として静岡県で暮らし、働き、治療を受けているベトナム人です。空気が新鮮で、仕事も治療もできる環境が整っているので、富士市に長期滞在したいと思っています。私と同じ病気の人たちをもっと支えてくれる健康保険給付制度があれば嬉しいです。よろしくお願いします。
- 勉強はしていますが、記憶力が悪いです。頑張ってみます。
- 私は日本語をもっと学びたいし、日本の文化や習慣を知りたいし、ここで安定した長期の仕事を見つけたいと思っています。
- 富士市は景色が美しく、交通も便利で、食べ物も美味しいです。
- 良い街。
- 仕事ができるまで。
- 生活費や物価の補助を受けたい。
- 日本語を勉強したいです。
- 今は車を買いたいですが、富士市の車の値段は他の市より高いです。
- 会社が日本で永久に働ける条件を整えてほしい。
- 夫婦で一緒に住む場合の住宅価格について問い合わせたいです。
- 外国人への補助金増額を希望。
- 今住んでいるところの近くの駅は良いです。
- 道は電灯が少ないです。できれば、暗いところをもっと電灯がついてほしいことです。
- この町に長く住みたいと思っています。
- ベトナム語の公共標識を追加。
- 外国人は差別されるべきではない。
- 日本で永住ビザを申請したい。
- 外国人向けの労働セミナーを開催します。富士市で長期就労に適した仕事を見つけるために、企業と労働者の架け橋となる人材が必要です。
- 富士山は素晴らしいと思います。
- 富士は住みやすい街です。
- わたし富士山大好き。
- 富士天間での無料日本語レッスンに参加したいです。
- 家賃が高いため、県が外国人労働者の給与を引き上げてくださいますようお願い申し上げます。
- 富士を愛しています。
- 研修生は住宅手当を増額。
- 日本のことが大好きです、チャンスがあれば日本でずっと住みたいです。
- 清潔でフレンドリーな街です。
- 生活費が高額なため、私たちは財政難を緩和するために政府からの援助を受けることを期待しています。
- 私は夜に働いているので日本語を学ぶ時間がありませんが、N4がなくても簡単に仕事を見つけられることを願っています。
- 富士市は工業が発展し、多くの工場と外国人労働者が集まる街です。私たち外国人が交通ルール、防災、営業・取引に関する法律などをしっかり理解できるようにしてほしいと思います。そうすることで、日本の方々により良い印象を与え、共に街の発展に貢献できると考えています。

【国籍：ブラジル】

- 正直SNSの発達により情報（生活面）は不足すると感じることは、あまりありません。問題になるのは、情報を持っているのに理解できないことです。日本語を不自由なく使える自分でも税金に関する資料を読んでも理解しにくい。単語、専門用語が多くなるのは仕方ないですが、その説明が足りないのと、矢印が多く分岐も多く分かりにくい。一つにまとめずぎてと思います。個人的には分けても良いと考えます。
- 来年、富士マリンブルがなくなると聞きました。そのかわりに何ををするのですか。これからの方針を知りたいです。
- 日本はとても良いです。機会と仕事、家などを与えてくれた日本に感謝します。私はここで幸せです。
- 1－救急医療：料金高過ぎる、対応が悪い。2－日本人と同等、税金を沢山払ってるから、同等の権利であるべき。3－外国人をもっと知り対応をもっと良くしてほしい。
- 富士市は祝福に値する（富士は素晴らしいですと同じ意味）。平和と静けさとともに暮らすのに最適な場所。
- 人種差別、偏見、いじめを減らしましょう！
- 難しいとは承知だが、ポルトガル語を話す歯医者・カウンセラーが物足りない。
- 通常、ここ富士市で働く人は交代勤務制で、勉強したい人には難しい、インターネットで授業があればとても良い。もうある場合は無視してください。
- こういったアンケートを回答したことがなかったです。良いと思いました。

- 私たち外国人達を心配してくださってとてもありがたいです。この国、市の役員達に神様の祝福がありますように。
- 起業して販売したい（お菓子とクッキーなど）、最初はオーダー制。しかし日本の法律では家庭の台所を使用するのを許可しない。自営業を始めるのに物件を借りる、もしくは、キッチンカーの取得はリスクが高い。規則がもう少し融通が利いてほしい、例えばアパートや家の台所の衛生状態の調査をし、何故なら許可をいただくにあたって最低限必要な物はコンロ・キッチンシンク・水・冷蔵庫/冷凍庫・ゴミ・トイレ。※税金は同じく支払われる。
- 何も言うことなし！おめでとうございます！私たちへのお気遣い、してくださっているすべてのことに大変感謝しています。
- 外国人への支援と交流の維持。
- 公共交通機関についてよく考えてほしいです（バスについて）。私は松野に住んでいて、車も持っていないのでバスをよく利用しています（富士宮～蒲原線）。しかし、このバス路線は終了してしまいます（9月までしか継続しません）。また、この交通機関を必要としている人がいます。ありがとうございます。
- 警察はなぜ違法バイクに対して何もしないのか？週末なら簡単に見つかります。
- よろしく願います！
- 教育は仕事、余暇、そして日常生活において非常に重要です。FILSでコースを受講し、日本人の方々が外国人の方々と働く様子を本当に楽しんでいました。ブラジルの方々に会えなくなって寂しかったですが、言語学習をサポートし、日本人の方々ととのイベントに参加するよう励ましてくれる方々の存在は、本当にやりがいのあることです。富士に引っ越して以来、私はコミュニティの一員であると感じています。
- 富士山、すばらしい。
- であれば年金についてもっと知りたい（ここ、もしくは自分の国でどう年金をもらえるか）。
- 子どもたちのためにもっと遊び場を作してほしい。富士市が好きです。それとここに住める機会を感謝をしています。
- 給与が低く、それと私の孫に保育園の枠がない。
- この街が好きで、ここに住もうと思っていたのですが、保育園の入所に苦労し、政府の支援だけでは自活することができません。改善を強く推奨します。何ヶ月も待っています。ありがとうございます。
- とても、しあわせ。
- ここに住んでくれてありがとう！富士市は特別な街です！富士山と海が美しく、住民の健康と幸福を促進する街です！
- 意見を述べることで感謝しており、できる限りの支援をしたいと考えています。
- バスケットボールコートが一般に開放されている公園がもっとあればいいのと思います。
- 私の考えでは、外国人も日本人も全員工場で直接雇用できると思います。なぜなら、仕事内容や給与に差がないからです。全員が社会保険に加入し、ボーナスも支給されますし、工場側はすでに給与から税金を天引きしています。最も重要なのは、市役所と税金や健康保険に関して問題がないことです。
- 富士市に20年以上住んでいます。もう他の場所に引っ越すことは考えていません。市内に友人や親戚がいますから。
- 市立病院に通訳を1人増員。
- 意見を述べる機会をいただき感謝します。
- 一番心配なのは、高齢になって仕事がなくなったら、老後の生活が期待できないことです。富士市では、子どもたちが私たち高齢者の面倒を見ることができなくなったら、住む場所はあるのでしょうか？
- 外国人に対する市の配慮に満足。
- ありがとう。
- 身体に障害のある娘がいるので、市役所が提供する給付金にとても感謝しています。金銭面だけでなく、障害者用の公衆トイレや駐車場など、私たちにとても大きな助けになっています。本当にありがとうございます。
- 富士市は良くて、落ち着いた街です。学校では子どもや職員の心理ケアがもっと必要です。多くの生徒が不安や鬱を抱えていても見過ごされがちです。また、日本人や外国人の子どもや若者が遊べる場を増やすと学業後に健やかに楽しめます。
- 富士市が好きです！

【国籍：フィリピン】

- お米が高いから、サービス券が欲しいです。
- 夫が70歳、私が47歳で子どもが14歳ですが、私の給料が少なく、夫は年金で生活が大変なのに、なんの支援もない。生活が大変。私たちのような外国人夫婦が多いので支援がほしい。子どもがたくさんいる人は、お金がたくさんもらえるから、うらやましい。
- 便利な毎日の生活のために、日本人みたいな日本語会話を学びたいです。
- 市のことをもっと知るために市のボランティアに参加したい。
- 特にありません。
- 4人の子どもの持つシングルマザー（未亡人）。2人は大学生、1人は高校生、1人は中学生。ありがとうございます。
- 富士市は美しく、静かです。私は夫と親切な隣人に恵まれて、人生は幸せです。富士の街はすごいです。2年前にFILSの日本語講座で日本語を勉強しました。これは私にとって大きな助けです。神様に感謝しています。富士市と富士を愛する人々を愛しています。
- 1. 賃金が上がることを願っています。2. 外国人に対する差別がなくなることを願います。
- 何もありません。いつもありがとうございます。
- この場所のおかげで、私は良い夫と出会い、美しい子どもに恵まれました。私はこの家族を大事にすることに満足しています。ありがとう。
- 病院、公共施設や官公庁にも、英語ができるスタッフがいるといいな。ありがとう。
- 私にとって、富士市は第二の故郷であり、故郷と言えるでしょう。政府の運営やサービスは素晴らしく、人種や国籍による差別もなく、誰もが平等です。私にとって、政府の運営方法を変えるべき点は何もありません。これからも、そしてこれからも、この姿勢を貫き続けていきます。
- 外国人の方々に感謝申し上げます。
- すべてのオフィス（病院、市役所、学校）からのすべての書類に英語訳が付いて、私たちが理解できるようにしてほしいです。お願いします。
- ストレスを軽減し、仕事への熱意を維持できるように、公園でバスケットボールができるといいですね。どうもありがとうございます。
- ①無料で日本語を学びましょう。②例え日本語が少しわからなくても、仕事を見つけるのは簡単。
- 私には警察官になりたい娘がいます。でも母親が日本人ではないので無理そうです。なぜ差別があるのかな？父親が日本人で、軍人の兄がいます。ただ人々に奉仕したいだけです。
- 物価は上昇し、税金も増えていきます。賃金を上げてください。
- 病院や市役所などの機関には英語を話せるスタッフが必須だと思います。ありがとう！
- 標識や警告に翻訳があるといいですね。子どもたちのために公園をもっと美しくしましょう。子どもの身体的および精神的健康に焦点を当てます。家族が遊んだり、散歩したりできる場所。

- 日本で住むのは楽しいけど大変です。仕事と子育てで忙しい。仕事があると生活のためのお金は稼げる。日本人の仲間と一緒に学び、挑戦することがたくさんあります。多くの問題、ストレス、プレッシャーがありますが、良いことは、すべてを乗り越えて家族と一緒にいられること。頑張ると神に祈るだけだ。
- 日本に住むのはいいことだ。
- 私は日本が大好きです。
- 私の17年間の生活の中で、日本での生活は良い、体系的だと言えます。今気になっているのと心配なのは、子どもの教育費が高いです。特に高校。商品も高くなっています。一般国民の給料では子どもたちの教育に十分ではありません。
- 日本で働く機会を与えていただき、誠にありがとうございます。医療サービスに関しては感銘を受けています。医師も看護師も親切です。市役所やその他の施設のスタッフは親切です。
- 勉強しに行ける図書館が近くにあればいいのに。無料の日本語授業を受けられます。
- 富士市の人々へ神に感謝します。この街、富士山は住むのに素晴らしい場所です。環境は良く、気候は涼しく、暑すぎず寒すぎず、街は混雑しておらず、水はきれいで、窓から見える富士山の景色は澄んでいて、とても気持ちがいいです。
- 富士市では雪が降らないから良いです。そして、市役所にタガログ語がわかる職員がいればコミュニケーションが取りやすいと思います。
- 日本語力を向上させたい外国人が、手頃な料金で勉強できる学校や場所を提供します。
- 私は納税者の一人です。しかし、十分な仕事を持っている多くの外国人は、市役所から支援を得るため、自分の仕事を秘密にしています。特に、市役所で支援を受けるために、自国から連れてこられた日本人ではない子どもたち。一方、他の人々、特に日本人の子どもたちは、親の収入が十分あると言われてるため、政府から援助を受けていません。私の意見では、子どもを養うのは親の義務です。他の市民は市役所の支援だけに頼って、怠け者になってしまいます。
- 多くの日本人は外国人に対して親切で良い人です。
- 私は33年間ぐらいい日本に住んでいますが、ここに住むのは素晴らしいことです。でも仕事がないと大変です。富士市の規則や規制、管理が好きです。
- 富士市の担当者の皆様、子どもが受けられる手当について、私の意見を申し上げたいと思います。特に手当の額が大きい場合、親の収入に応じて手当が支給されるべきではないと思います。日本では子育てや教育が難しいため、親子ともに平等に手当を受けられることを願っています。
- 外国人への重要なお知らせを多言語で表示してほしい。
- 周辺地域の案内や標識は多言語で記載する必要があります。外国人住民に主要なメッセージが伝わる限り、全てを記載する必要はありません。
- 静かで安全な富士市に住んで幸せです。
- 私のような外国人に情報をシェアしていただいたことにとっても感謝しており、多くのことを学び、気付きました。
- おかげさまで富士市での暮らしは無事です。
- バス停は私の住んでいる場所から遠く、ゴミ捨て場も遠い。
- 日本語を本当に勉強したいので、ここで無料の日本語教育があればいいなと思っています。援助ではなく、ガソリン価格への税金が下がればいいなと思っています。物価は高いのに賃金は低いです。
- 皆さん、良い一日をお過ごしください。
- すべて順調。
- 富士を愛しています。
- 美しく管理されている。
- 富士で幸せな暮らしを。
- 税金について話したり質問したりできる施設があればいいと思います。
- コストが高いため残業をまた増やす。
- このアンケートを通して、回答するまで知らなかった外国人向けのサービスについてたくさん知ることができました。ありがとうございます。富士市の住民同士の絆を深めるお手伝いをしていきたいです。
- 今のところは何もありません。
- ありがとうございます。私は富士市に住んでいて、静かで生活しやすく仕事に就いています。
- 富士の病院や小児科に英語を話せる看護師がいれば良いのですが。
- 富士エリアには良いライフスタイルがあり、規律正しく、快適で、美しい場所であり、外国人も多く、そして何よりも清潔で静かです。
- 外国人が日本に長く住む機会が得られることを願っています。
- 日本はとても美しいですね。私は日本が大好きです。

【国籍：スリランカ】

- 日本が好きです。なので、こちらで生活がしたいです。今の日本人は、あまり食品の仕事をしない。例えば、畑はしないで、日本の米もみんなのため、足りなくなっています。私も田をやりたいと思っています。いつかがんばろう。それは私です。
- 日本ありがとうございます。
- 市役所のサービスには満足しています。FILSの制度にも満足しています。富士市は住みやすく、平和な街だと思います。
- ①銀行、病院、公共機関、交通機関に多言語（英語）を追加します。②市の施設に英語を話せるスタッフを雇用する。③日本は人気の高い旅行先であり、訪問者は言語の困難に直面することが多いため、英語学習を促進します。④税金と商品の価格を下げ、給与を上げる。これらの改善は住民と観光客の両方に大いに役立ち、富士市の歓迎イメージをさらに高めるでしょう。ありがとうございます。
- この地域に来てから、日本の人々をとっても好きになりました。政府機関で働く皆さんは私たちをとっても親切にしてくれます。これからも日本の人々が私たちに親切にしてくれることを願っています。私はこの国の習慣が大好きです。この国が大好きです。ありがとうございます。
- 高給の仕事が必要です。
- ご覧いただきありがとうございます。富士は日本のとても美しい街です。
- さらなる日本語学習のために必要な設備を喜んで提供いたします。
- 神聖な街に住むのはとても快適です。市役所からのサポートは非常に充実しています。教育を受ける機会はほとんどありません。医療へのアクセスは非常に困難です。しかし、富士山はとても美しいです。
- 日本の学校における英語学習を改善する。
- 仕事のストレスの高さとワークライフバランスについて考慮する必要があります。税金が高く、子どもを持つシングル収入では対応できません。
- 職場における外国人へのハラスメントを最小限に抑える計画はありますか？
- 災害時の生活の安全性の向上にご協力ください。

- 各種啓発活動の際には、ぜひご連絡ください。日本政府が提供する助成金やその他のサービスについてもお知らせいただければ幸いです。また、富士市で外国人向けの日本語教師キャンプを少なくとも月に1回開催していただければ大変助かります。新しい規則や規制についてもお知らせいただく必要があります。どうぞよろしくお願いいたします。
- ありがとうございます。
- 日本の生活費は思っていたよりも高かったです。でも、私は日本が本当に好きです。人々も文化も美しく、これらすべてが本当に好きです。思っていたほど給料は多くありませんが、生活するには十分です。故郷もこのことと同じくらい好きです。仕事をしっかりこなして、この国で暮らしたいです。
- 私が最も好きなのは、世界の他のどの国にも見られない、日本人の規律と文化的なパターンです。

【国籍：中国】

- 物価が高い、収入が少ない。子どもが三人いるのでとても大変です。子どもがたくさんいる家庭に買い物クーポンなどを配布してほしいです。
- 病院にご意見をさせていただきます。多言語対応の窓口を設けていただけないでしょうか。多国籍の患者にとって、言葉の壁が不安です。また医療の専門用語についても、多言語でわかりやすく説明していただけると助かります。ご検討をお願いします。
- 日本で生活20年近くなのに、もう慣れました。これからも日本のルールを守って生活したいですね。よろしくお願いします。
- 外国人として地域に貢献できることをもっと知りたい。
- 夫婦が共に働くという社会的な土壌はまだまだ整っていないと、外国から来た私自身、強く感じています。実際、日本は依然として男性中心で、男女が平等に社会で活躍できる雰囲気には程遠いと痛感します。
- 日本語の講義が無料だったらとても嬉しいです。静岡空港と中国の主要都市間の航空便がもっと増えたら嬉しいです。休みの間、子どもたちが行くところがないので、富士市に子どもたちが遊べる場所をもっと増やしてほしいと思います。
- 文明的で安全で美しい場所。
- 文明的で清潔で美しい場所。
- 市営住宅の家賃が安くしてほしい。
- 家族が安心して富士で暮らせるよう願っています。ありがとうございます。

【国籍：ネパール】

- 物価が高いですが、物価が安いほうがもっと住みやすいです。病院について、大きい病院に入るのは紹介が欲しいことが不安です。富士市の大きい病院に入るのは難しい。自分の意見だけです。
- 私は日本語が苦手です。なので富士市でネパール語を話すスタッフを希望します。すべてのルールを理解するのが簡単です。外国人にとって富士市での生活が楽になります。
- 外国人を差別するのは不公平です。私たちも生活し、働き、社会に貢献しているので、他の皆と同じように敬意と公正な扱いを受けられることを願っています。住宅アパートの中や近くでカラオケバーなどの騒がしい店を開くことは犯罪とみなされるべきです。そのため、私は3か月間まともに眠れず、深刻な精神的ストレスに苦しみました。警察に通報しましたが、真剣に受け止めてもらえませんでした。恐らく私が外国人だからでしょう。私たちも皆、人間です。ですから、誰もが平等に扱われるべきです。私は日本が大好きです。
- 日本の生活様式は非常に高価なので、毎年給料が上がることを望みます。
- ここではすべてが漢字で書かれており、理解するのは非常に困難です。一部の情報は、ひらがなとカタカナで表記する必要があります。
- 私への支援と親切に感謝いたします。今後も役所からの支援と手助けを望んでいます。できる限り早く、ネパール人のスタッフも居るようになると、ネパール人にとって、今後、より良い手助けとなります。私の立場からの提案にすぎません。ありがとうございます。
- 私はこの国が大好きです。
- 夫は子どもの体調不良のせいで、仕事と育児のスケジュールをうまく調整できないことがあります。
- レビューにご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。2022年10月から現在まで富士市に住んでいます。公務員として働くことができ、大変嬉しく思っています。富士市のコミュニティと社会文化が好きです。
- 日本政府の皆様、私たちが日本で働く機会に迎え入れていただき、誠にありがとうございます。また、私たちを国民のように扱ってくださったことにも感謝いたします。ありがとうございます！
- ありがとうございます。
- 富士市は住みやすい。
- 富士市が好きです。
- 自分の意見を選択できるように変更していただき、ありがとうございます。
- 特に何もありませんが、今のところここに住んで幸せです。

【国籍：無回答】

- 多くの外国人は税金の支払いや納税、日本語について知りません。単なる意見ですが、外国人に税金を払うことがどういうことか説明してください。十分な知識がないと、質問する人が増えるからです。ありがとうございます。